

## 調查結果



「 調査結果」は次のページから始まります。

## 調査結果

### 1. 現在の行政の各分野の取組についての重要意識・満足意識

問5 - 1 以下に掲げたそれぞれの項目は、三重県が目指すべき社会の状態を表しています。あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。  
また、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取組に対してどのくらい満足されていますか。

現在の行政の 44 項目の取組について、重要意識と満足意識を調査した。また、前回調査（平成 21 年度）との比較および過去の調査との時系列分析を行った。

#### 重要意識の選択肢

重要 どちらかといえば重要でない	どちらかといえば重要 重要でない	どちらともいえない わからない
---------------------	---------------------	--------------------

#### 満足意識の選択肢

満足 どちらかといえば不満	どちらかといえば満足 不満	どちらともいえない わからない
------------------	------------------	--------------------

各項目について県民の意識を測定するため、重要意識、満足意識と不満意識を用いる。

「重要意識」 = 「重要」と「どちらかといえば重要」と答えた人の率の計  
「満足意識」 = 「満足」と「どちらかといえば満足」と答えた人の率の計  
「不満意識」 = 「不満」と「どちらかといえば不満」と答えた人の率の計

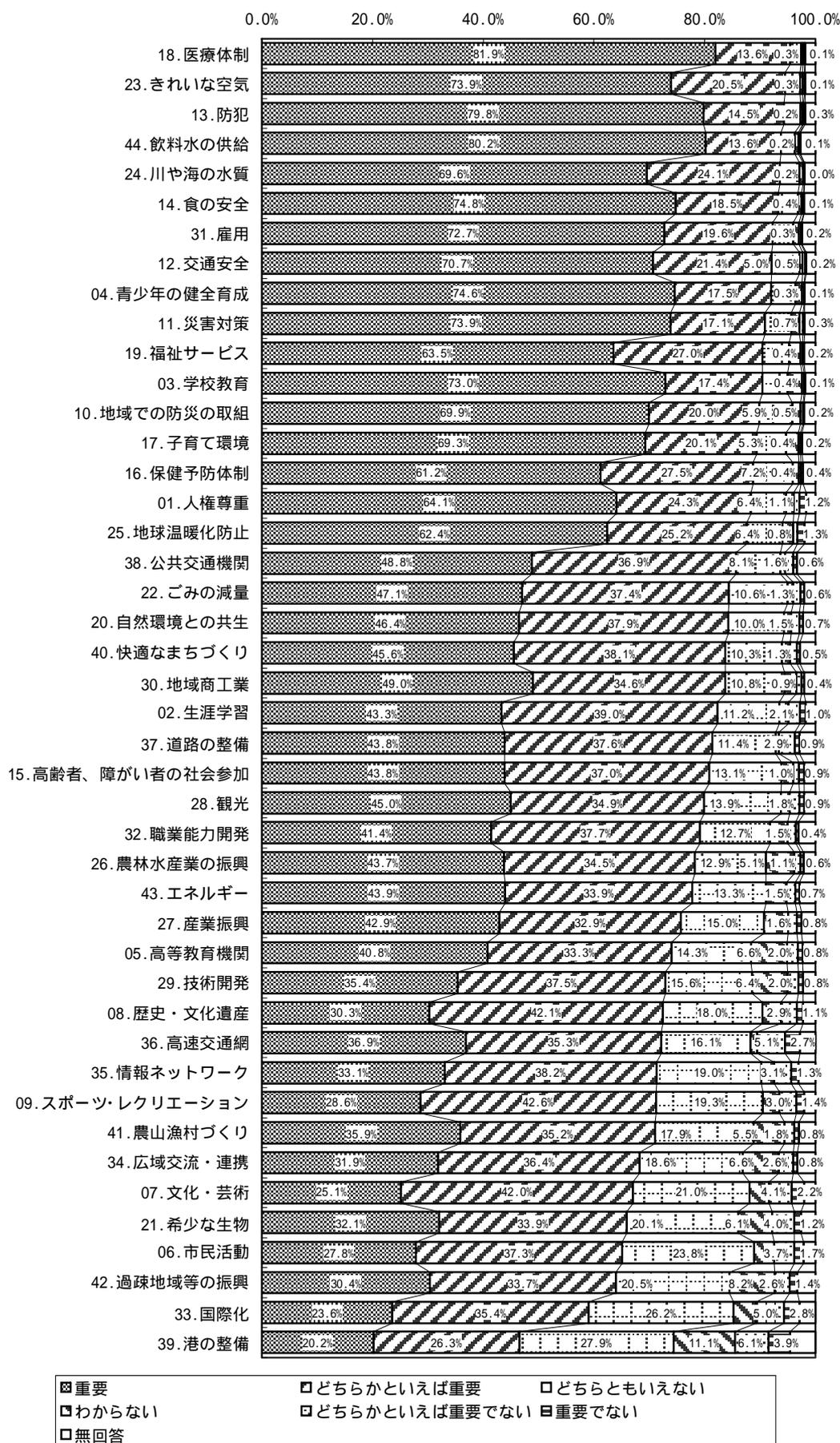
<各項目と「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像〔元気・くらしの安全安心・絆〕との分類について>

一万人アンケートでは、現在の行政の各分野における 44 項目の取組について、各項目を「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像〔元気・くらしの安全安心・絆〕に分類して表示している。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像		項目番号	項目	
<b>元気</b> 【一人ひとりが力を発揮し、経済や産業が元気な社会へ】	一人ひとりの思いを支える 社会環境の創造と人づくり	1	人権尊重	
		2	生涯学習	
		3	学校教育	
		4	青少年の健全育成	
		7	文化・芸術	
		8	歴史・文化遺産	
		9	スポーツ・レクリエーション	
	安心を支える雇用・就業環境づくりと元気な産業づくり	26	農林水産業の振興	
		27	産業振興	
		28	観光	
		29	技術開発	
		30	地域商工業	
		31	雇用	
		32	職業能力開発	
<b>くらしの安全安心</b> 【くらしの安全・安心が確立された社会へ】	安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造	10	地域での防災の取組	
		11	災害対策	
		12	交通安全	
		13	防犯	
		14	食の安全	
		15	高齢者、障がい者の社会参加	
		16	保健予防体制	
		17	子育て環境	
		18	医療体制	
	19	福祉サービス		
	持続可能な循環型社会の創造	20	自然環境との共生	
		21	希少な生物	
		22	ごみの減量	
		23	きれいな空気	
		24	川や海の水質	
		25	地球温暖化防止	
		43	エネルギー	
		44	飲料水の供給	
		<b>絆</b> 【助け合い、ささえあいによる絆社会へ】	人と地域の絆づくりと魅力あふれるふるさと創造	5
6				市民活動
33	国際化			
34	広域交流・連携			
35	情報ネットワーク			
36	高速交通網			
37	道路の整備			
38	公共交通機関			
39	港の整備			
40	快適なまちづくり			
41	農山漁村づくり			
42	過疎地域等の振興			

(1) 重要意識に関する結果の概要

(集計資料 p.30~31)



<平成 22 年度>

- ・44 項目のうち「港の整備」(46.5%)、「国際化」(59.0%)を除く全ての項目で 60%以上となっている。25 項目が 80%を上回っており、その内 12 項目が 90%を超えている。
- ・44 項目の中で重要意識が最も高いのは、「医療体制」(95.5%)で、以下「きれいな空気」(94.4%)、「防犯」(94.3%)、「飲料水の供給」(93.8%)、「川や海の水質」(93.7%)、「食の安全」(93.3%)などの項目が上位にあげられている。
- ・重要意識が最も低いのは、「港の整備」(46.5%)で、次いで「国際化」(59.0%)、「過疎地域等の振興」(64.1%)、「市民活動」(65.1%)、「希少な生物」(66.0%)の順となっている。
- ・「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別にみると、「くらしの安全安心」に関する項目が上位を占め、「絆」に関する項目の重要意識が比較的低くなっている。

<平成 21 年度との比較>

- ・上位 10 項目を比較してみると、上位 6 項目では「きれいな空気」と「飲料水の供給」の順位が入れ替わったほかは変わっていない。また、21 年度で 9 位だった「地域での防災の取組」は 13 位と上位 10 項目から外れたのに対し、「青少年の健全育成」が 8 位に新たにあげられている。
- ・下位10項目を比較してみると、下位 2 項目の「港の整備」「国際化」の順位は 2 年間変わっていない。また、「歴史・文化遺産」「高速交通網」が下位10項目から外れているのに対し、「スポーツ・レクリエーション」「農山漁村づくり」が新たにあげられている。

重要意識・前回からの順位の変動

順位	平成22年度		前 年 比	順位	平成21年度	
	項目	重要意識			項目	重要意識
第1位	医療体制【くらし】	95.5%		第1位	医療体制【くらし】	97.6%
第2位	きれいな空気【くらし】	94.4%		第2位	飲料水の供給【くらし】	97.5%
第3位	防犯【くらし】	94.3%		第3位	防犯【くらし】	96.0%
第4位	飲料水の供給【くらし】	93.8%		第4位	きれいな空気【くらし】	95.7%
第5位	川や海の水質【くらし】	93.7%		第5位	川や海の水質【くらし】	95.5%
第6位	食の安全【くらし】	93.3%		第6位	食の安全【くらし】	95.2%
第7位	雇用【元気】	92.3%		第7位	交通安全【くらし】	94.6%
第8位	青少年の健全育成【元気】 交通安全【くらし】	92.1%		第8位	雇用【元気】	94.1%
第10位	災害対策【くらし】	91.0%		第9位	災害対策【くらし】 地域での防災の取組【くらし】	93.9%
第11位	福祉サービス【くらし】	90.5%		第11位	青少年の健全育成【元気】	93.7%
第12位	学校教育【元気】	90.4%		第12位	子育て環境【くらし】	93.6%
第13位	地域での防災の取組【くらし】	89.9%		第13位	福祉サービス【くらし】	93.2%
第14位	子育て環境【くらし】	89.4%		第14位	学校教育【元気】	93.0%
第15位	保健予防体制【くらし】	88.7%		第15位	人権尊重【元気】	92.8%
第16位	人権尊重【元気】	88.4%		第16位	地球温暖化防止【くらし】	92.0%
第17位	地球温暖化防止【くらし】	87.6%		第17位	保健予防体制【くらし】	91.7%
第18位	公共交通機関【絆】	85.7%		第18位	ごみの減量【くらし】	87.7%
第19位	ごみの減量【くらし】	84.5%		第19位	公共交通機関【絆】	86.7%
第20位	自然環境との共生【くらし】	84.3%		第20位	エネルギー【くらし】	86.2%
第21位	快適なまちづくり【絆】	83.7%		第21位	地域商工業【元気】 生涯学習【元気】	85.4%
第22位	地域商工業【元気】	83.6%				
第23位	生涯学習【元気】	82.3%		第23位	快適なまちづくり【絆】	85.3%
第24位	道路の整備【絆】	81.4%		第24位	自然環境との共生【くらし】	85.1%
第25位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	80.8%		第25位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	83.8%
第26位	観光【元気】	79.9%		第26位	農林水産業の振興【元気】	83.0%
第27位	職業能力開発【元気】	79.1%		第27位	職業能力開発【元気】	81.2%
第28位	農林水産業の振興【元気】	78.2%		第28位	観光【元気】	78.8%
第29位	エネルギー【くらし】	77.8%		第29位	道路の整備【絆】	77.7%
第30位	産業振興【元気】	75.8%		第30位	産業振興【元気】	77.2%
第31位	高等教育機関【絆】	74.1%		第31位	高等教育機関【絆】	77.1%
第32位	技術開発【元気】	72.9%		第32位	スポーツ・レクリエーション【元気】	76.5%
第33位	歴史・文化遺産【元気】	72.4%		第33位	農山漁村づくり【絆】	75.4%
第34位	高速交通網【絆】	72.2%		第34位	技術開発【元気】	74.9%
第35位	情報ネットワーク【絆】	71.3%		第35位	歴史・文化遺産【元気】	74.0%
第36位	スポーツ・レクリエーション【元気】	71.2%		第36位	広域交流・連携【絆】	73.5%
第37位	農山漁村づくり【絆】	71.1%		第37位	高速交通網【絆】	70.8%
第38位	広域交流・連携【絆】	68.3%		第38位	情報ネットワーク【絆】	70.4%
第39位	文化・芸術【元気】	67.1%		第39位	市民活動【絆】	69.6%
第40位	希少な生物【くらし】	66.0%		第40位	希少な生物【くらし】 過疎地域等の振興【絆】	69.4%
第41位	市民活動【絆】	65.1%				
第42位	過疎地域等の振興【絆】	64.1%		第42位	文化・芸術【元気】	66.5%
第43位	国際化【絆】	59.0%		第43位	国際化【絆】	61.5%
第44位	港の整備【絆】	46.5%		第44位	港の整備【絆】	48.1%

(2) 満足意識・不満足識に関する結果の概要

図 満足意識

(集計資料 p.32~33)

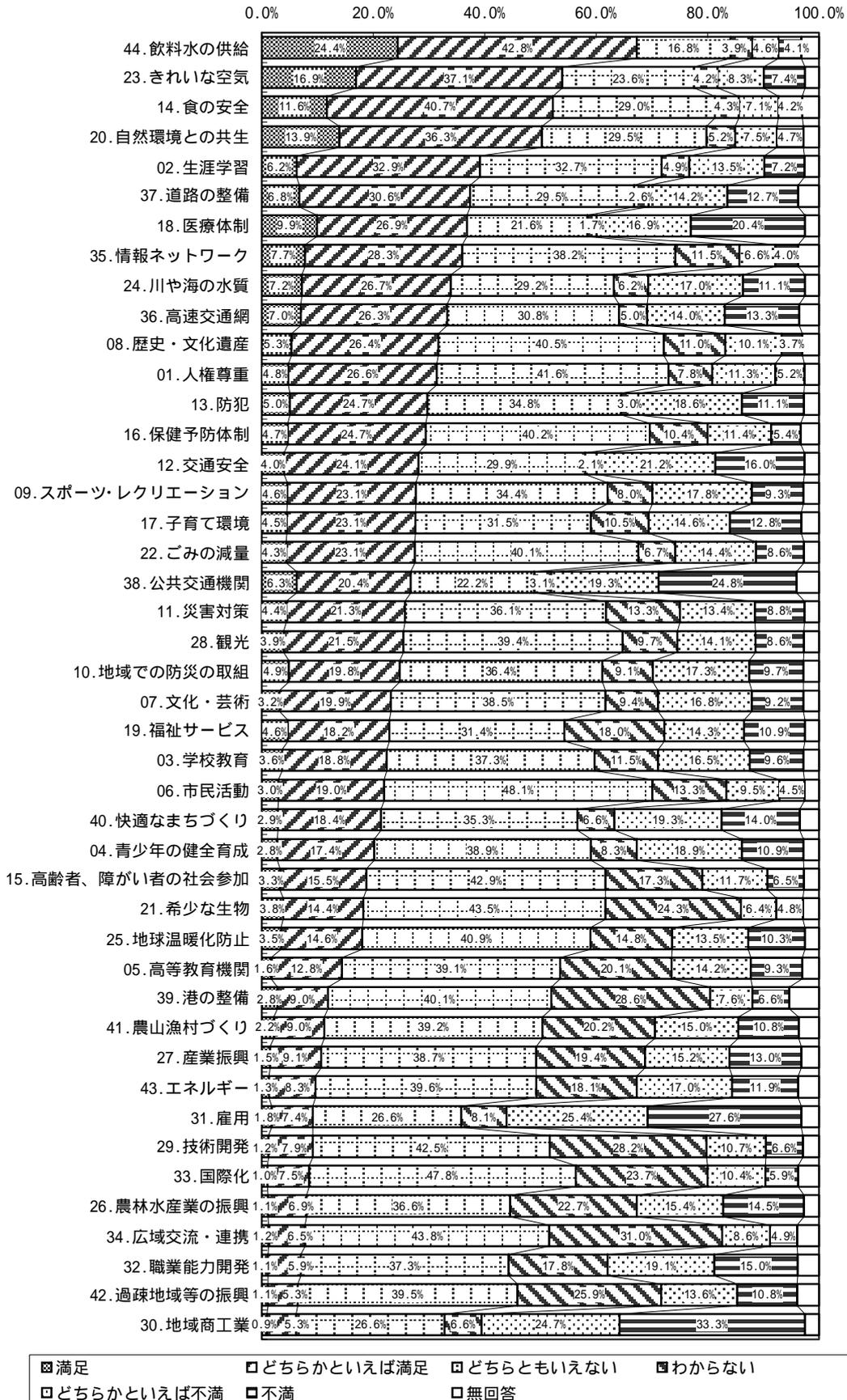
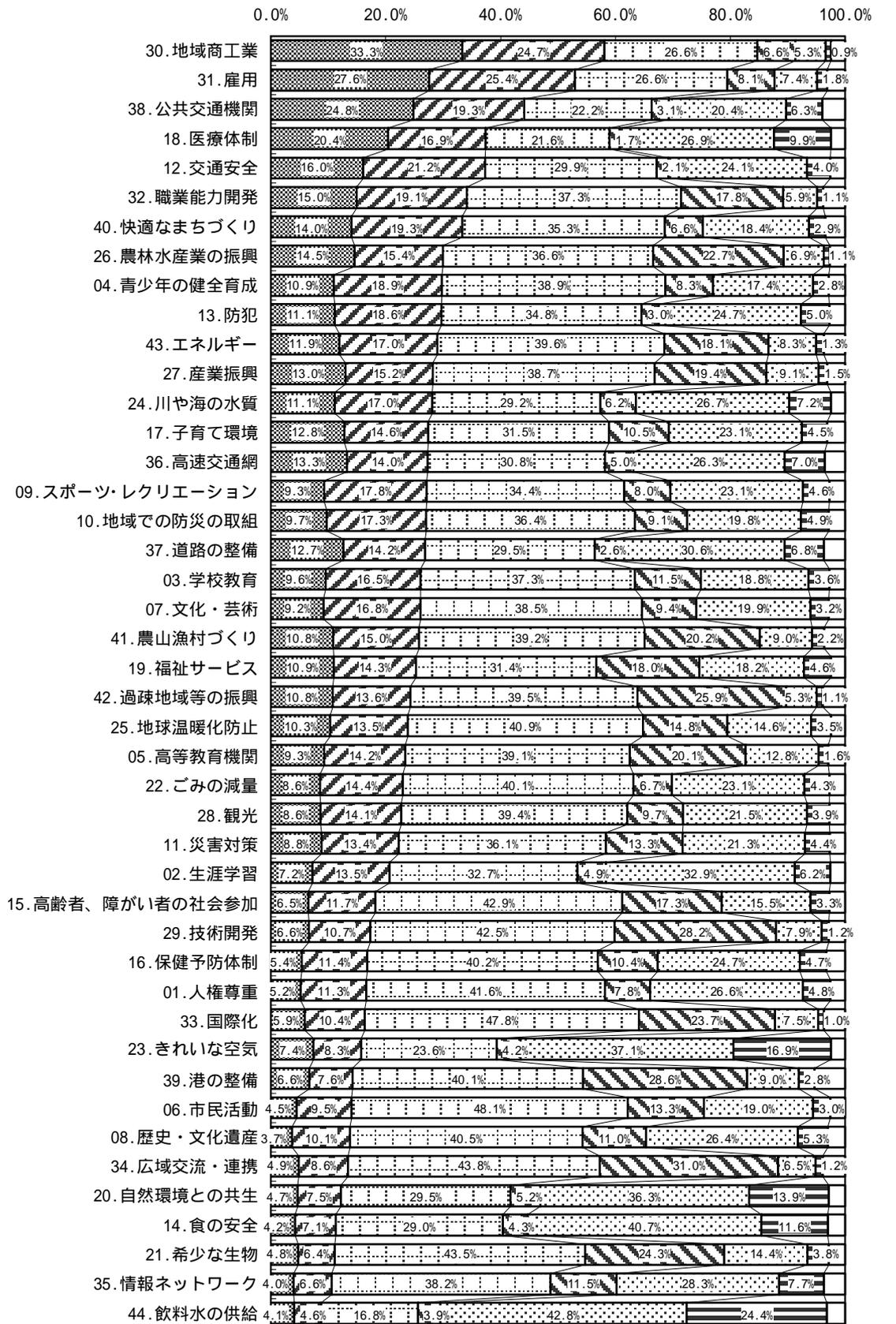


図 不満足識

(集計資料 p.32~33)



不満足 □どちらかといえば不満足 □どちらともいえない □わからない □どちらかといえば満足 □満足 □無回答

#### <平成 22 年度>

- ・満足意識については、「飲料水の供給」が 67.2%で最も多く、44 項目の中で唯一 60%を上回っている。以下、「きれいな空気」(54.0%)、「食の安全」(52.3%)、「自然環境との共生」(50.2%)の順となっており、満足意識が 30%以上の項目は 12 項目となっている。
- ・「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別にみると、「くらしの安全安心」に関する項目が上位 10 位以内に 6 項目、「絆」に関する項目が 3 項目、「元気」に関する項目が 1 項目入っている。
- ・不満意識については、「地域商工業」が 58.0%で最も多く、次いで「雇用」(53.0%)、「公共交通機関」(44.1%)、「医療体制」(37.3%)の順となっており、不満意識が 30%以上の項目は 7 項目となっている。
- ・「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別にみると、「元気」に関する項目が上位 10 位以内に 5 項目と多く、「くらしの安全安心」に関する項目が 3 項目、「絆」に関する項目が 2 項目入っている。

#### <平成 21 年度との比較>

- ・満足意識について、上位 10 項目を比較してみると、「飲料水の供給」は 2 年間変わらず第 1 位となっている。順位が大きく変化したのは「食の安全」で、8 位から 3 位に上がっている。下位 10 項目を比較してみると、「農山漁村づくり」が下位 10 項目から外れ、新たに「産業振興」が入っている。また、下位 3 項目は順位の変化はない。
- ・不満意識について、上位 10 項目を比較してみると、「子育て環境」「川や海の水質」が上位 10 項目から外れ、新たに「職業能力開発」が入っている。下位 10 項目を比較してみると、「国際化」「技術開発」が下位 10 項目から外れ、「食の安全」「きれいな空気」が新たに入っている。

満足意識・前回からの順位の変動

順位	平成22年度		前年比	順位	平成21年度	
	項目	満足意識			項目	満足意識
第1位	飲料水の供給【くらし】	67.2%		第1位	飲料水の供給【くらし】	64.0%
第2位	きれいな空気【くらし】	54.0%		第2位	自然環境との共生【くらし】	47.0%
第3位	食の安全【くらし】	52.3%		第3位	きれいな空気【くらし】	39.9%
第4位	自然環境との共生【くらし】	50.2%		第4位	道路の整備【絆】	39.2%
第5位	生涯学習【元気】	39.1%		第5位	生涯学習【元気】	39.0%
第6位	道路の整備【絆】	37.4%		第6位	高速交通網【絆】	36.4%
第7位	医療体制【くらし】	36.8%		第7位	情報ネットワーク【絆】	36.2%
第8位	情報ネットワーク【絆】	36.0%		第8位	食の安全【くらし】	35.6%
第9位	川や海の水質【くらし】	33.9%		第9位	医療体制【くらし】	31.5%
第10位	高速交通網【絆】	33.3%		第10位	歴史・文化遺産【元気】	29.5%
第11位	歴史・文化遺産【元気】	31.7%		第11位	人権尊重【元気】	29.3%
第12位	人権尊重【元気】	31.4%		第12位	保健予防体制【くらし】	26.8%
第13位	防犯【くらし】	29.7%		第13位	公共交通機関【絆】	25.5%
第14位	保健予防体制【くらし】	29.4%		第14位	スポーツ・レクリエーション【元気】	25.3%
第15位	交通安全【くらし】	28.1%		第15位	川や海の水質【くらし】	24.0%
第16位	スポーツ・レクリエーション【元気】	27.7%		第16位	ごみの減量【くらし】	23.9%
第17位	子育て環境【くらし】	27.6%		第17位	観光【元気】	23.7%
第18位	ごみの減量【くらし】	27.4%		第18位	防犯【くらし】	23.4%
第19位	公共交通機関【絆】	26.7%		第19位	交通安全【くらし】	23.2%
第20位	災害対策【くらし】	25.7%		第20位	災害対策【くらし】	21.5%
第21位	観光【元気】	25.4%		第21位	文化・芸術【元気】	20.7%
第22位	地域での防災の取組【くらし】	24.7%		第22位	子育て環境【くらし】	20.5%
第23位	文化・芸術【元気】	23.1%		第23位	福祉サービス【くらし】	20.4%
第24位	福祉サービス【くらし】	22.8%		第24位	学校教育【元気】	20.2%
第25位	学校教育【元気】	22.4%		第25位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	19.9%
第26位	市民活動【絆】	22.0%		第26位	市民活動【絆】	19.7%
第27位	快適なまちづくり【絆】	21.3%		第27位	地域での防災の取組【くらし】	19.4%
第28位	青少年の健全育成【元気】	20.2%		第28位	快適なまちづくり【絆】	18.6%
第29位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	18.8%		第29位	希少な生物【くらし】	15.7%
第30位	希少な生物【くらし】	18.2%		第30位	青少年の健全育成【元気】	15.4%
第31位	地球温暖化防止【くらし】	18.1%		第31位	高等教育機関【絆】	13.8%
第32位	高等教育機関【絆】	14.4%			港の整備【絆】	
第33位	港の整備【絆】	11.8%		第33位	地球温暖化防止【くらし】	13.4%
第34位	農山漁村づくり【絆】	11.2%		第34位	産業振興【元気】	12.7%
第35位	産業振興【元気】	10.6%		第35位	エネルギー【くらし】	10.0%
第36位	エネルギー【くらし】	9.6%		第36位	国際化【絆】	9.1%
第37位	雇用【元気】	9.2%		第37位	技術開発【元気】	8.9%
第38位	技術開発【元気】	9.1%		第38位	農山漁村づくり【絆】	8.7%
第39位	国際化【絆】	8.5%		第39位	広域交流・連携【絆】	8.5%
第40位	農林水産業の振興【元気】	8.0%		第40位	雇用【元気】	7.7%
第41位	広域交流・連携【絆】	7.7%		第41位	農林水産業の振興【元気】	7.0%
第42位	職業能力開発【元気】	7.0%		第42位	職業能力開発【元気】	6.6%
第43位	過疎地域等の振興【絆】	6.4%		第43位	過疎地域等の振興【絆】	6.5%
第44位	地域商工業【元気】	6.2%		第44位	地域商工業【元気】	5.2%

不満足意識・前回からの順位の変動

順位	平成22年度		前年比	順位	平成21年度	
	項目	不満足意識			項目	不満足意識
第1位	地域商工業【元気】	58.0%		第1位	地域商工業【元気】	62.2%
第2位	雇用【元気】	53.0%		第2位	雇用【元気】	56.4%
第3位	公共交通機関【絆】	44.1%		第3位	公共交通機関【絆】	46.9%
第4位	医療体制【暮らし】	37.3%		第4位	交通安全【暮らし】	45.9%
第5位	交通安全【暮らし】	37.2%		第5位	医療体制【暮らし】	45.5%
第6位	職業能力開発【元気】	34.1%		第6位	青少年の健全育成【元気】	41.2%
第7位	快適なまちづくり【絆】	33.3%		第7位	川や海の水質【暮らし】	40.2%
第8位	農林水産業の振興【元気】	29.9%		第8位	快適なまちづくり【絆】	39.5%
第9位	青少年の健全育成【元気】	29.8%		第9位	農林水産業の振興【元気】	39.3%
第10位	防犯【暮らし】	29.7%		第10位	防犯【暮らし】	38.9%
第11位	エネルギー【暮らし】	28.9%			子育て環境【暮らし】	
第12位	産業振興【元気】	28.2%		第12位	エネルギー【暮らし】	38.2%
第13位	川や海の水質【暮らし】	28.1%		第13位	地球温暖化防止【暮らし】	37.8%
第14位	子育て環境【暮らし】	27.4%		第14位	地域での防災の取組【暮らし】	34.8%
第15位	高速交通網【絆】	27.3%		第15位	職業能力開発【元気】	34.1%
第16位	スポーツ・レクリエーション【元気】	27.1%		第16位	学校教育【元気】	34.0%
第17位	地域での防災の取組【暮らし】	27.0%		第17位	農山漁村づくり【絆】	32.0%
第18位	道路の整備【絆】	26.9%		第18位	スポーツ・レクリエーション【元気】	31.2%
第19位	学校教育【元気】	26.1%		第19位	ごみの減量【暮らし】	30.8%
第20位	文化・芸術【元気】	26.0%		第20位	福祉サービス【暮らし】	29.6%
第21位	農山漁村づくり【絆】	25.8%		第21位	食の安全【暮らし】	28.6%
第22位	福祉サービス【暮らし】	25.2%			産業振興【元気】	
第23位	過疎地域等の振興【絆】	24.4%		第23位	過疎地域等の振興【絆】	28.5%
第24位	地球温暖化防止【暮らし】	23.8%		第24位	災害対策【暮らし】	28.1%
第25位	高等教育機関【絆】	23.5%		第25位	きれいな空気【暮らし】	26.8%
第26位	ごみの減量【暮らし】	23.0%		第26位	高速交通網【絆】	26.5%
第27位	観光【元気】	22.7%		第27位	文化・芸術【元気】	26.4%
第28位	災害対策【暮らし】	22.2%		第28位	道路の整備【絆】	25.6%
第29位	生涯学習【元気】	20.7%		第29位	高等教育機関【絆】	24.8%
第30位	高齢者、障がい者の社会参加【暮らし】	18.2%		第30位	観光【元気】	24.6%
第31位	技術開発【元気】	17.3%		第31位	高齢者、障がい者の社会参加【暮らし】	22.9%
第32位	保健予防体制【暮らし】	16.8%		第32位	人権尊重【元気】	21.0%
第33位	人権尊重【元気】	16.5%			生涯学習【元気】	
第34位	国際化【絆】	16.3%		第34位	保健予防体制【暮らし】	19.3%
第35位	きれいな空気【暮らし】	15.7%		第35位	技術開発【元気】	18.5%
第36位	港の整備【絆】	14.2%		第36位	国際化【絆】	18.0%
第37位	市民活動【絆】	14.0%		第37位	自然環境との共生【暮らし】	17.6%
第38位	歴史・文化遺産【元気】	13.8%		第38位	歴史・文化遺産【元気】	15.8%
第39位	広域交流・連携【絆】	13.5%		第39位	市民活動【絆】	15.5%
第40位	自然環境との共生【暮らし】	12.2%		第40位	広域交流・連携【絆】	14.8%
第41位	食の安全【暮らし】	11.3%			港の整備【絆】	
第42位	希少な生物【暮らし】	11.2%		第42位	希少な生物【暮らし】	13.2%
第43位	情報ネットワーク【絆】	10.6%		第43位	飲料水の供給【暮らし】	12.7%
第44位	飲料水の供給【暮らし】	8.7%		第44位	情報ネットワーク【絆】	11.5%

### (3) 地域別の重要意識・満足意識の概要

#### 地域別重要意識上位5項目

##### <平成22年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18.医療体制 95.5%	23.きれいな空気 94.4%	13.防犯 94.3%	44.飲料水の供給 93.8%	24.川や海の水質 93.7%
北勢地域	18.医療体制 94.4%	23.きれいな空気 93.7%	13.防犯 93.5%	44.飲料水の供給 93.3%	24.川や海の水質 92.8%
伊賀地域	18.医療体制 96.8%	23.きれいな空気 95.2%	13.防犯 95.1%	44.飲料水の供給 94.6%	24.川や海の水質 94.5%
中南勢地域	18.医療体制 96.2%	13.防犯 95.5%	23.きれいな空気 95.2%	44.飲料水の供給	24.川や海の水質 94.7%
伊勢志摩地域	18.医療体制 96.7%	23.きれいな空気 95.2%	13.防犯 94.5%	14.食の安全 31.雇用	24.川や海の水質 93.6%
東紀州地域	18.医療体制 94.5%	23.きれいな空気 94.2%	24.川や海の水質 93.5%	44.飲料水の供給 93.2%	31.雇用 92.5%

##### <平成21年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18.医療体制 97.6%	44.飲料水の供給 97.5%	13.防犯 96.0%	23.きれいな空気 95.7%	24.川や海の水質 95.5%
北勢地域	18.医療体制 97.8%	44.飲料水の供給 97.4%	13.防犯 96.4%	24.川や海の水質 95.8%	23.きれいな空気 95.5%
伊賀地域	18.医療体制 97.9%	44.飲料水の供給 97.3%	13.防犯 96.9%	23.きれいな空気 96.7%	24.川や海の水質 95.8%
中南勢地域	18.医療体制 98.1%	44.飲料水の供給 97.8%	14.食の安全 96.7%	23.きれいな空気 96.2%	13.防犯 95.9%
伊勢志摩地域	44.飲料水の供給 97.3%	18.医療体制 96.3%	24.川や海の水質 95.7%	13.防犯 95.5%	23.きれいな空気 95.1%
東紀州地域	44.飲料水の供給 96.1%	18.医療体制 95.1%	11.災害対策 93.8%	10.地域での防災の取組 93.7%	14.食の安全 93.5%

##### <平成22年度>

- ・全体の上位5項目では、「医療体制」「きれいな空気」「川や海の水質」が全地域で、「防犯」「飲料水の供給」が4地域で、それぞれ上位5位までに入っている。
- ・上記以外の項目では、「雇用」が2地域で上位5位に入っているほか、伊勢志摩地域では「食の安全」が第4位に入っている。

##### <平成21年度との比較>

- ・21年度と比較すると、伊勢志摩地域と東紀州地域で1位だった「飲料水の供給」は「医療体制」に入れ替わり、全地域で「医療体制」が第1位となっている。また、中南勢地域、伊勢志摩地域では「防犯」の順位が上がっている。
- ・「飲料水の供給」は全地域で順位が下がっている。
- ・21年度では4地域で4位以下であった「きれいな空気」は、22年度では全地域で2位または3位に上がっている。

地域別重要意識一覧

網掛け部分は、各地域別の上位5項目を示す

	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域	県全体
01.人権尊重	88.7%	88.2%	88.4%	87.8%	87.6%	88.4%
02.生涯学習	82.6%	80.5%	82.0%	83.7%	81.0%	82.3%
03.学校教育	90.1%	90.1%	91.6%	90.2%	87.1%	90.4%
04.青少年の健全育成	91.9%	91.2%	93.7%	90.2%	90.9%	92.1%
05.高等教育機関	74.3%	74.5%	73.3%	74.2%	74.2%	74.1%
06.市民活動	65.1%	67.2%	63.8%	66.3%	65.6%	65.1%
07.文化・芸術	66.7%	67.4%	68.3%	65.6%	67.1%	67.1%
08.歴史・文化遺産	70.2%	74.7%	73.7%	74.0%	75.8%	72.4%
09.スポーツ・レクリエーション	70.5%	72.7%	71.3%	72.5%	70.1%	71.2%
10.地域での防災の取組	87.7%	89.4%	92.9%	90.7%	92.2%	89.9%
11.災害対策	89.9%	90.8%	92.2%	91.7%	92.0%	91.0%
12.交通安全	91.2%	92.1%	93.8%	92.0%	90.3%	92.1%
13.防犯	93.5%	95.1%	95.5%	94.5%	92.4%	94.3%
14.食の安全	92.7%	94.0%	93.8%	93.6%	92.3%	93.3%
15.高齢者、障がい者の社会参加	80.4%	82.5%	80.7%	81.1%	81.5%	80.8%
16.保健予防体制	87.2%	92.1%	89.0%	90.8%	87.8%	88.7%
17.子育て環境	89.0%	90.4%	89.3%	90.5%	88.5%	89.4%
18.医療体制	94.4%	96.8%	96.2%	96.7%	94.5%	95.5%
19.福祉サービス	90.2%	91.3%	90.4%	91.1%	89.6%	90.5%
20.自然環境との共生	83.2%	84.5%	85.0%	86.2%	84.4%	84.3%
21.希少な生物	66.4%	66.1%	64.2%	68.2%	65.6%	66.0%
22.ごみの減量	84.4%	83.4%	85.0%	84.2%	84.0%	84.5%
23.きれいな空気	93.7%	95.2%	95.2%	95.2%	94.2%	94.4%
24.川や海の水質	92.8%	94.5%	94.7%	93.6%	93.5%	93.7%
25.地球温暖化防止	86.8%	86.8%	88.8%	88.6%	87.5%	87.6%
26.農林水産業の振興	76.7%	77.8%	79.5%	78.8%	84.1%	78.2%
27.産業振興	74.2%	76.9%	76.1%	77.7%	81.0%	75.8%
28.観光	76.4%	82.1%	81.7%	85.3%	81.9%	79.9%
29.技術開発	72.3%	72.7%	73.4%	74.5%	72.0%	72.9%
30.地域商工業	81.7%	83.7%	85.9%	85.2%	85.1%	83.6%
31.雇用	90.9%	92.7%	93.7%	93.6%	92.5%	92.3%
32.職業能力開発	77.2%	81.1%	79.2%	83.1%	81.9%	79.1%
33.国際化	59.8%	59.6%	58.7%	57.7%	56.5%	59.0%
34.広域交流・連携	67.6%	72.4%	67.5%	68.5%	71.4%	68.3%
35.情報ネットワーク	69.9%	74.5%	70.6%	73.9%	74.6%	71.3%
36.高速交通網	71.2%	72.5%	72.5%	71.1%	83.0%	72.2%
37.道路の整備	81.0%	82.6%	80.6%	81.5%	86.8%	81.4%
38.公共交通機関	86.8%	85.0%	84.9%	84.5%	84.5%	85.7%
39.港の整備	46.3%	40.3%	47.6%	46.5%	56.6%	46.5%
40.快適なまちづくり	83.7%	84.4%	84.3%	83.2%	80.0%	83.7%
41.農山漁村づくり	68.3%	72.3%	71.2%	75.8%	80.3%	71.1%
42.過疎地域等の振興	59.6%	65.0%	66.2%	68.7%	77.9%	64.1%
43.エネルギー	76.7%	77.3%	79.3%	79.2%	76.6%	77.8%
44.飲料水の供給	93.3%	94.6%	94.7%	93.5%	93.2%	93.8%

## 地域別満足意識上位5項目

### <平成22年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	44.飲料水の供給 67.2%	23.きれいな空気 54.0%	14.食の安全 52.3%	20.自然環境との共生 50.2%	02.生涯学習 39.1%
北勢地域	44.飲料水の供給 68.4%	14.食の安全 50.2%	23.きれいな空気 46.0%	20.自然環境との共生 44.6%	18.医療体制 44.3%
伊賀地域	44.飲料水の供給 64.5%	23.きれいな空気 63.8%	20.自然環境との共生 57.2%	14.食の安全 51.5%	24.川や海の水質 38.1%
中南勢地域	44.飲料水の供給 65.6%	23.きれいな空気 54.2%	14.食の安全 53.6%	20.自然環境との共生 50.0%	37.道路の整備 40.3%
伊勢志摩地域	44.飲料水の供給 67.3%	23.きれいな空気 65.4%	20.自然環境との共生 58.8%	14.食の安全 54.5%	24.川や海の水質 41.8%
東紀州地域	23.きれいな空気 74.7%	44.飲料水の供給 72.3%	20.自然環境との共生 65.8%	14.食の安全 59.1%	24.川や海の水質 58.2%

### <平成21年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	44.飲料水の供給 64.0%	20.自然環境との共生 47.0%	23.きれいな空気 39.9%	37.道路の整備 39.2%	02.生涯学習 39.0%
北勢地域	44.飲料水の供給 64.5%	20.自然環境との共生 42.8%	37.道路の整備 40.0%	02.生涯学習 39.2%	36.高速交通網 39.2%
伊賀地域	44.飲料水の供給 60.9%	20.自然環境との共生 52.9%	23.きれいな空気 49.7%	35.情報ネットワーク 39.4%	14.食の安全 35.2%
中南勢地域	44.飲料水の供給 62.6%	20.自然環境との共生 48.3%	02.生涯学習 43.4%	23.きれいな空気 42.4%	37.道路の整備 40.8%
伊勢志摩地域	44.飲料水の供給 66.5%	20.自然環境との共生 50.2%	23.きれいな空気 47.8%	14.食の安全 38.0%	35.情報ネットワーク 37.9%
東紀州地域	44.飲料水の供給 66.9%	20.自然環境との共生 57.2%	23.きれいな空気 54.6%	14.食の安全 39.6%	24.川や海の水質 38.6%

### <平成22年度>

- ・全体の上位5項目では、「飲料水の供給」「きれいな空気」「自然環境との共生」「食の安全」が全地域で上位5位までに入っている。
- ・上記以外の項目では、「川や海の水質」が伊賀地域、伊勢志摩地域、東紀州地域の第5位に、「医療体制」が北勢地域の第5位に、「道路の整備」が中南勢地域の第5位にそれぞれ入っている。

### <平成21年度との比較>

- ・「飲料水の供給」は2年間、東紀州地域を除く4地域で第1位となっている（東紀州地域は22年度は第2位）。
- ・全地域で「きれいな空気」の順位が上がり、「自然環境との共生」の順位が下がっている。
- ・「食の安全」は伊勢志摩地域、東紀州地域では順位が変わっていないが、北勢地域、伊賀地域、中南勢地域で順位が上がっている。
- ・東紀州地域では2年間上位5項目が変わっていない。

地域別満足意識一覧

網掛け部分は、各地域別の上位5項目を示す

	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域	県全体
01. 人権尊重	34.7%	32.0%	28.7%	25.9%	30.8%	31.4%
02. 生涯学習	42.1%	31.1%	40.2%	37.4%	26.4%	39.1%
03. 学校教育	23.8%	21.7%	20.5%	22.2%	22.5%	22.4%
04. 青少年の健全育成	20.6%	19.2%	18.8%	21.0%	24.9%	20.2%
05. 高等教育機関	15.3%	11.2%	15.7%	11.8%	12.9%	14.4%
06. 市民活動	24.3%	24.9%	19.9%	17.0%	20.8%	22.0%
07. 文化・芸術	23.7%	22.5%	26.2%	17.1%	18.1%	23.1%
08. 歴史・文化遺産	30.1%	36.2%	31.1%	34.6%	32.7%	31.7%
09. スポーツ・レクリエーション	30.9%	27.3%	25.1%	24.6%	22.5%	27.7%
10. 地域での防災の取組	27.0%	25.2%	20.9%	23.8%	29.0%	24.7%
11. 災害対策	29.1%	24.2%	22.7%	21.5%	27.2%	25.7%
12. 交通安全	30.0%	27.2%	25.8%	26.8%	31.2%	28.1%
13. 防犯	26.8%	32.6%	28.9%	34.2%	43.7%	29.7%
14. 食の安全	50.2%	51.5%	53.6%	54.5%	59.1%	52.3%
15. 高齢者、障がい者の社会参加	19.3%	20.7%	17.6%	17.6%	20.0%	18.8%
16. 保健予防体制	30.8%	28.4%	28.1%	27.5%	32.4%	29.4%
17. 子育て環境	31.6%	19.8%	25.9%	25.6%	19.9%	27.6%
18. 医療体制	44.3%	21.4%	38.2%	28.1%	14.6%	36.8%
19. 福祉サービス	24.4%	21.0%	20.4%	23.1%	26.6%	22.8%
20. 自然環境との共生	44.6%	57.2%	50.0%	58.8%	65.8%	50.2%
21. 希少な生物	18.3%	25.4%	14.7%	17.9%	23.8%	18.2%
22. ごみの減量	28.9%	29.6%	24.8%	25.5%	30.4%	27.4%
23. きれいな空気	46.0%	63.8%	54.2%	65.4%	74.7%	54.0%
24. 川や海の水質	29.2%	38.1%	32.2%	41.8%	58.2%	33.9%
25. 地球温暖化防止	16.0%	22.6%	16.9%	19.5%	30.3%	18.1%
26. 農林水産業の振興	9.0%	7.2%	7.5%	6.3%	8.5%	8.0%
27. 産業振興	13.9%	9.8%	8.5%	6.3%	6.5%	10.6%
28. 観光	27.8%	23.0%	23.6%	25.5%	18.2%	25.4%
29. 技術開発	12.2%	6.7%	7.2%	6.2%	4.8%	9.1%
30. 地域商工業	8.7%	4.6%	4.4%	3.5%	3.7%	6.2%
31. 雇用	13.0%	6.3%	6.6%	6.2%	3.6%	9.2%
32. 職業能力開発	9.1%	5.5%	5.8%	5.1%	3.2%	7.0%
33. 国際化	10.0%	7.8%	8.5%	5.6%	4.0%	8.5%
34. 広域交流・連携	9.1%	8.5%	5.8%	6.5%	8.2%	7.7%
35. 情報ネットワーク	35.8%	36.2%	38.0%	34.6%	29.1%	36.0%
36. 高速交通網	36.4%	24.3%	39.2%	24.5%	13.5%	33.3%
37. 道路の整備	39.9%	34.2%	40.3%	30.7%	20.1%	37.4%
38. 公共交通機関	31.6%	18.0%	29.1%	17.6%	9.3%	26.7%
39. 港の整備	11.5%	6.5%	16.4%	8.7%	7.2%	11.8%
40. 快適なまちづくり	24.5%	16.4%	21.5%	16.8%	13.7%	21.3%
41. 農山漁村づくり	12.0%	10.3%	10.9%	10.3%	9.0%	11.2%
42. 過疎地域等の振興	7.9%	4.3%	5.0%	6.3%	6.0%	6.4%
43. エネルギー	9.4%	8.6%	11.9%	7.0%	8.5%	9.6%
44. 飲料水の供給	68.4%	64.5%	65.6%	67.3%	72.3%	67.2%

地域別不満足意識上位5項目

<平成22年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	30.地域商工業 58.0%	31.雇用 53.0%	38.公共交通機関 44.1%	18.医療体制 37.3%	12.交通安全 37.2%
北勢地域	30.地域商工業 50.9%	31.雇用 42.6%	38.公共交通機関 38.3%	12.交通安全 36.0%	13.防犯 31.1%
伊賀地域	18.医療体制 58.7%	31.雇用 57.9%	30.地域商工業 57.7%	38.公共交通機関 54.3%	12.交通安全 40.5%
中南勢地域	30.地域商工業 64.3%	31.雇用 58.3%	38.公共交通機関 43.2%	12.交通安全 38.9%	32.職業能力開発 36.3%
伊勢志摩地域	30.地域商工業 66.1%	31.雇用 64.7%	38.公共交通機関 51.0%	18.医療体制 50.9%	32.職業能力開発 43.6%
東紀州地域	31.雇用 74.6%	30.地域商工業 66.7%	38.公共交通機関 63.8%	18.医療体制 63.2%	36.高速交通網 57.1%

<平成21年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	30.地域商工業 62.2%	31.雇用 56.4%	38.公共交通機関 46.9%	12.交通安全 45.9%	18.医療体制 45.5%
北勢地域	30.地域商工業 59.8%	31.雇用 51.3%	12.交通安全 47.6%	38.公共交通機関 45.9%	24.川や海の水質 44.8%
伊賀地域	18.医療体制 60.5%	30.地域商工業 58.9%	31.雇用 58.1%	38.公共交通機関 51.7%	17.子育て環境 44.5%
中南勢地域	30.地域商工業 64.8%	31.雇用 57.4%	12.交通安全 49.1%	38.公共交通機関 44.2%	26.農林水産業の振興 42.6%
伊勢志摩地域	31.雇用 64.5%	30.地域商工業 64.1%	18.医療体制 50.3%	38.公共交通機関 47.3%	17.子育て環境 43.1%
東紀州地域	31.雇用 72.7%	30.地域商工業 70.4%	18.医療体制 68.0%	38.公共交通機関 62.8%	36.高速交通網 57.5%

<平成22年度>

- ・全体の上位5項目では、「地域商工業」「雇用」「公共交通機関」が全地域で、「医療体制」「交通安全」が3地域で、それぞれ上位5位までに入っている。
- ・上記以外の項目では、「職業能力開発」が中南勢地域と伊勢志摩地域の2地域で、「高速交通網」が東紀州地域で第5位に入っている。

<平成21年度との比較>

- ・中南勢地域、伊勢志摩地域では21年度にはなかった「職業能力開発」が第5位に入っている。
- ・「公共交通機関」は21年度では全ての地域で第4位に入っているが、22年度は伊賀地域では第4位、その他の地域では第3位に入っている。
- ・「子育て環境」は21年度では2地域で第5位に入っていたが、22年度は外れている。

地域別不満意識一覧

網掛け部分は、各地域別の上位5項目を示す

	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域	県全体
01. 人権尊重	14.5%	17.1%	18.8%	18.0%	17.1%	16.5%
02. 生涯学習	18.4%	25.1%	20.6%	22.2%	29.5%	20.7%
03. 学校教育	22.6%	29.9%	30.5%	24.5%	28.2%	26.1%
04. 青少年の健全育成	28.8%	28.9%	34.1%	26.8%	23.5%	29.8%
05. 高等教育機関	21.6%	28.9%	23.1%	25.1%	26.1%	23.5%
06. 市民活動	12.4%	14.4%	14.7%	18.0%	13.5%	14.0%
07. 文化・芸術	25.1%	28.7%	23.5%	29.6%	33.7%	26.0%
08. 歴史・文化遺産	12.1%	13.0%	15.7%	15.8%	13.8%	13.8%
09. スポーツ・レクリエーション	24.9%	26.3%	29.3%	28.3%	32.4%	27.1%
10. 地域での防災の取組	22.8%	28.7%	30.7%	31.8%	25.6%	27.0%
11. 災害対策	18.5%	22.8%	24.0%	28.4%	29.1%	22.2%
12. 交通安全	36.0%	40.5%	38.9%	37.6%	29.9%	37.2%
13. 防犯	31.1%	27.5%	32.1%	26.1%	16.2%	29.7%
14. 食の安全	11.9%	11.2%	11.2%	10.4%	9.7%	11.3%
15. 高齢者、障がい者の社会参加	16.5%	20.0%	19.9%	18.2%	19.9%	18.2%
16. 保健予防体制	14.7%	21.4%	17.7%	18.0%	17.1%	16.8%
17. 子育て環境	20.7%	34.5%	31.1%	32.8%	37.7%	27.4%
18. 医療体制	26.5%	58.7%	36.1%	50.9%	63.2%	37.3%
19. 福祉サービス	22.2%	30.0%	27.4%	27.7%	23.4%	25.2%
20. 自然環境との共生	13.1%	9.5%	13.9%	9.6%	6.7%	12.2%
21. 希少な生物	10.2%	10.0%	13.2%	11.5%	9.1%	11.2%
22. ごみの減量	22.5%	22.7%	25.3%	22.4%	16.1%	23.0%
23. きれいな空気	20.1%	10.9%	14.5%	11.0%	5.2%	15.7%
24. 川や海の水質	30.0%	24.2%	31.0%	23.5%	14.1%	28.1%
25. 地球温暖化防止	24.4%	19.8%	25.6%	23.8%	16.1%	23.8%
26. 農林水産業の振興	23.9%	32.8%	34.0%	34.8%	44.1%	29.9%
27. 産業振興	19.6%	30.3%	31.6%	40.9%	47.8%	28.2%
28. 観光	17.5%	23.1%	26.3%	29.3%	30.0%	22.7%
29. 技術開発	12.7%	19.4%	19.7%	23.0%	25.7%	17.3%
30. 地域商工業	50.9%	57.7%	64.3%	66.1%	66.7%	58.0%
31. 雇用	42.6%	57.9%	58.3%	64.7%	74.6%	53.0%
32. 職業能力開発	26.8%	39.1%	36.3%	43.6%	52.7%	34.1%
33. 国際化	14.9%	16.3%	17.5%	17.5%	19.1%	16.3%
34. 広域交流・連携	12.0%	17.7%	13.0%	14.2%	19.7%	13.5%
35. 情報ネットワーク	8.5%	11.9%	12.1%	11.4%	15.7%	10.6%
36. 高速交通網	23.5%	36.9%	21.8%	34.4%	57.1%	27.3%
37. 道路の整備	23.1%	33.0%	24.5%	31.7%	49.9%	26.9%
38. 公共交通機関	38.3%	54.3%	43.2%	51.0%	63.8%	44.1%
39. 港の整備	12.9%	5.8%	14.4%	20.7%	24.8%	14.2%
40. 快適なまちづくり	29.8%	37.7%	34.6%	36.9%	38.8%	33.3%
41. 農山漁村づくり	19.3%	28.6%	29.1%	32.6%	41.8%	25.8%
42. 過疎地域等の振興	16.3%	23.4%	29.3%	33.6%	46.7%	24.4%
43. エネルギー	26.4%	28.8%	29.4%	34.4%	34.8%	28.9%
44. 飲料水の供給	8.7%	10.5%	8.6%	7.5%	9.4%	8.7%

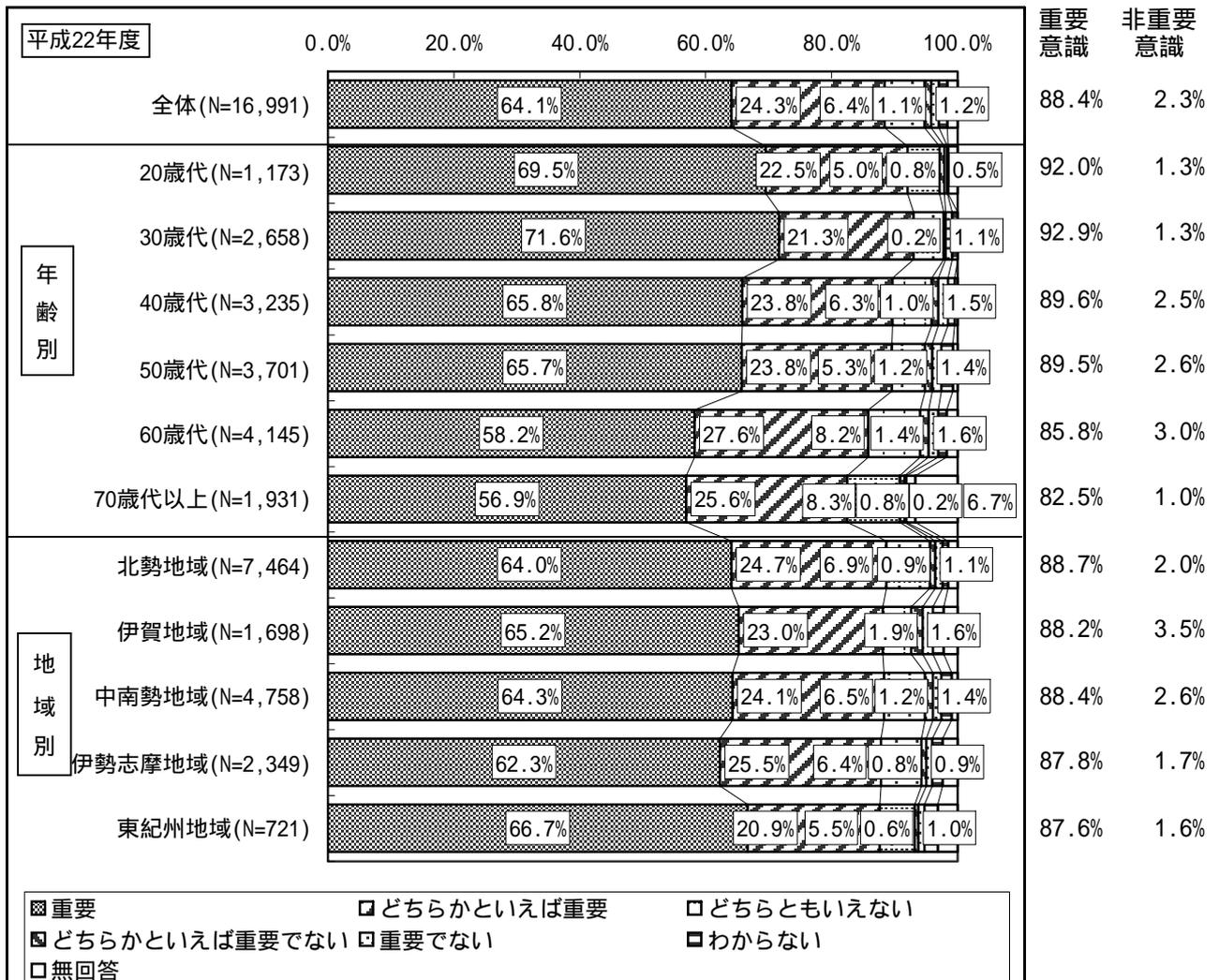
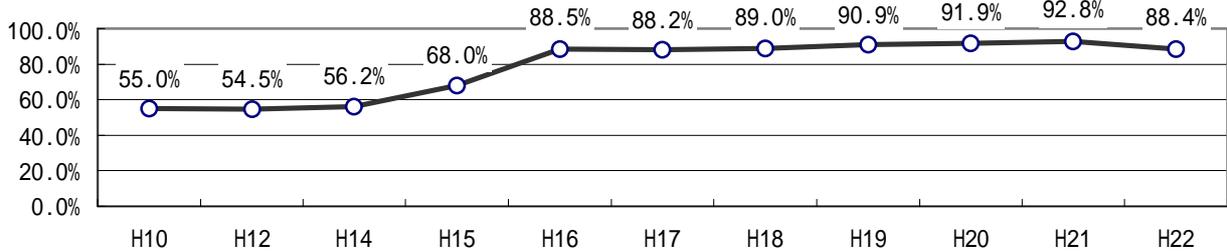
(4) 個別項目ごとの重要意識・満足意識 (年齢層別、地域別)

1) 人権尊重

平成 15 年度までの表現	人権侵害や差別をなくすための取組
平成 16 年度以降の表現	性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。

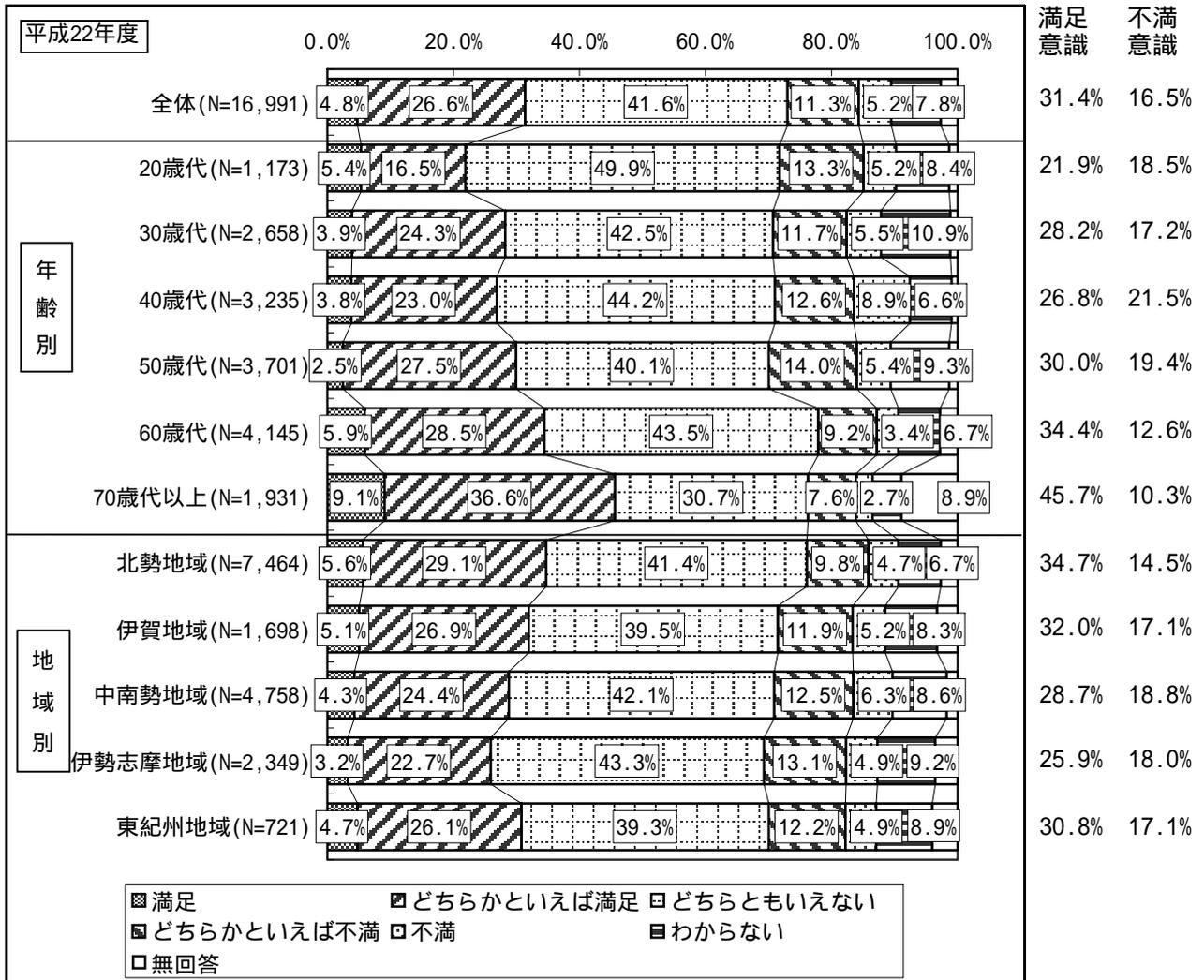
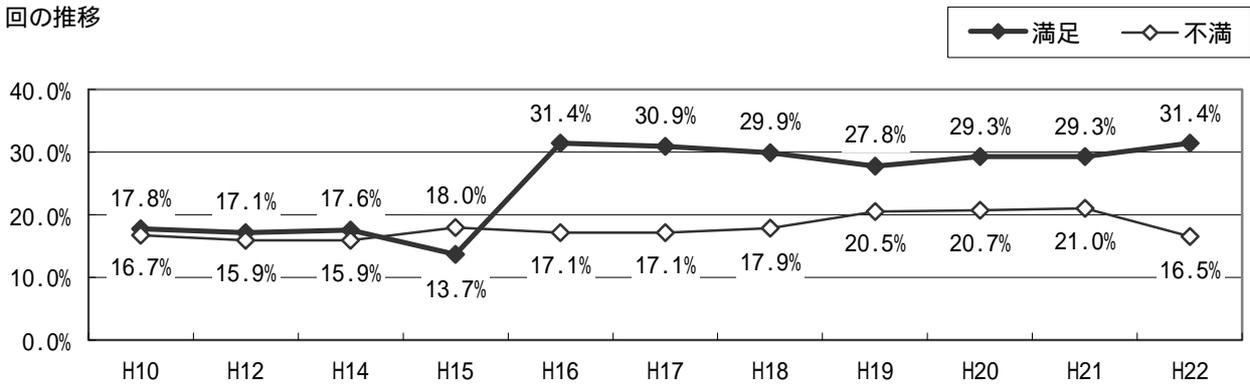
重要意識 (集計資料 p.34)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.35)

11回の推移

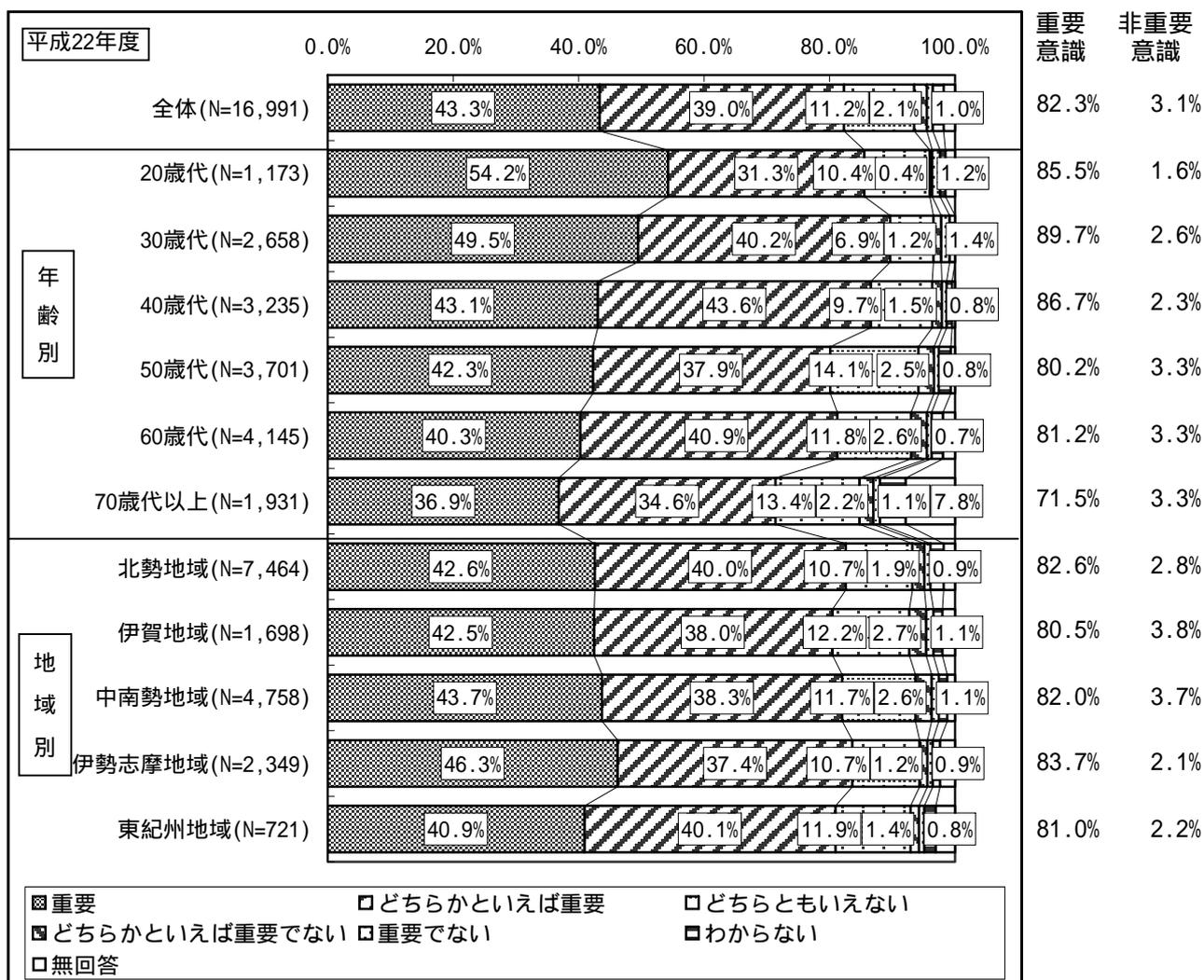
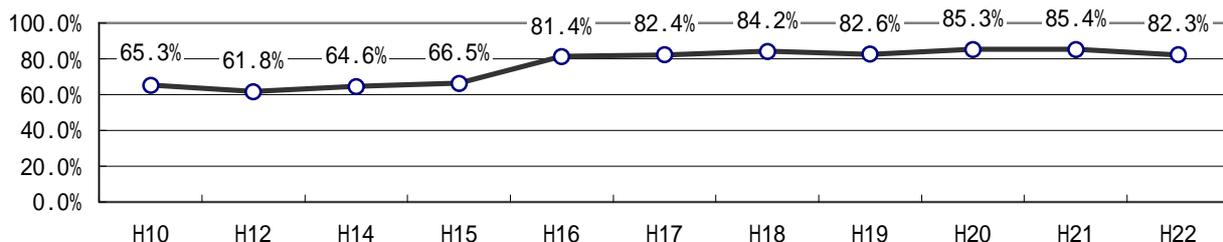


2) 生涯学習

平成 15 年度までの表現	生涯学習の場と機会の提供
平成 16 年度以降の表現	誰もが興味や必要に応じて、図書館や博物館、講座などで学ぶことができる環境が整っていること。

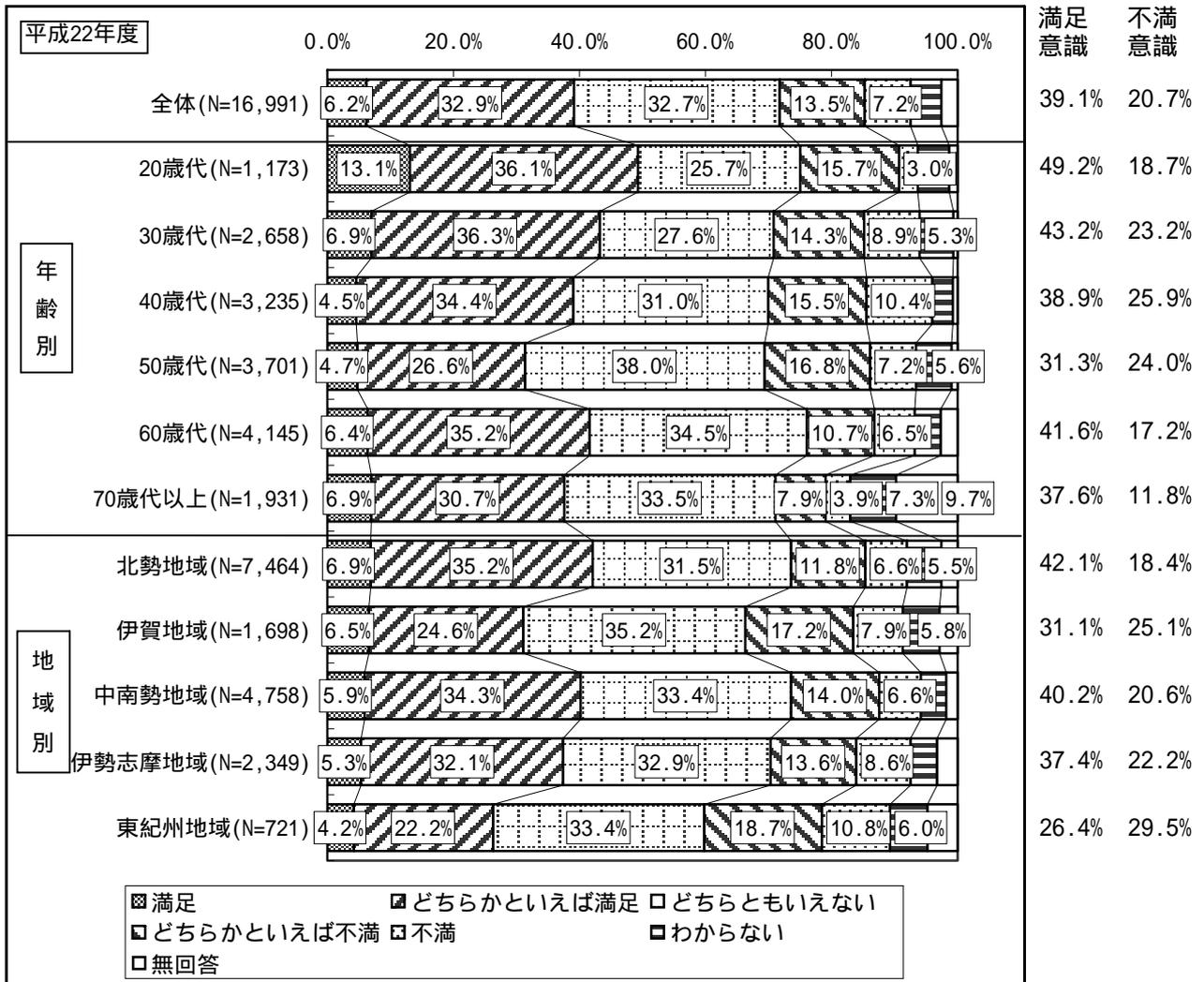
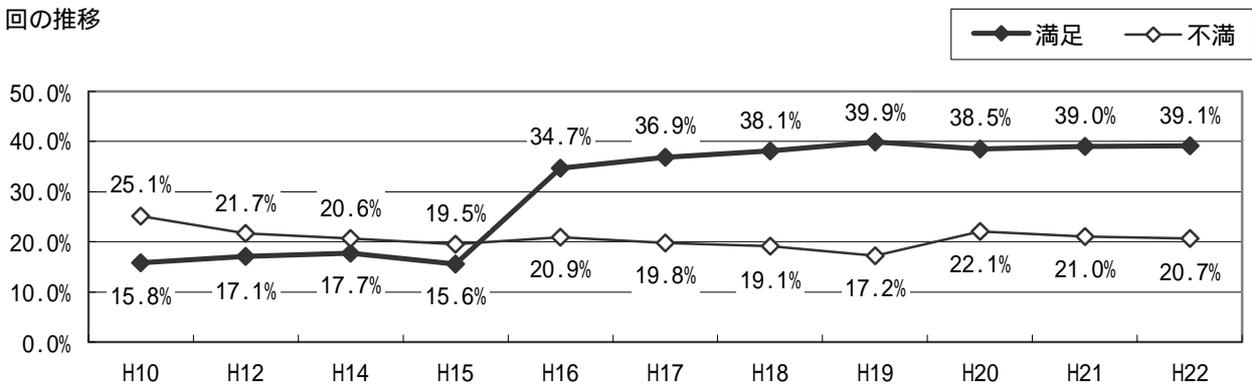
重要意識 (集計資料 p.36)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.37)

11回の推移

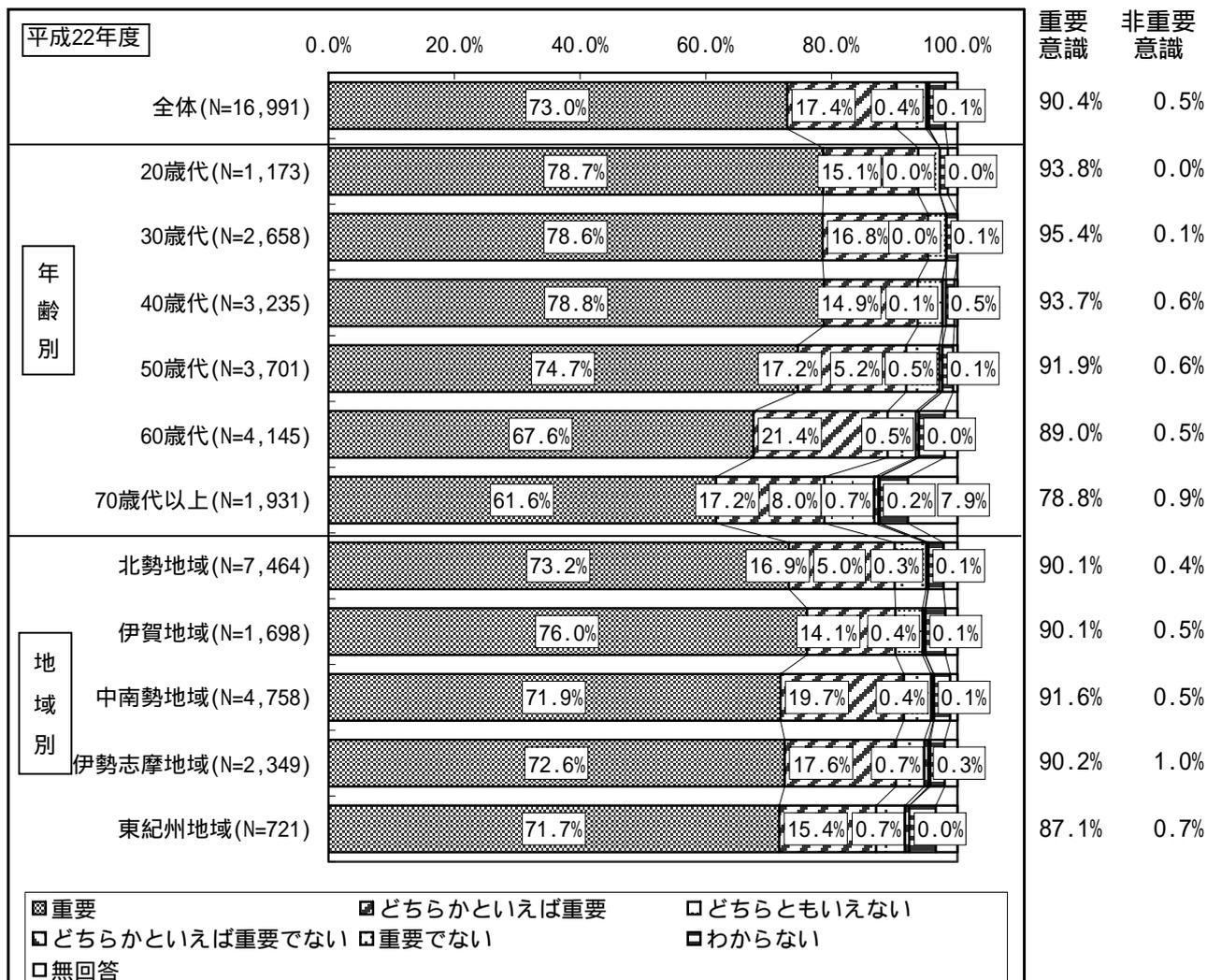
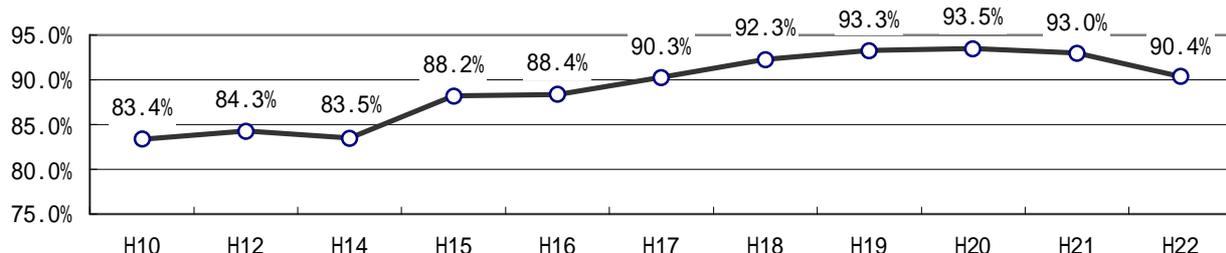


3) 学校教育

平成 15 年度までの表現	学校教育への取組
平成 16 年度以降の表現	児童生徒一人ひとりに基礎・基本の学力が定着し、自ら学び、考え、判断する力が身に付いていること。

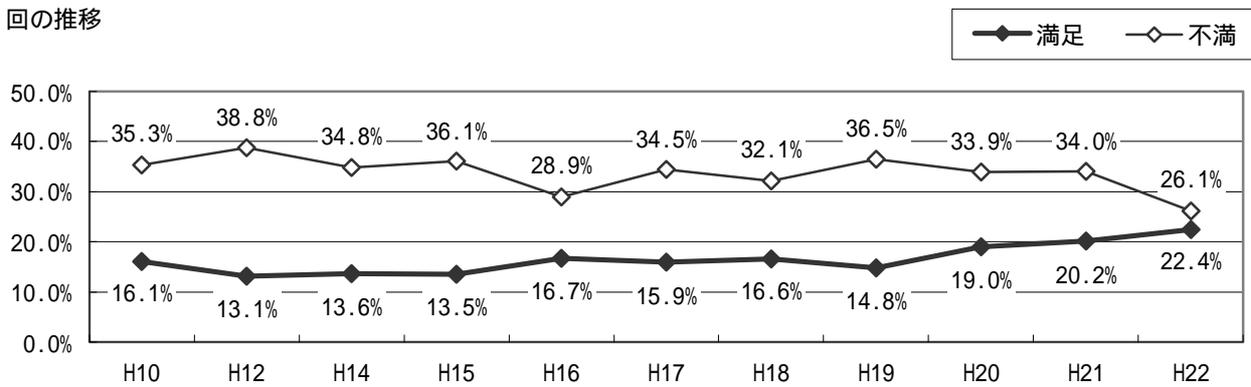
重要意識 (集計資料 p.38)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.39)

11回の推移

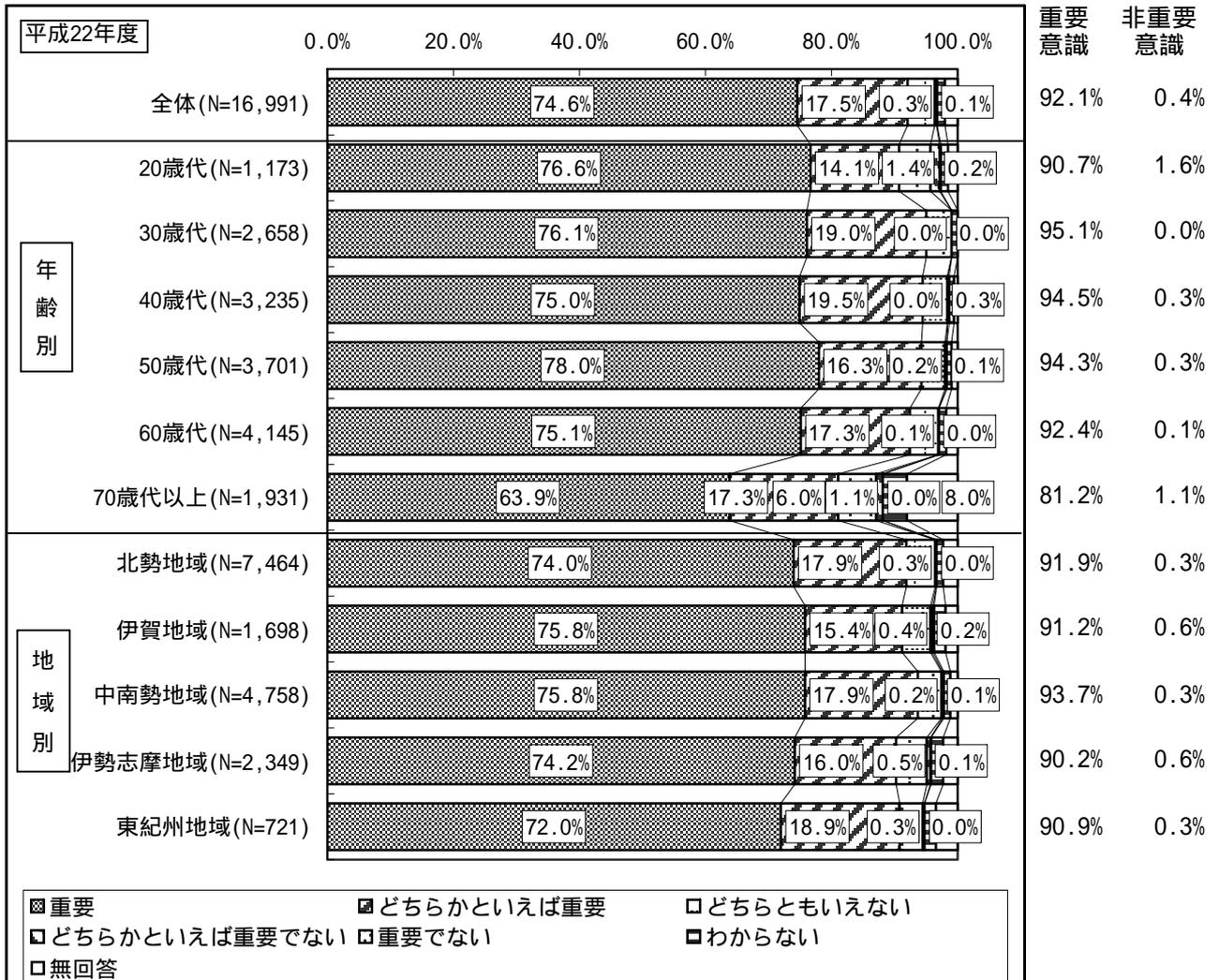
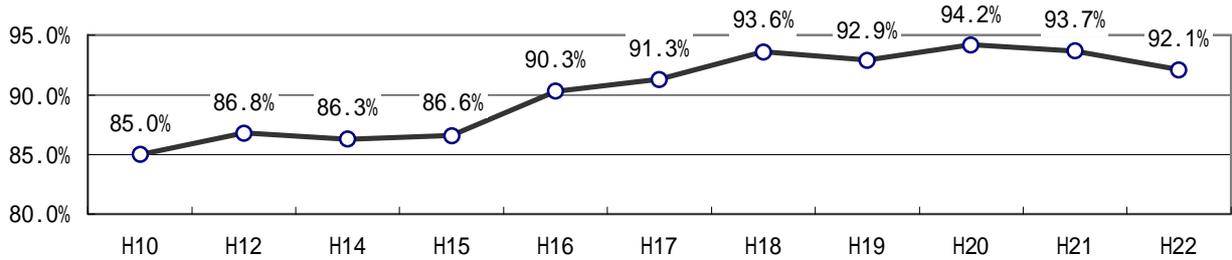


4) 青少年の健全育成

平成 15 年度までの表現	青少年の健全育成
平成 16 年度以降の表現	青少年が犯罪や非行に走ることなく、自立性や社会性を身につけ健全に育っていること。

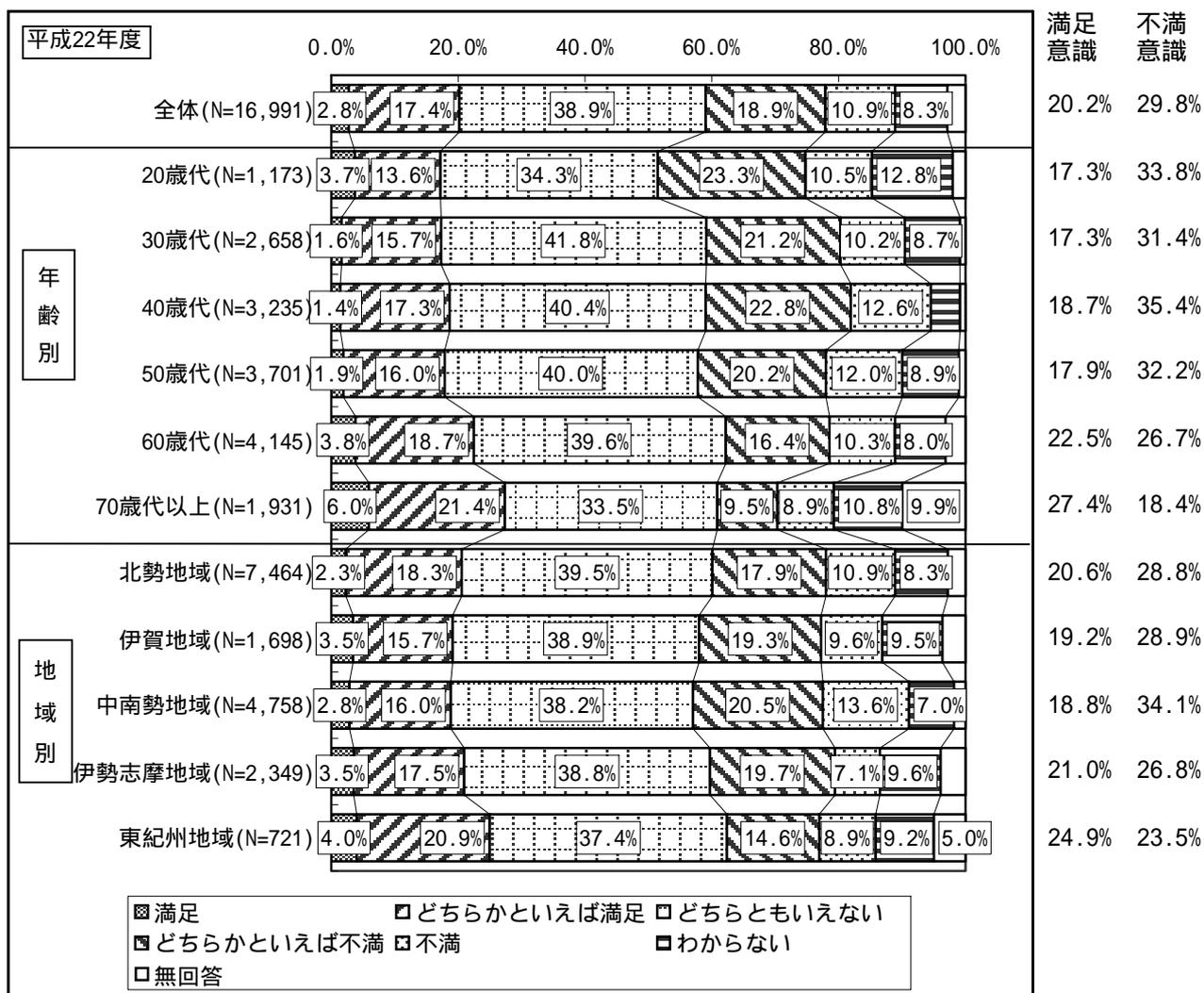
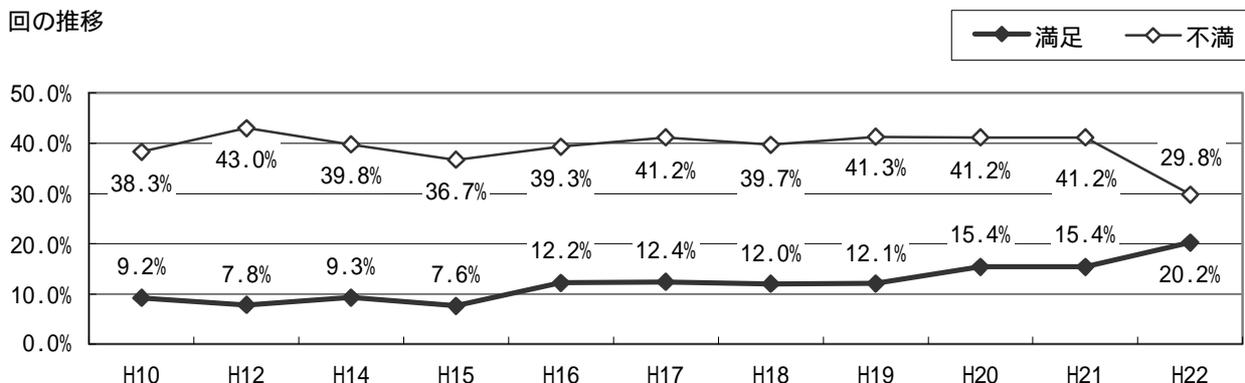
重要意識 (集計資料 p.40)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.41)

11回の推移

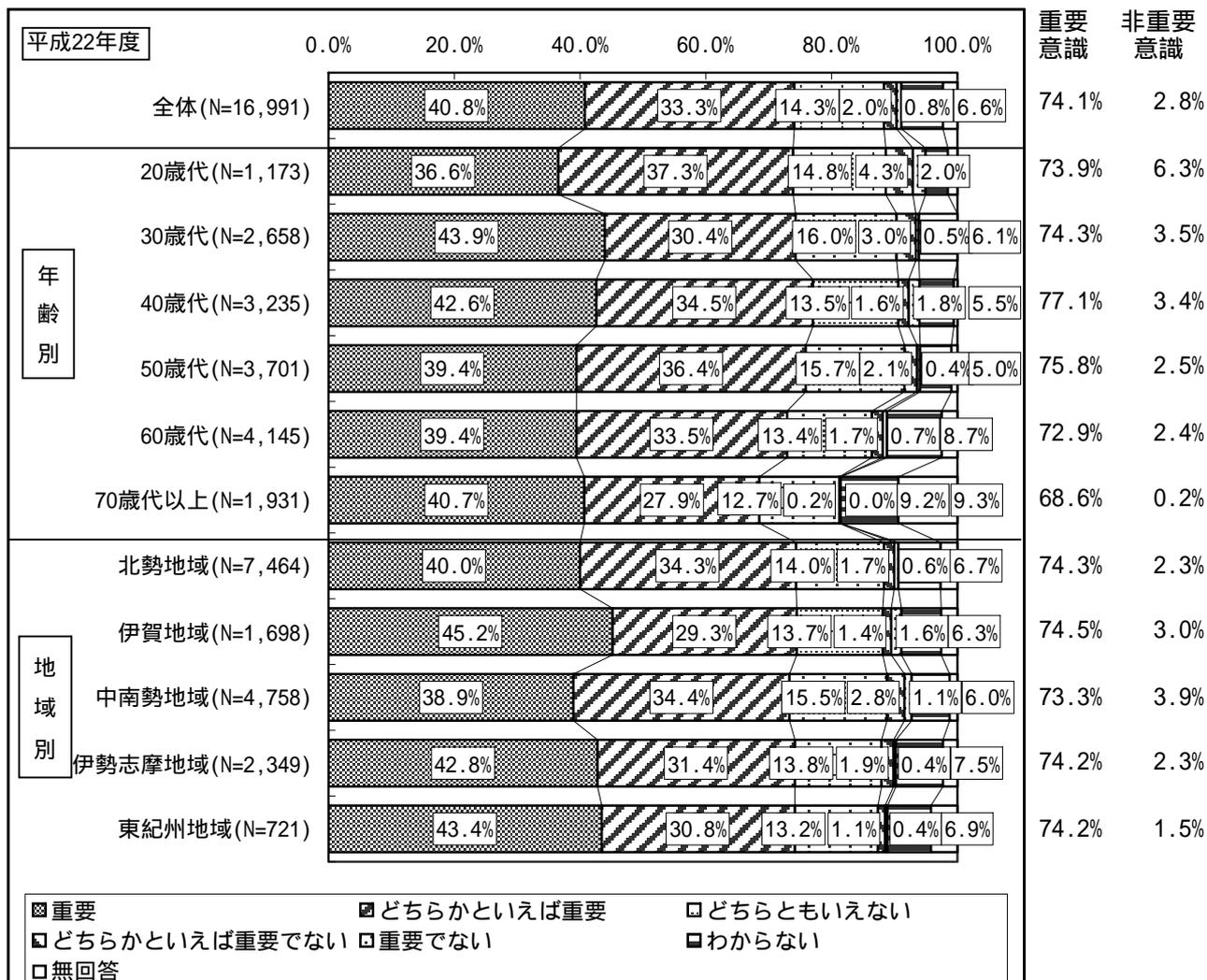
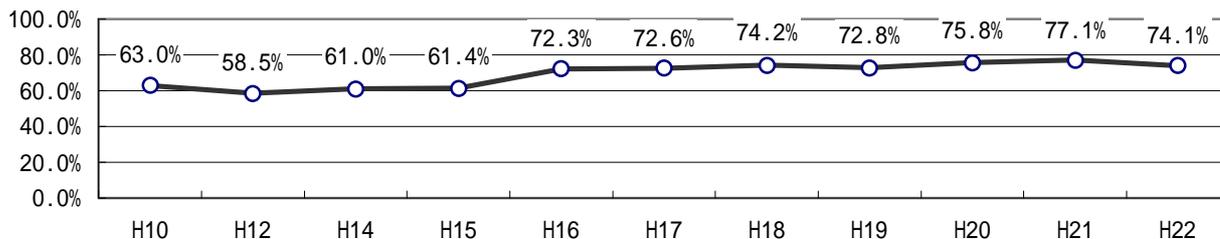


5) 高等教育機関

平成 15 年度までの表現	大学などの高等教育機関の充実
平成 16 年度以降の表現	県内の大学など高等教育機関において、魅力ある教育や研究が行われていること。

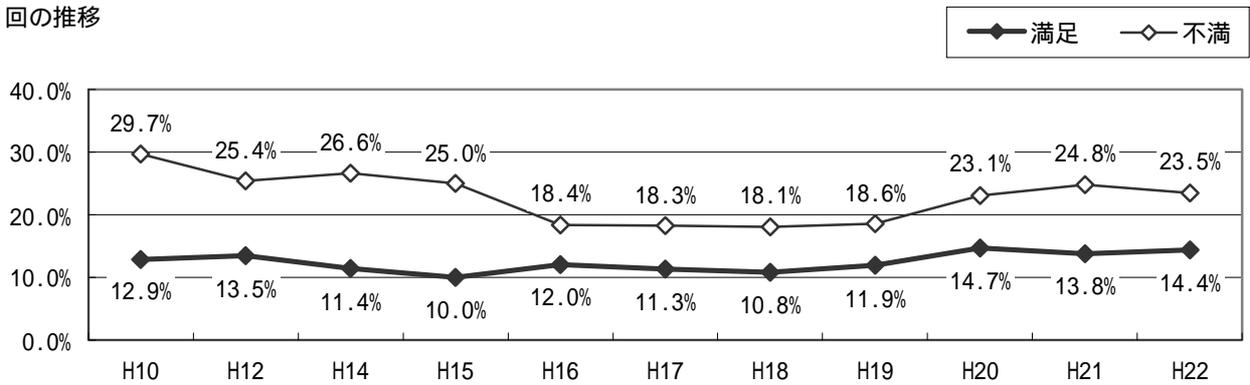
重要意識 (集計資料 p.42)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.43)

11回の推移

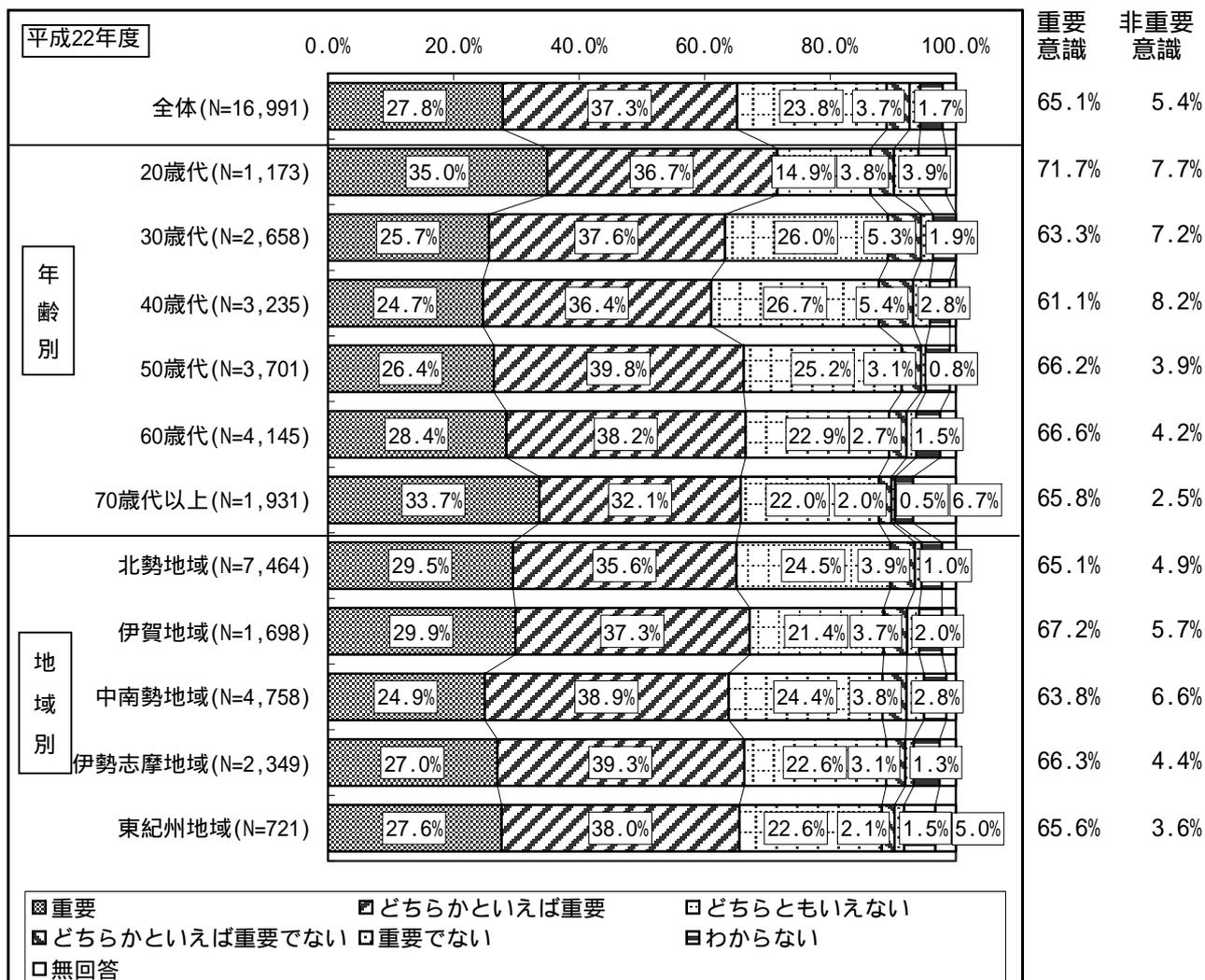
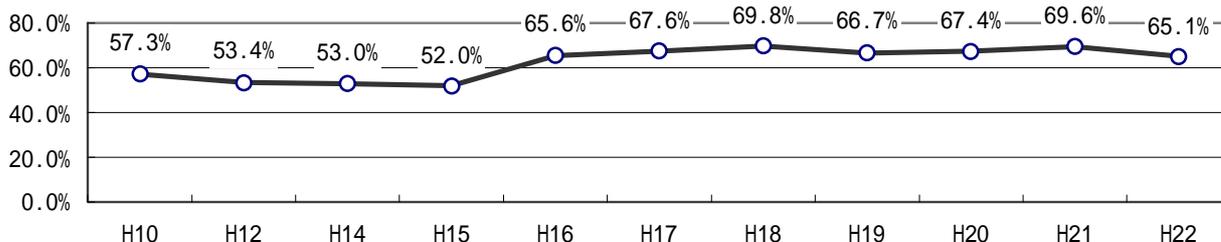


6) 市民活動

平成 15 年度までの表現	職場へのボランティア休暇の導入など、住民が市民活動に参加しやすい条件の整備
平成 16 年度以降の表現	NPOやボランティアなどの活動、自治会やPTA等の地域活動など、様々な社会活動に参加しやすいこと。

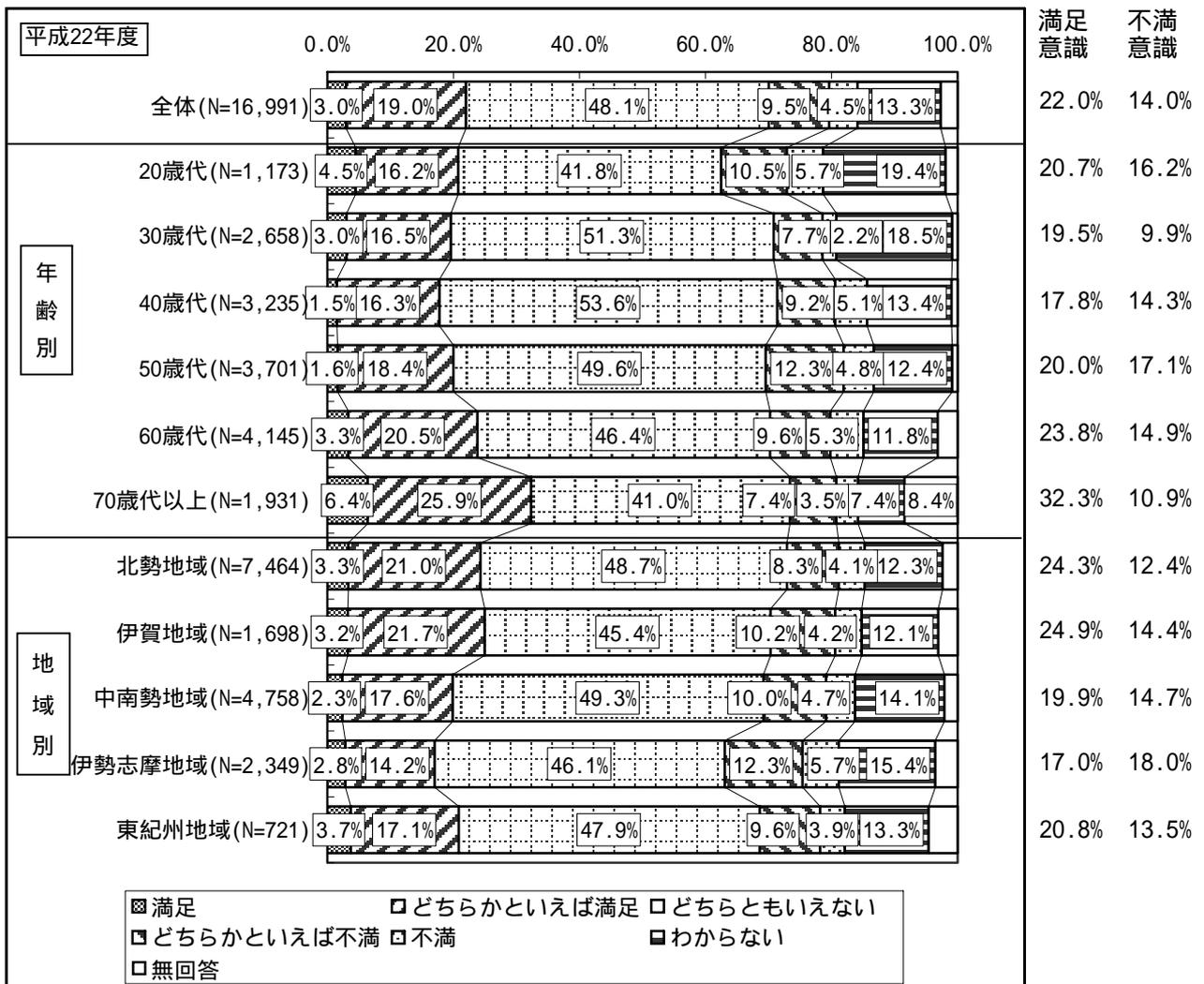
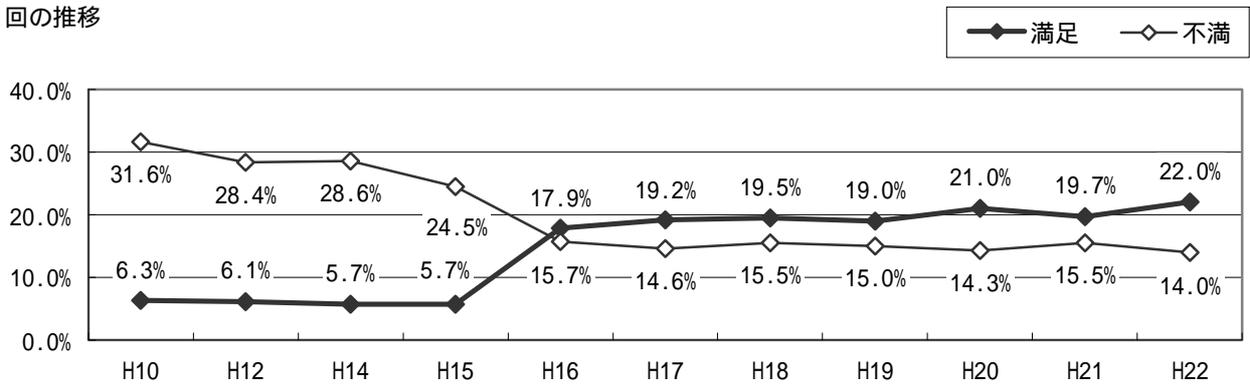
重要意識 (集計資料 p.44)

11回の推移



満足意識 (集計資料 p.45)

11回の推移

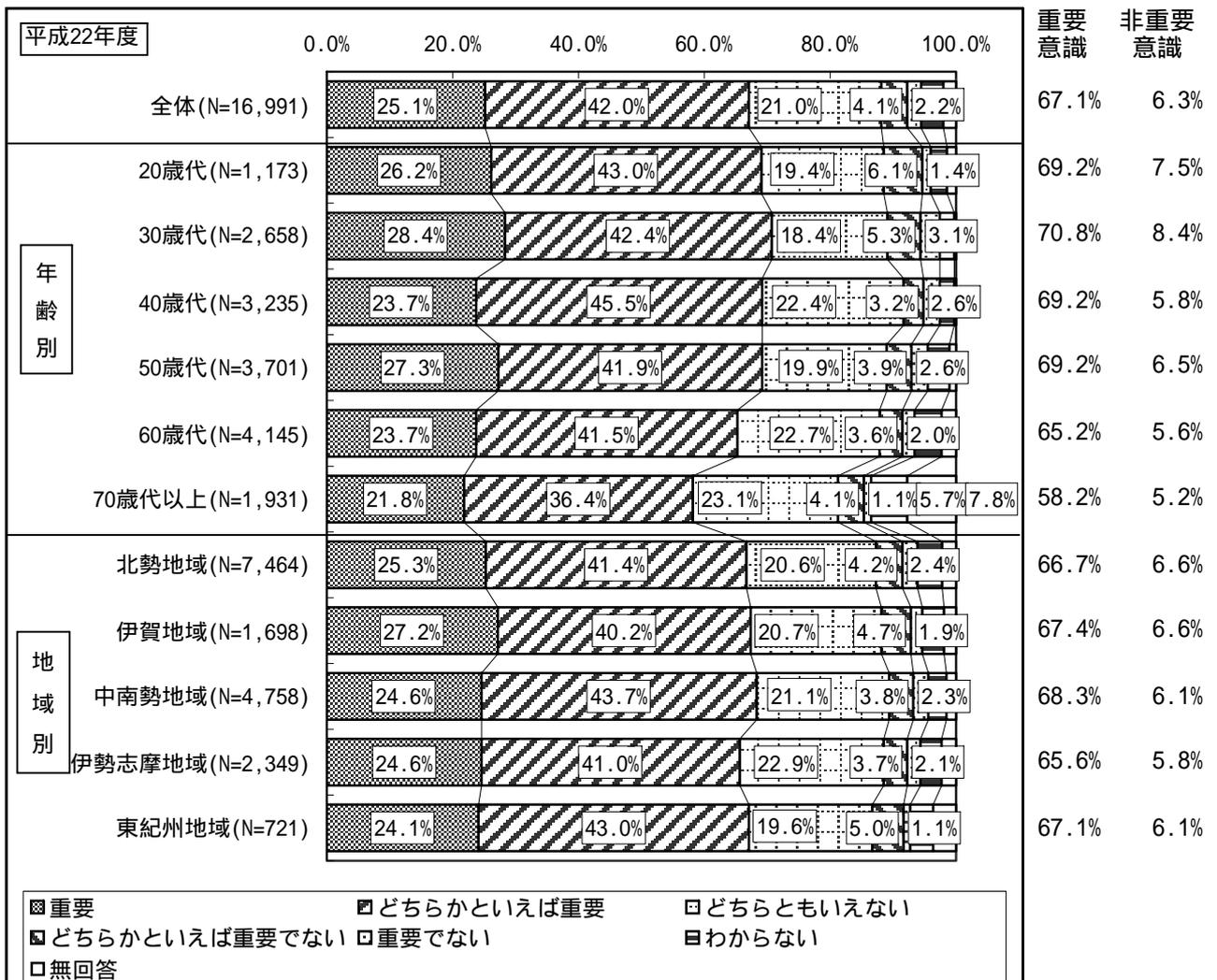
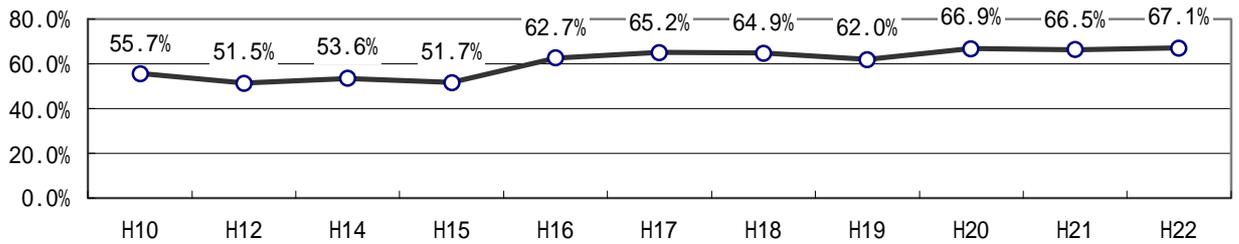


7) 文化・芸術

平成 15 年度までの表現	芸術文化にふれあう機会の提供
平成 16 年度以降の表現	音楽、美術などの様々な芸術や文化と直接触れ親しめる機会が多いこと。

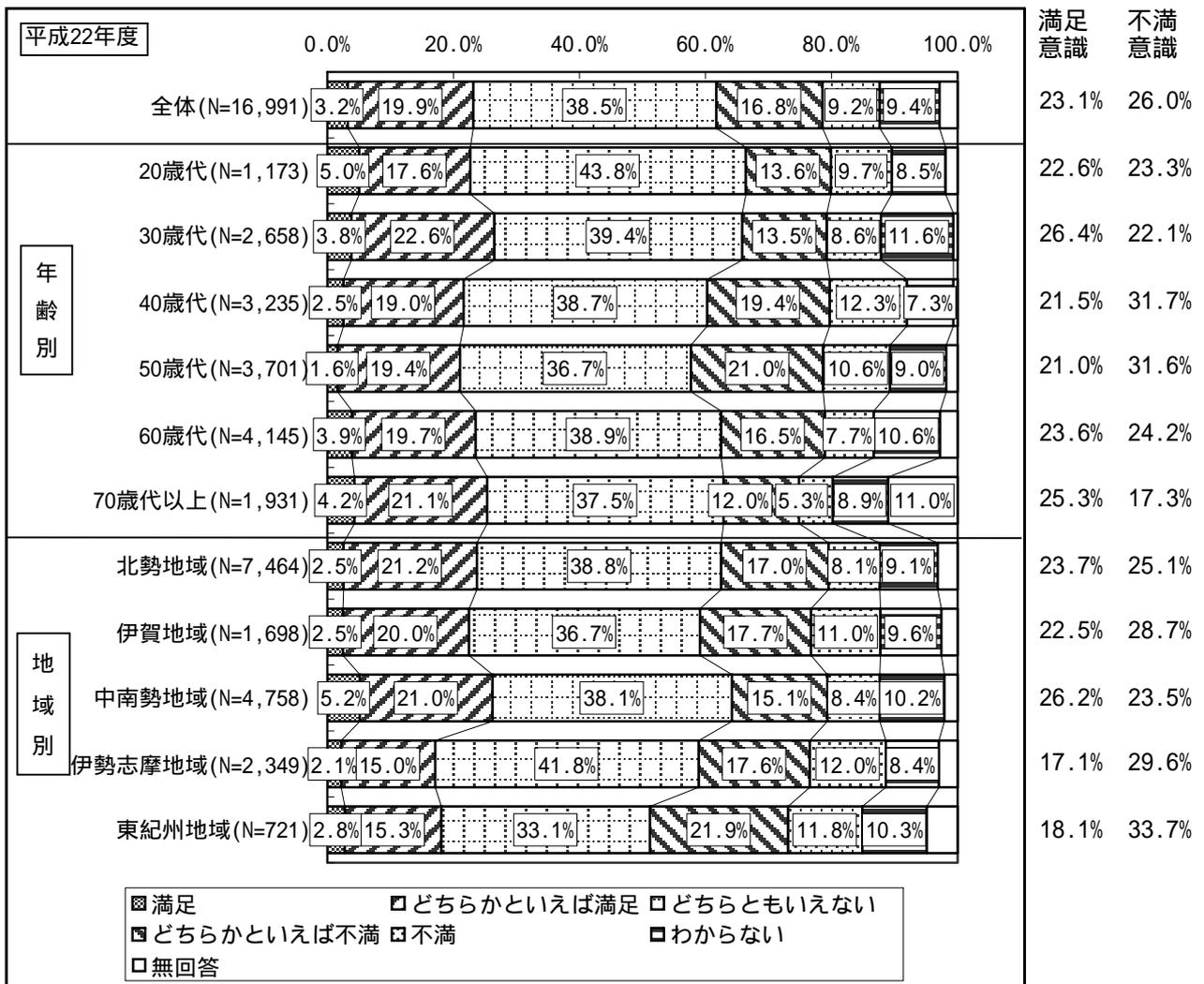
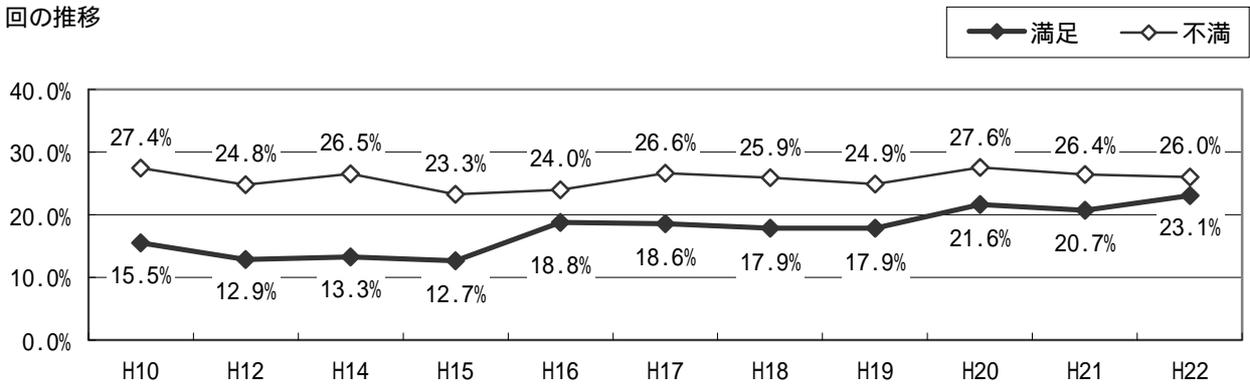
重要意識 (集計資料 p.46)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.47)

11回の推移

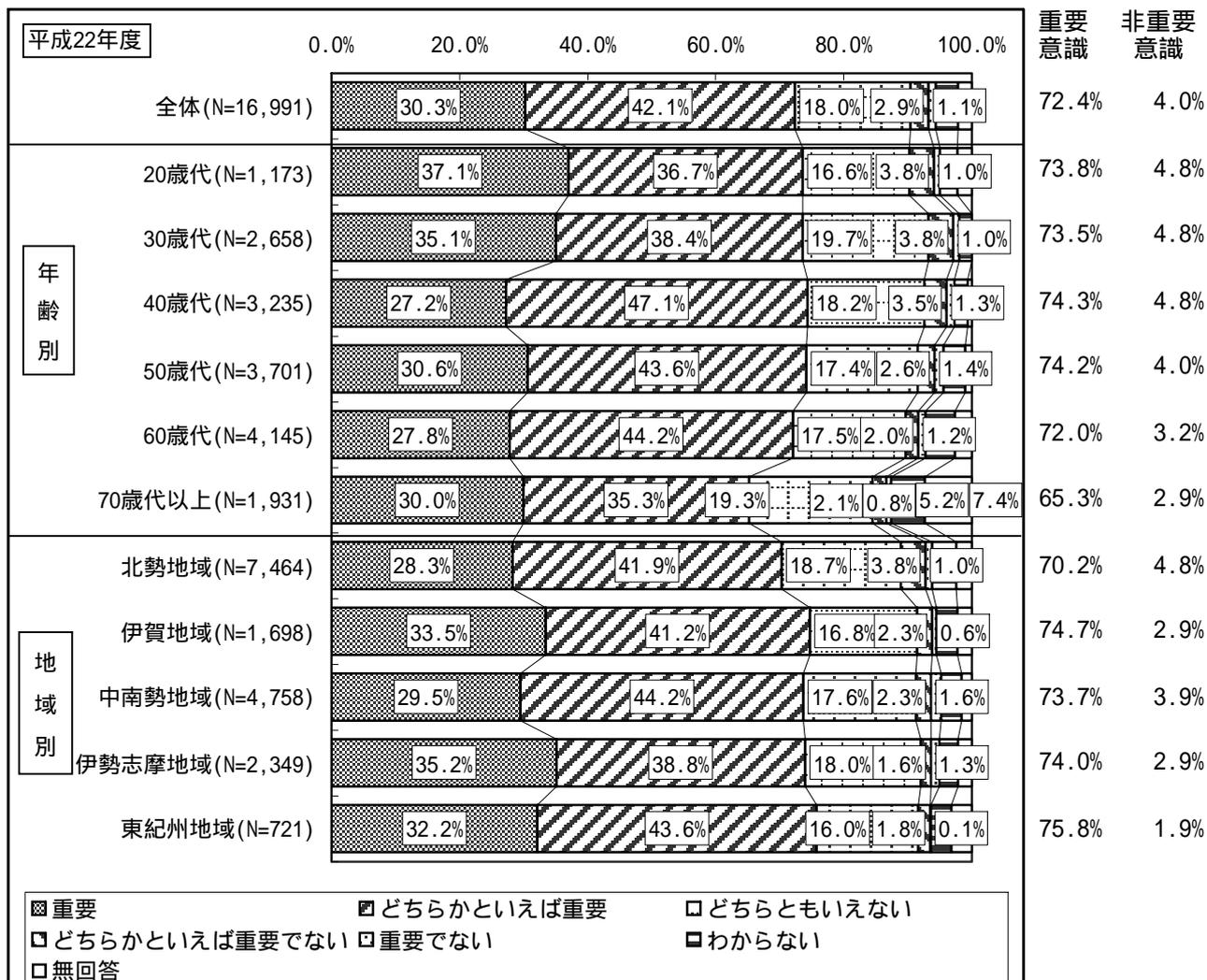
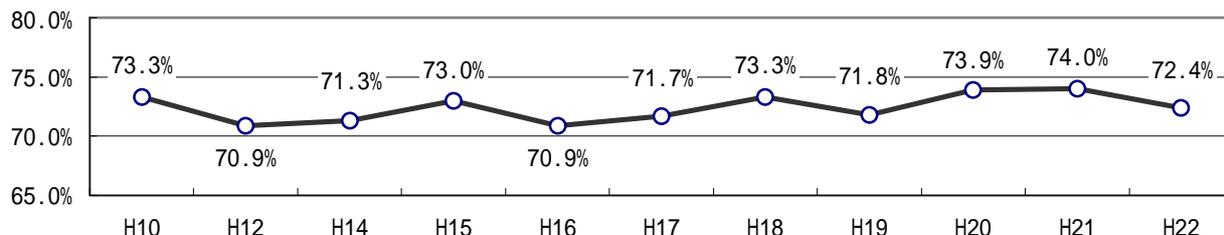


8) 歴史・文化遺産

平成 15 年度までの表現	文化遺産、史跡、天然記念物などの保存
平成 16 年度以降の表現	文化財や伝統行事などの様々な文化遺産が守られ、地域づくり等に積極的に活用されていること。

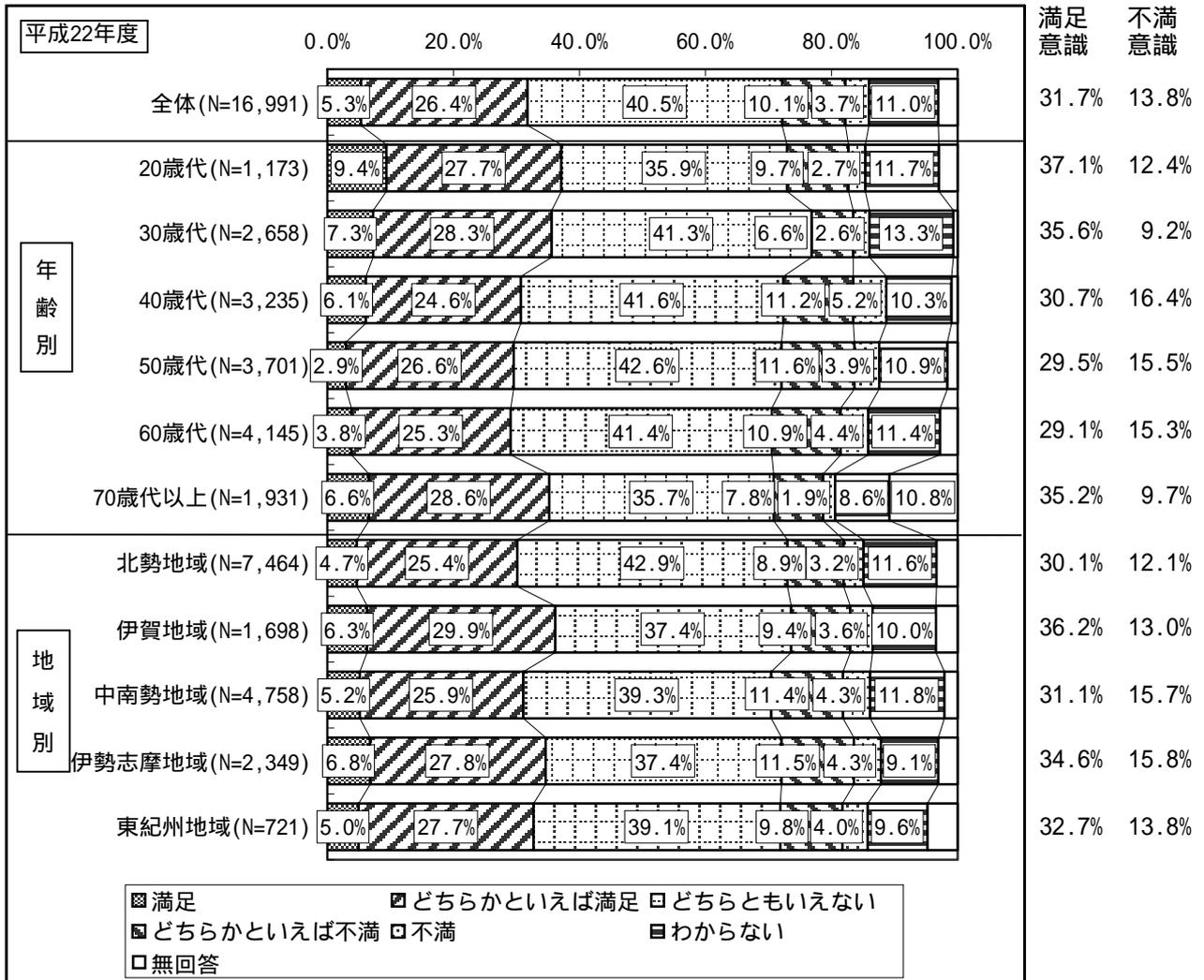
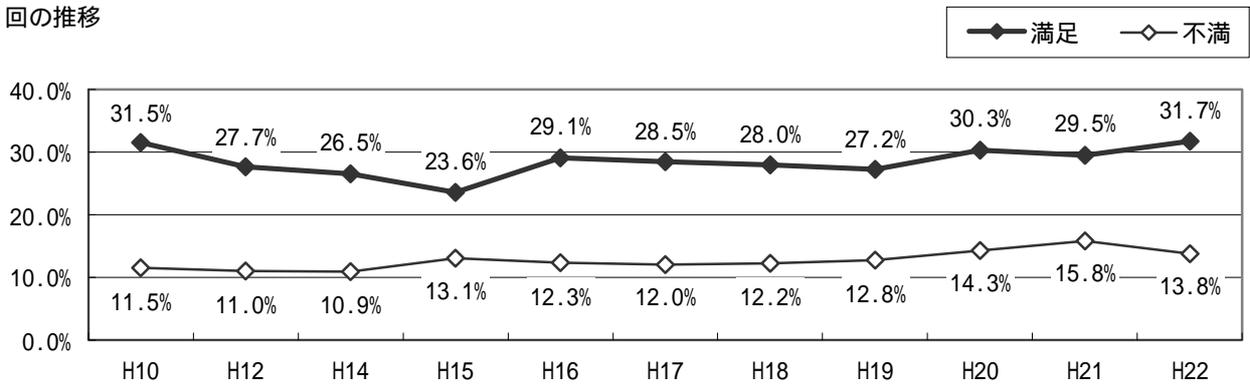
重要意識 (集計資料 p.48)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.49)

11回の推移

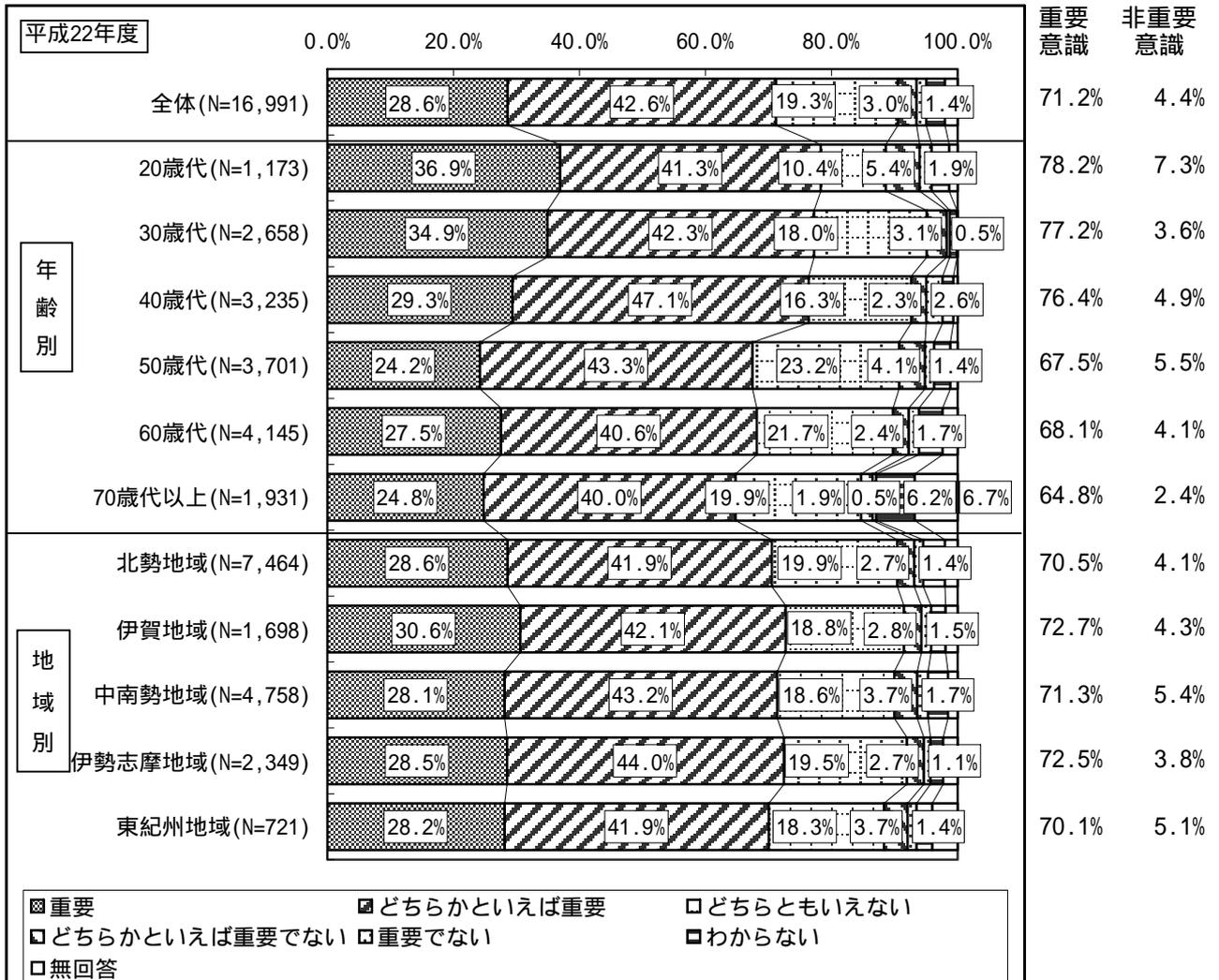
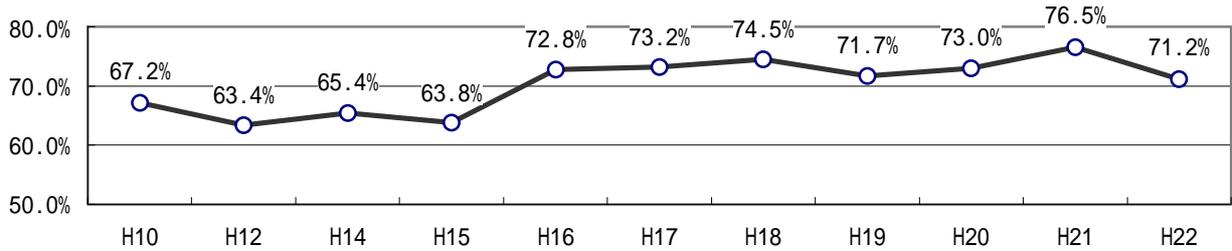


9) スポーツ・レクリエーション

平成 15 年度までの表現	スポーツ・レクリエーション施設の整備
平成 16 年度以降の表現	スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実していること。

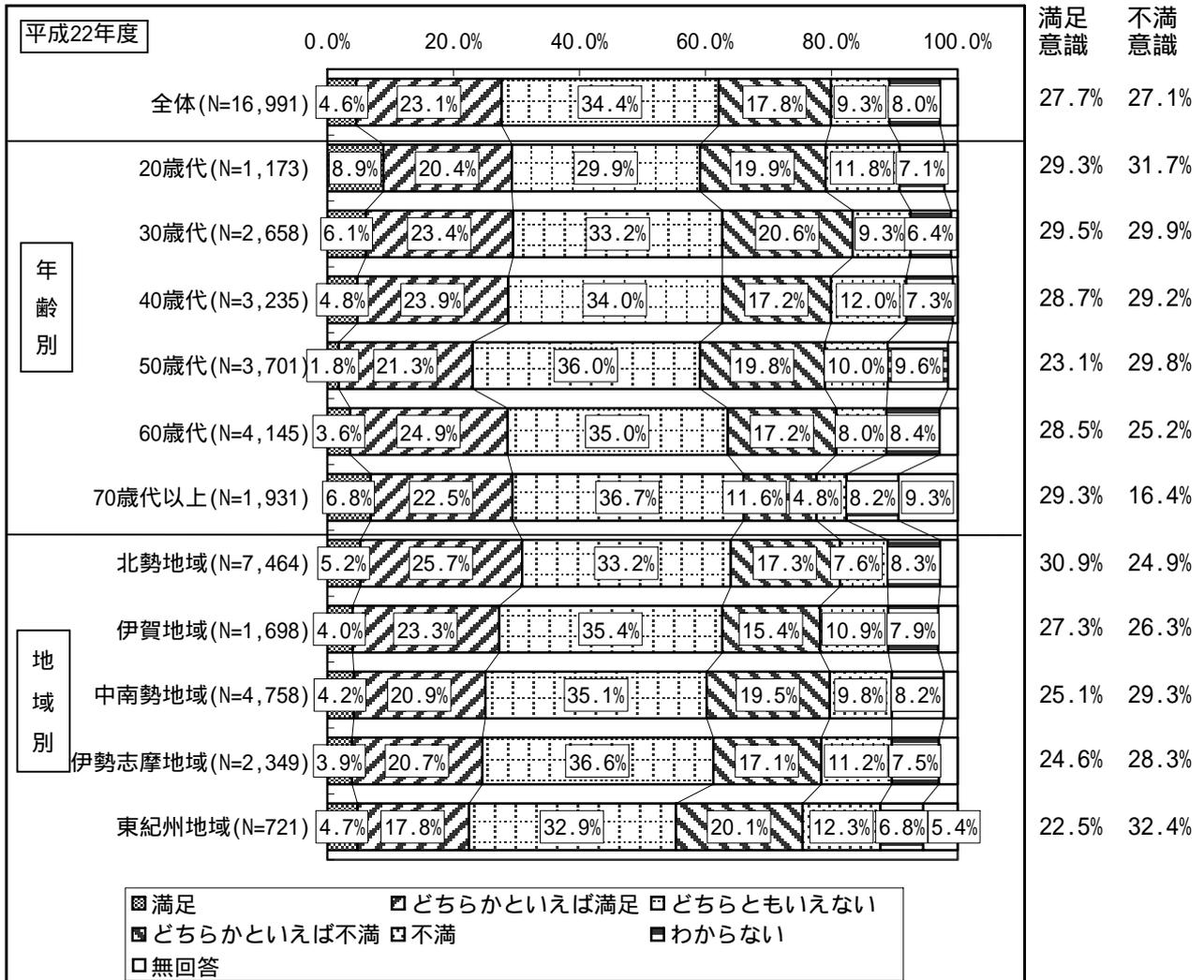
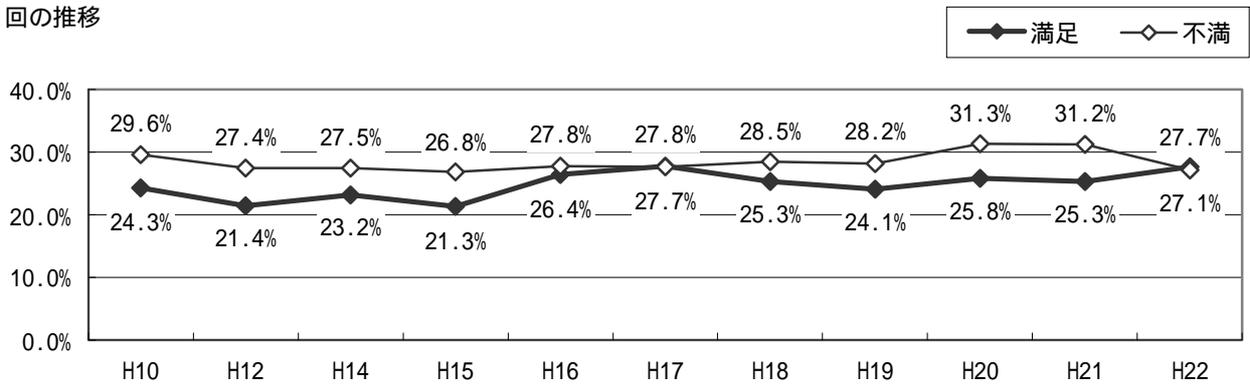
**重要意識** (集計資料 p.50)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.51)

11回の推移

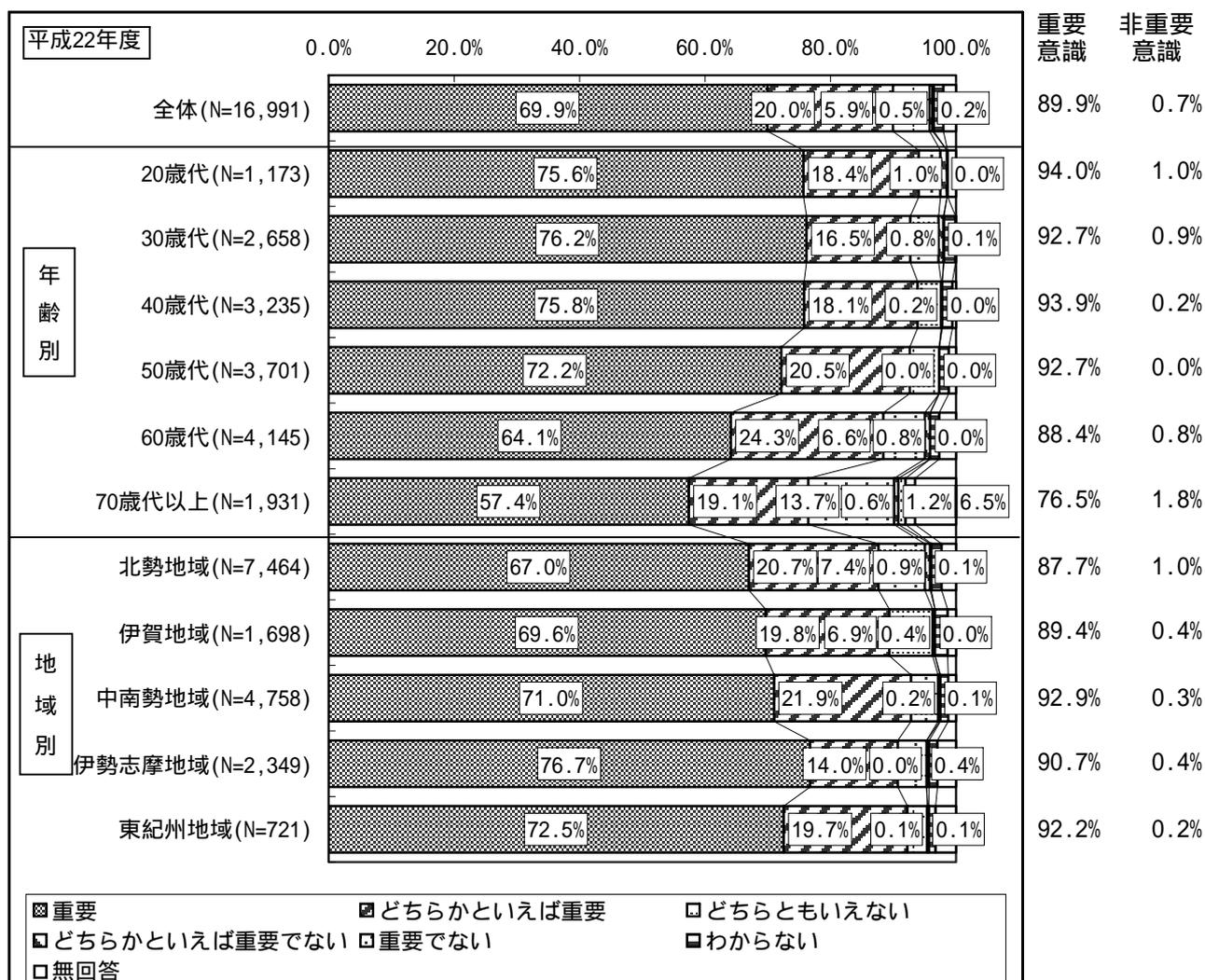
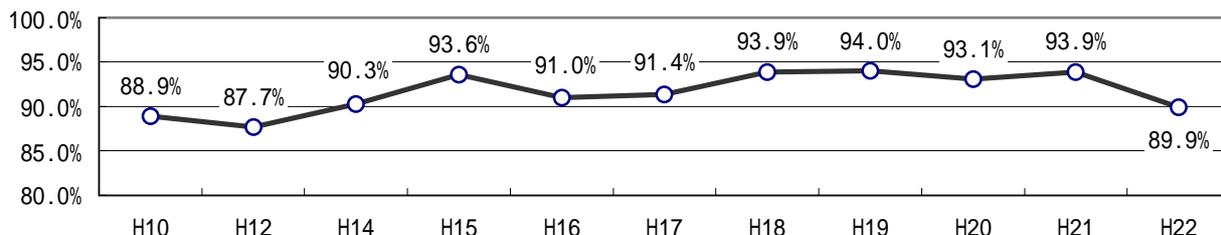


10) 地域での防災の取組

平成 15 年度までの表現	防災対策への取組
平成 16 年度以降の表現	地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができていること。

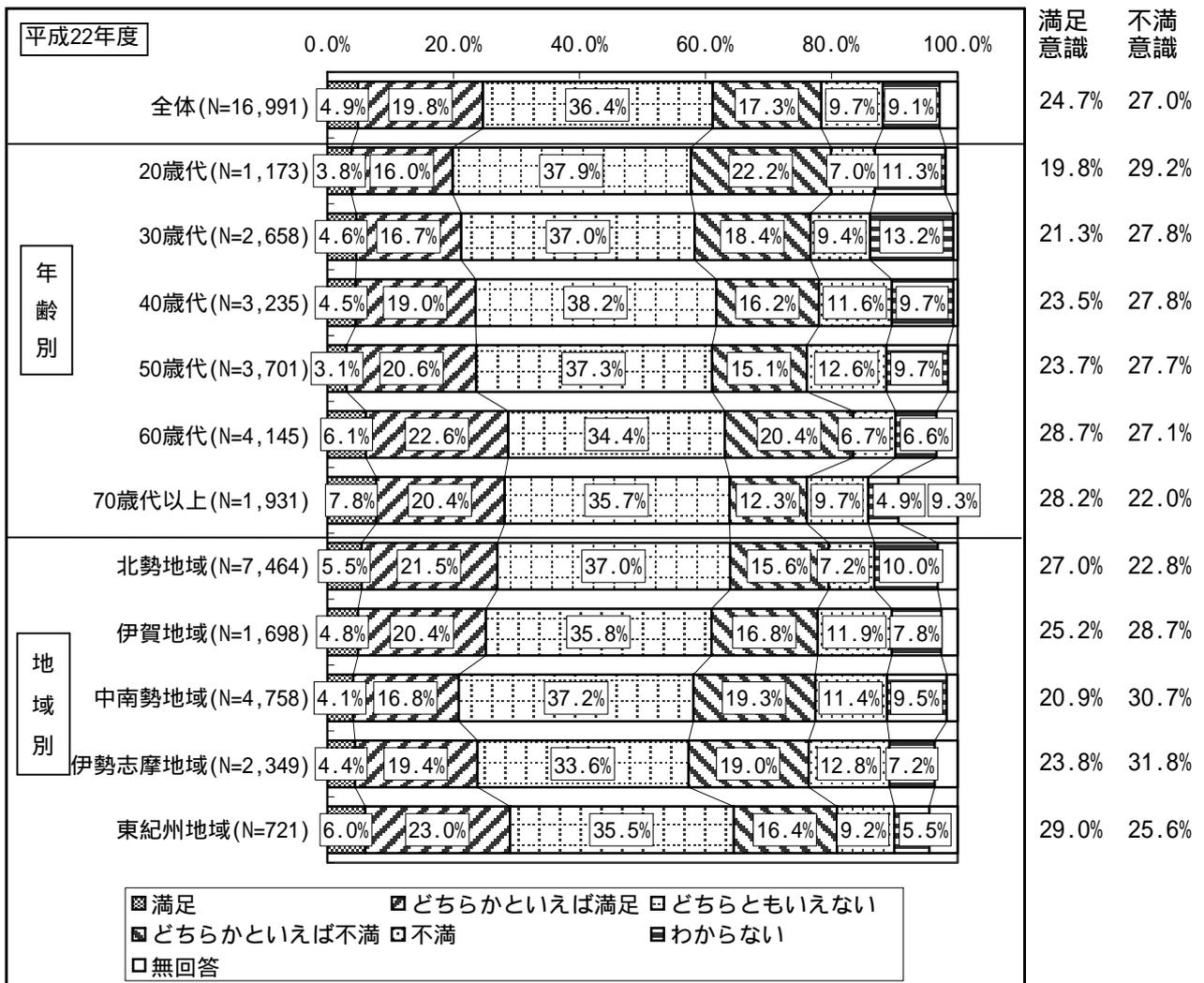
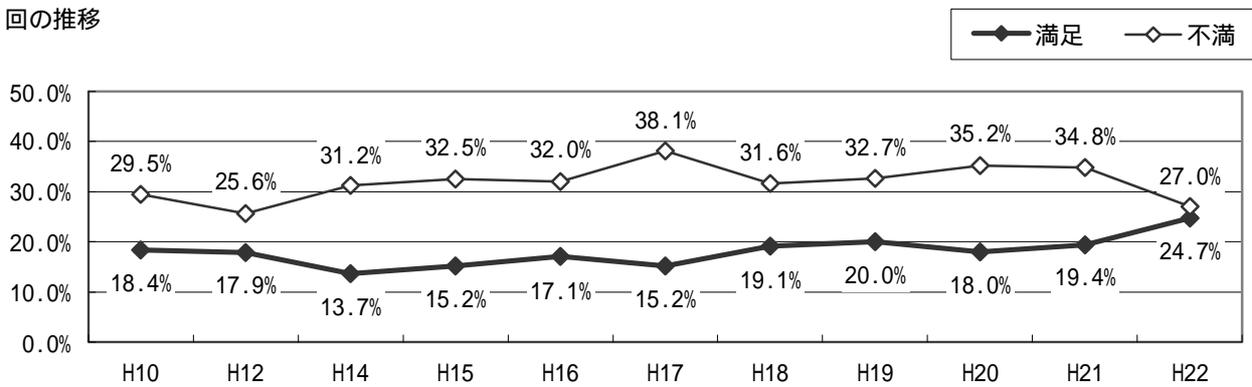
重要意識 (集計資料 p.52)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.53)

11回の推移

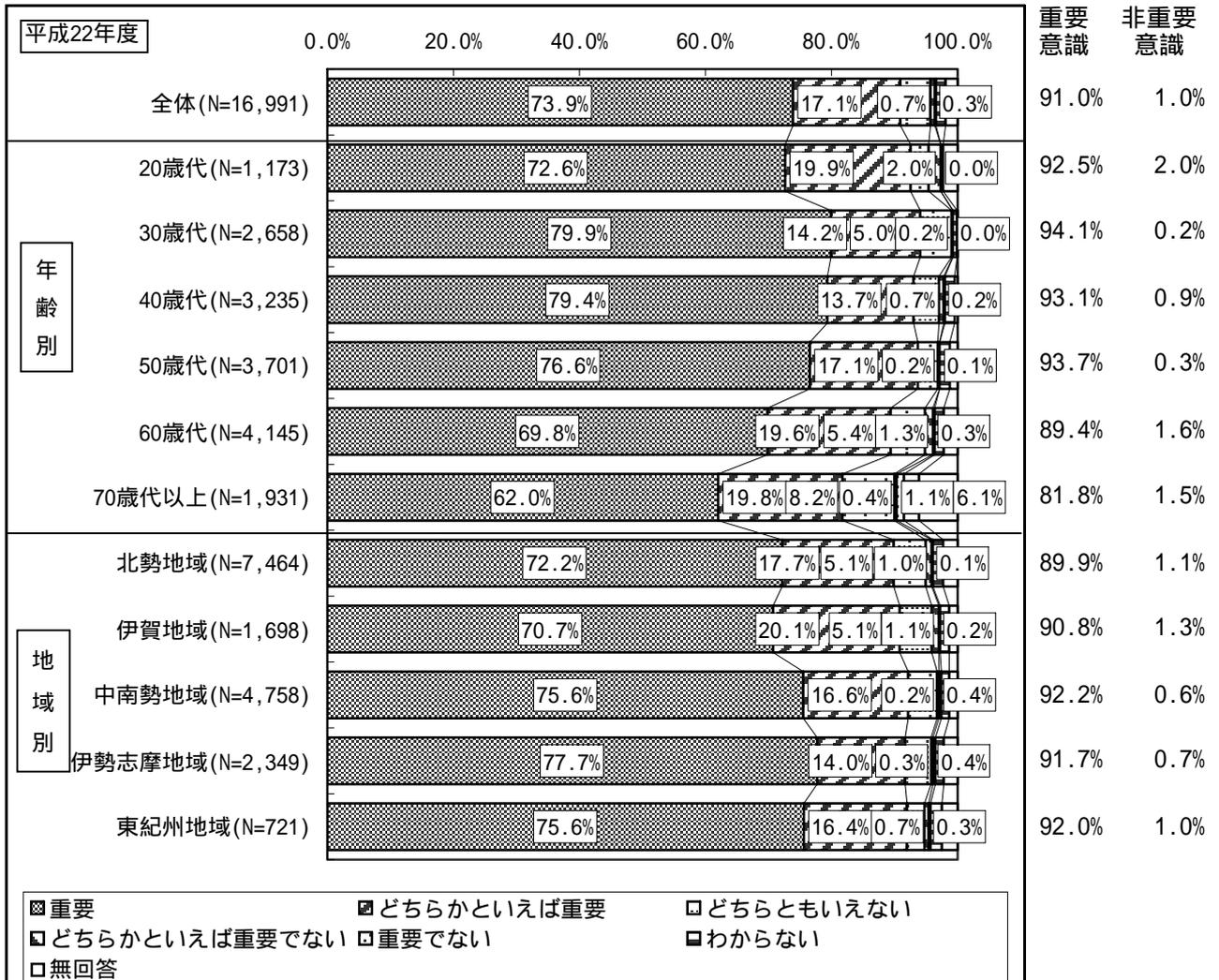
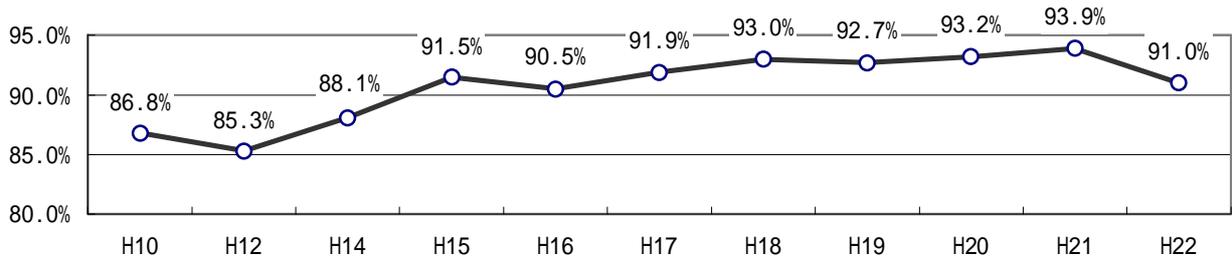


11) 災害対策

平成 15 年度までの表現	洪水や高潮、土砂災害などへの対策
平成 16 年度以降の表現	洪水や高潮、土砂災害などに備える堤防や砂防ダムなどの施設が整備され、自然災害による被害を最小限におさえられること。

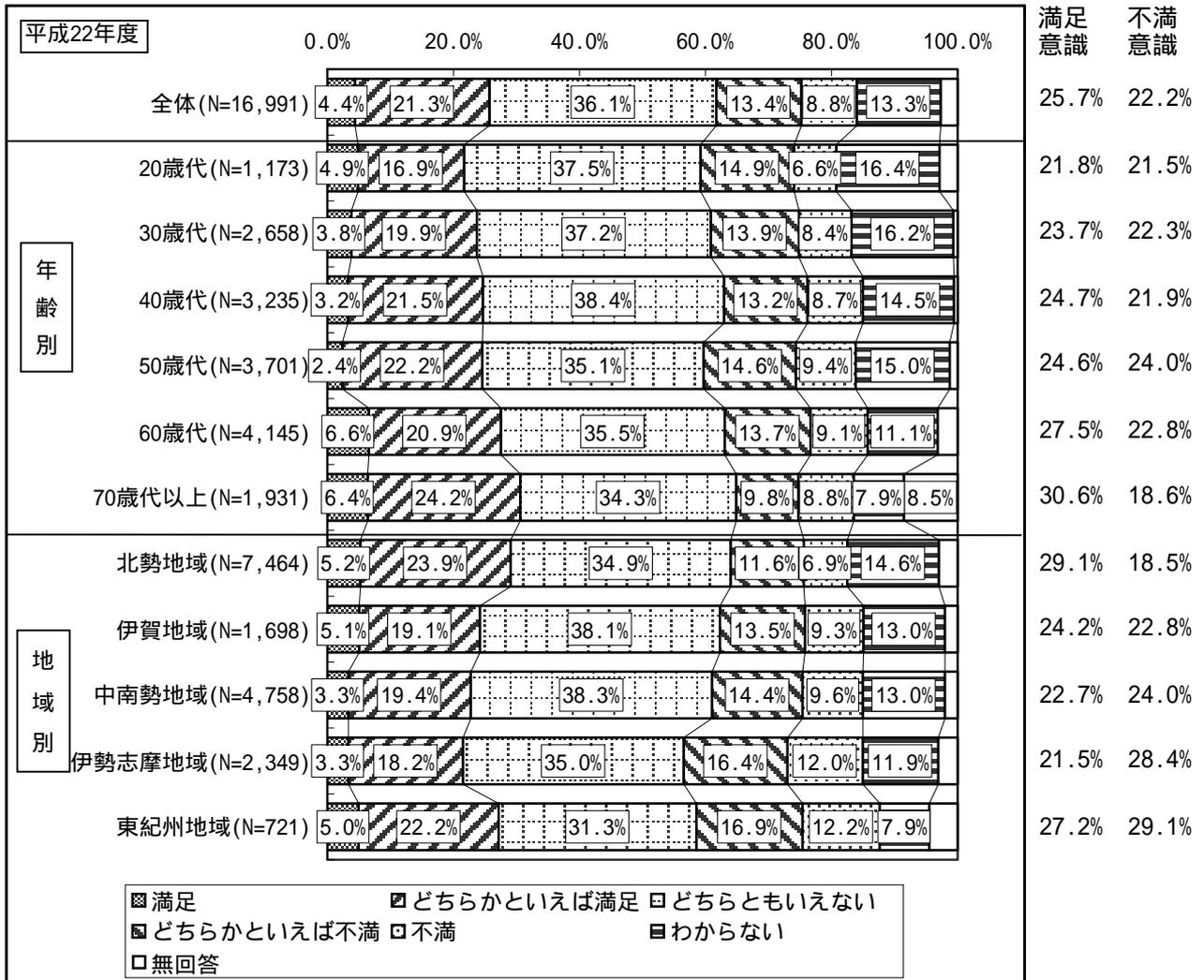
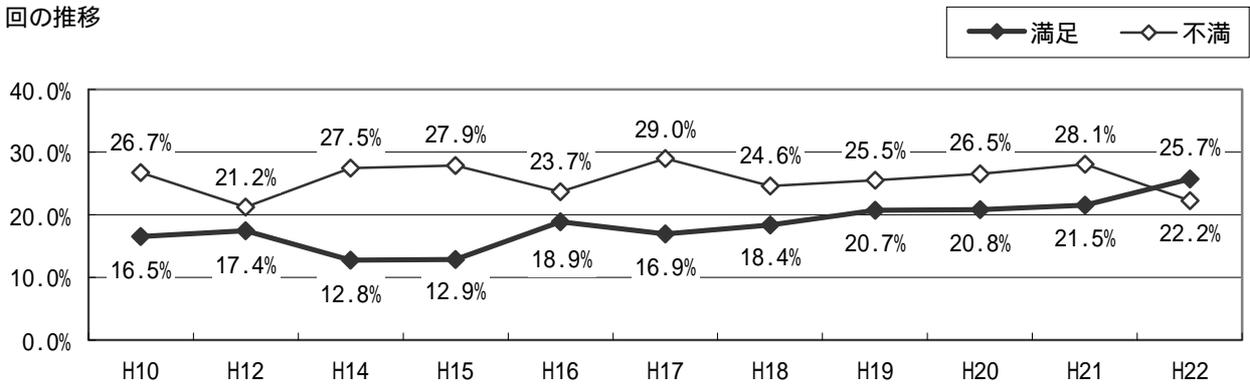
重要意識 (集計資料 p.54)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.55)

11回の推移

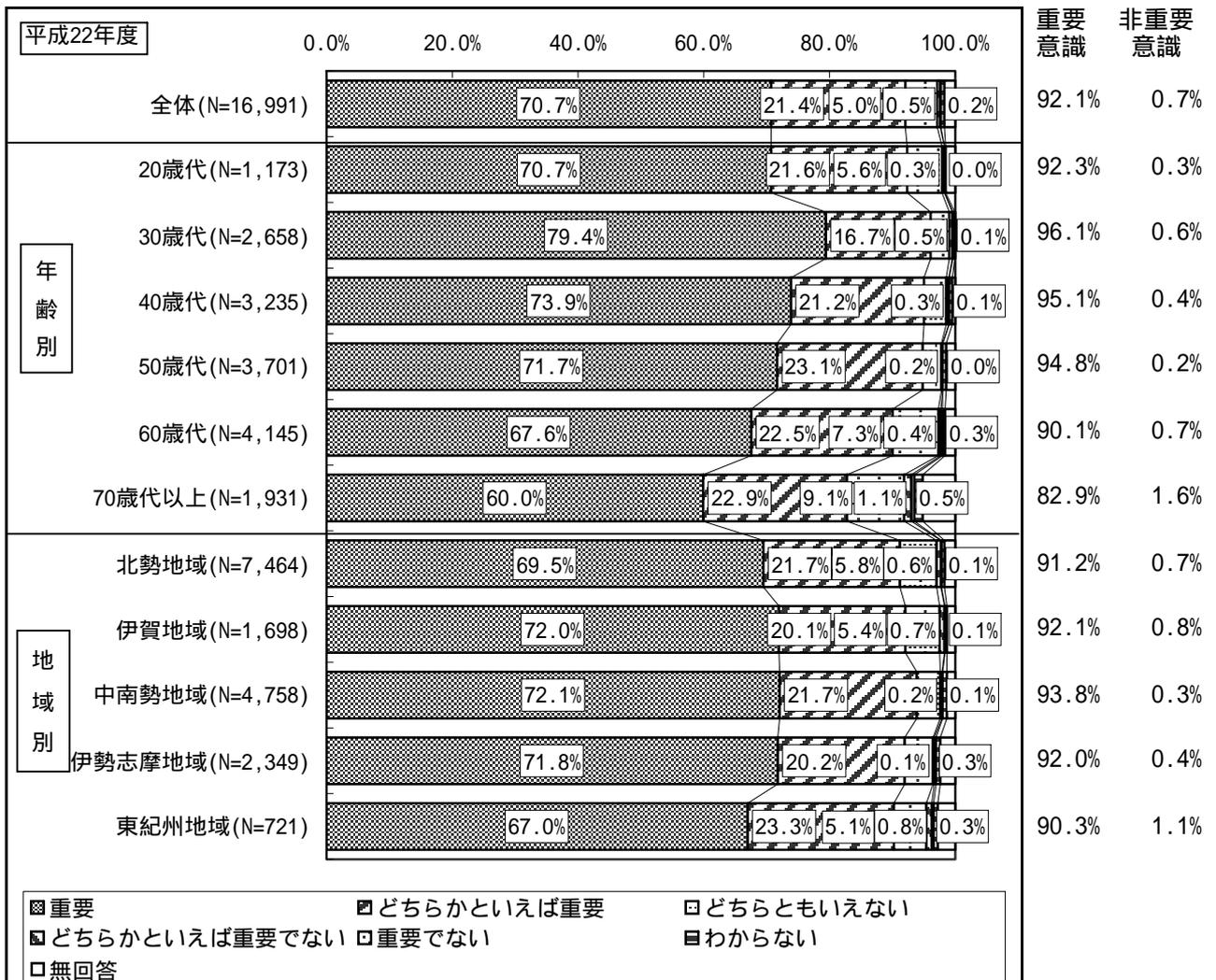
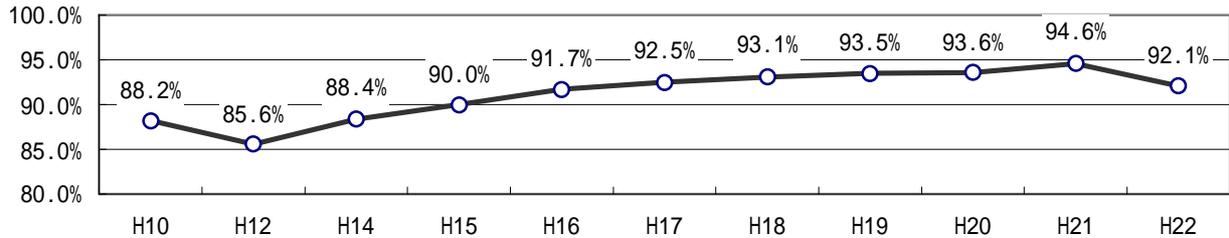


12) 交通安全

平成 15 年度までの表現	交通安全対策の推進
平成 16 年度以降の表現	交通ルールが守られ、誰もが安全にかつ安心して道路を通行できる環境になっていること。

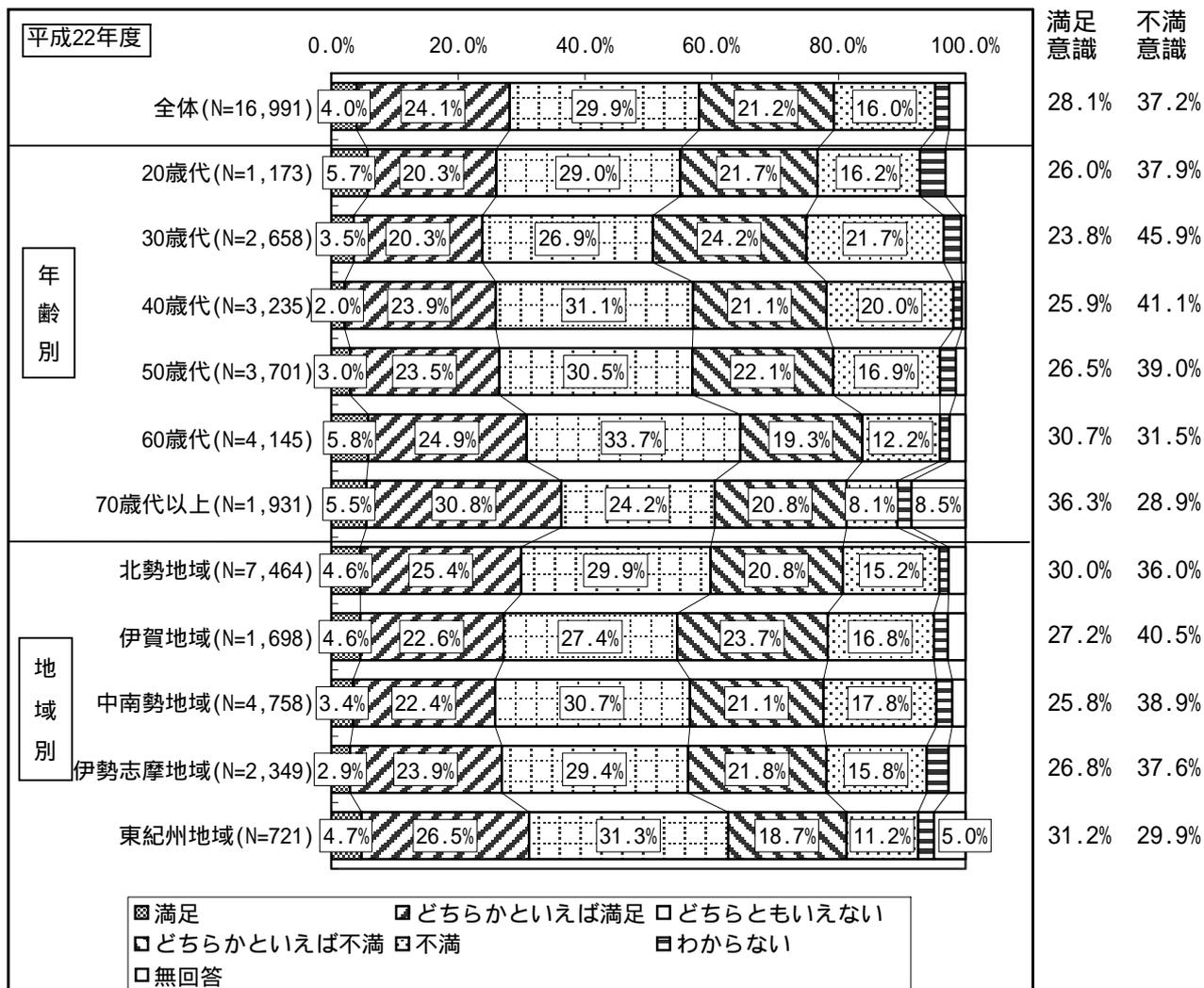
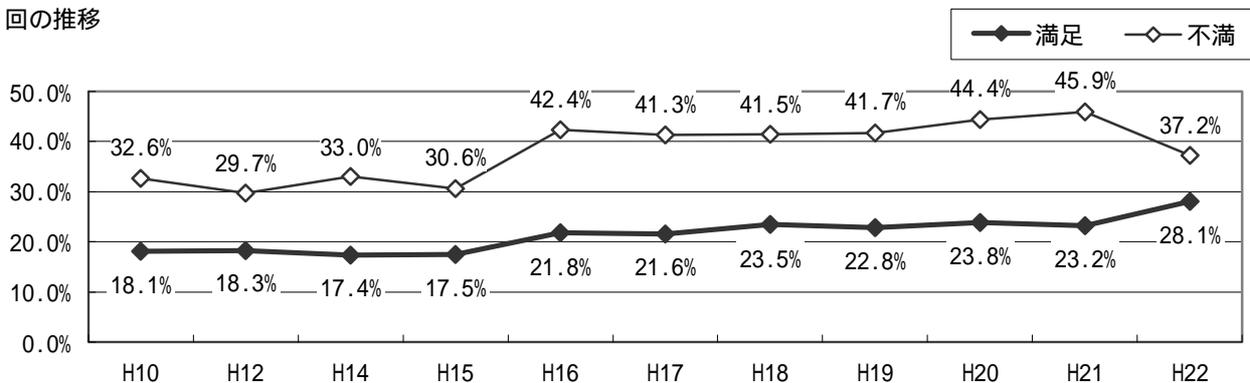
重要意識 (集計資料 p.56)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.57)

11回の推移

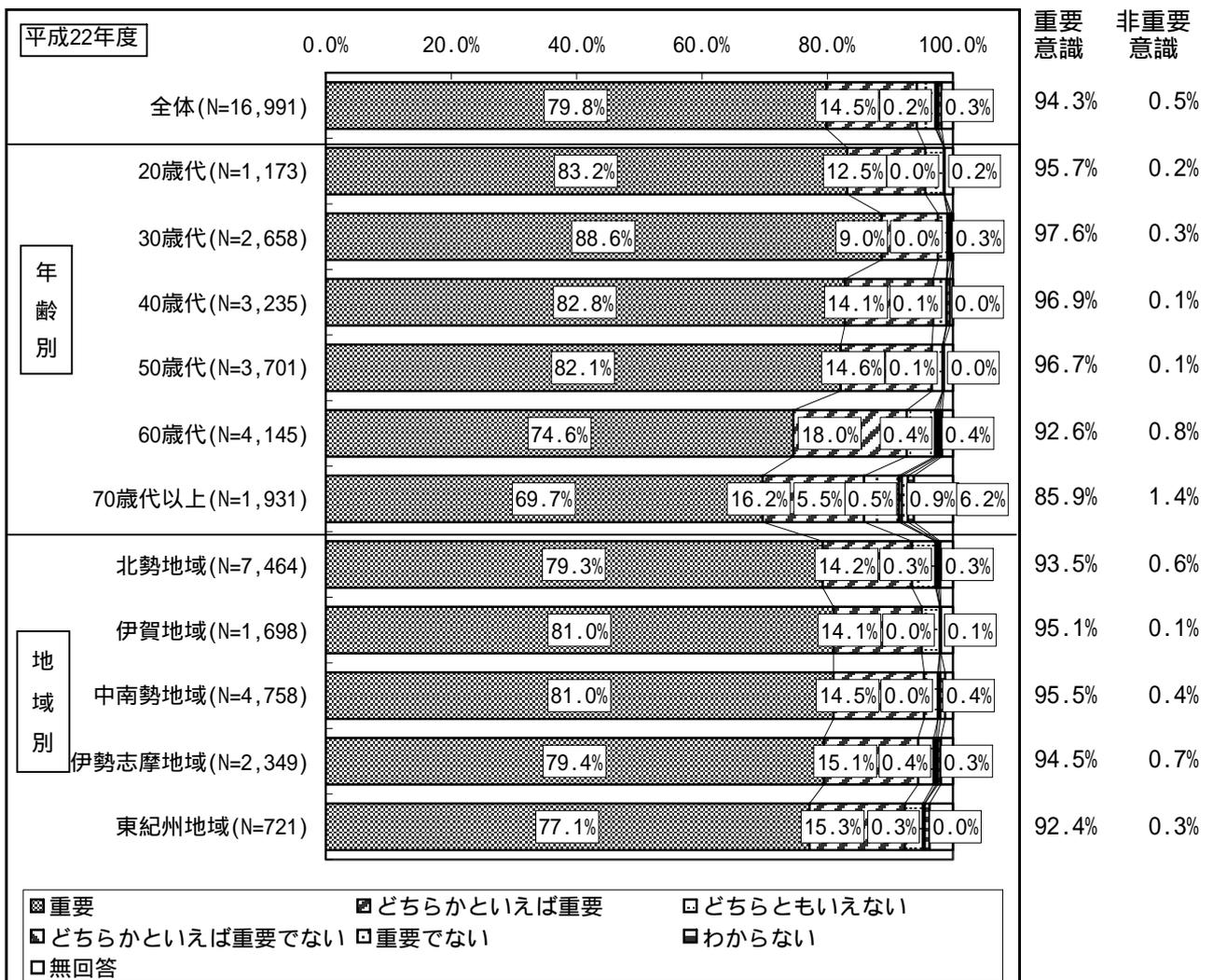
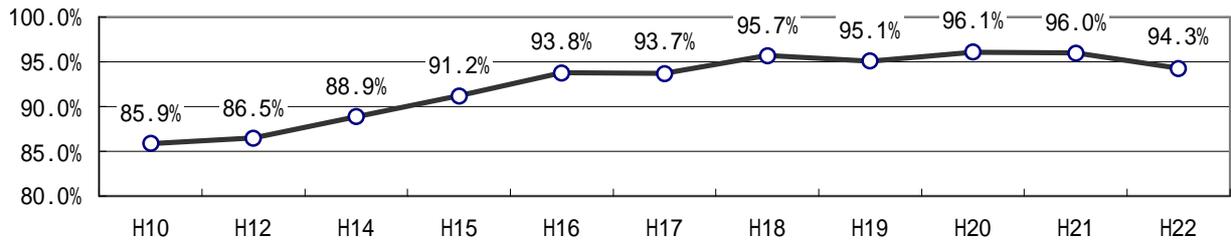


13) 防犯

平成 15 年度までの表現	防犯活動の強化
平成 16 年度以降の表現	犯罪などに対する不安を感じることなく、安心して生活ができること。

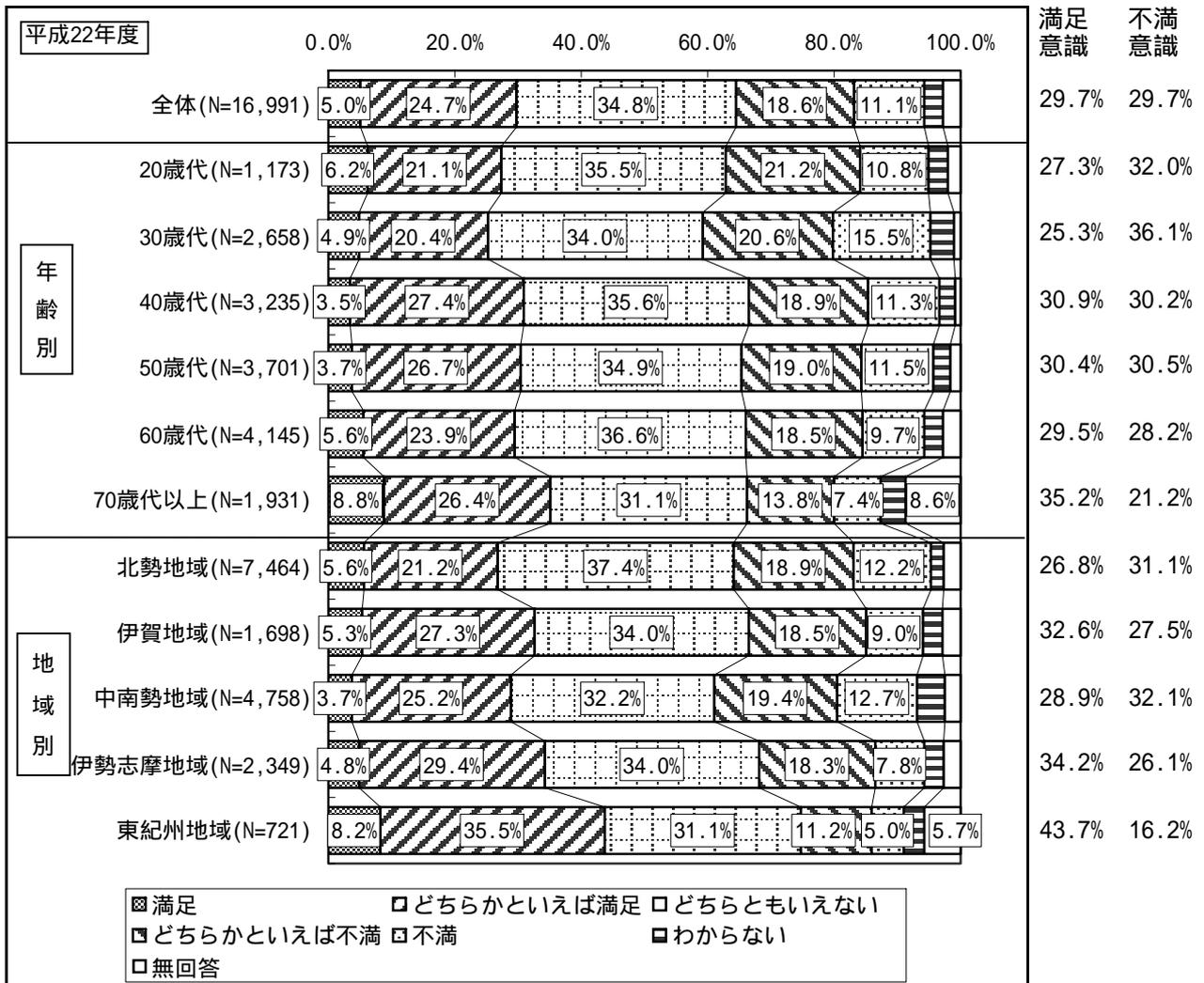
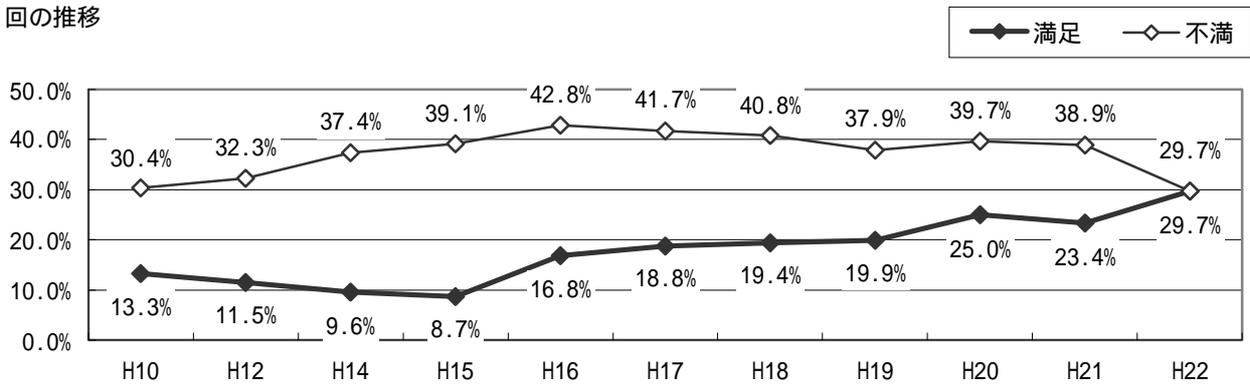
重要意識 (集計資料 p.58)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.59)

11回の推移

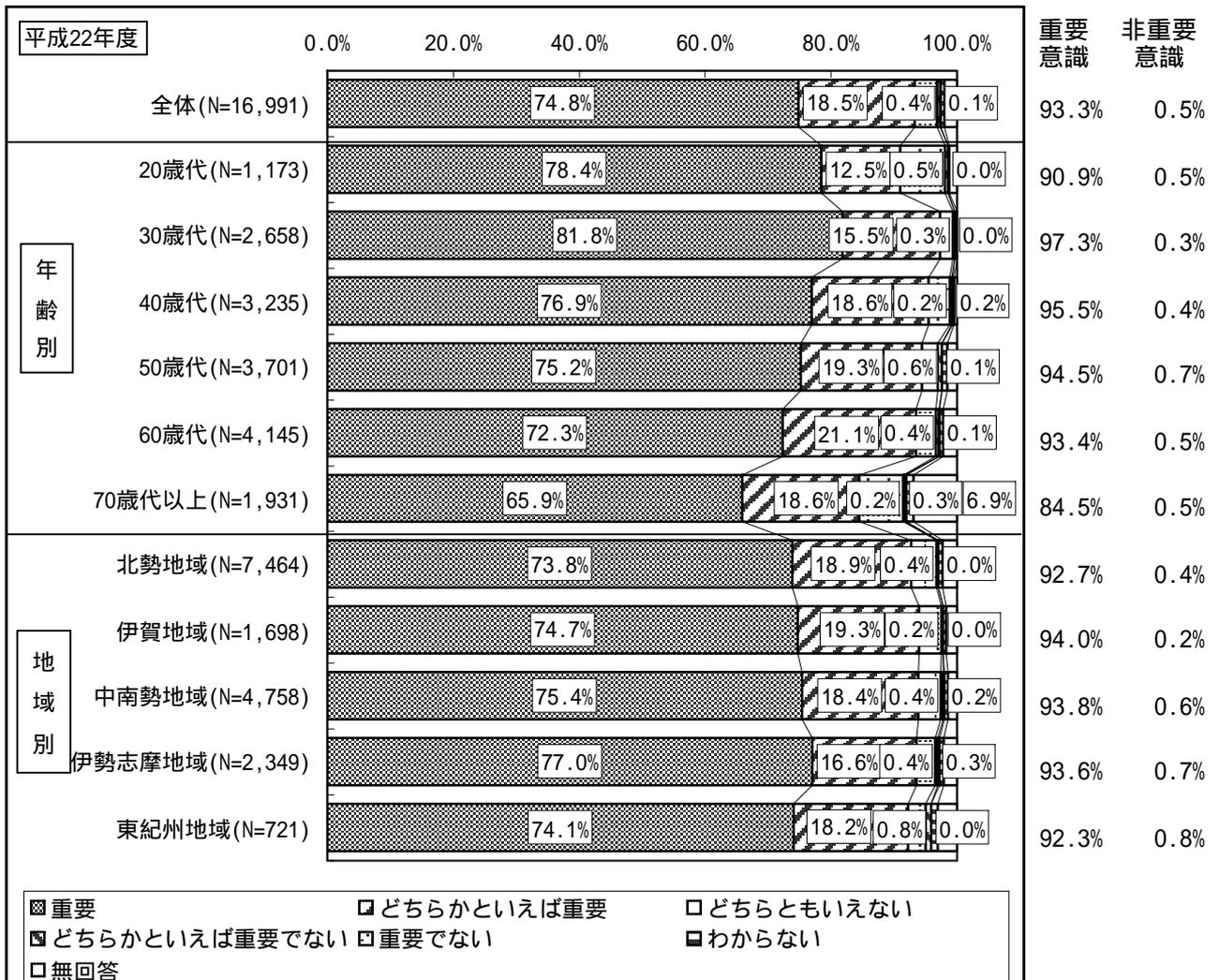
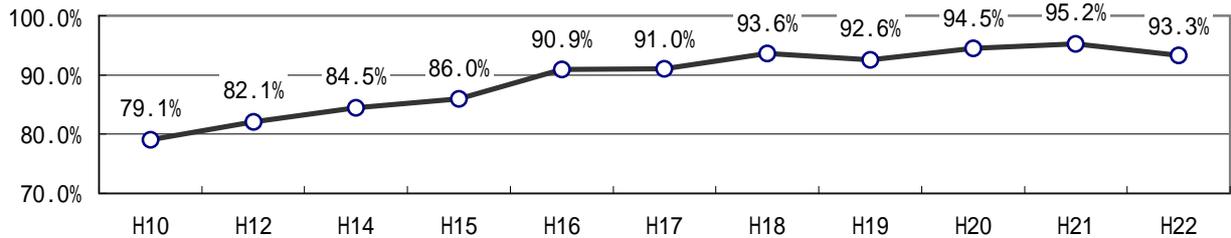


14) 食の安全

平成 15 年度までの表現	食品の安全性確保のための衛生管理指導体制の整備
平成 16 年度以降の表現	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。

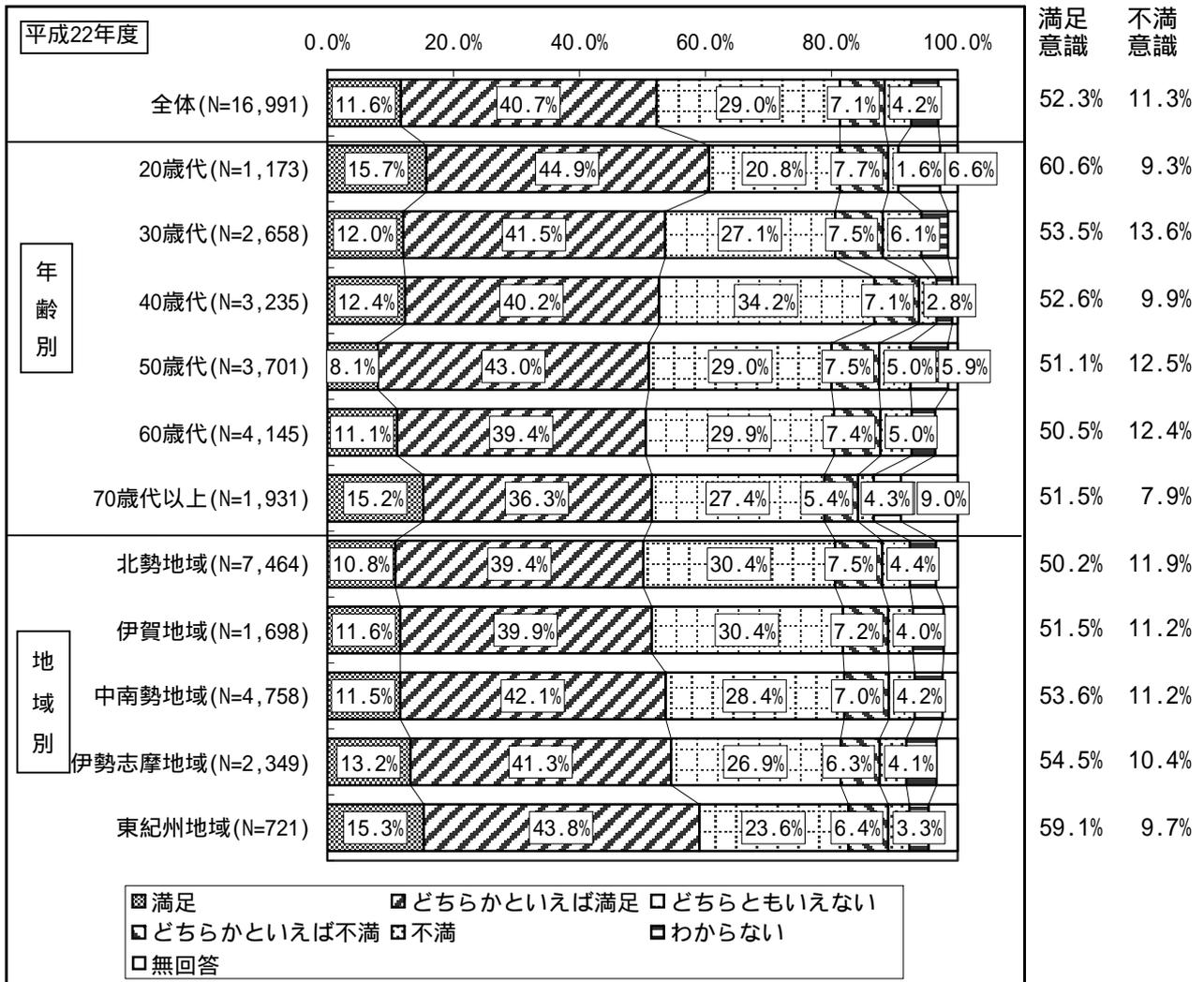
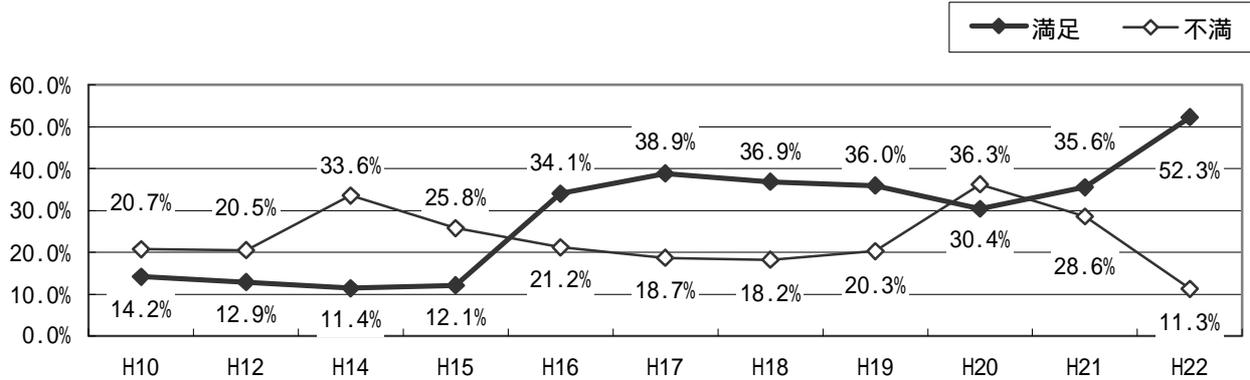
重要意識 (集計資料 p.60)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.61)

11回の推移

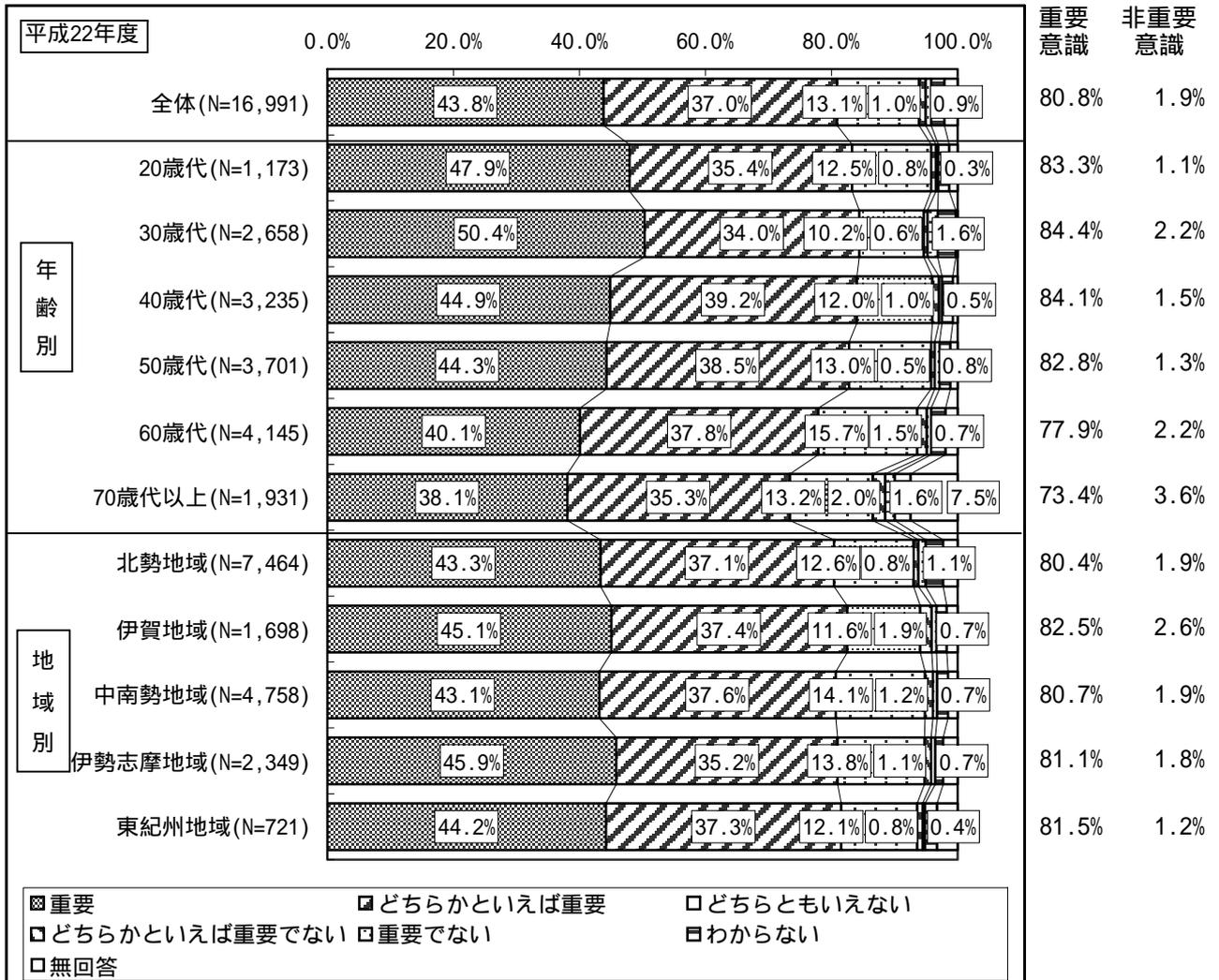
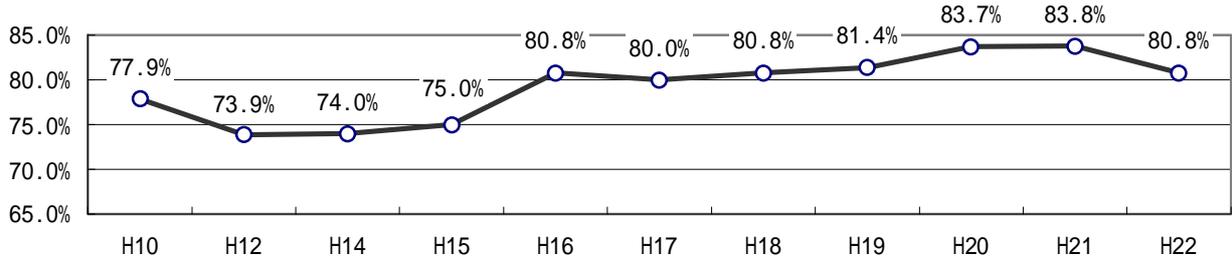


15) 高齢者、障がい者の社会参加

平成 15 年度までの表現	高齢者や障がい者の就労条件などの整備
平成 16 年度以降の表現	高齢者や障がい者が就労や趣味の集いなど、様々な社会参加ができること。

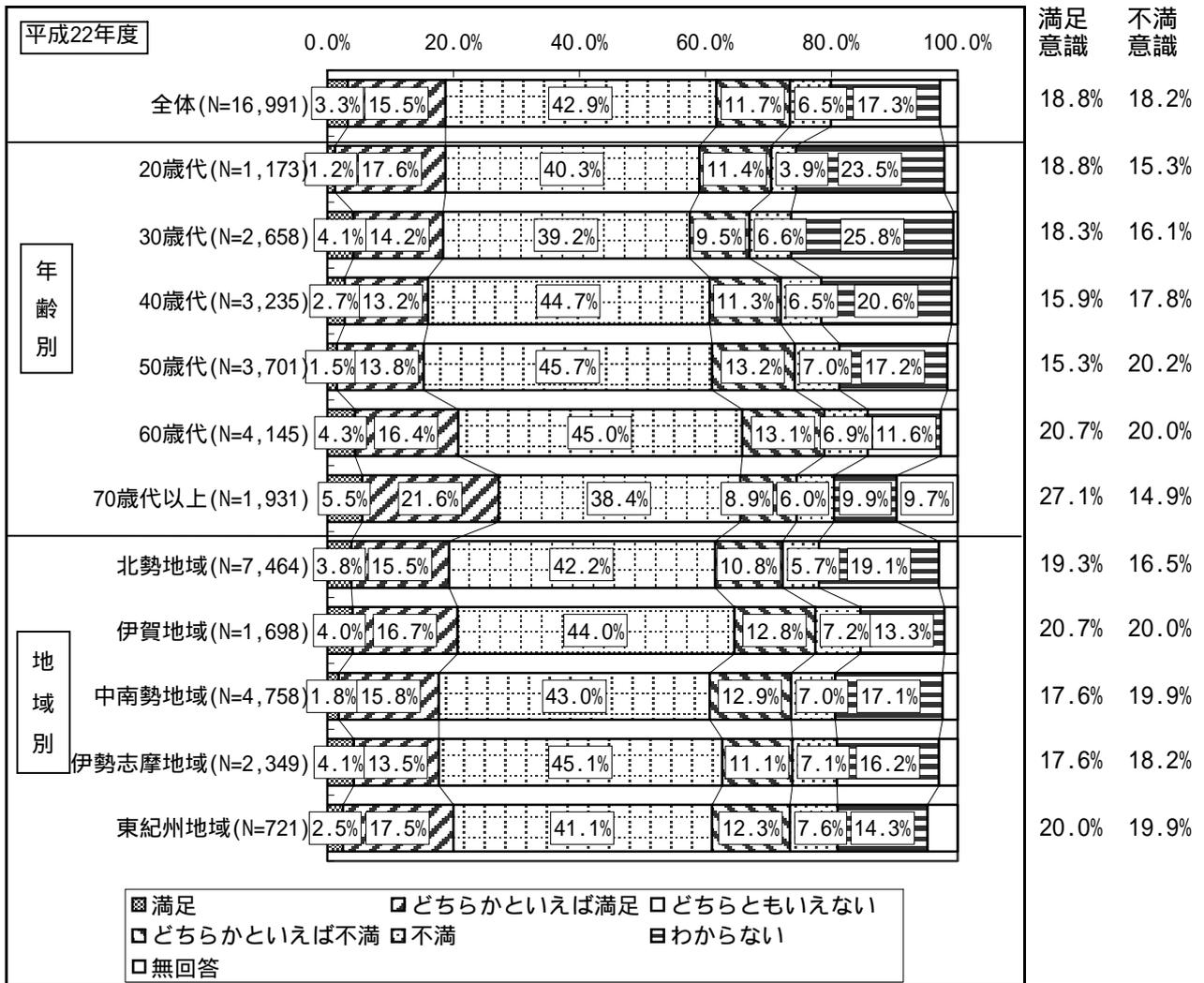
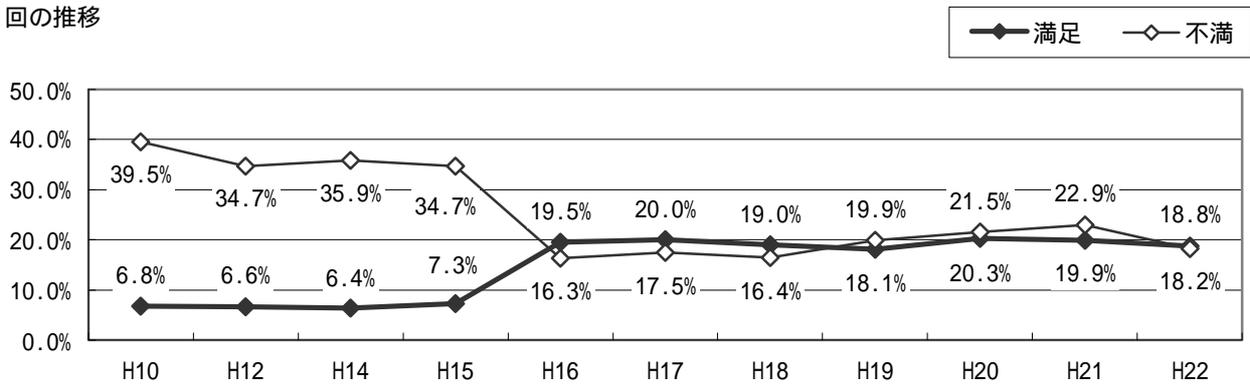
重要意識 (集計資料 p.62)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.63)

11回の推移

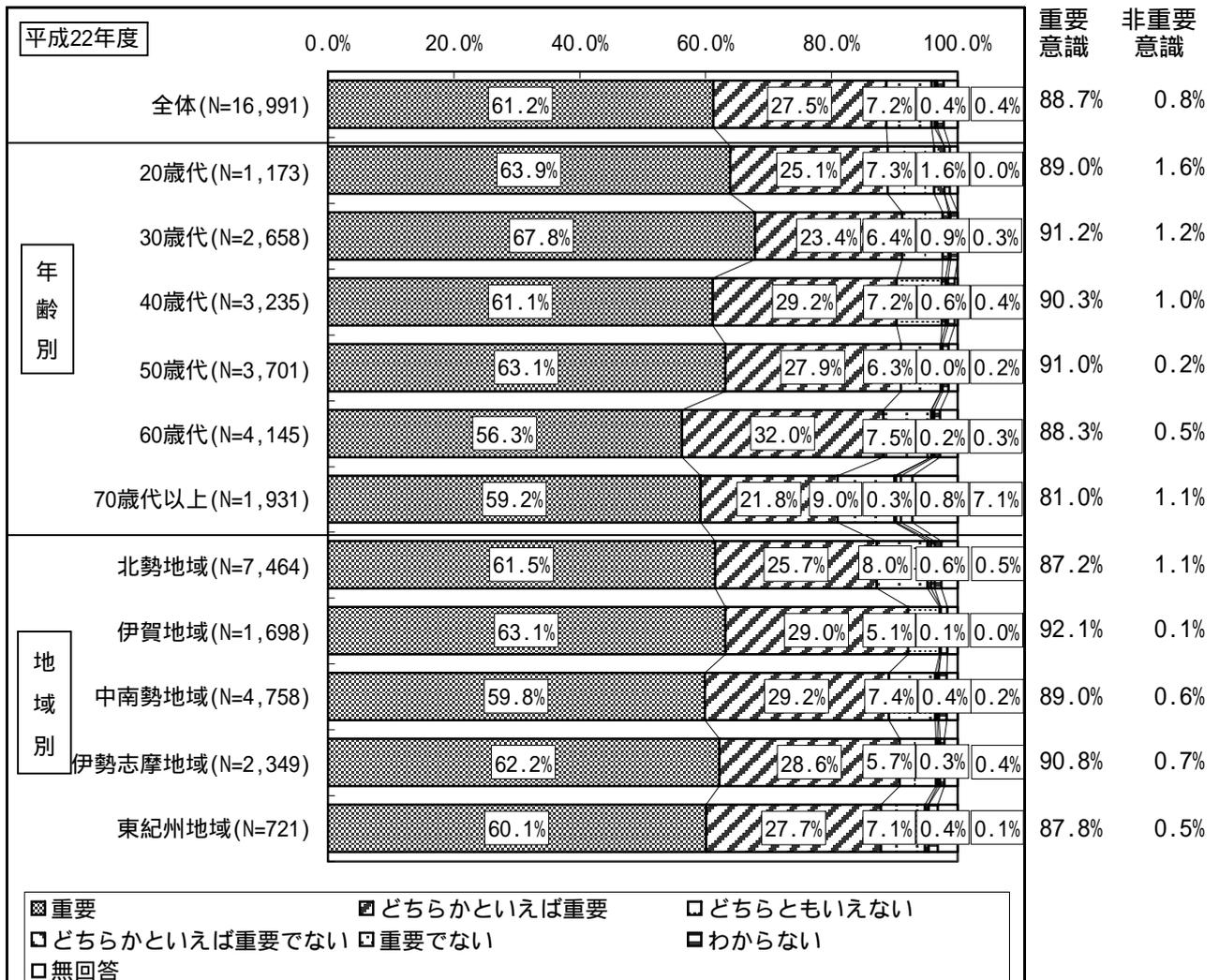
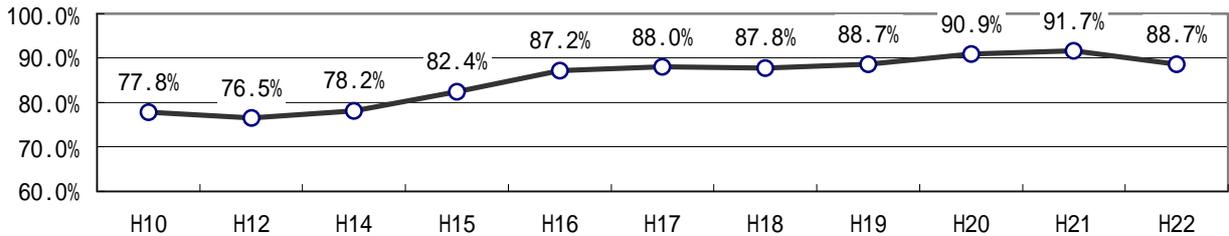


16) 保健予防体制

平成 15 年度までの表現	生活習慣病や感染症の予防など保健予防体制の確保
平成 16 年度以降の表現	感染症の発生、まん延や生活習慣病の不安を感じることなく生活できること。

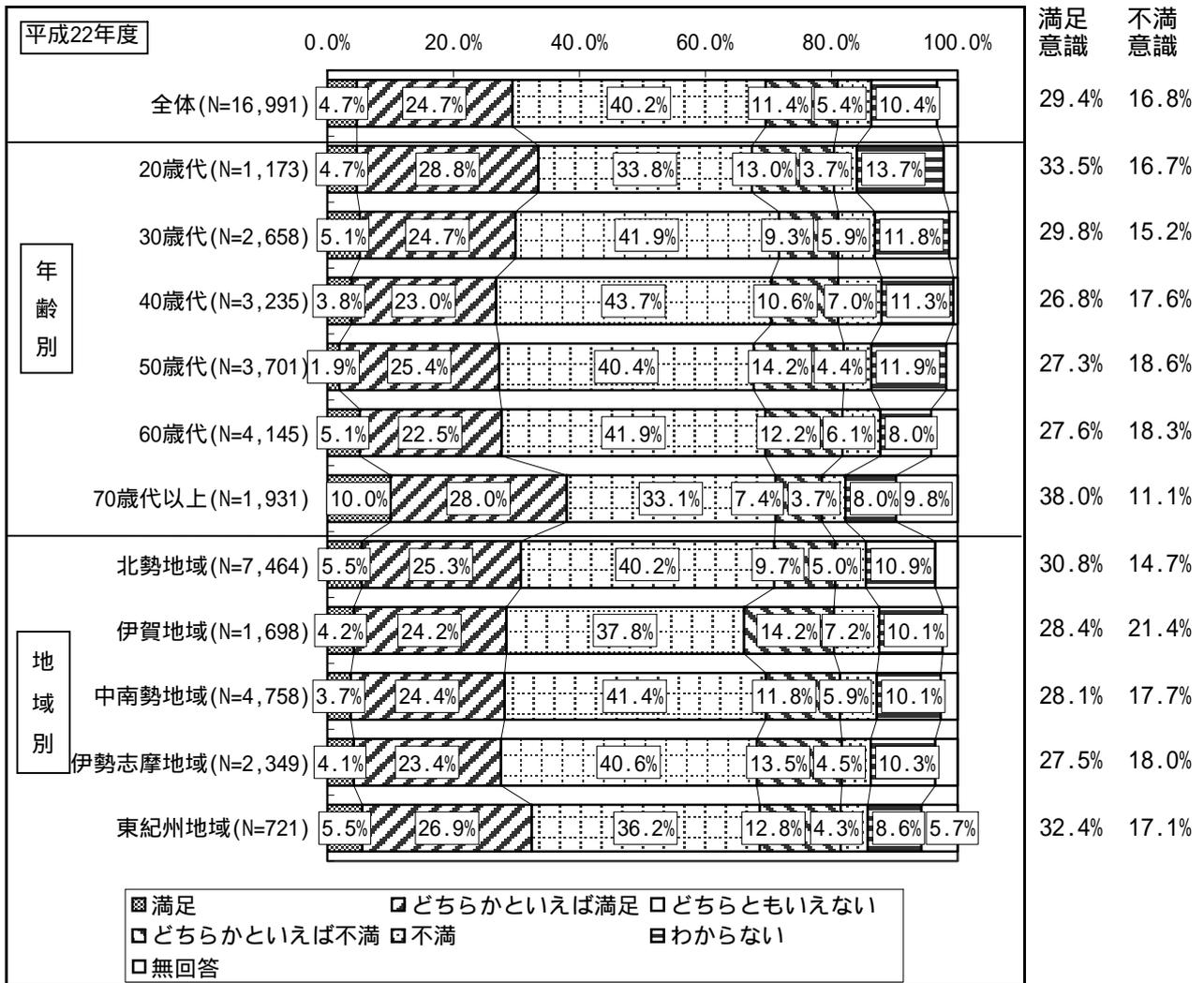
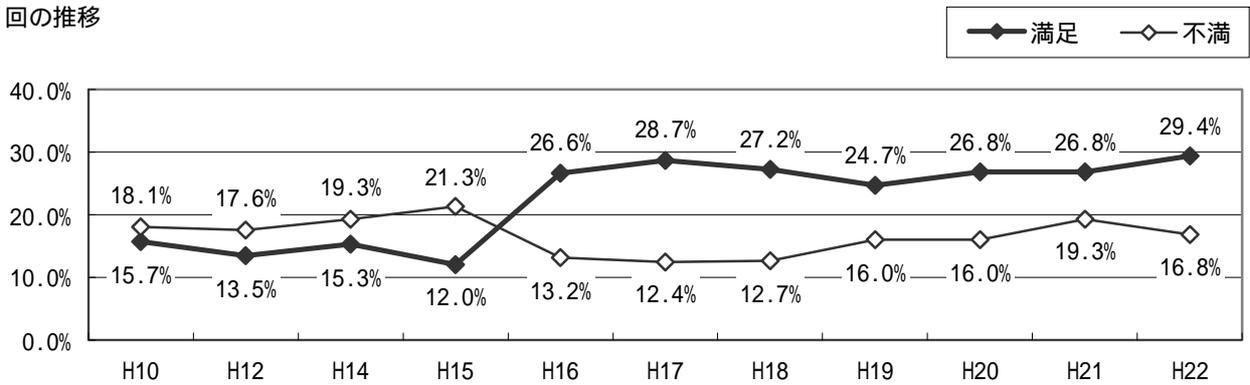
重要意識 (集計資料 p.64)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.65)

11回の推移

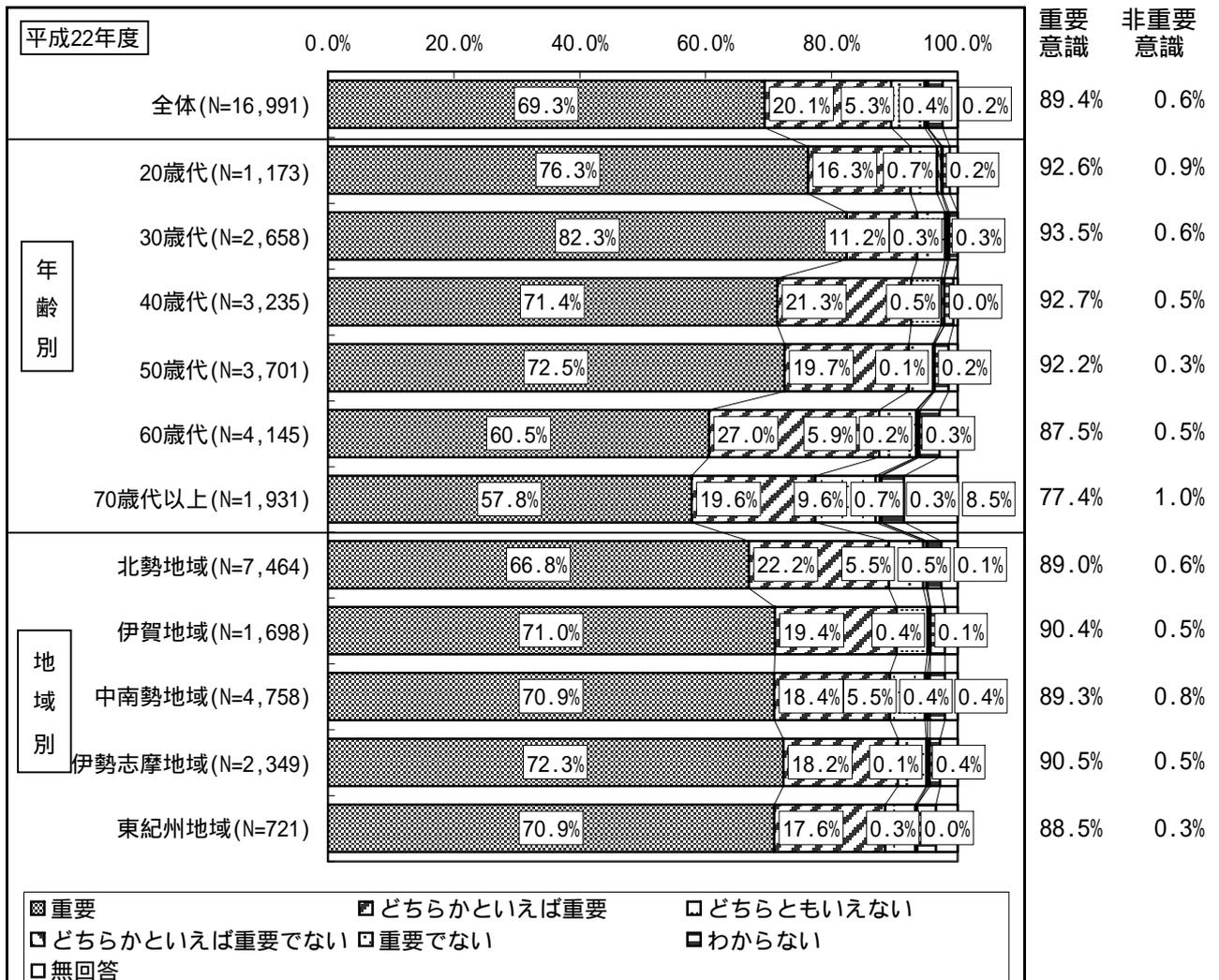
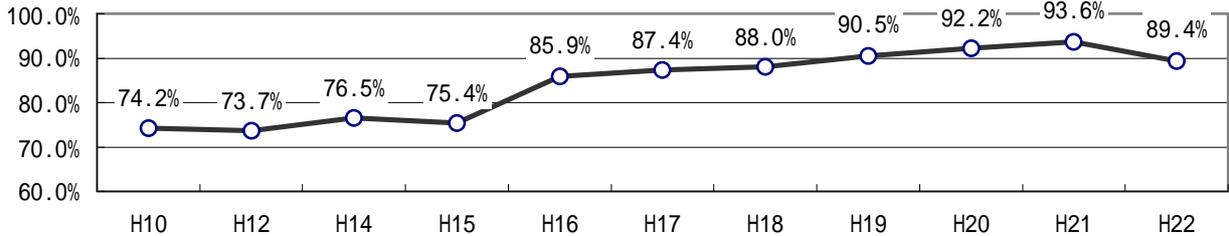


17) 子育て環境

平成 15 年度までの表現	母子保健対策、保育サービスなど子育て環境の整備
平成 16 年度以降の表現	子どもを安心して産み育てられる環境が充実していること。

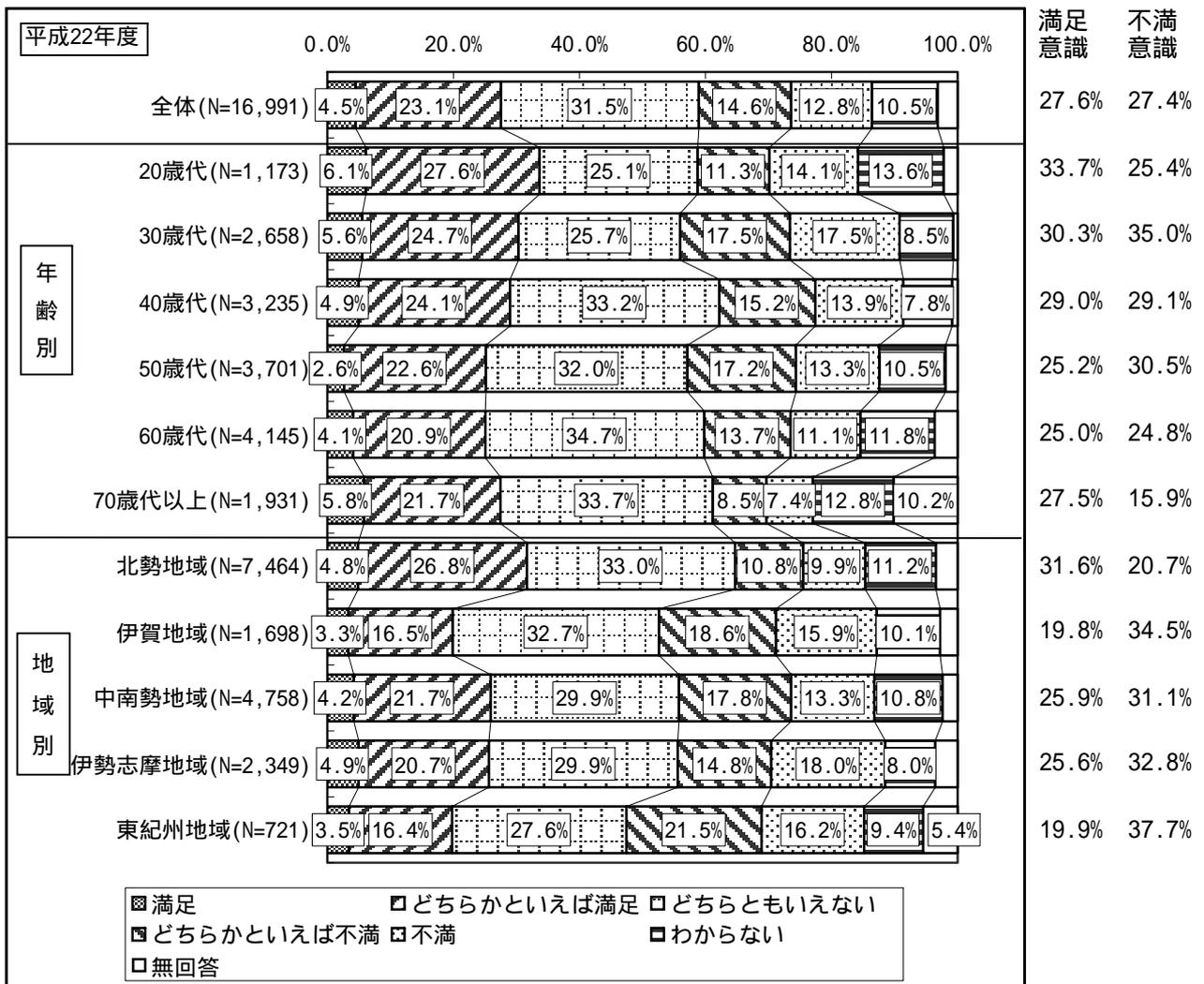
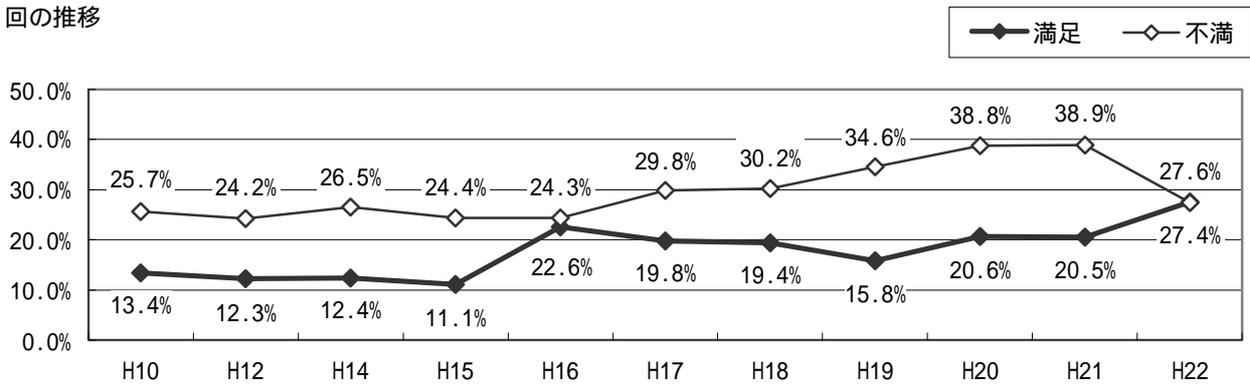
重要意識 (集計資料 p.66)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.67)

11回の推移

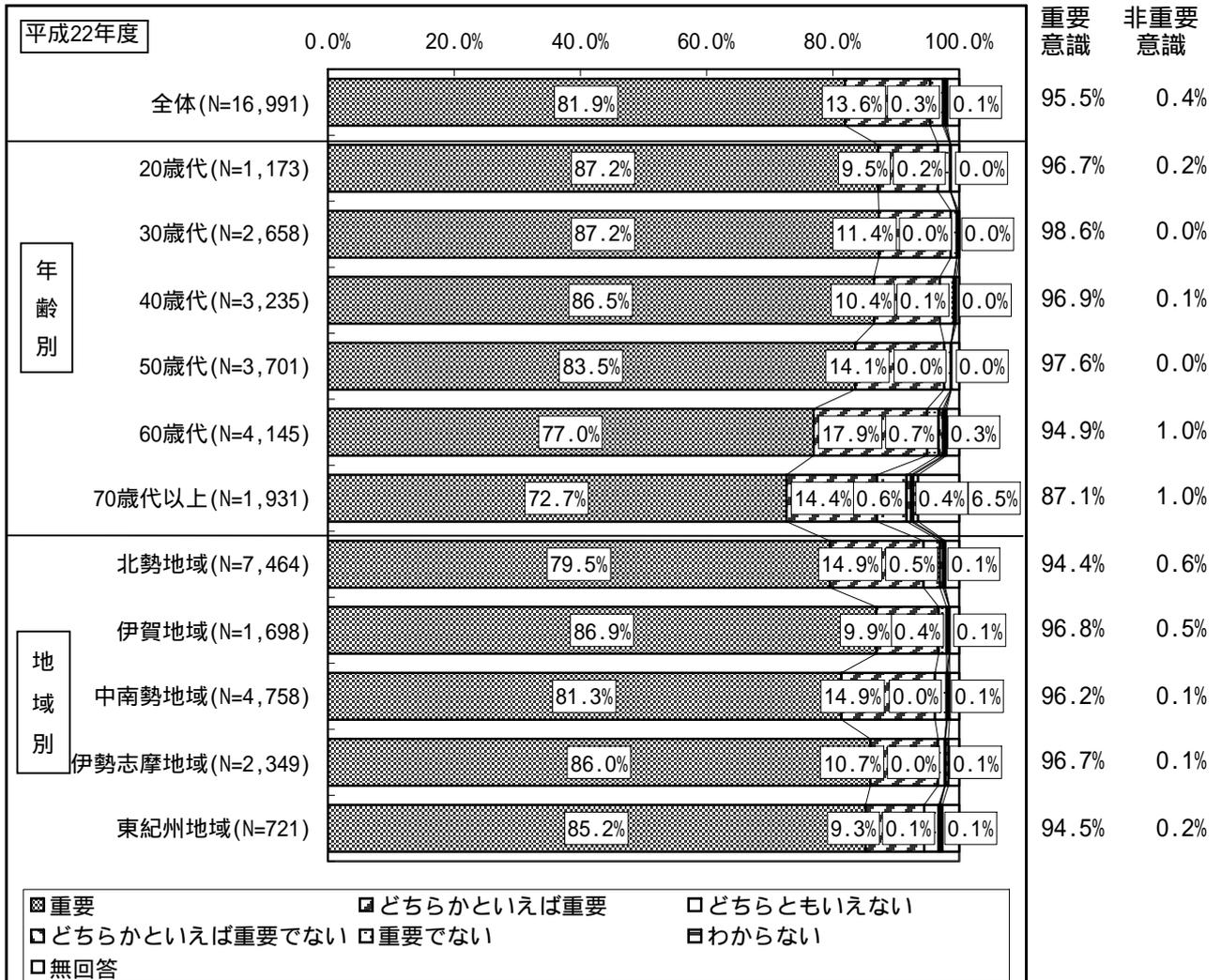
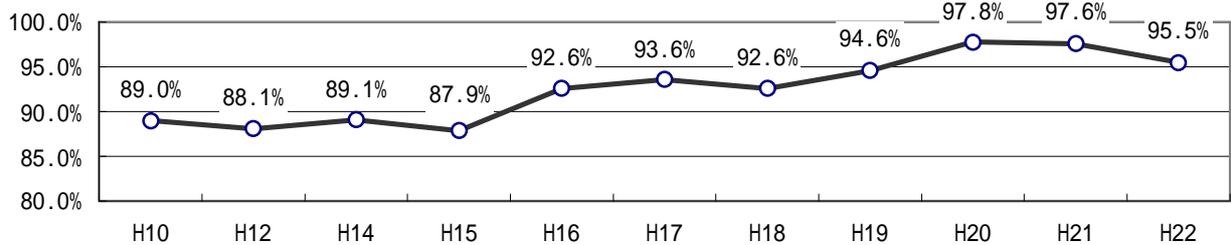


18) 医療体制

平成 15 年度までの表現	病状に応じて、適切な医療が受けられる患者本位の医療体制の確保
平成 16 年度以降の表現	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること。

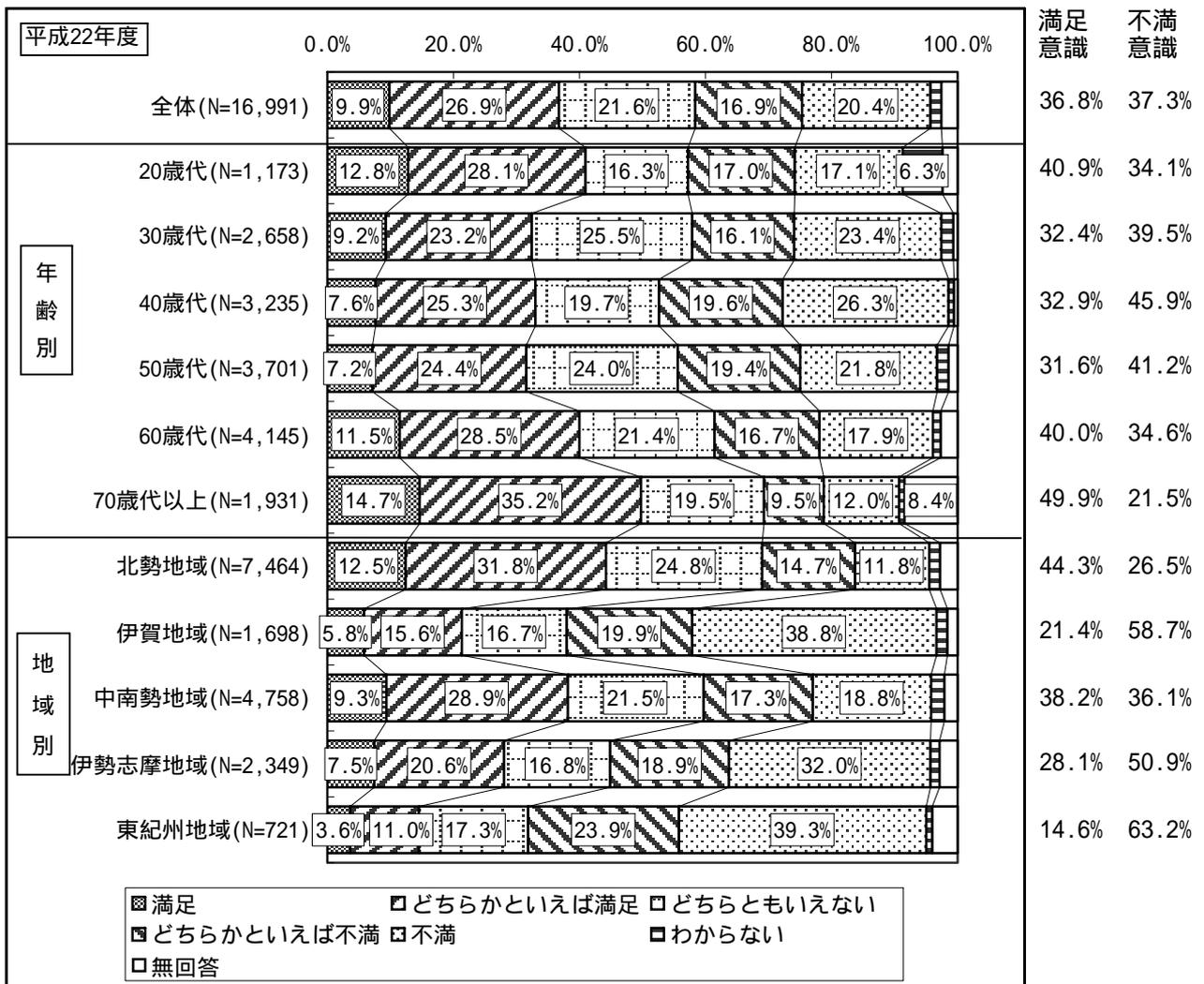
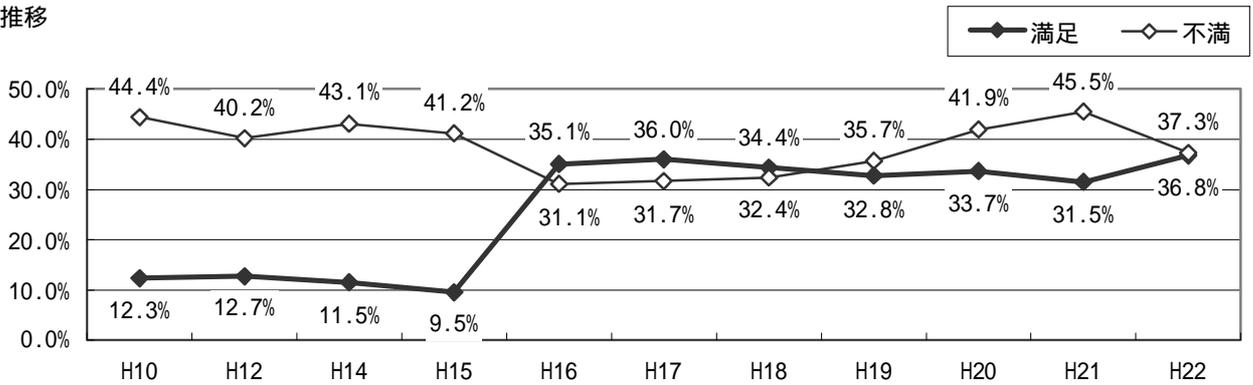
重要意識 (集計資料 p.68)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.69)

11回の推移

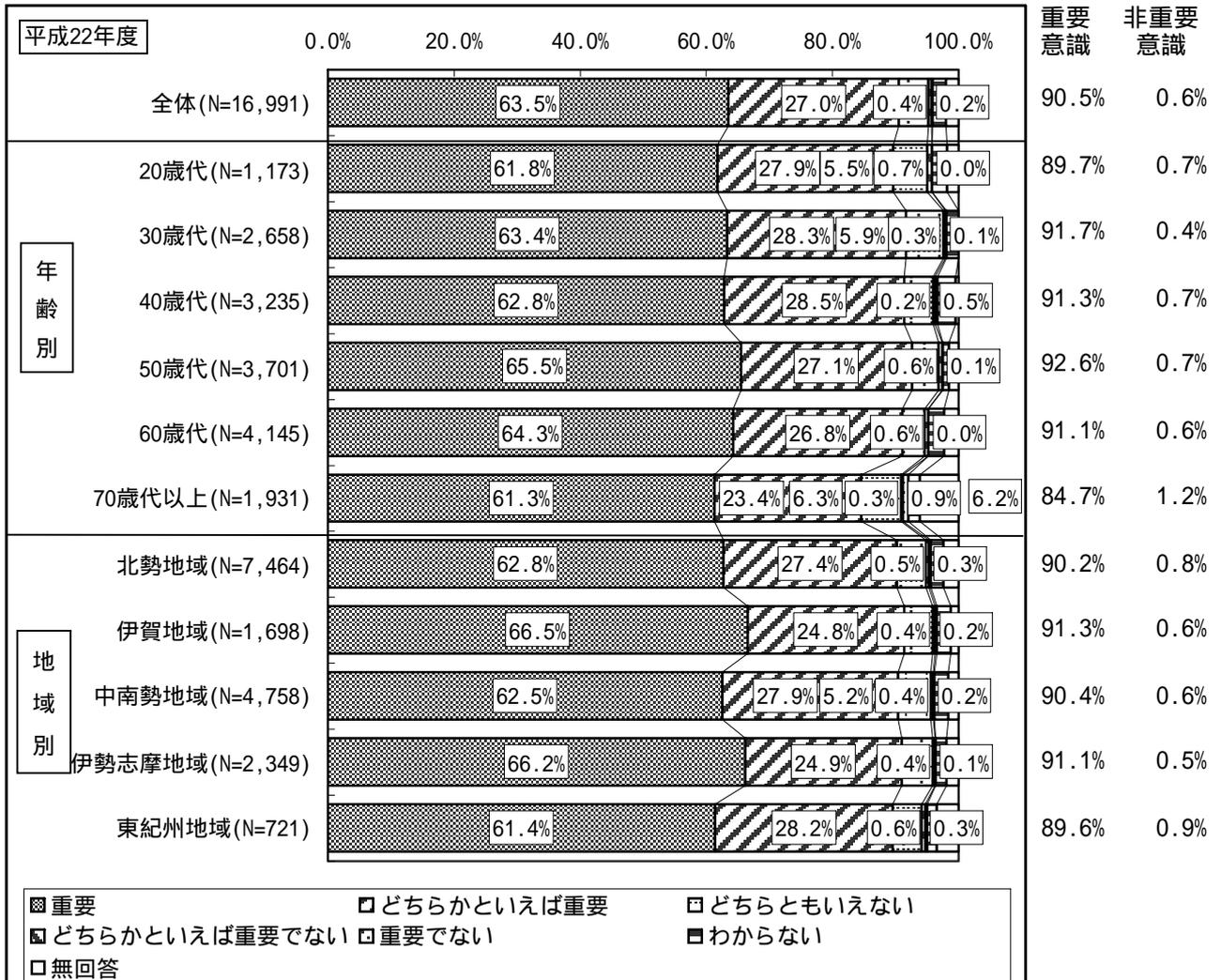
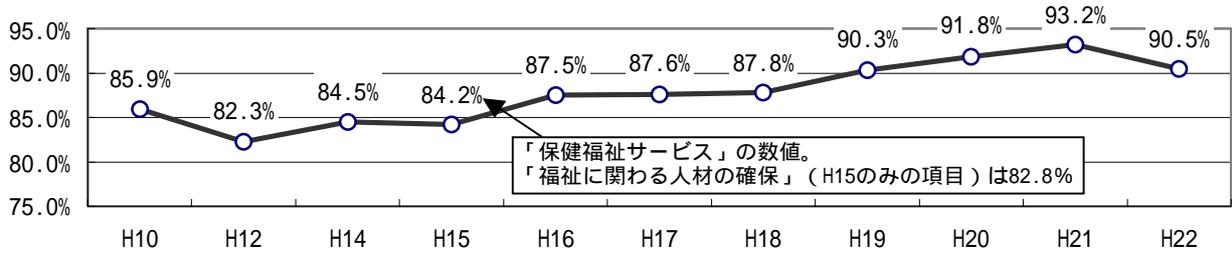


19) 福祉サービス

平成 15 年度までの表現	訪問介護など保健・福祉サービスの提供 看護職員、福祉ボランティア等の保健・医療・福祉や地域福祉活動に携わる人材の確保
平成 16 年度以降の表現	高齢者・障がい者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと。

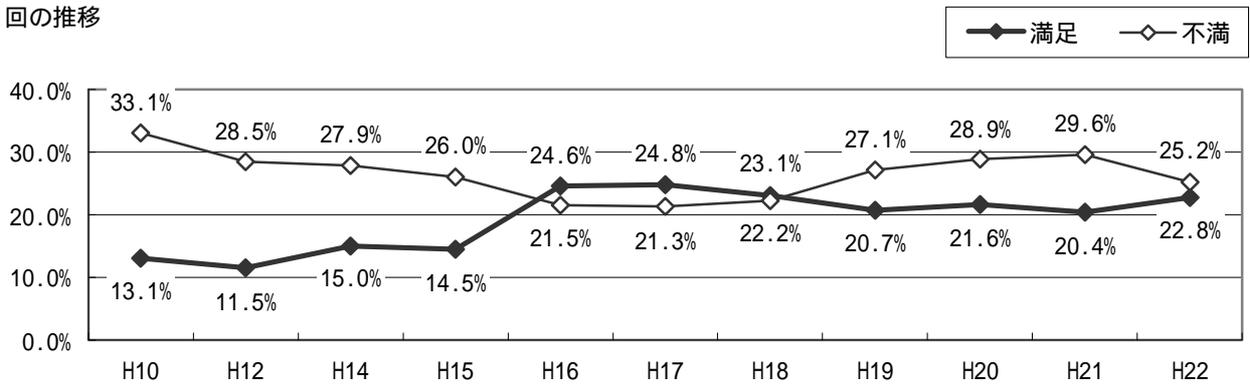
重要意識 (集計資料 p.70)

11 回の推移

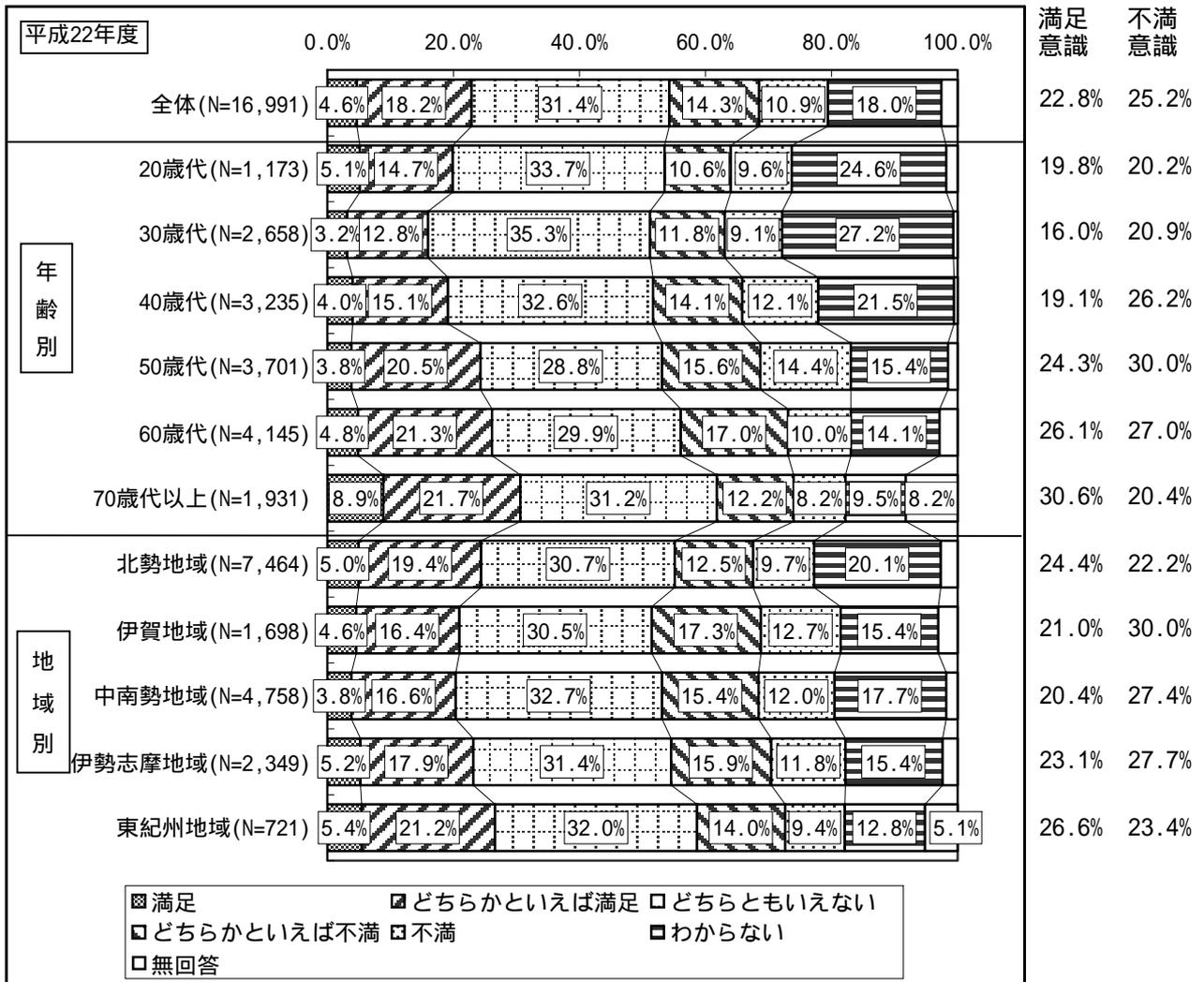


満足意識 (集計資料 p.71)

11回の推移



H15は「保健福祉サービス」の数値。「福祉に関わる人材の確保」(H15のみの項目)の満足意識、不満意識は、9.5%、27.2%

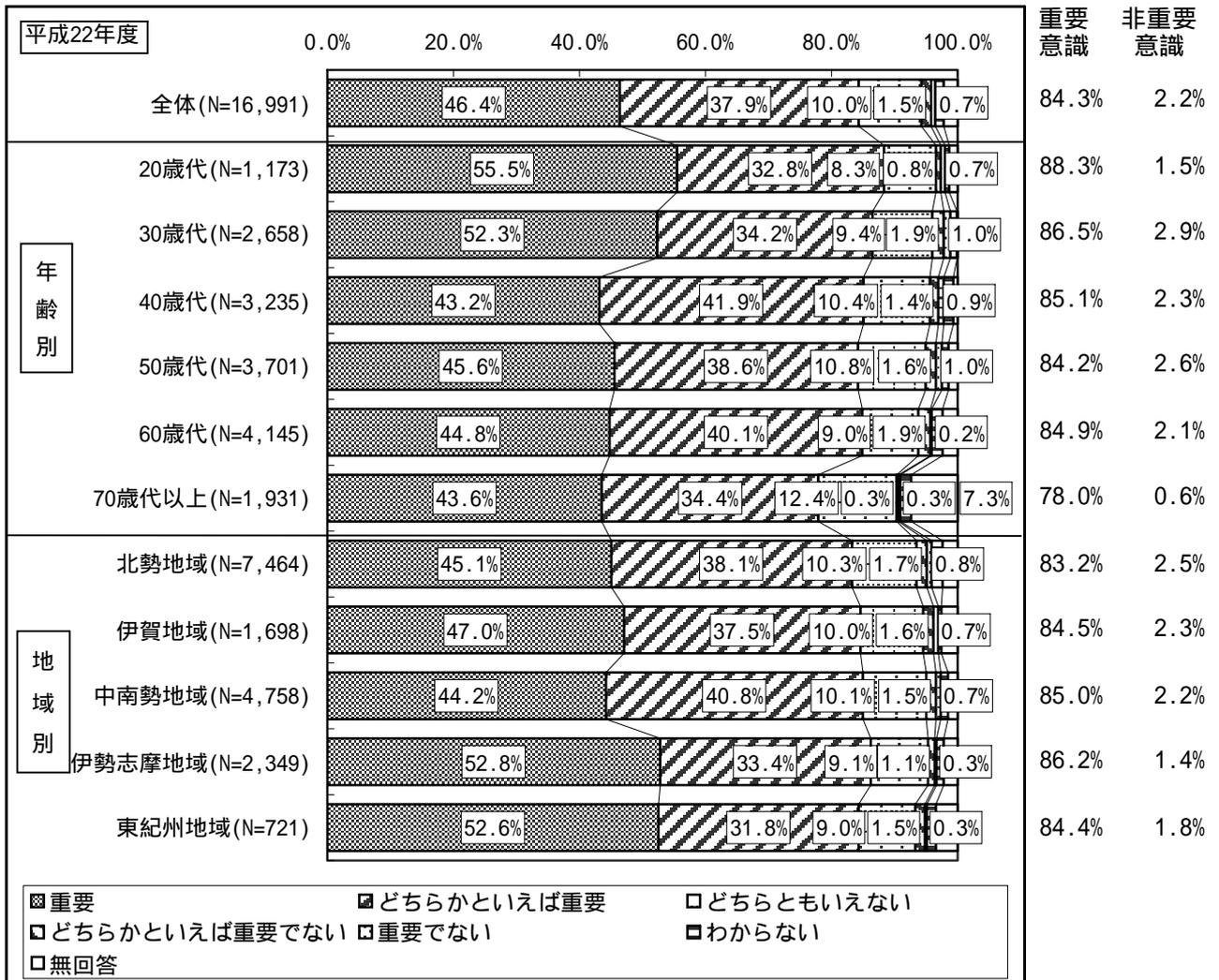
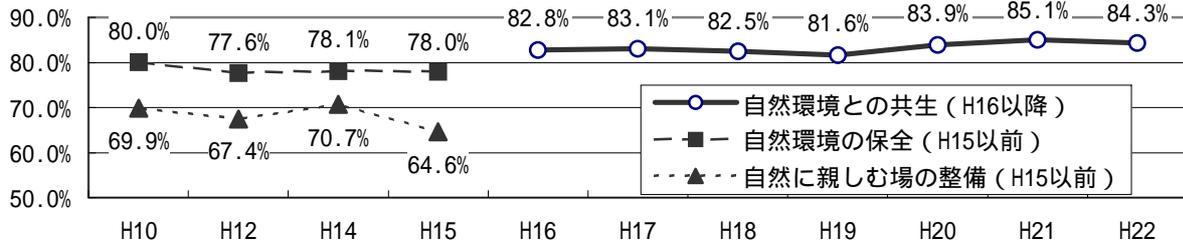


20) 自然環境との共生

平成 15 年度までの表現	自然環境の保全 ..... 自然に親しむ場の整備
平成 16 年度以降の表現	身近に触れあうことのできる豊かな自然環境があること。

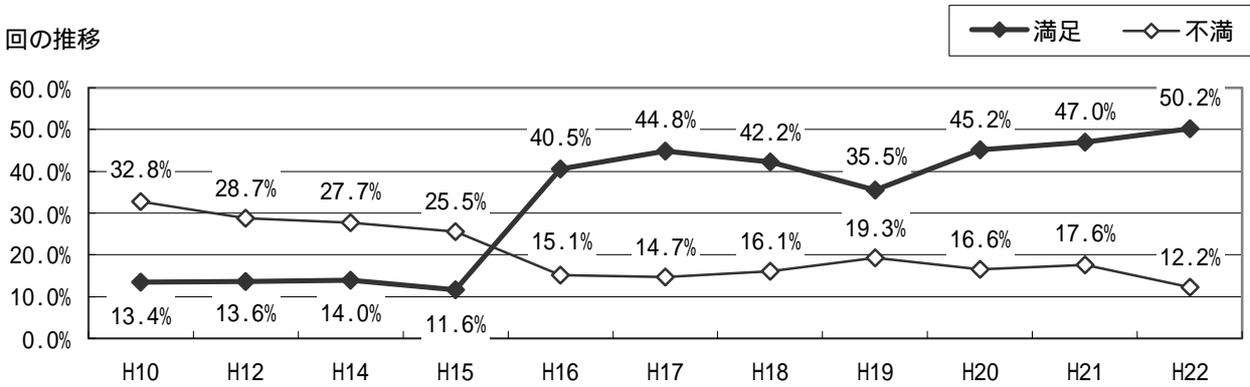
重要意識 (集計資料 p.72)

11 回の推移



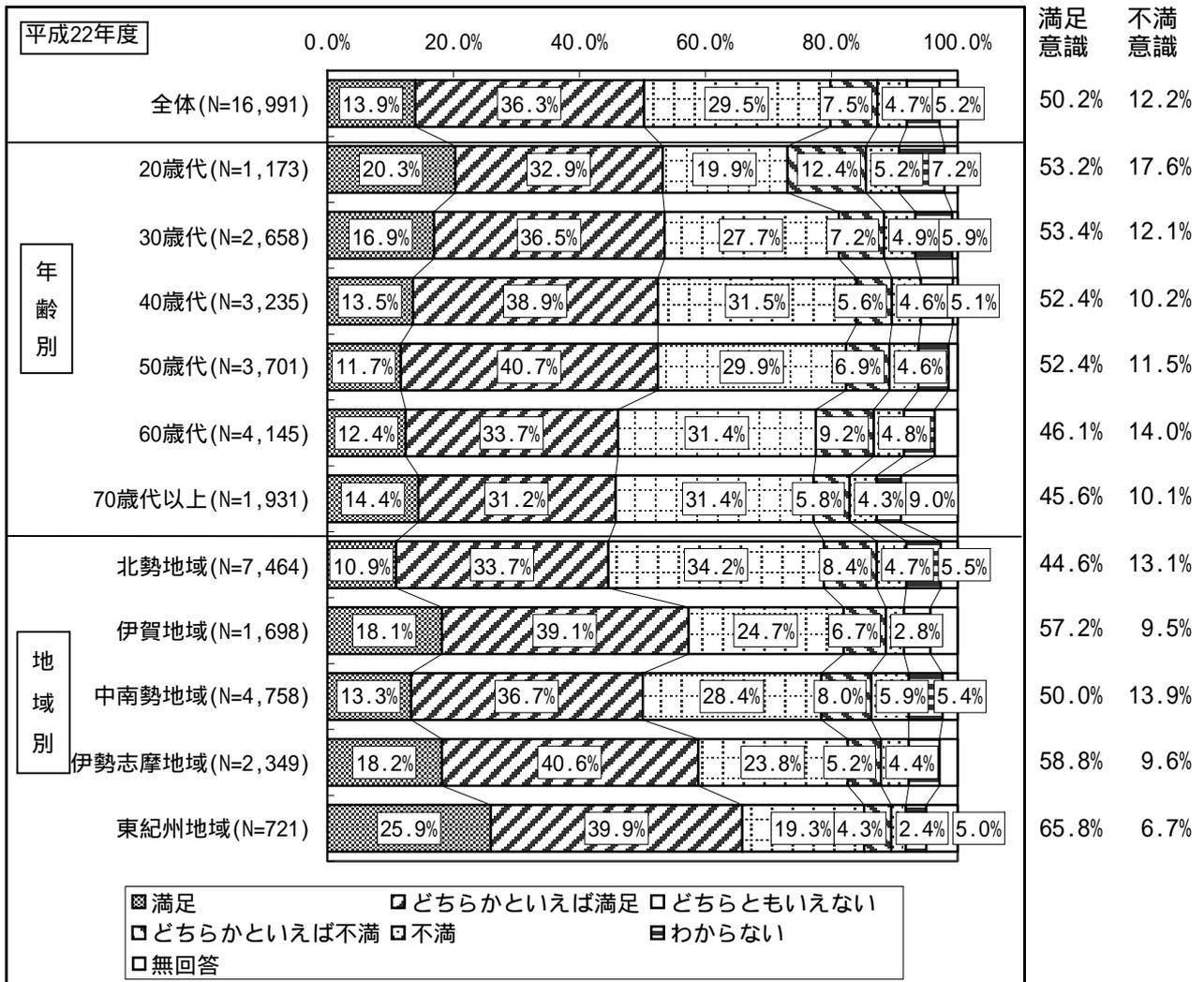
満足意識 (集計資料 p.73)

11回の推移



H15以前は「自然環境の保全」の値。「自然に親しむ場の整備」の数値は以下の通り。

	H10	H12	H14	H15
満足意識	17.4%	15.4%	18.0%	14.7%
不満足意識	26.7%	25.6%	23.8%	21.7%

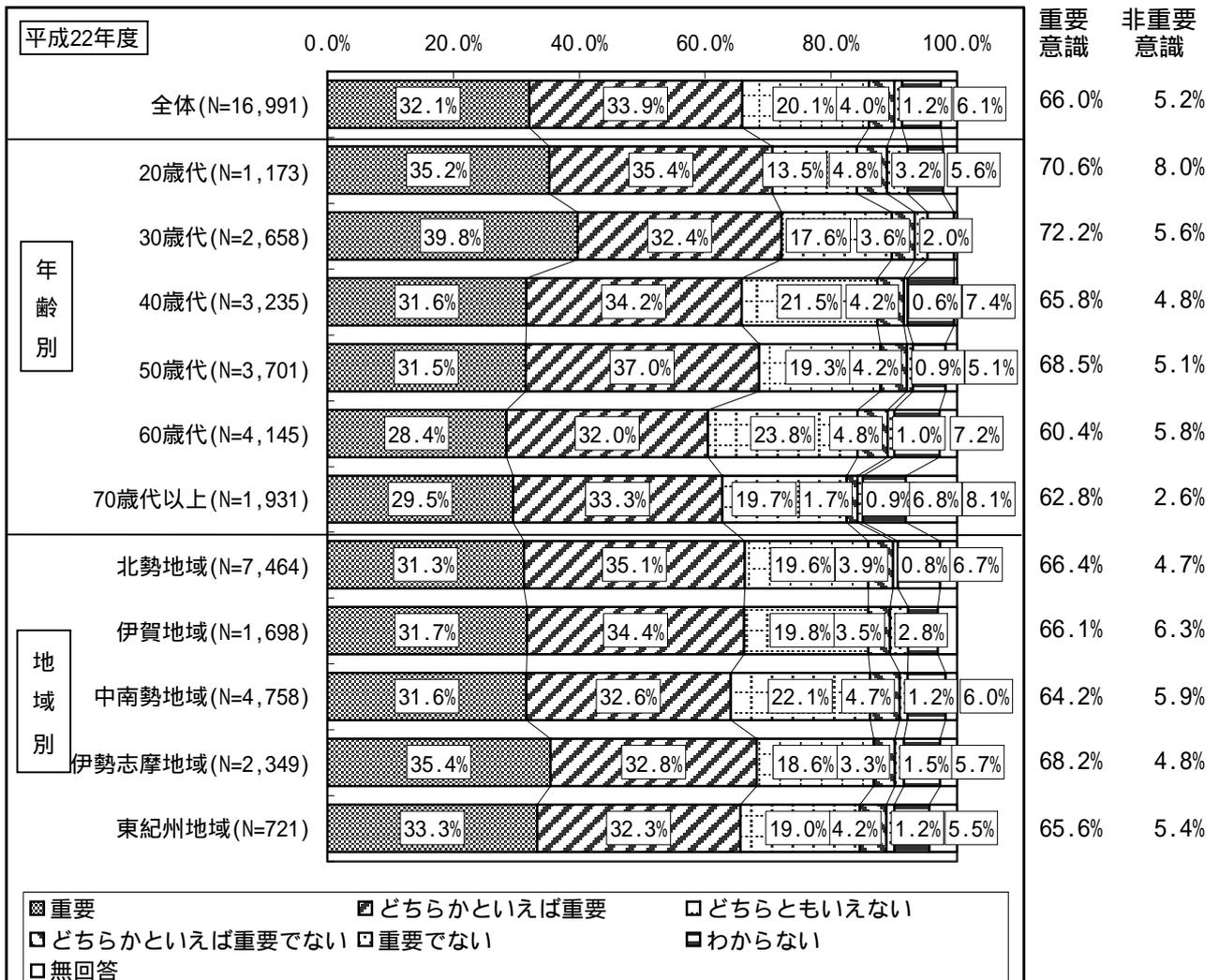
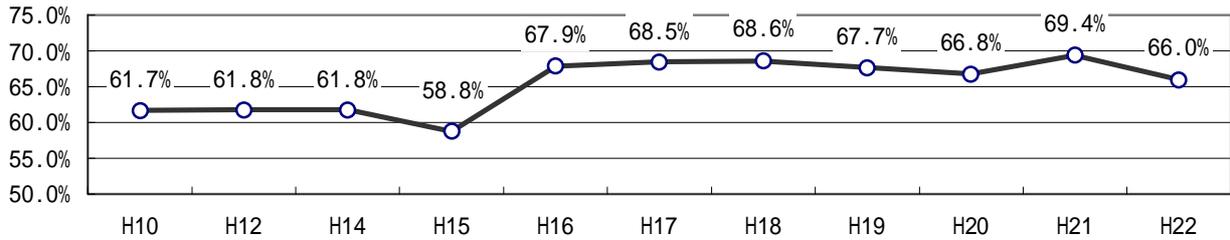


21) 希少な生物

平成 15 年度までの表現	希少な野生生物の保護
平成 16 年度以降の表現	希少な野生動物や植物が保護されていること。

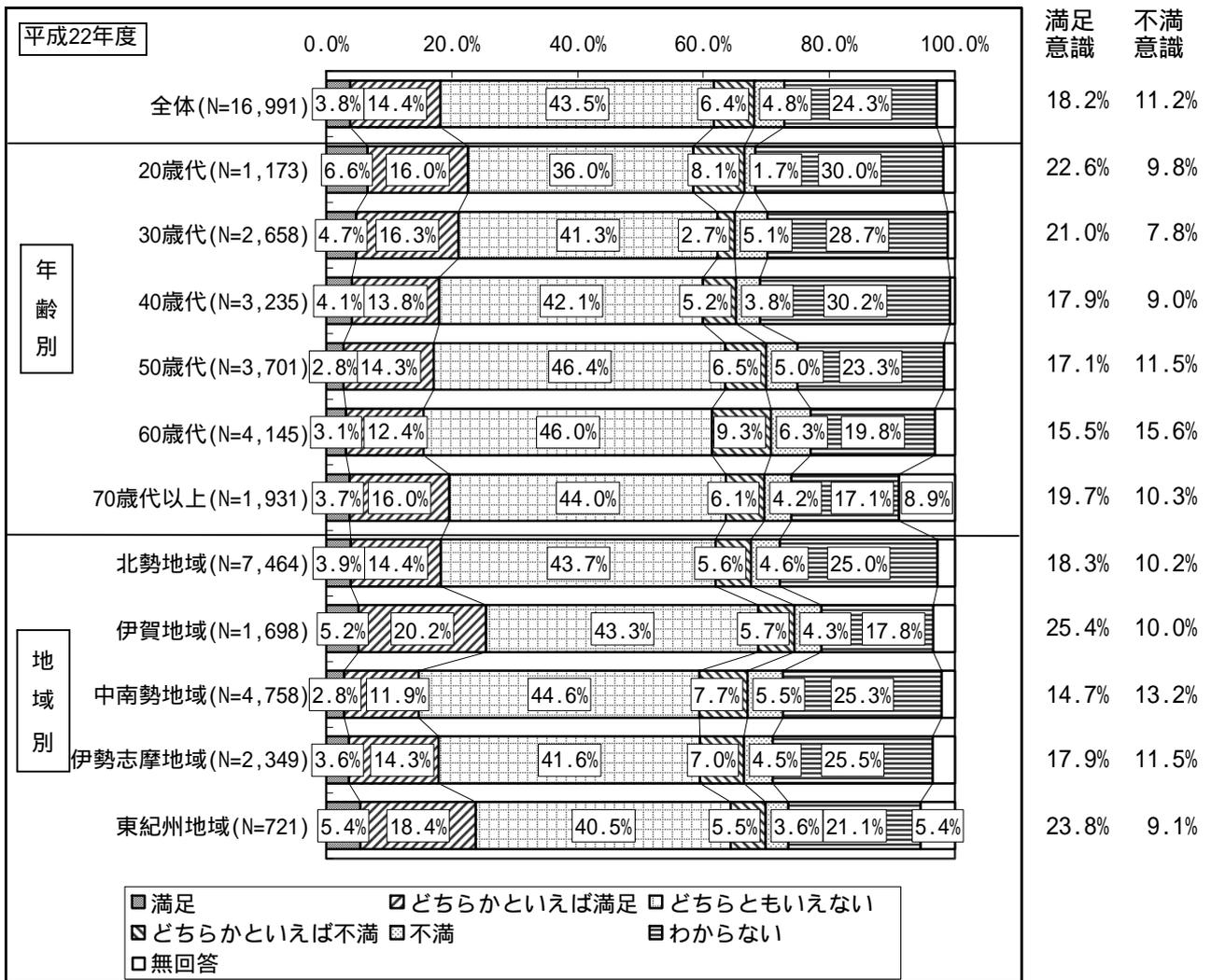
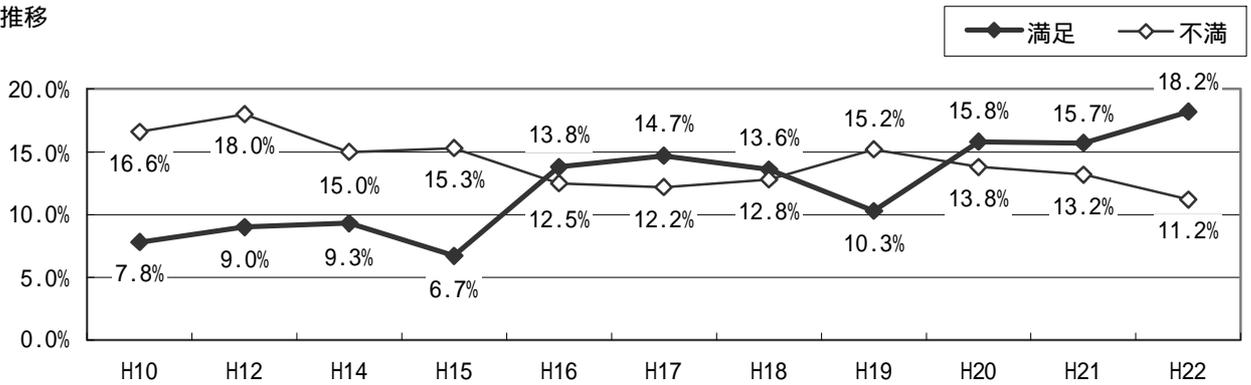
重要意識 (集計資料 p.74)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.75)

11回の推移

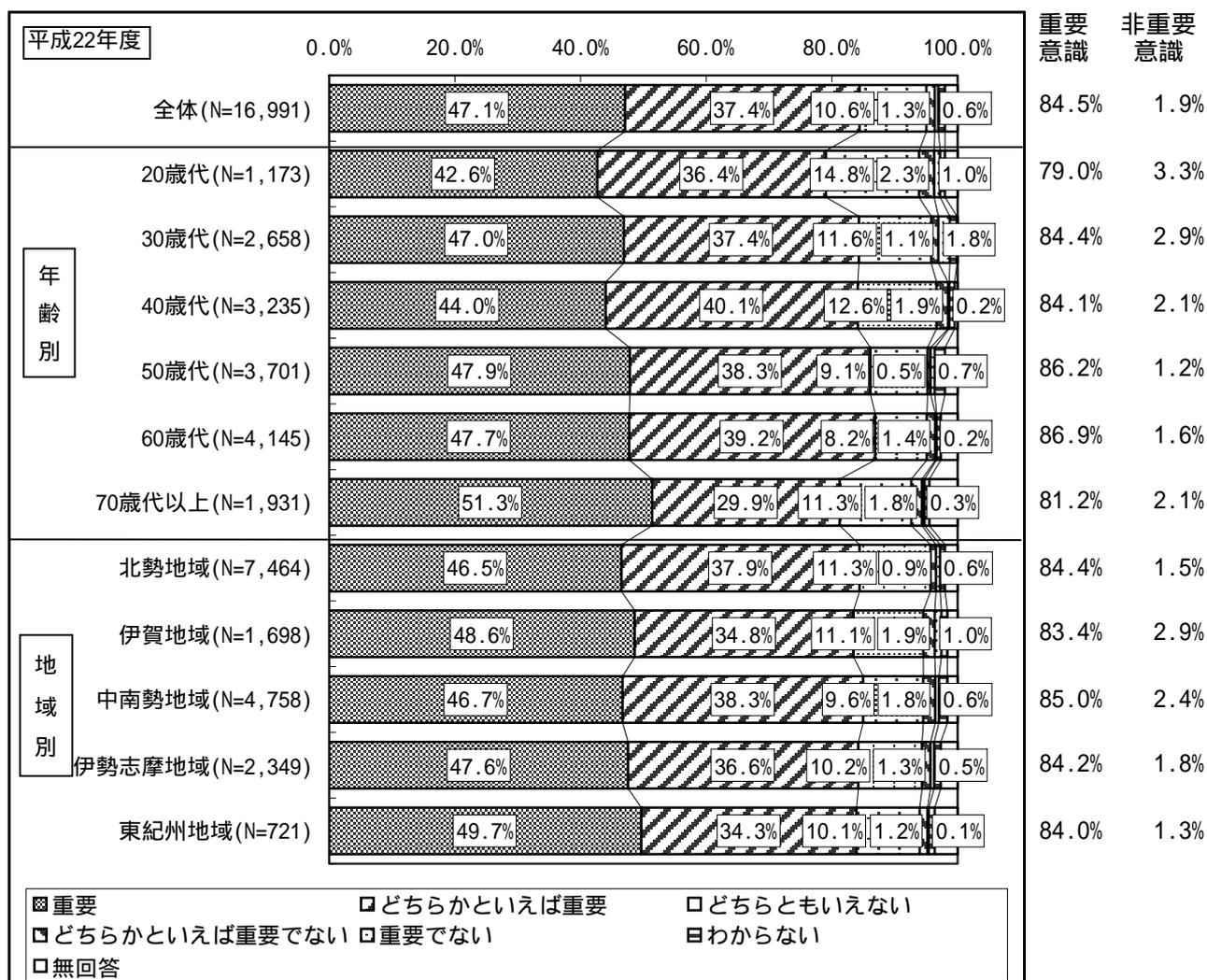
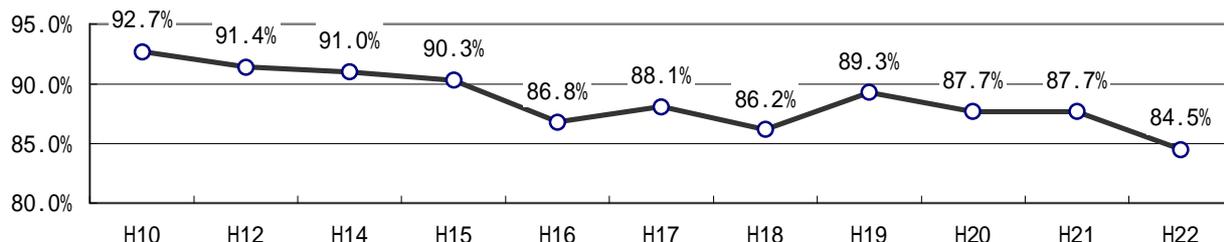


22) ごみの減量

平成 15 年度までの表現	ごみの減量化
平成 16 年度以降の表現	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。

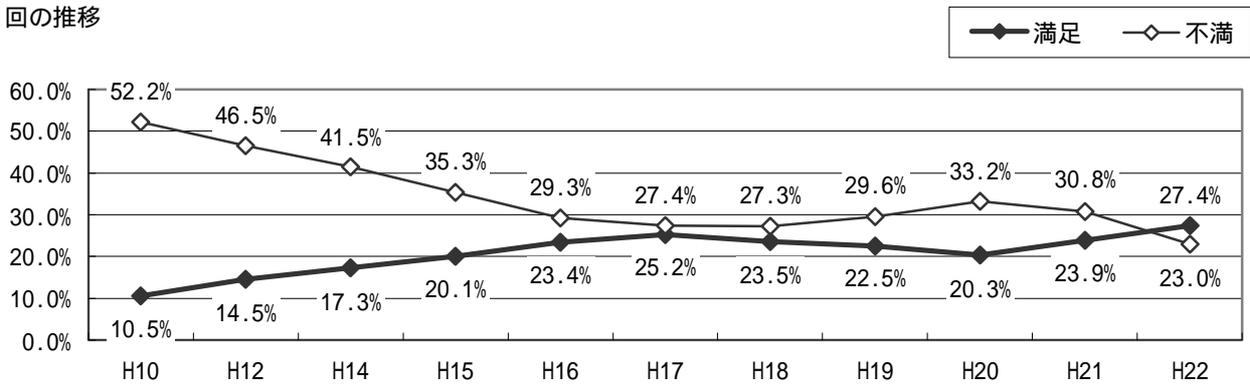
重要意識 (集計資料 p.76)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.77)

11回の推移

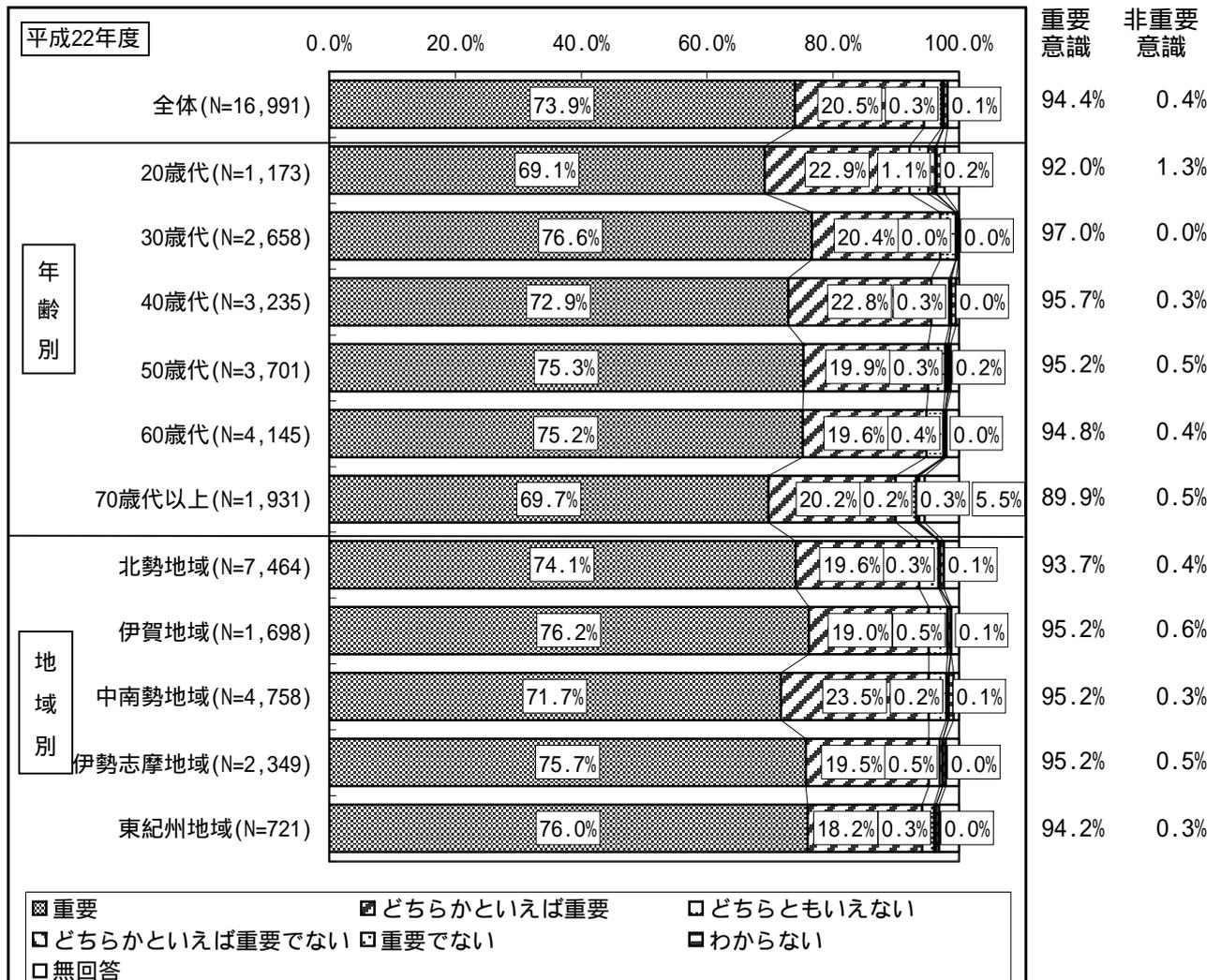
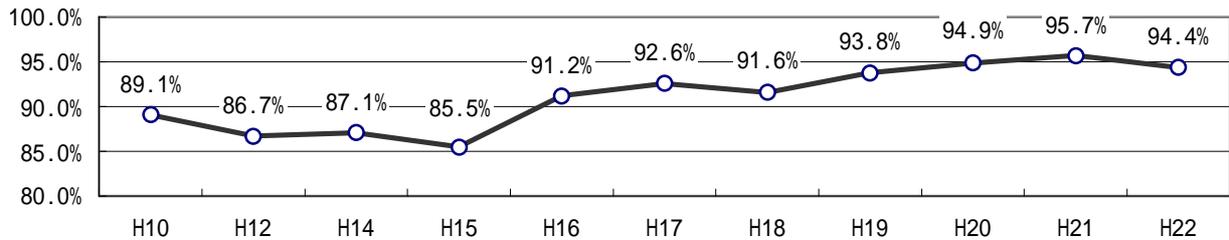


23) きれいな空気

平成 15 年度までの表現	大気汚染防止対策の強化
平成 16 年度以降の表現	空気が汚染されておらず、きれいであること。

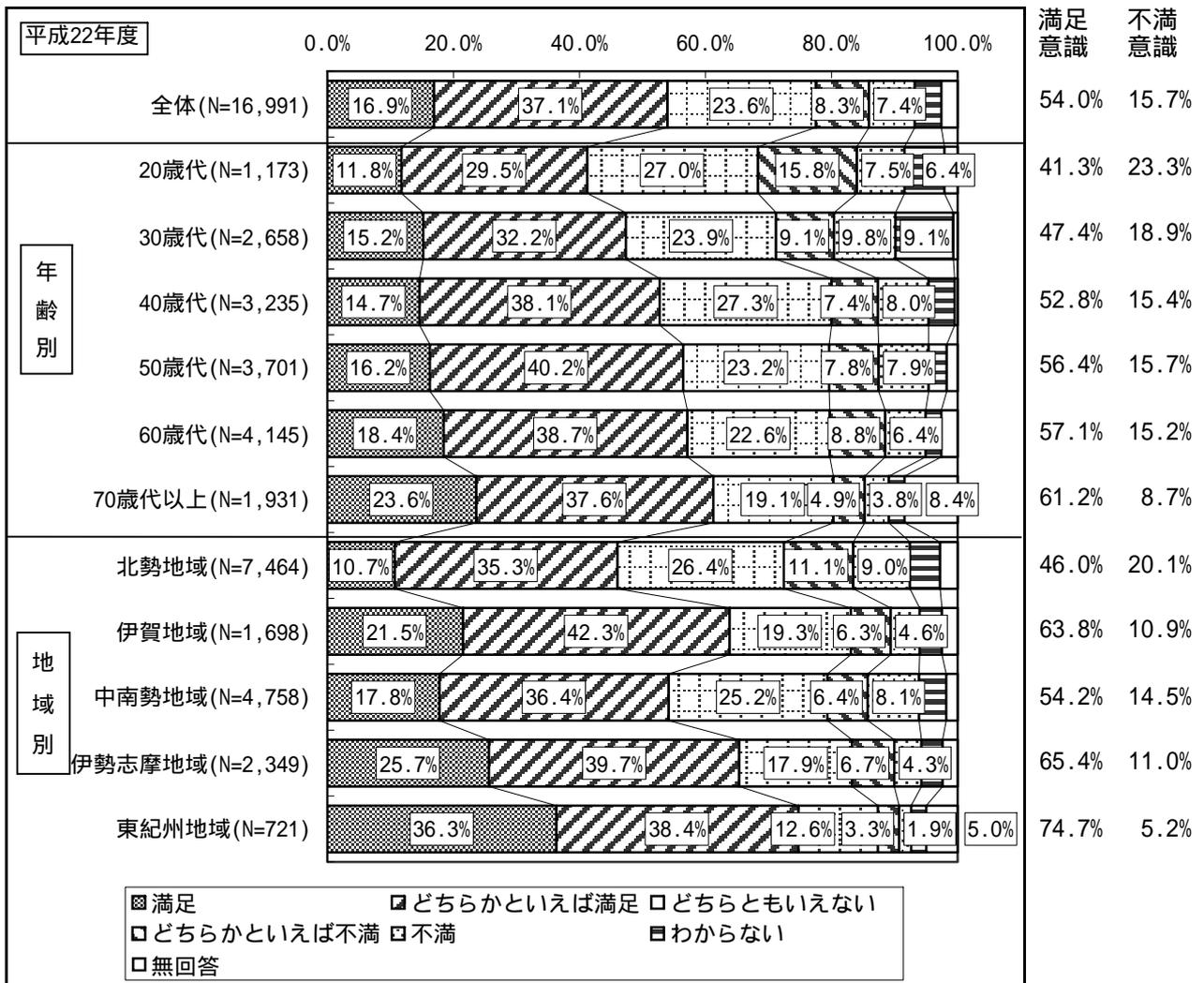
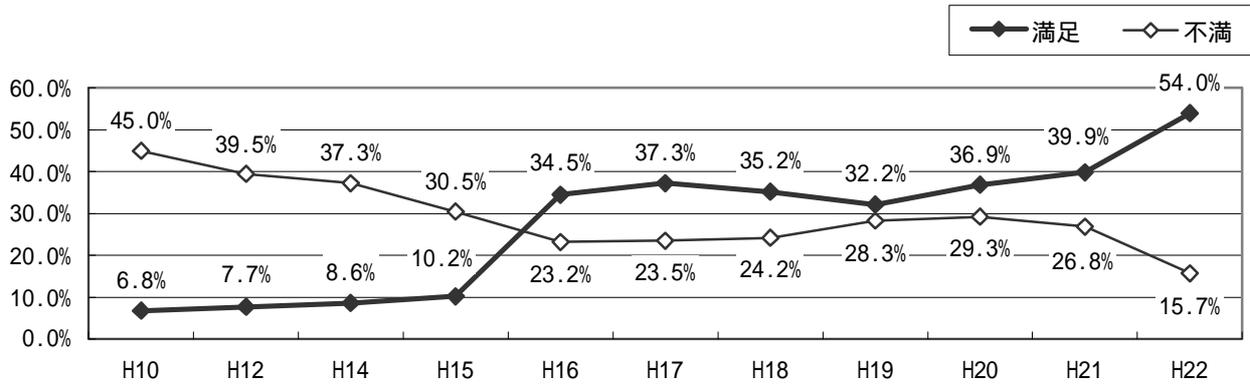
重要意識 (集計資料 p.78)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.79)

11回の推移

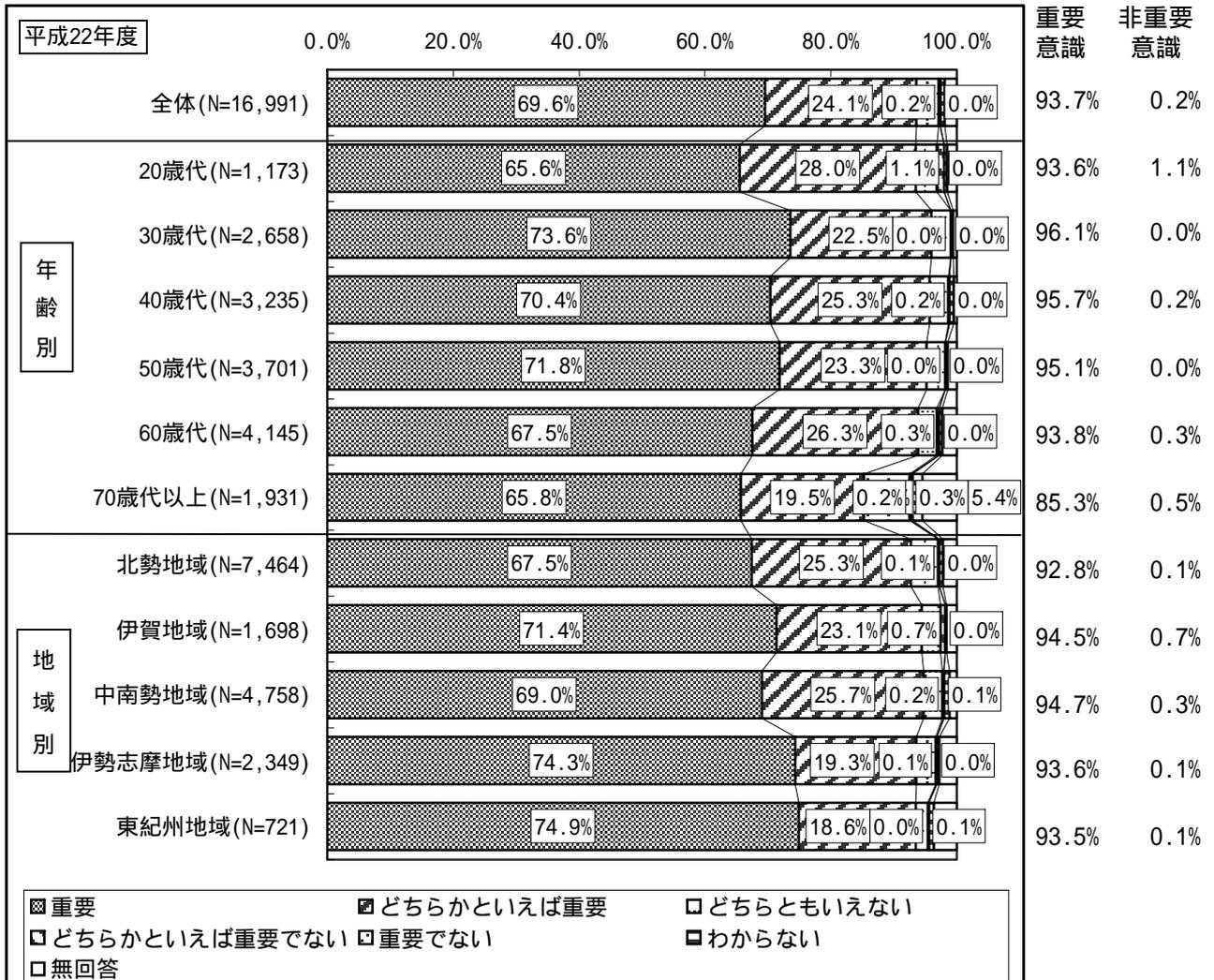
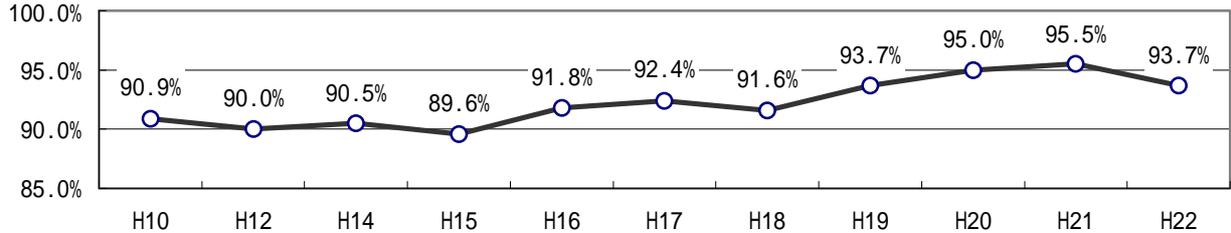


24) 川や海の水質

平成 15 年度までの表現	川や海の水質浄化
平成 16 年度以降の表現	川や海などの水が汚染されておらず、きれいであること。

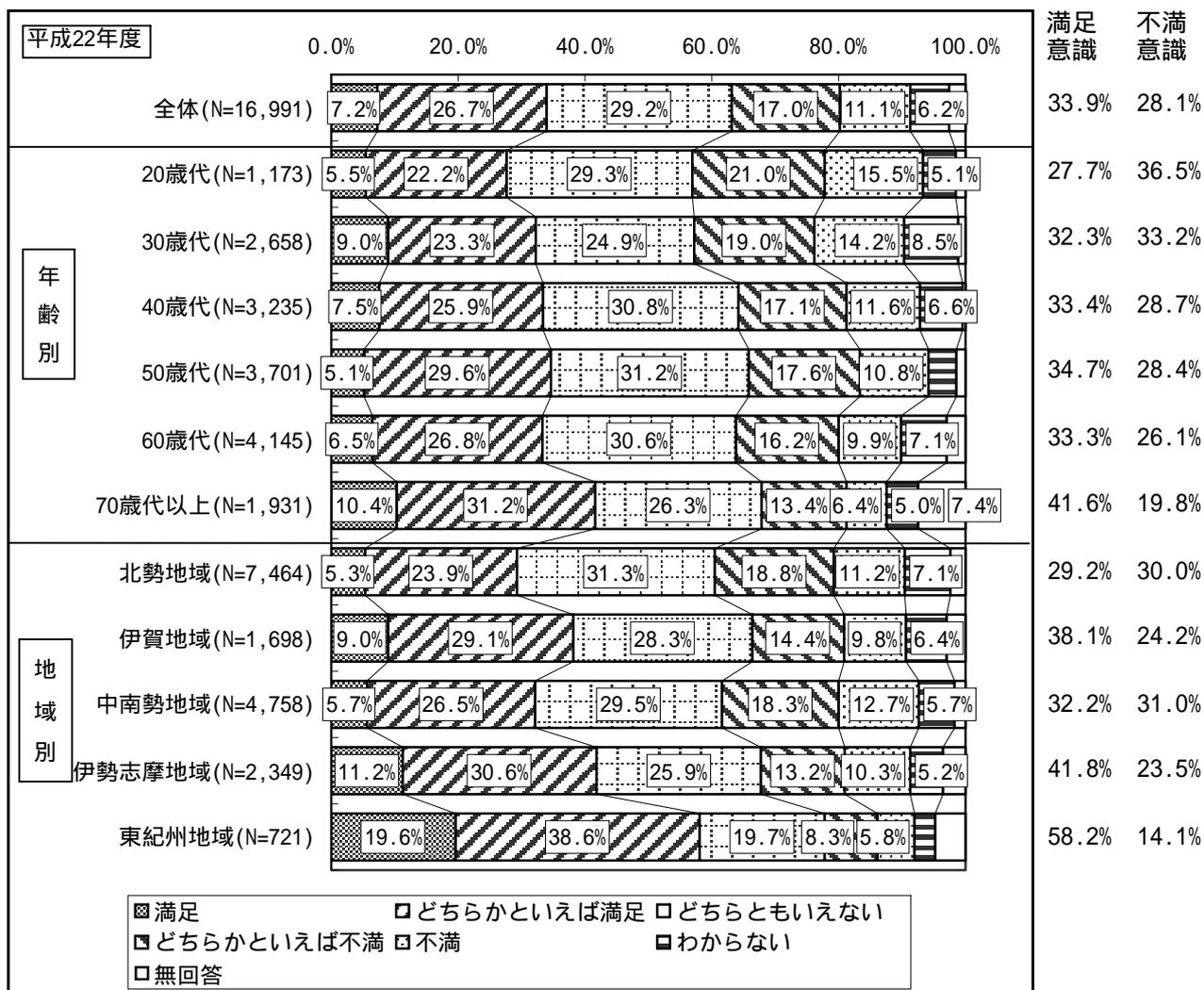
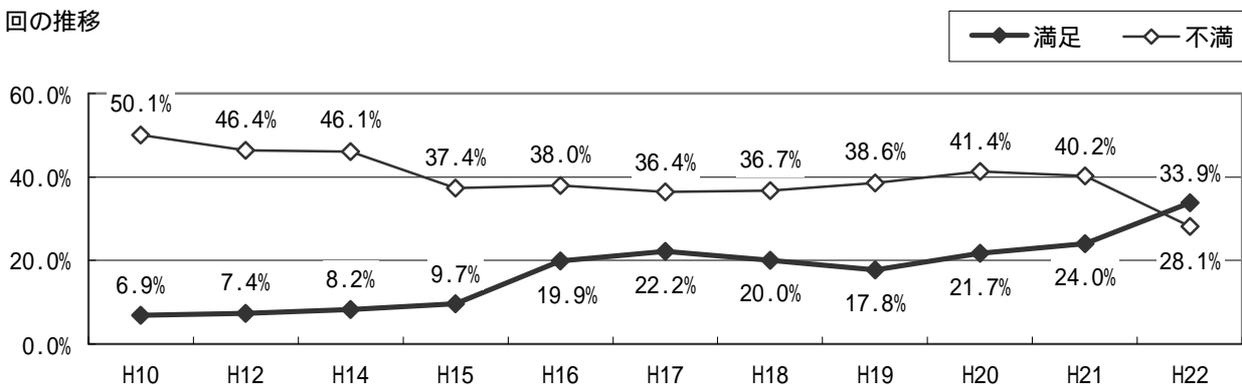
重要意識 (集計資料 p.80)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.81)

11回の推移



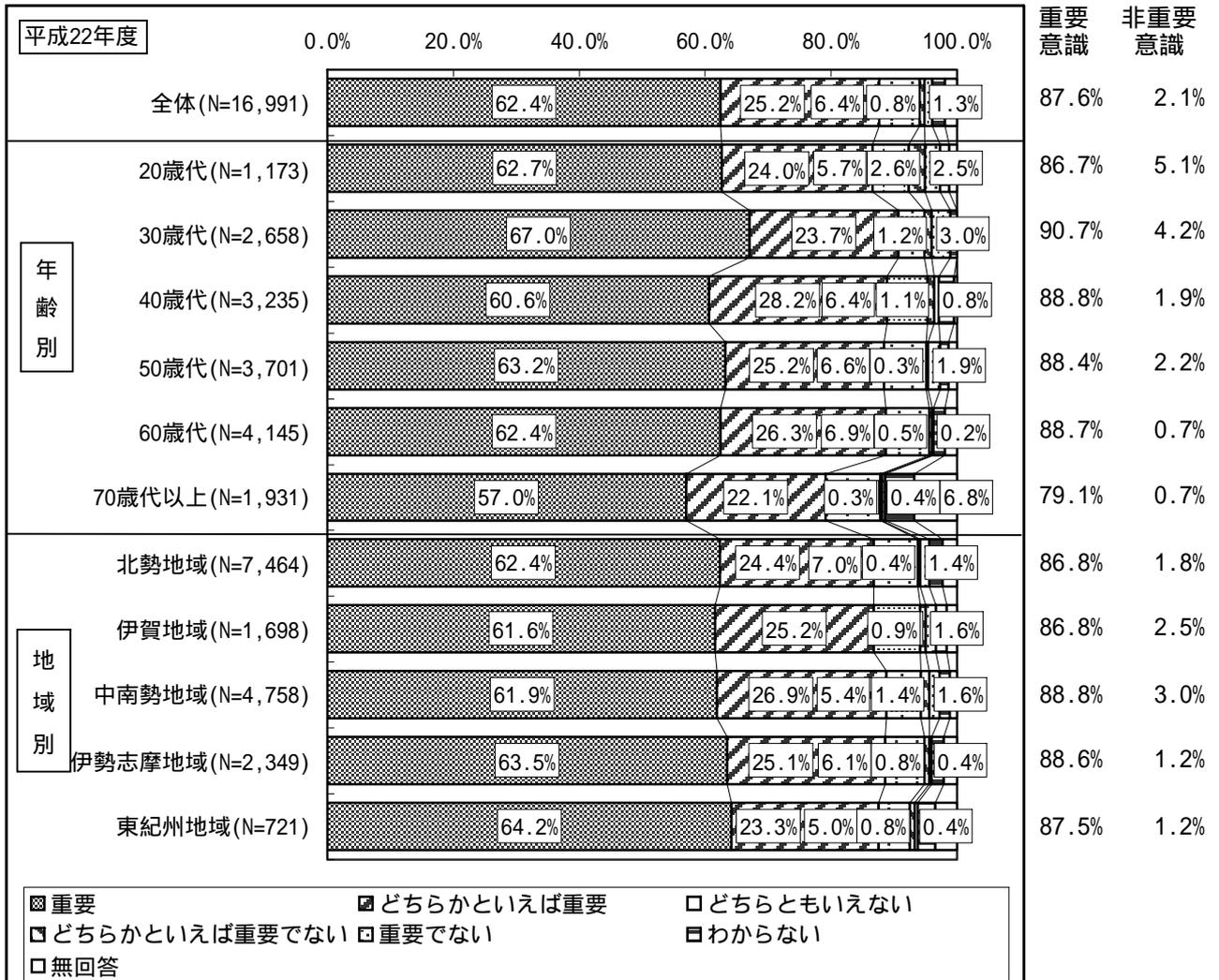
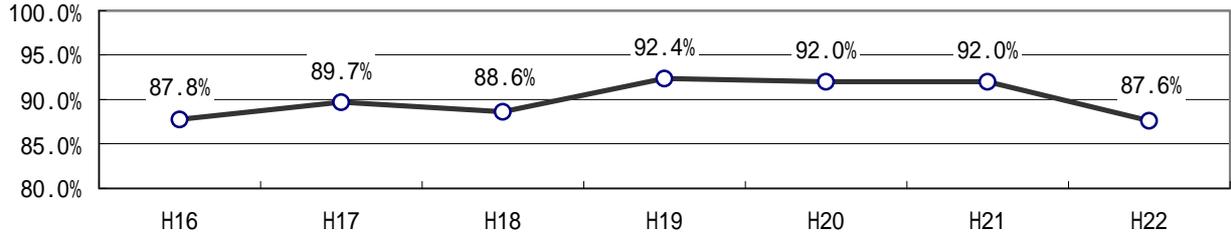
25) 地球温暖化防止

平成16年度に追加された項目

温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスについて、企業や家庭からの排出が抑えられたり、森林による吸収が高められていること。

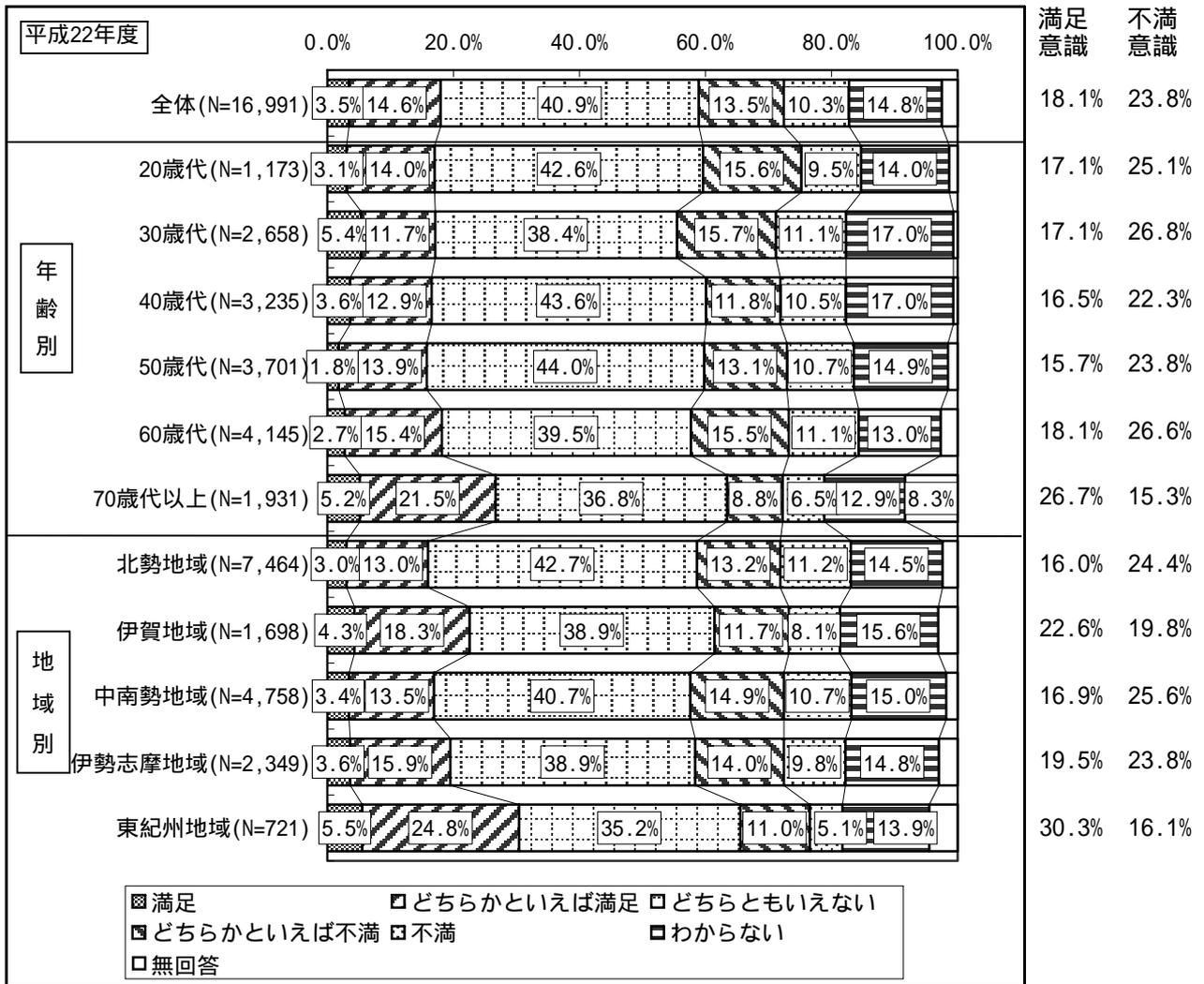
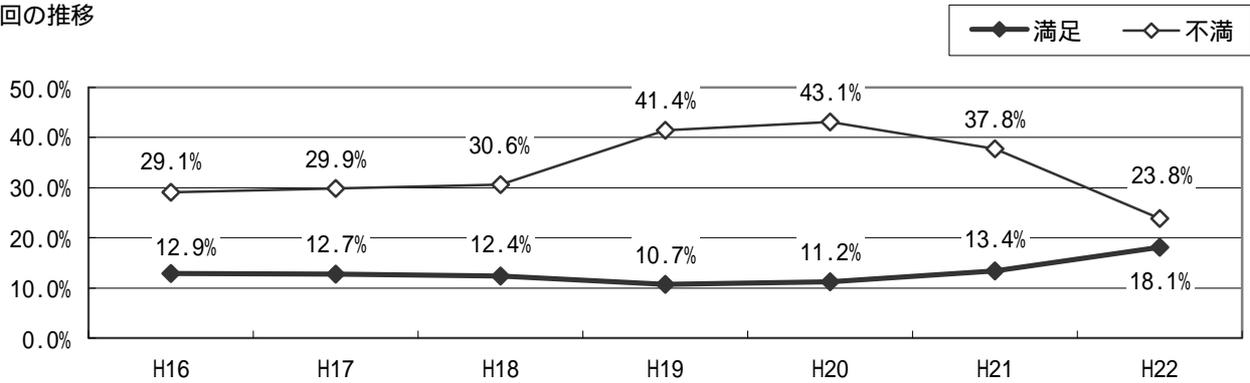
重要意識 (集計資料 p.82)

7回の推移



満足意識 (集計資料 p.83)

7回の推移

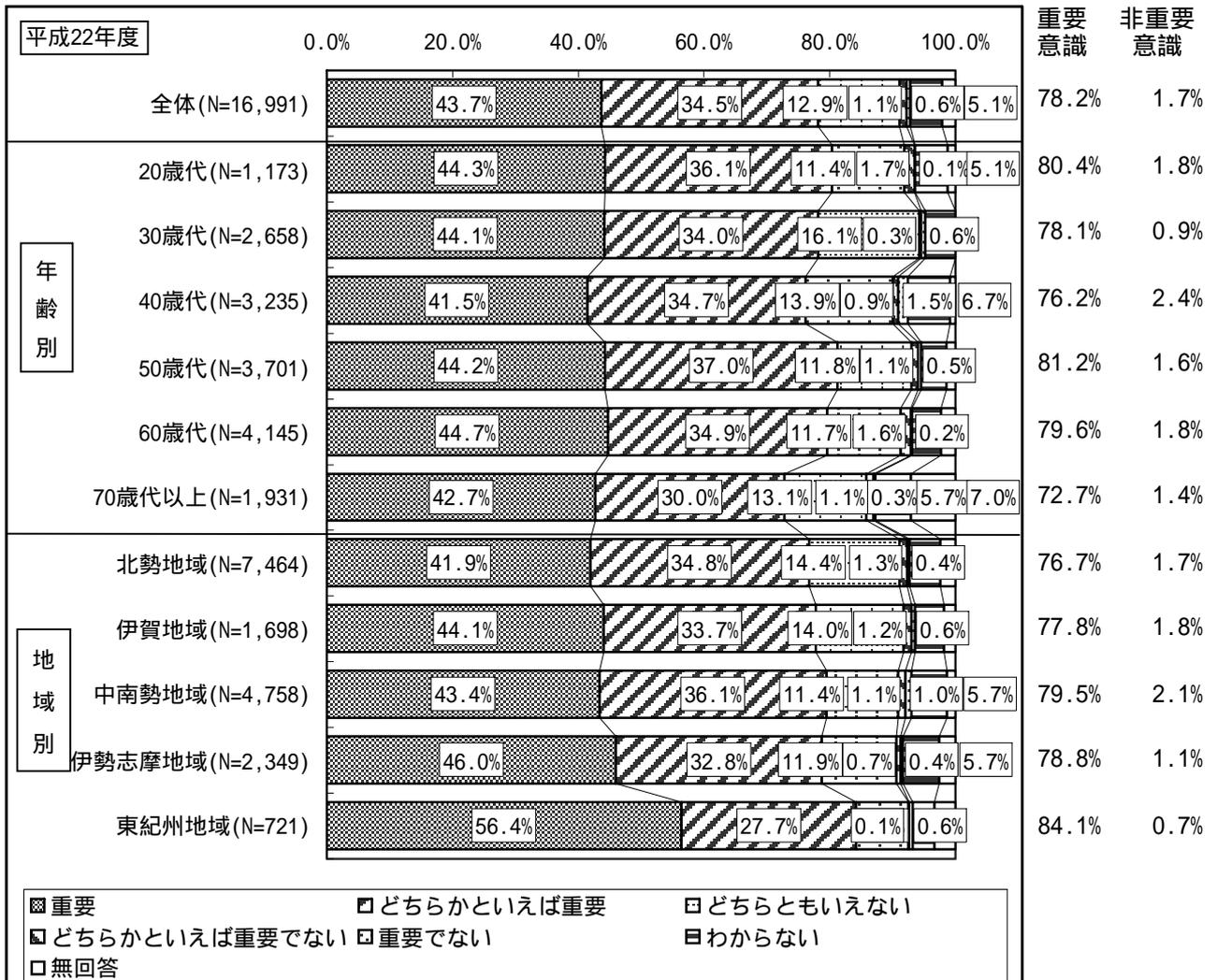
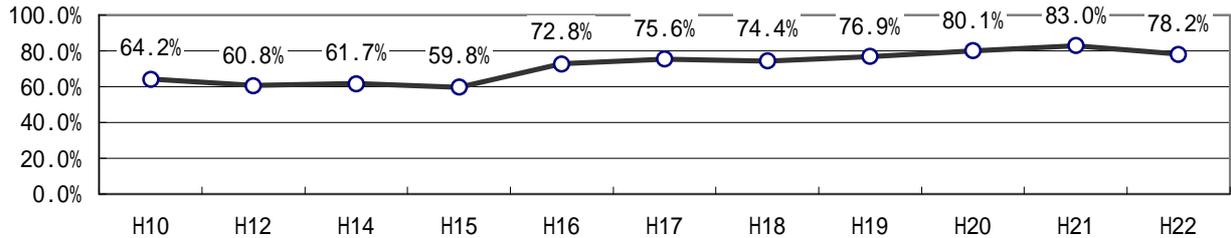


26) 農林水産業の振興

平成 15 年度までの表現	農林水産業の活発化
平成 16 年度以降の表現	農林水産業の担い手が育ち、産業として活発であること。

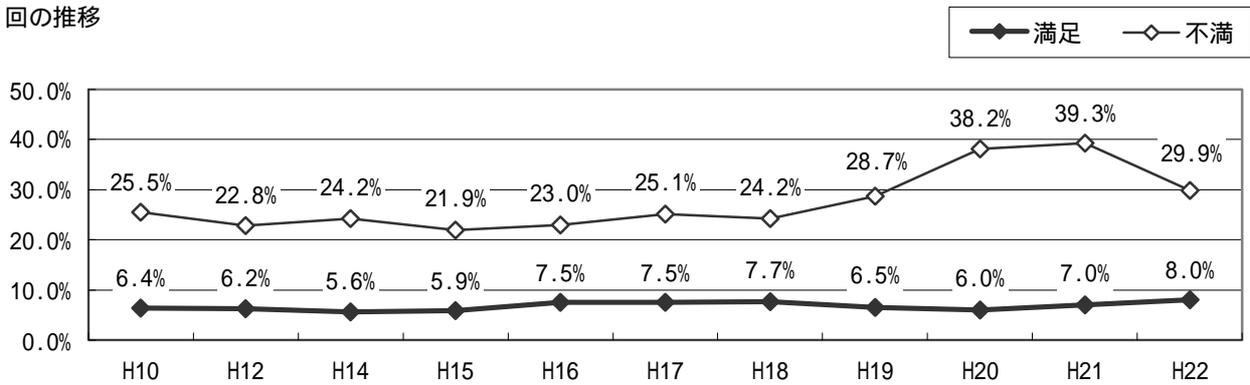
重要意識 (集計資料 p.84)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.85)

11回の推移

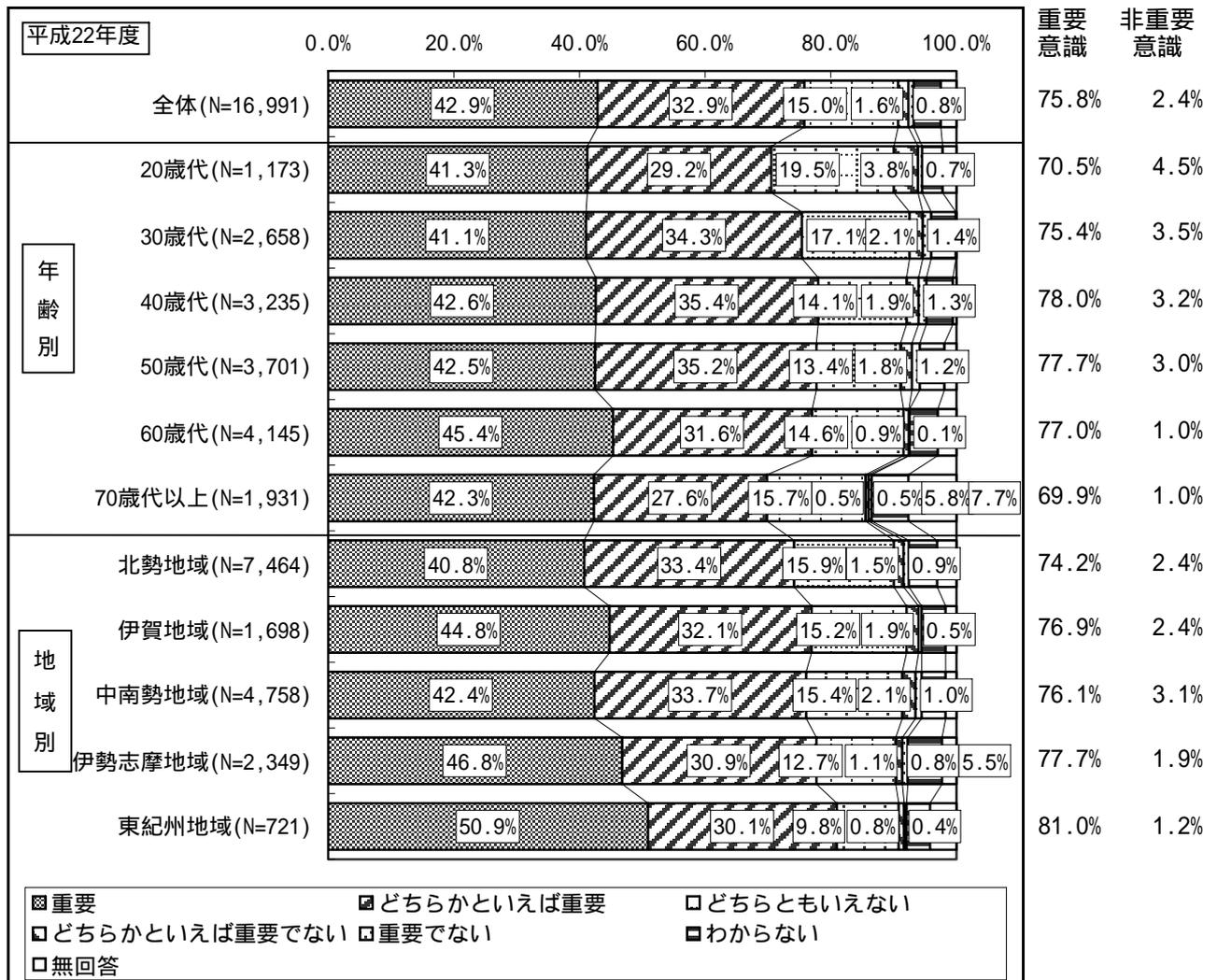
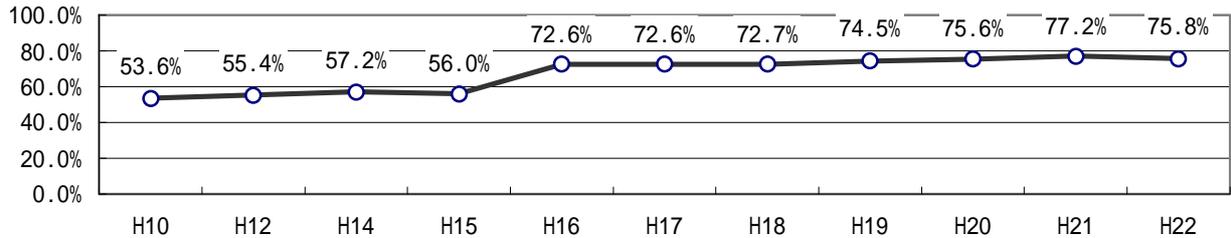


27) 産業振興

平成 15 年度までの表現	新しい分野の産業の育成や先端的企業の誘致
平成 16 年度以降の表現	新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること。

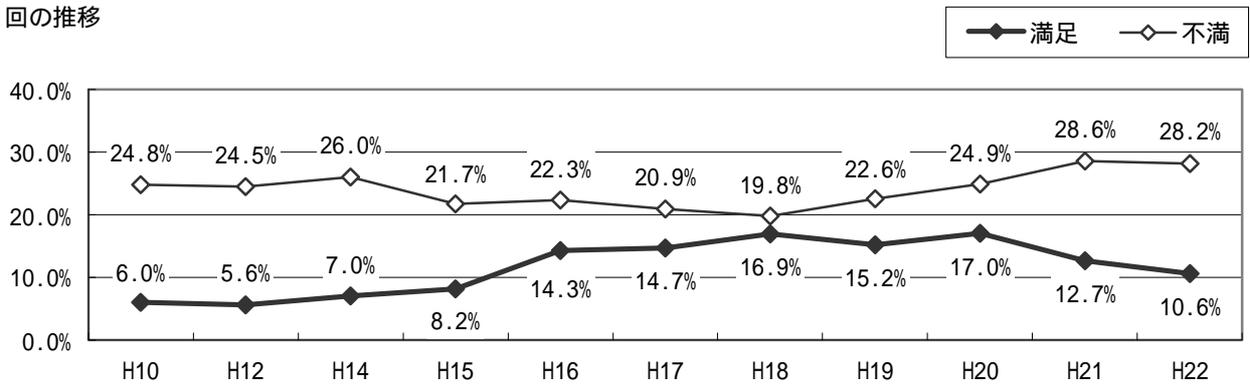
重要意識 (集計資料 p.86)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.87)

11回の推移

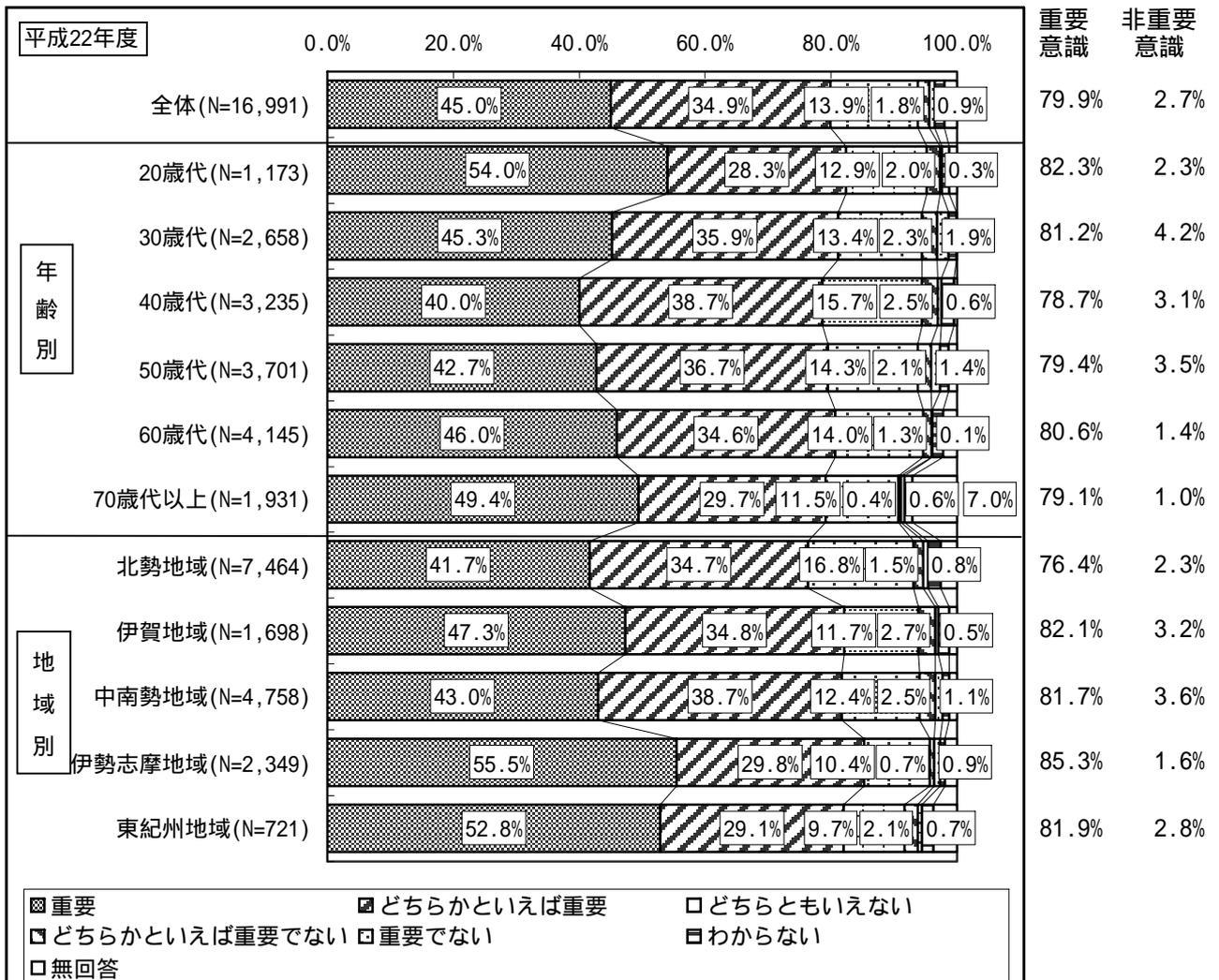
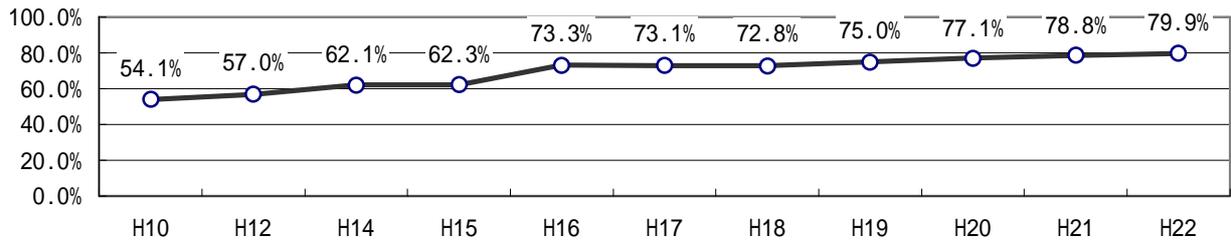


28) 観光

平成 15 年度までの表現	三重県を訪れる人が増加するような観光施設や地域づくり
平成 16 年度以降の表現	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じてたくさんの方が三重県を訪れること。

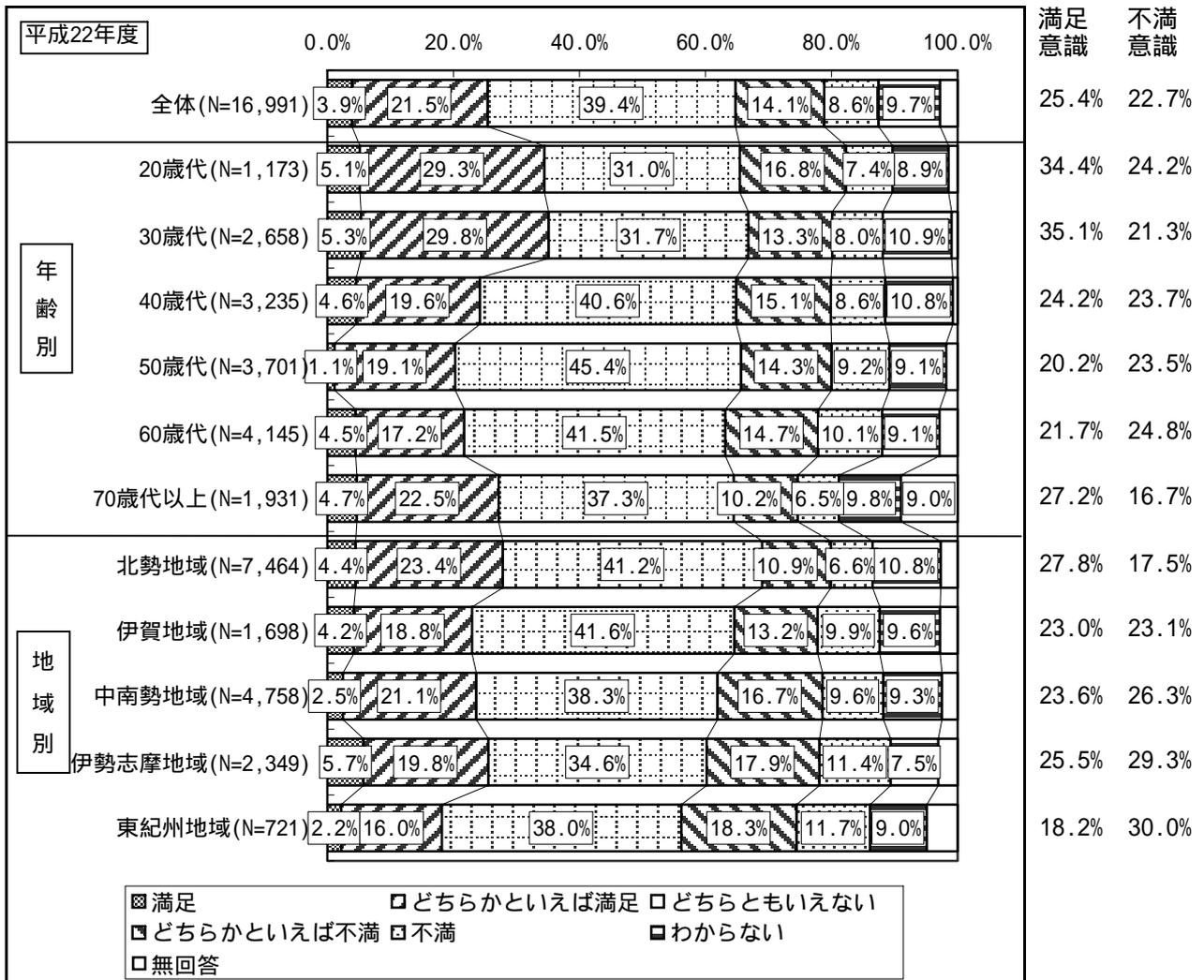
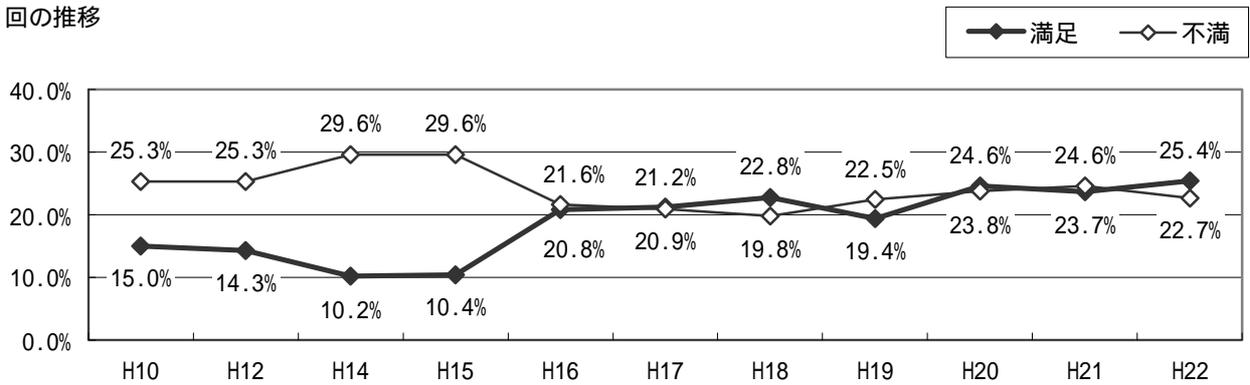
重要意識 (集計資料 p.88)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.89)

11回の推移

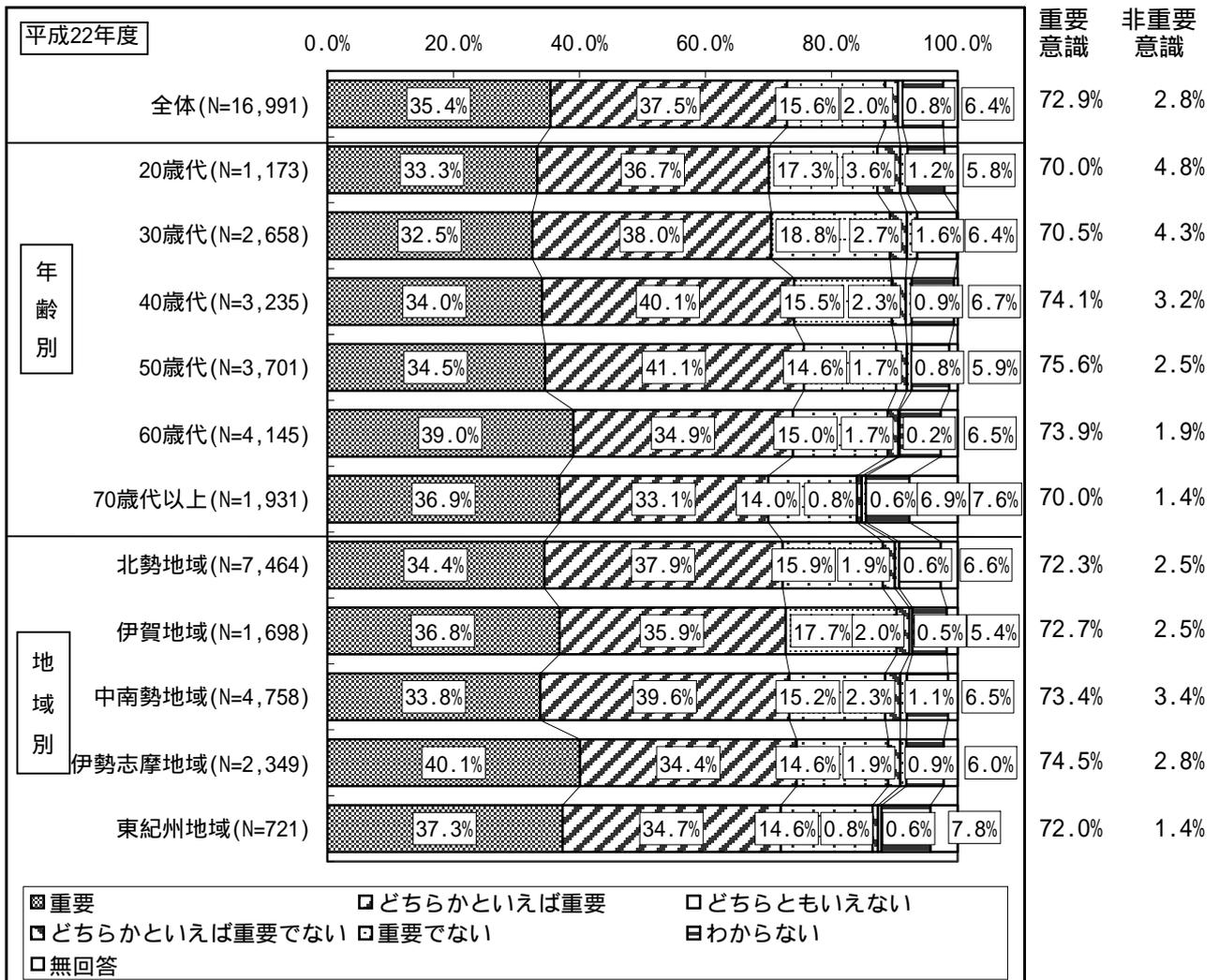
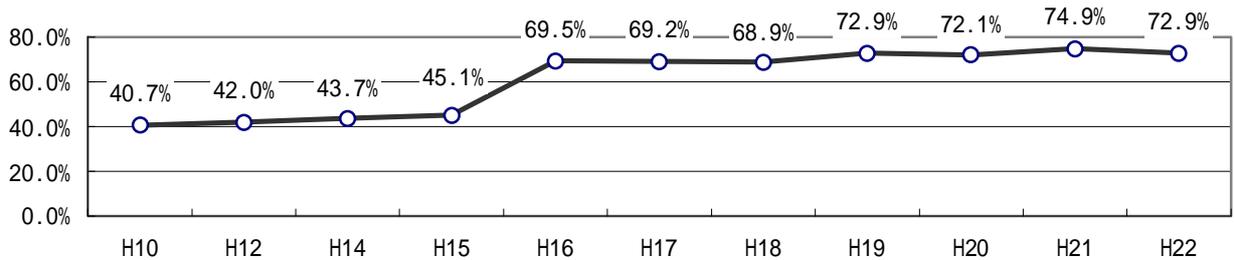


29) 技術開発

平成 15 年度までの表現	科学技術の振興
平成 16 年度以降の表現	県内産業の発展のため、様々な分野での研究開発が進んでいること。

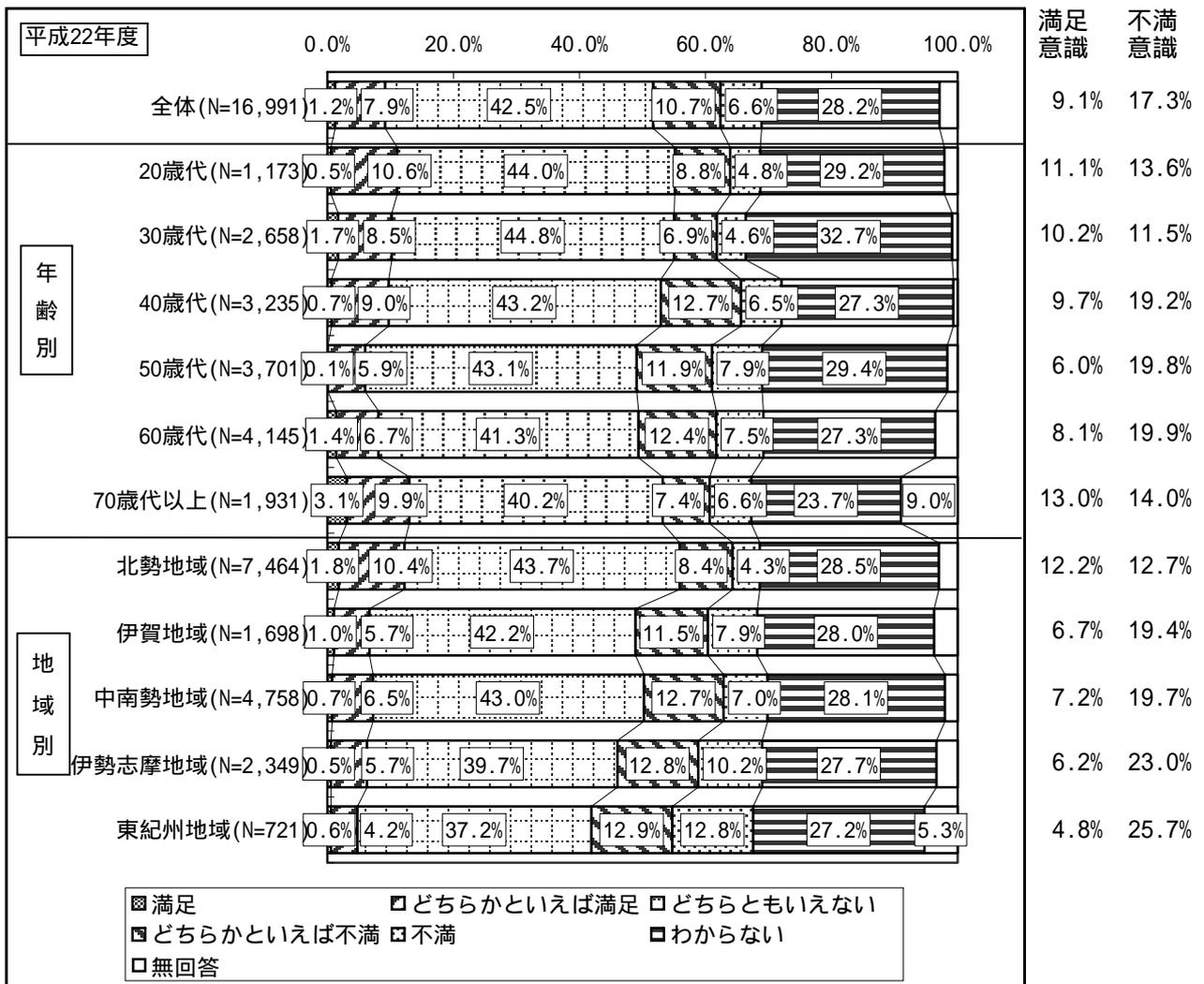
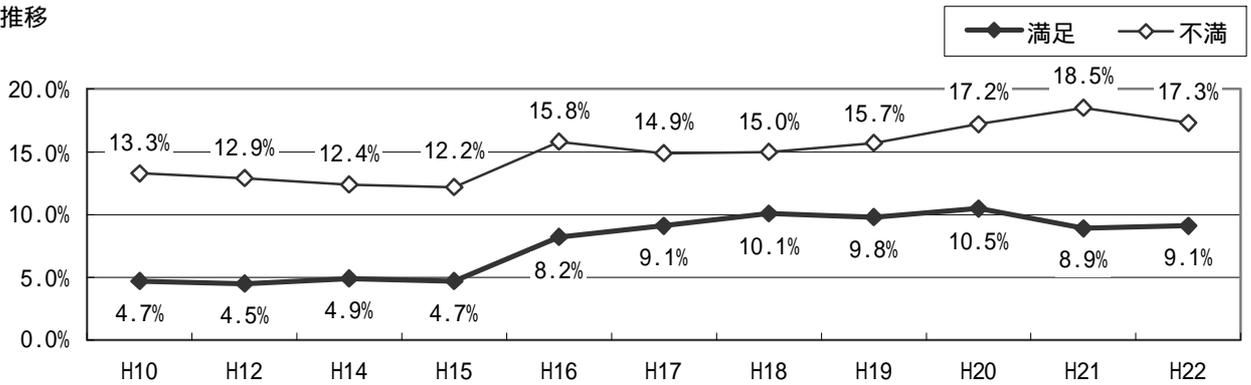
重要意識 (集計資料 p.90)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.91)

11回の推移

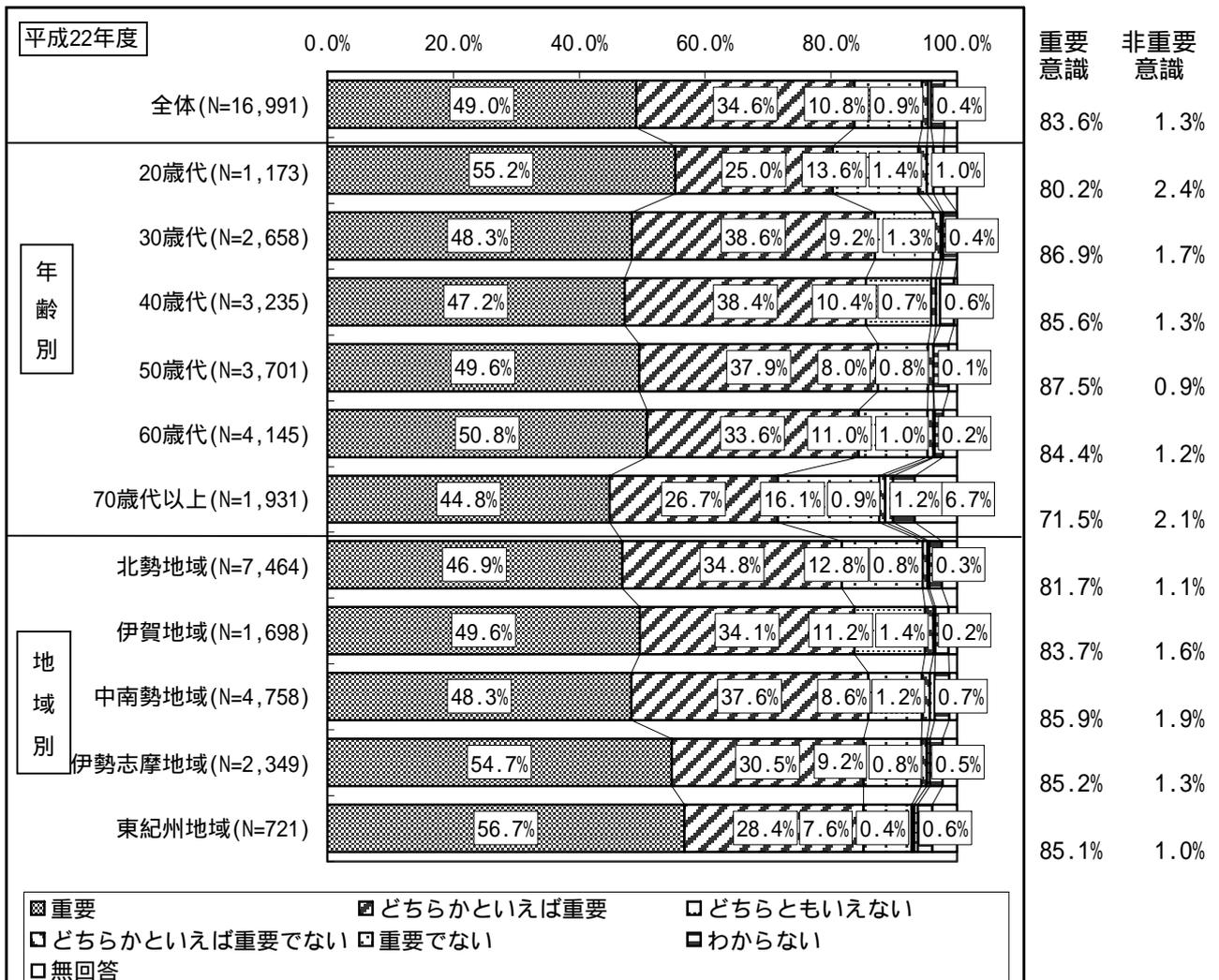
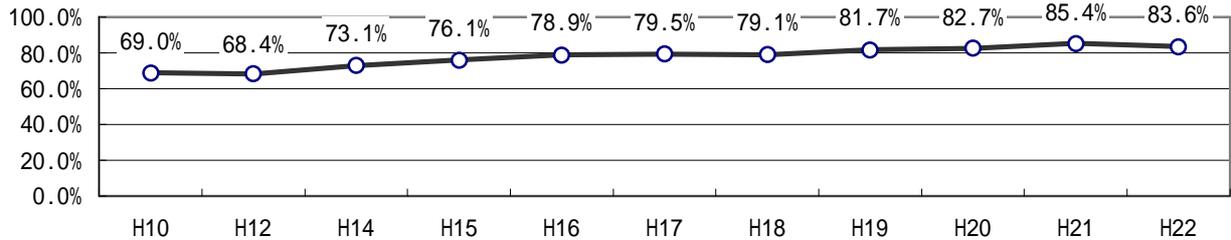


30) 地域商工業

平成 15 年度までの表現	中小企業の支援や商店街づくりなど地域商工業の活発化
平成 16 年度以降の表現	地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること。

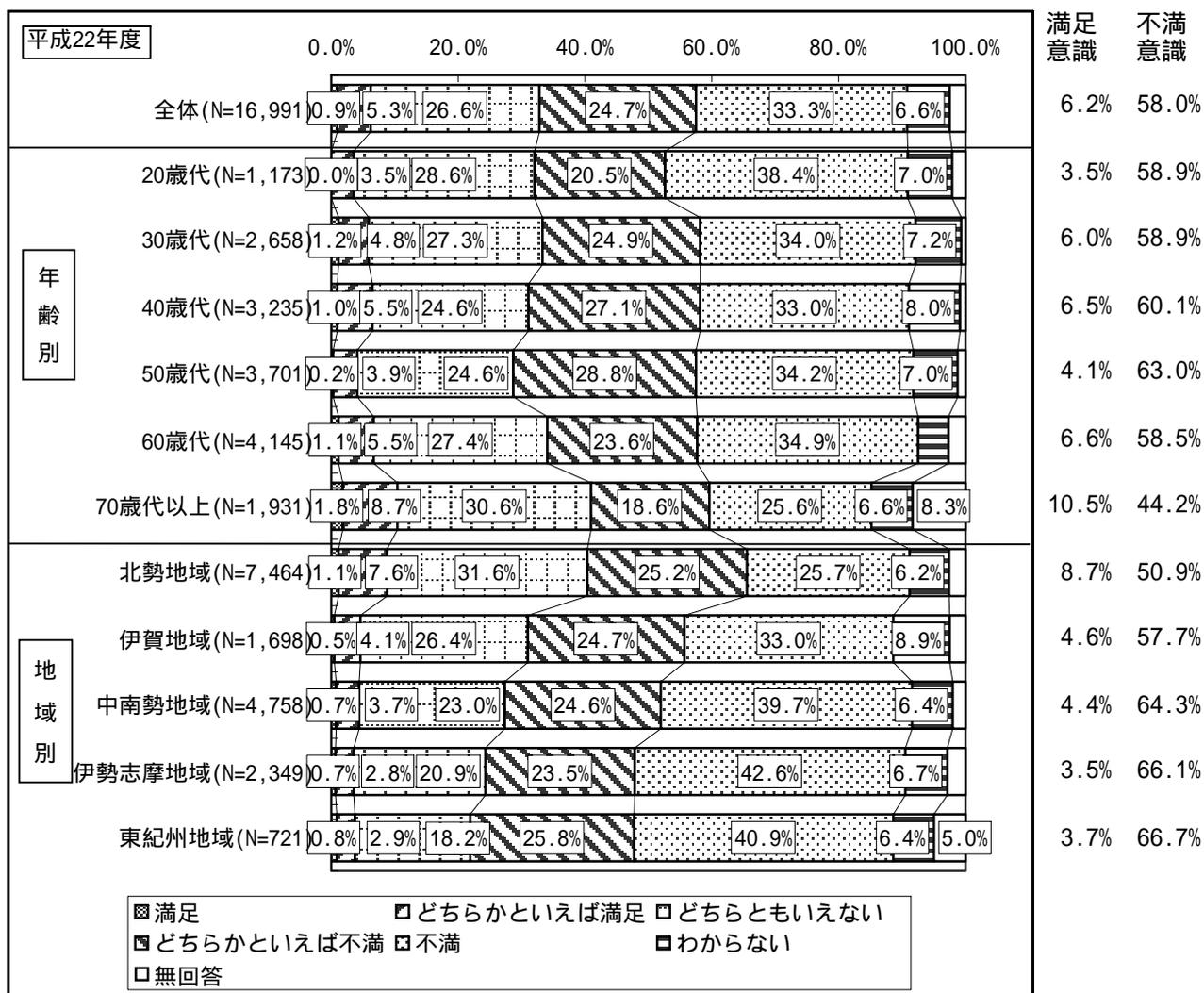
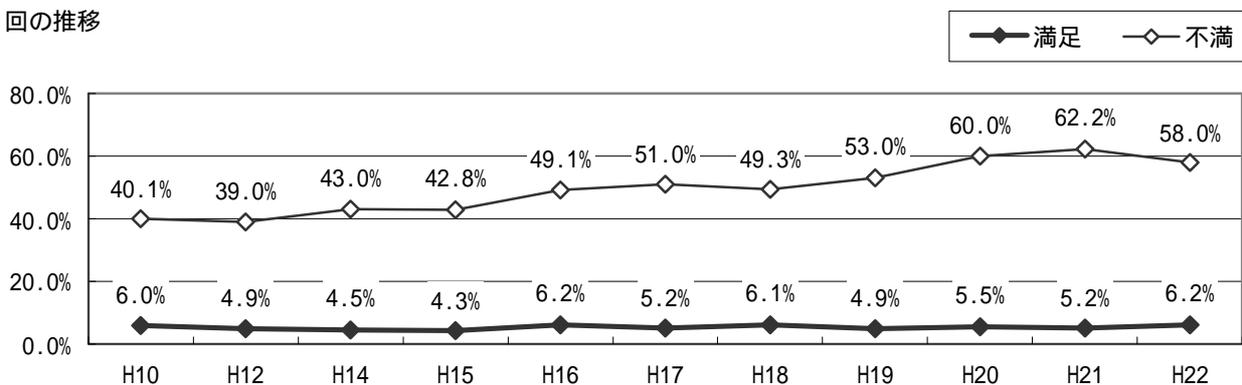
重要意識 (集計資料 p.92)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.93)

11回の推移

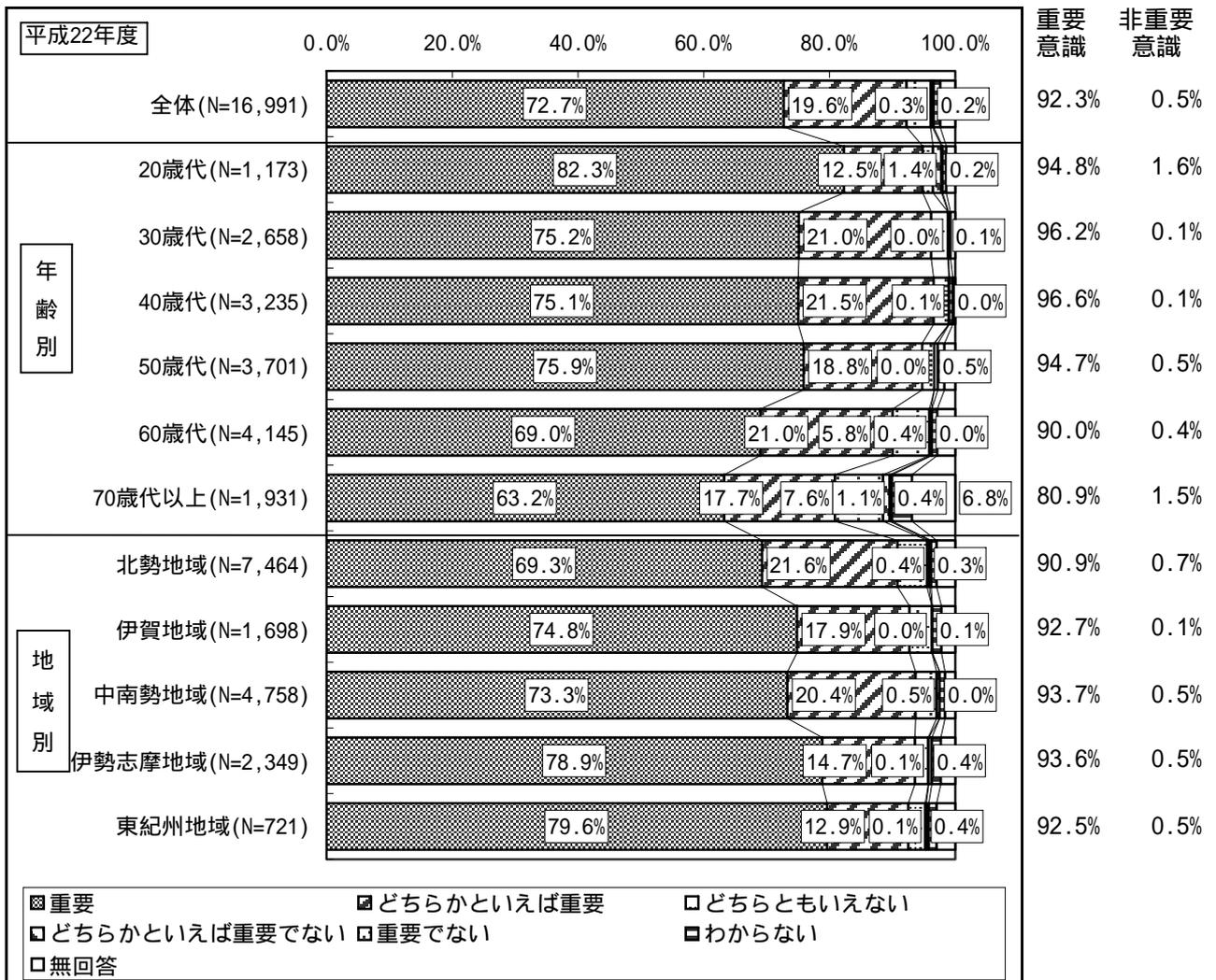
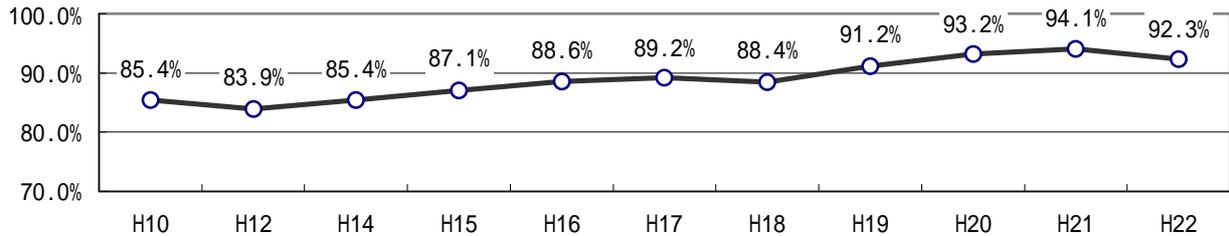


31) 雇用

平成 15 年度までの表現	働く場の確保と勤労者福祉の向上
平成 16 年度以降の表現	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること。

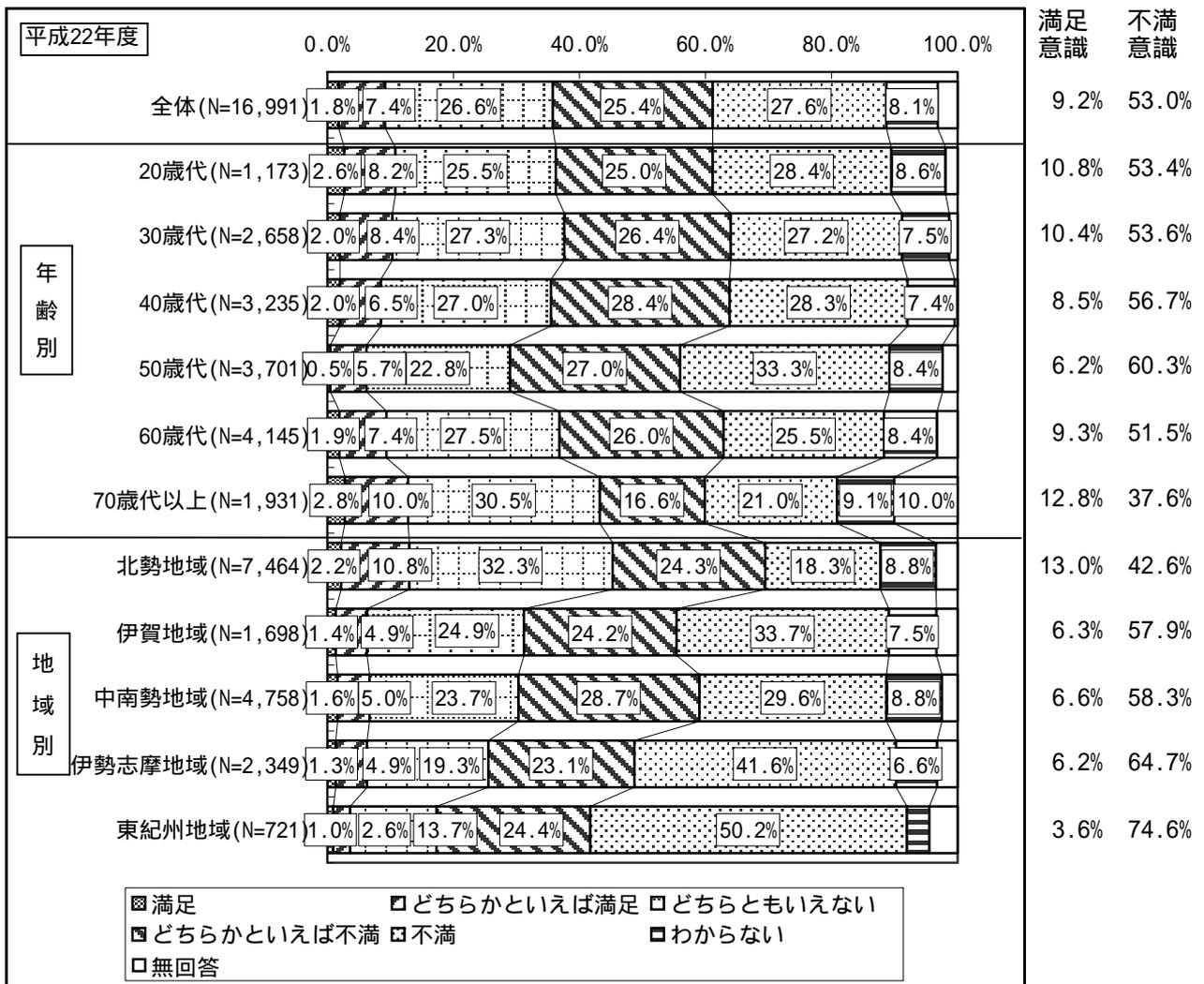
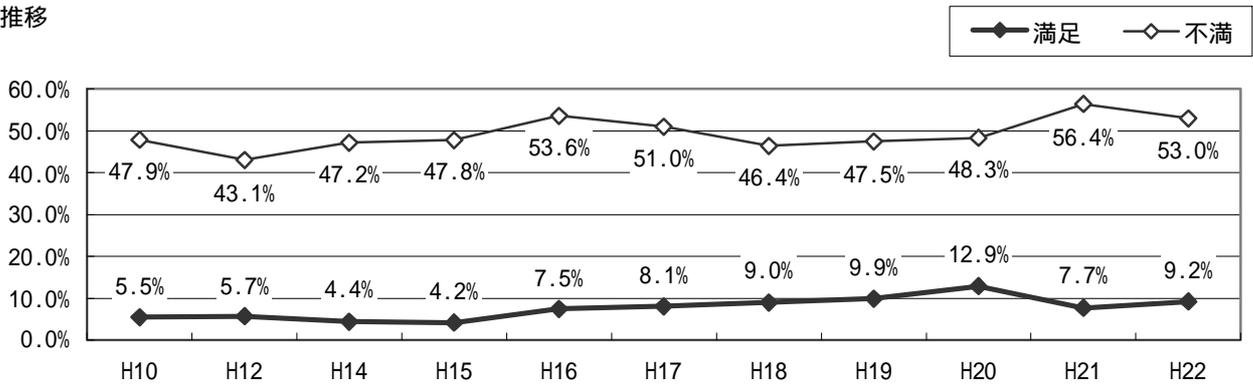
重要意識 (集計資料 p.94)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.95)

11回の推移

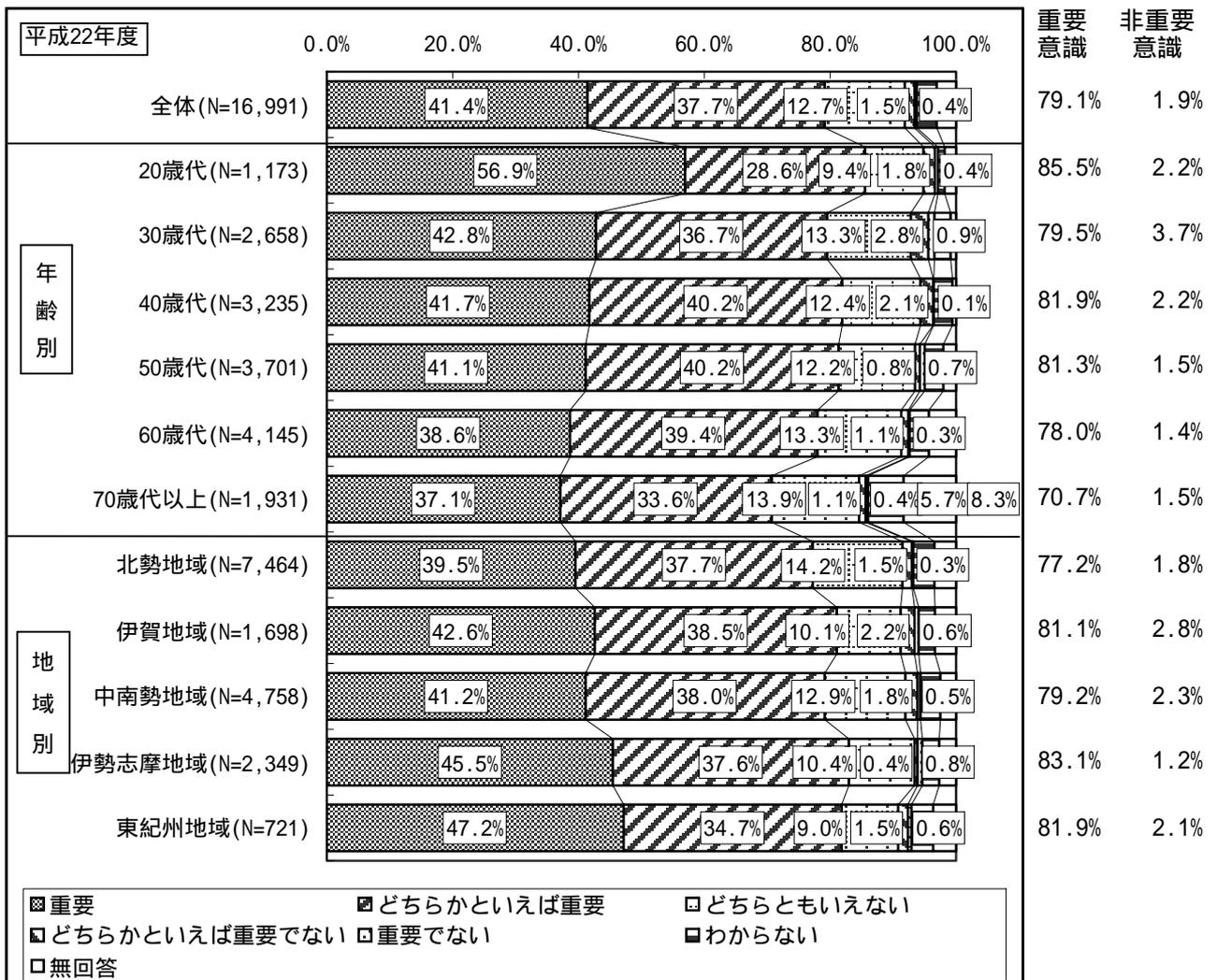
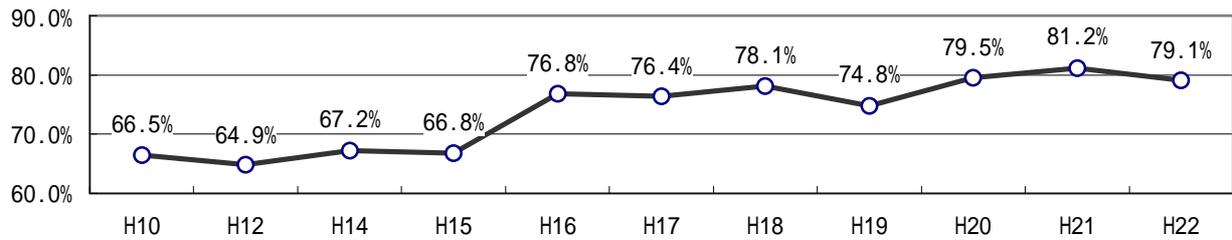


32) 職業能力開発

平成 15 年度までの表現	社会の変化に対応した職業能力の開発訓練体制の充実
平成 16 年度以降の表現	社会の変化に対応した職業能力を身につける機会が確保されていること。

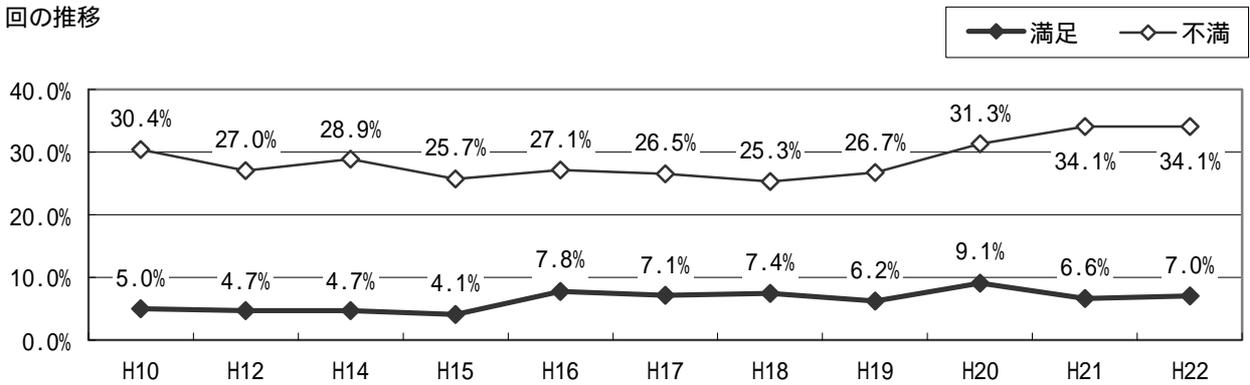
重要意識 (集計資料 p.96)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.97)

11回の推移

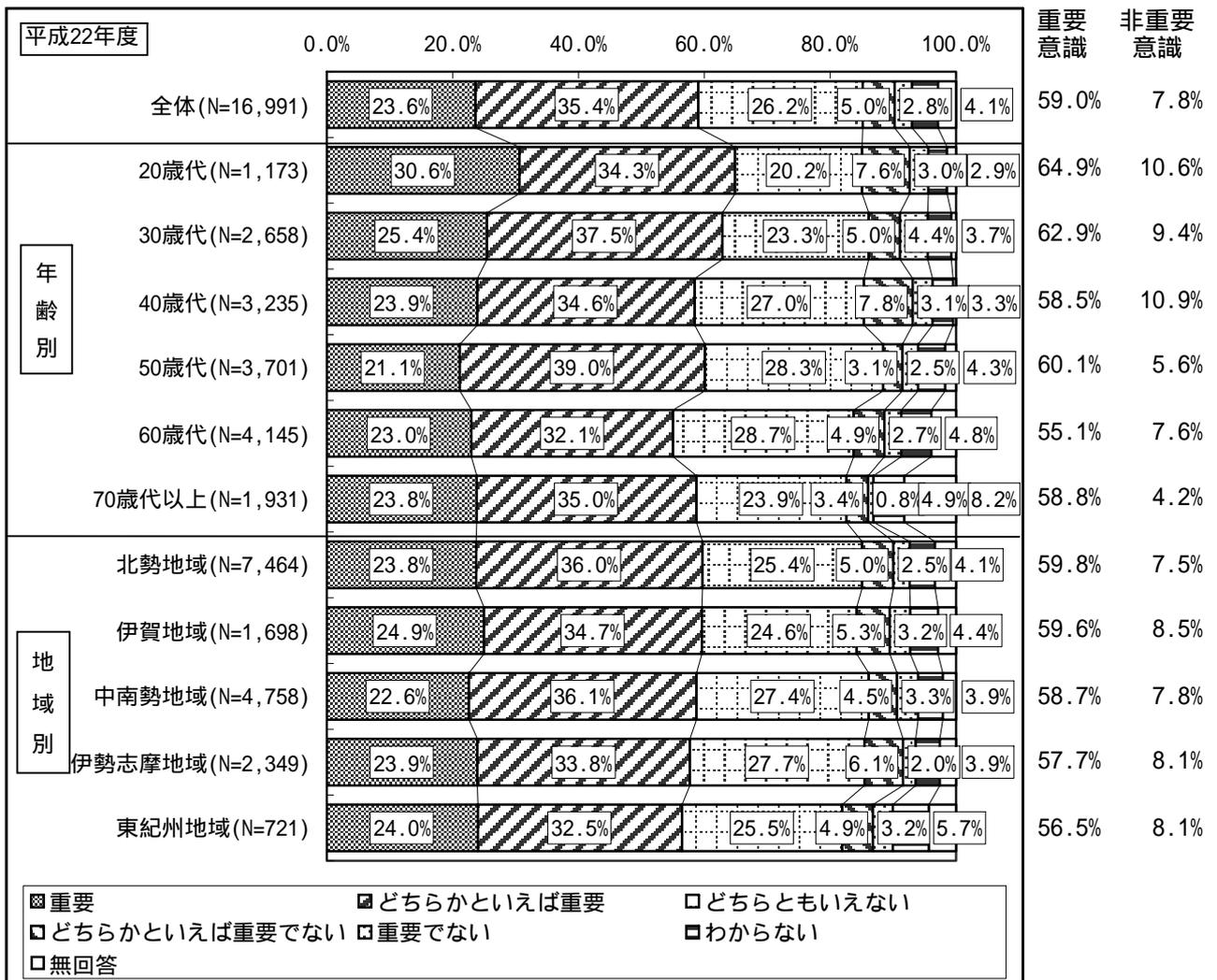
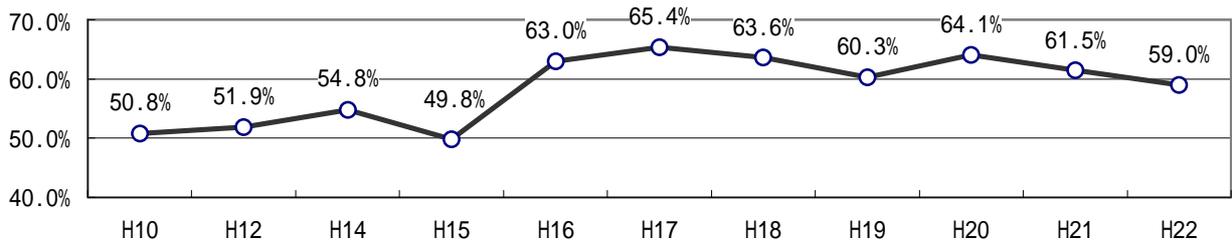


33) 国際化

平成 15 年度までの表現	海外の学校との提携校の拡大など国際化社会に対応できる人材の育成
平成 16 年度以降の表現	様々な国の人々と互いに理解し合いながら、交流、共生できること。

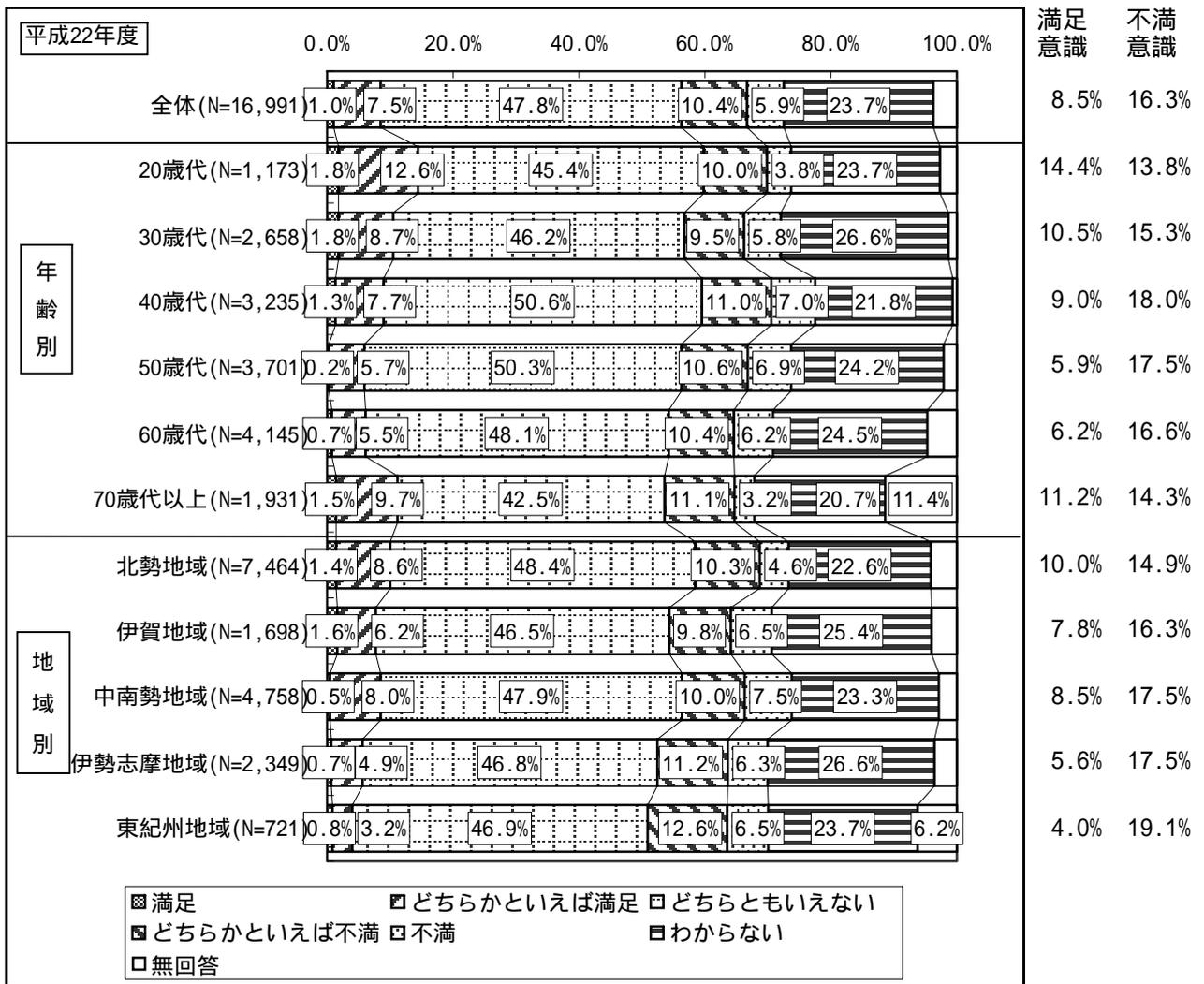
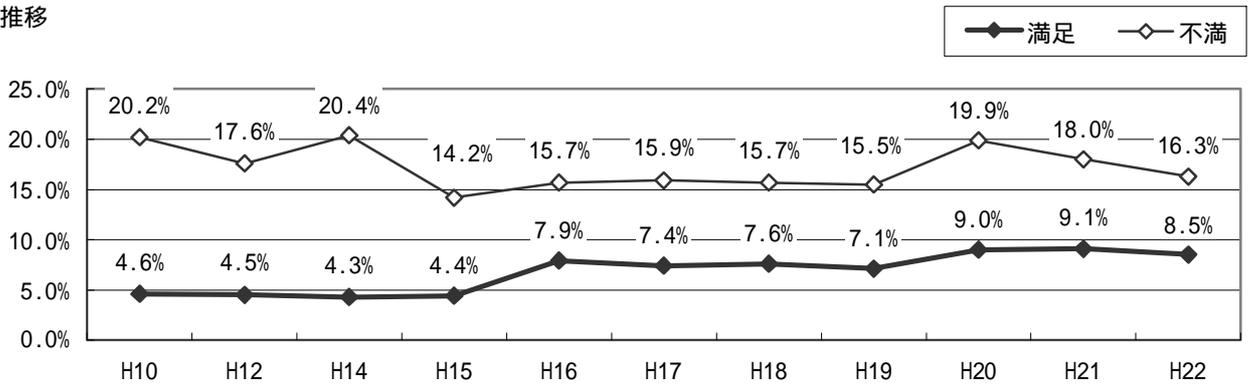
重要意識 (集計資料 p.98)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.99)

11回の推移

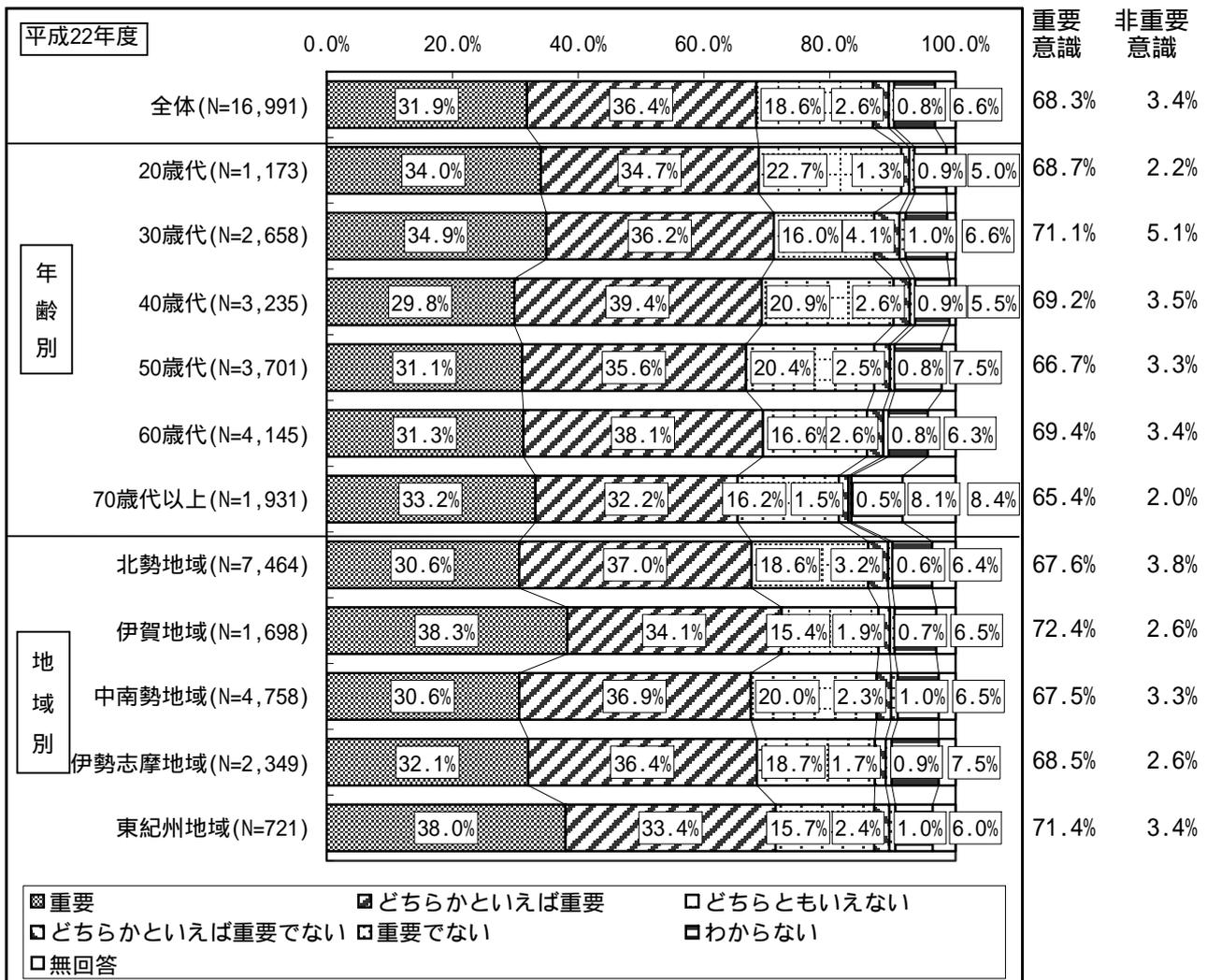
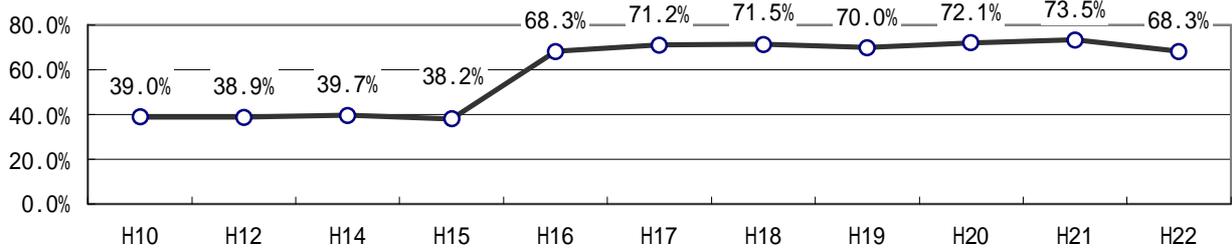


34) 広域交流・連携

平成 15 年度までの表現	県境を越えた児童生徒の受入れの弾力化など、他府県との共同事業の推進
平成 16 年度以降の表現	環境や防災など近隣府県等と共同で取り組むことが効果的な分野において、県境を越えた様々な交流・連携が行われていること。

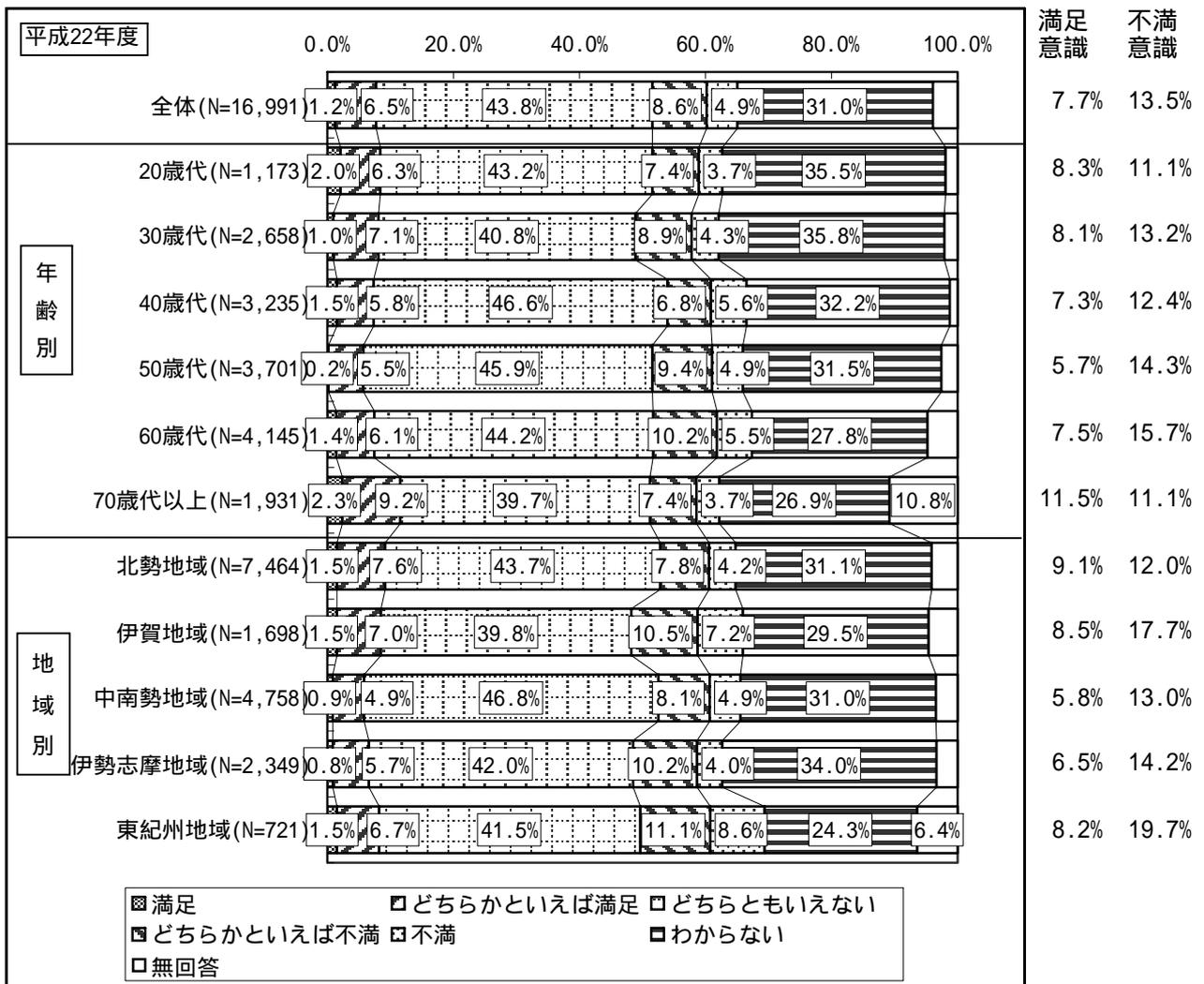
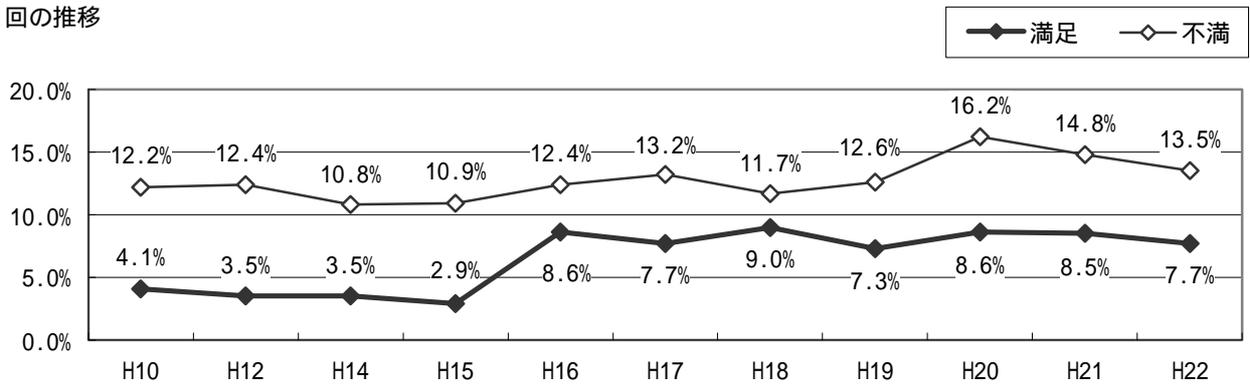
重要意識 (集計資料 p.100)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.101)

11回の推移

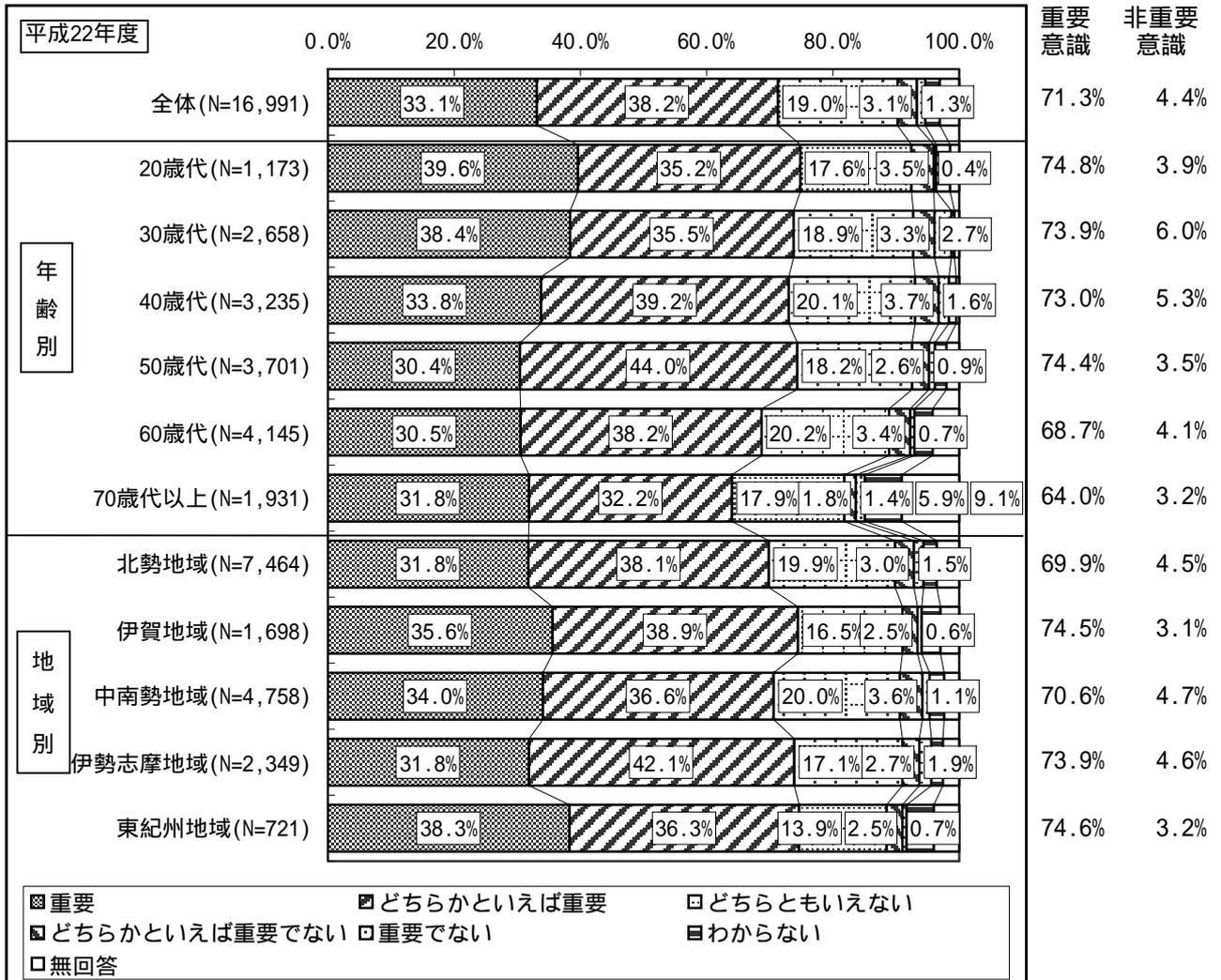
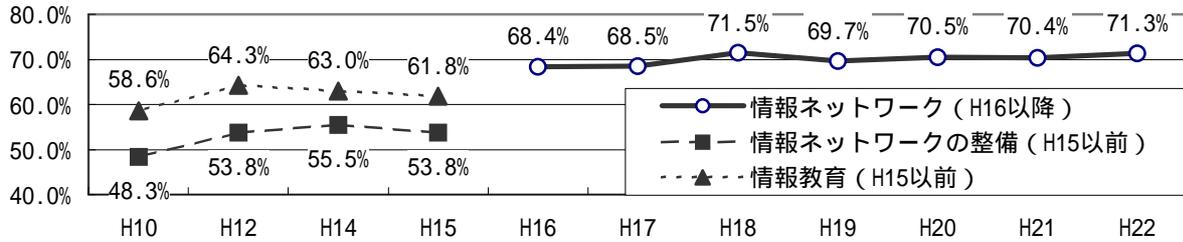


35) 情報ネットワーク

平成 15 年度までの表現	ケーブルテレビの普及など情報ネットワークの整備 インターネットなどの新しい情報手段に対応できるよ うな情報教育の推進
平成 16 年度以降の表現	ケーブルテレビやインターネットなどを利用して 様々な情報を得ることができること。

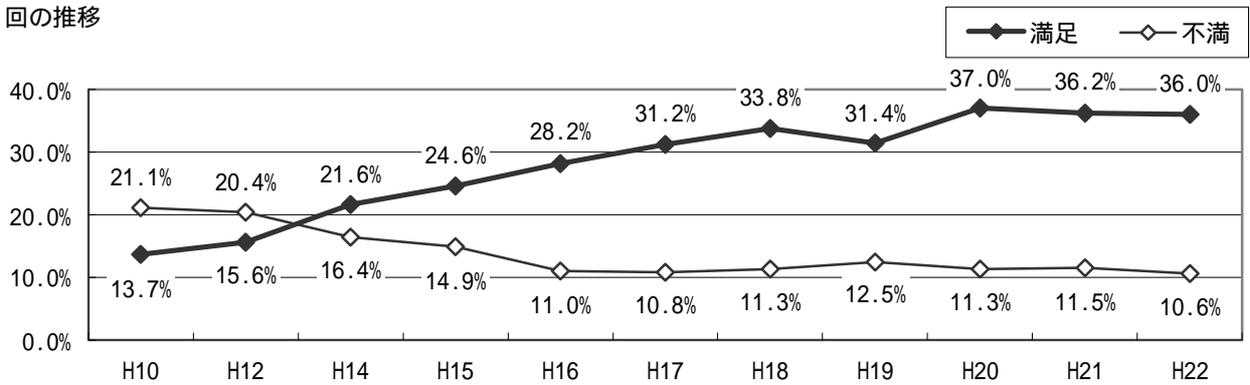
重要意識 (集計資料 p.102)

11 回の推移



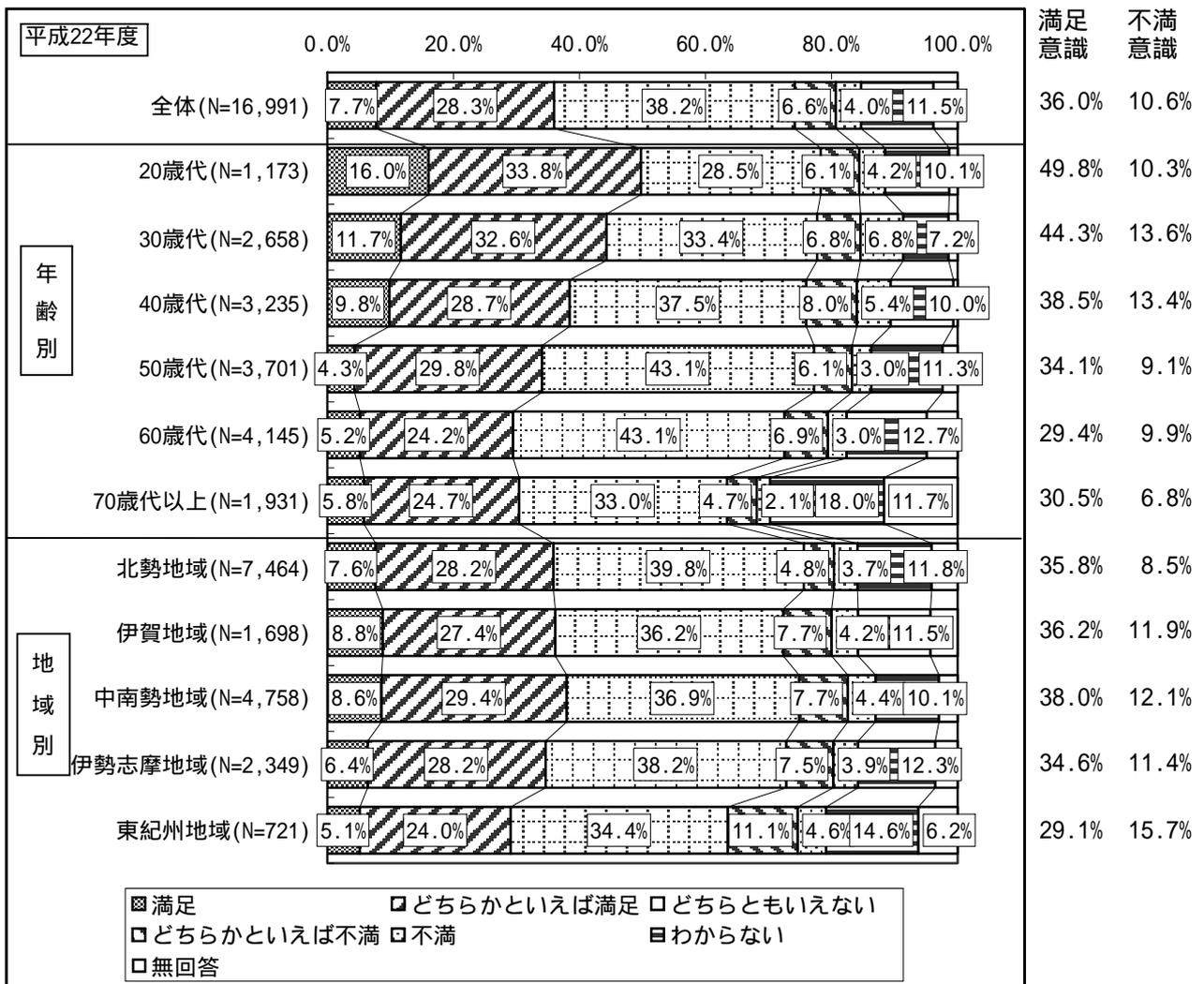
満足意識 (集計資料 p.103)

11回の推移



H15以前は「情報ネットワークの整備」の値。「情報教育」の数値は以下の通り。

	H10	H12	H14	H15
満足意識	5.8%	7.2%	10.5%	13.4%
不満足意識	23.9%	24.8%	19.6%	16.4%

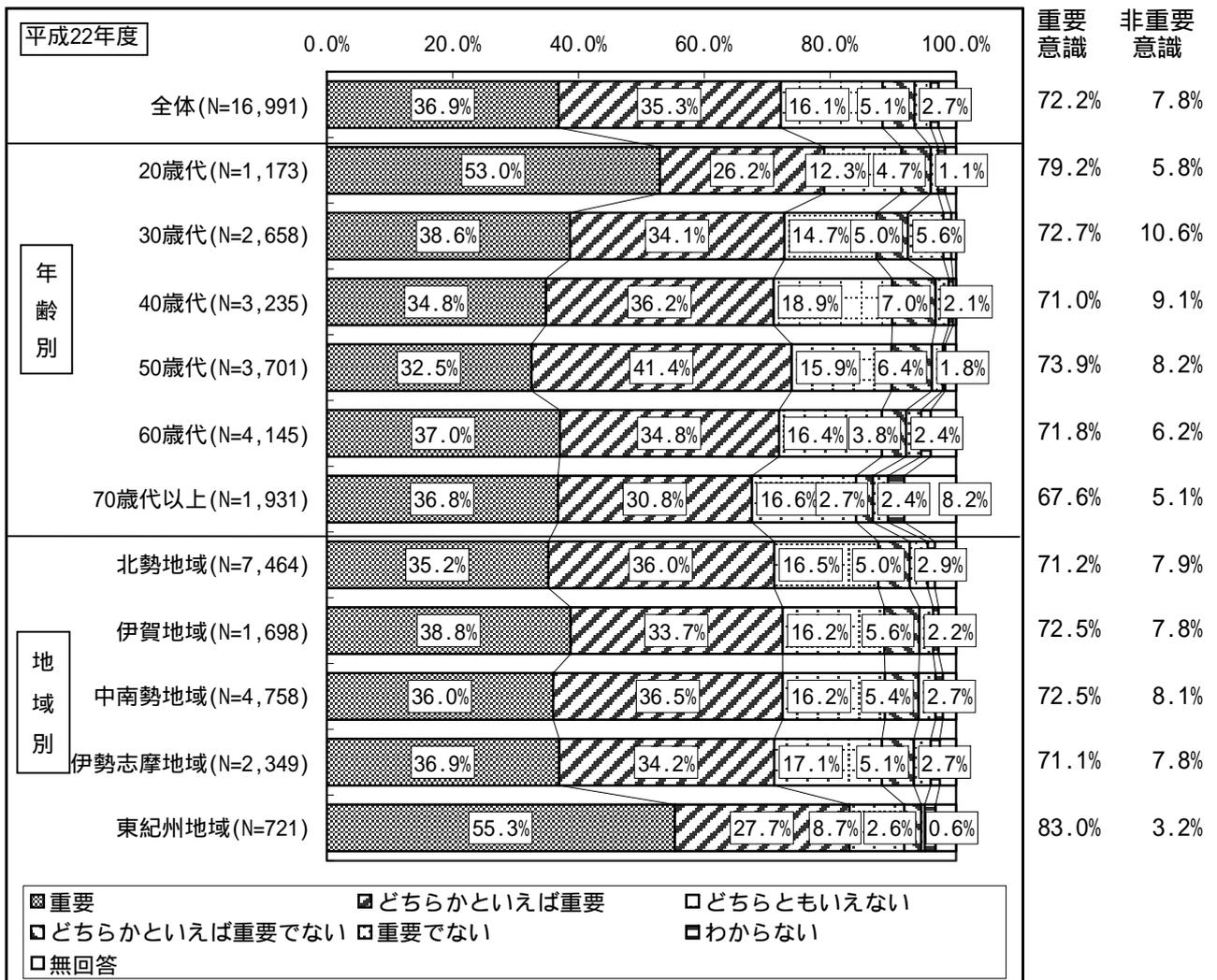
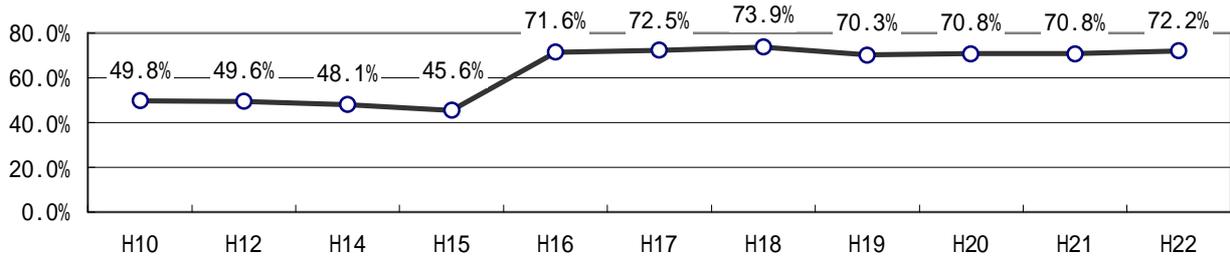


36) 高速交通網

平成 15 年度までの表現	空港、新幹線、高速道路など高速交通機関までおおむね 30 分で到達できる地域の拡大
平成 16 年度以降の表現	空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。

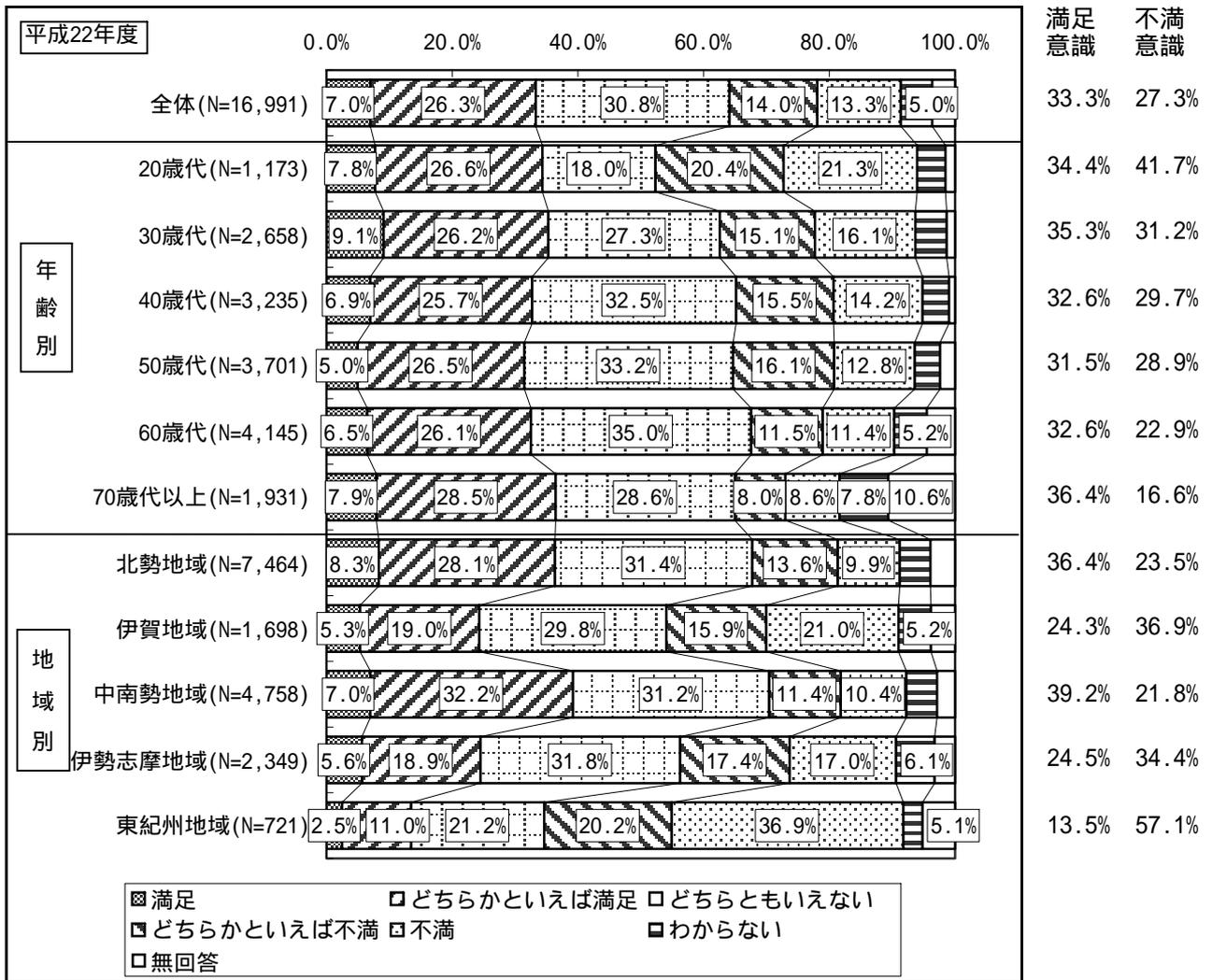
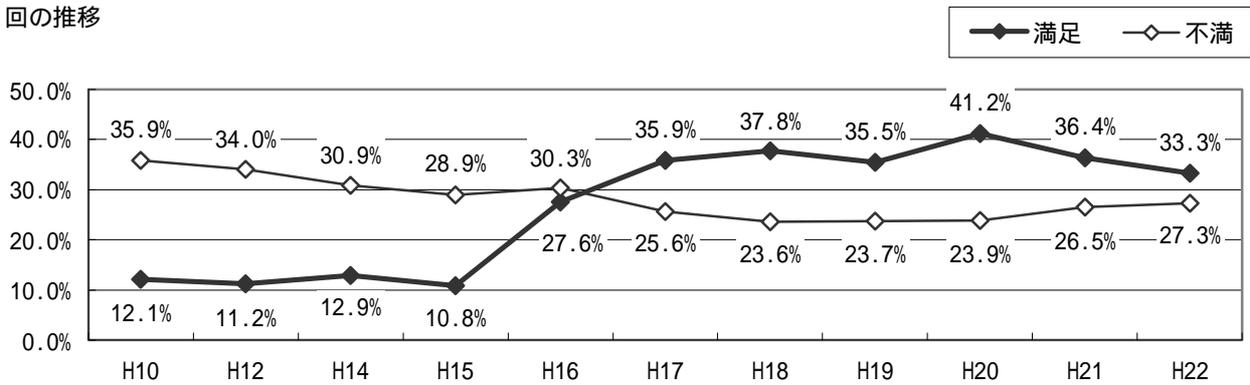
重要意識 (集計資料 p.104)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.105)

11回の推移

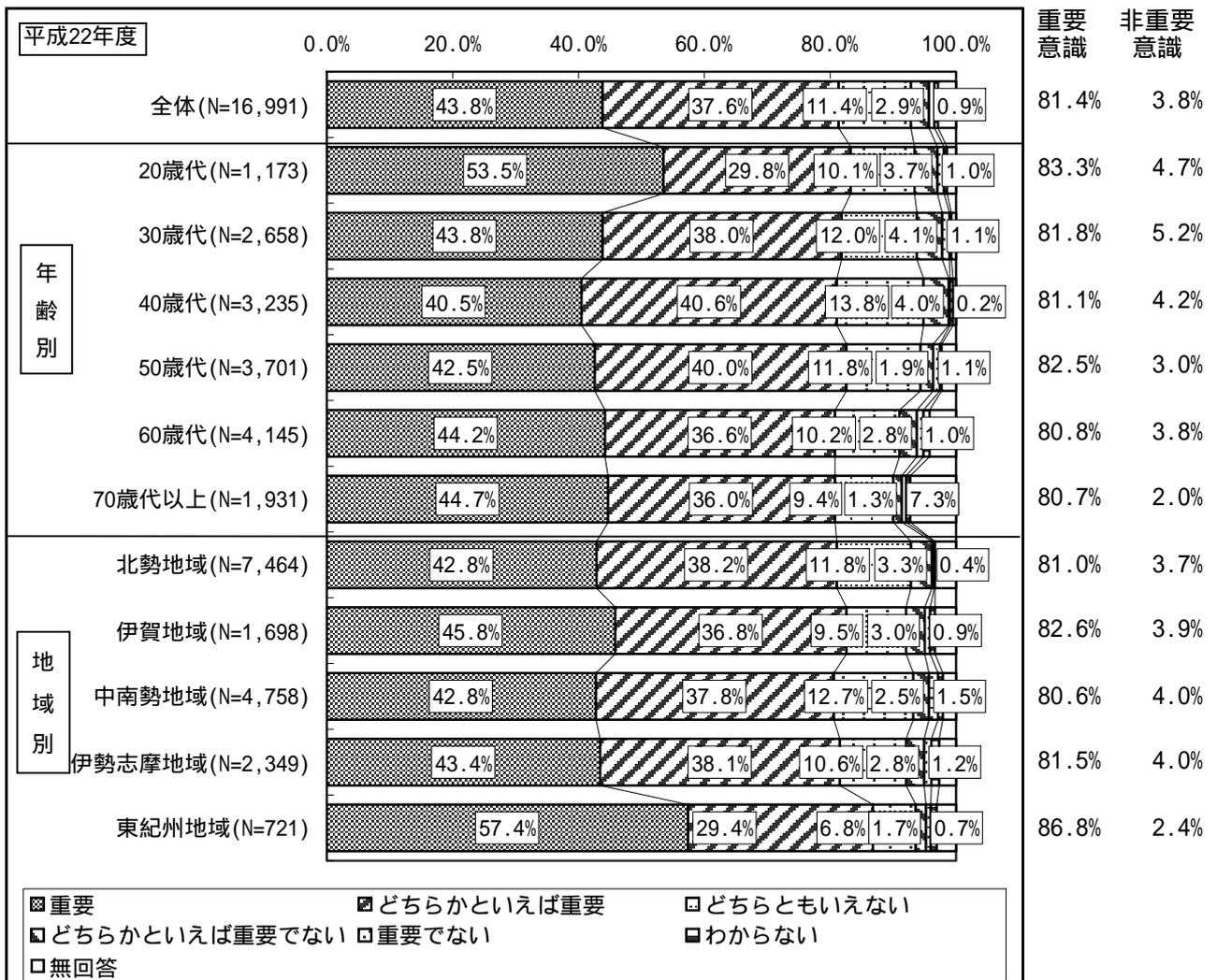
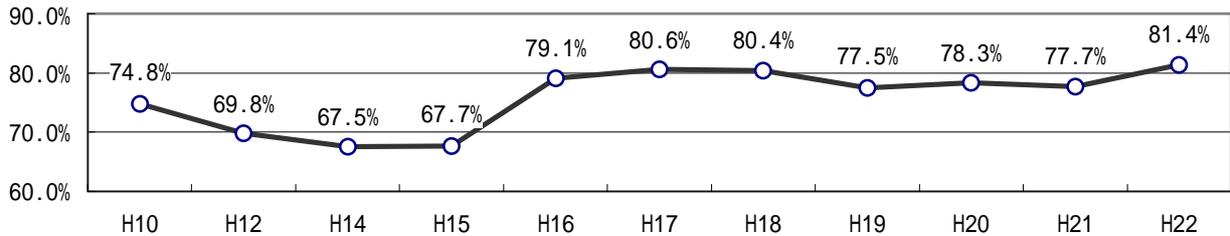


37) 道路の整備

平成 15 年度までの表現	国道や県道の改良・整備
平成 16 年度以降の表現	道路が整備され、快適に移動できること。

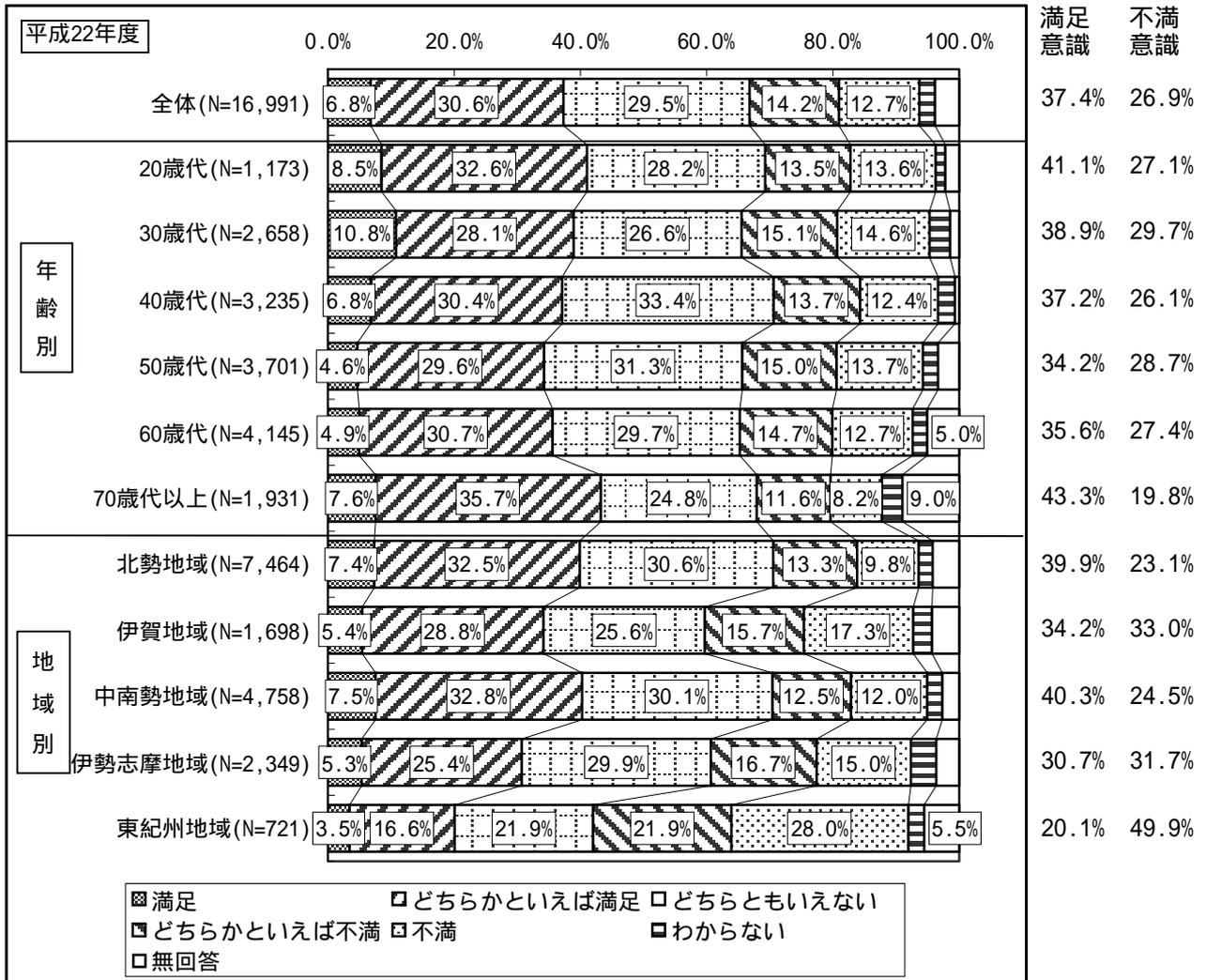
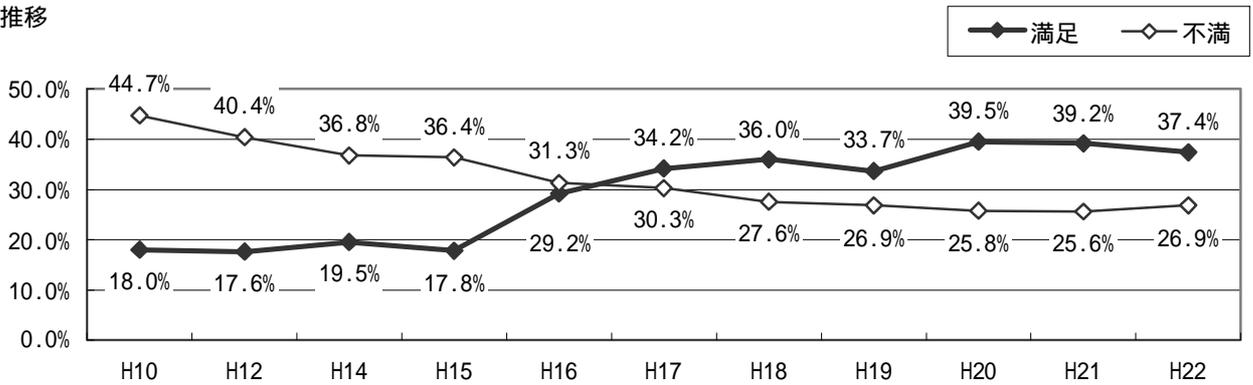
重要意識 (集計資料 p.106)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.107)

11回の推移

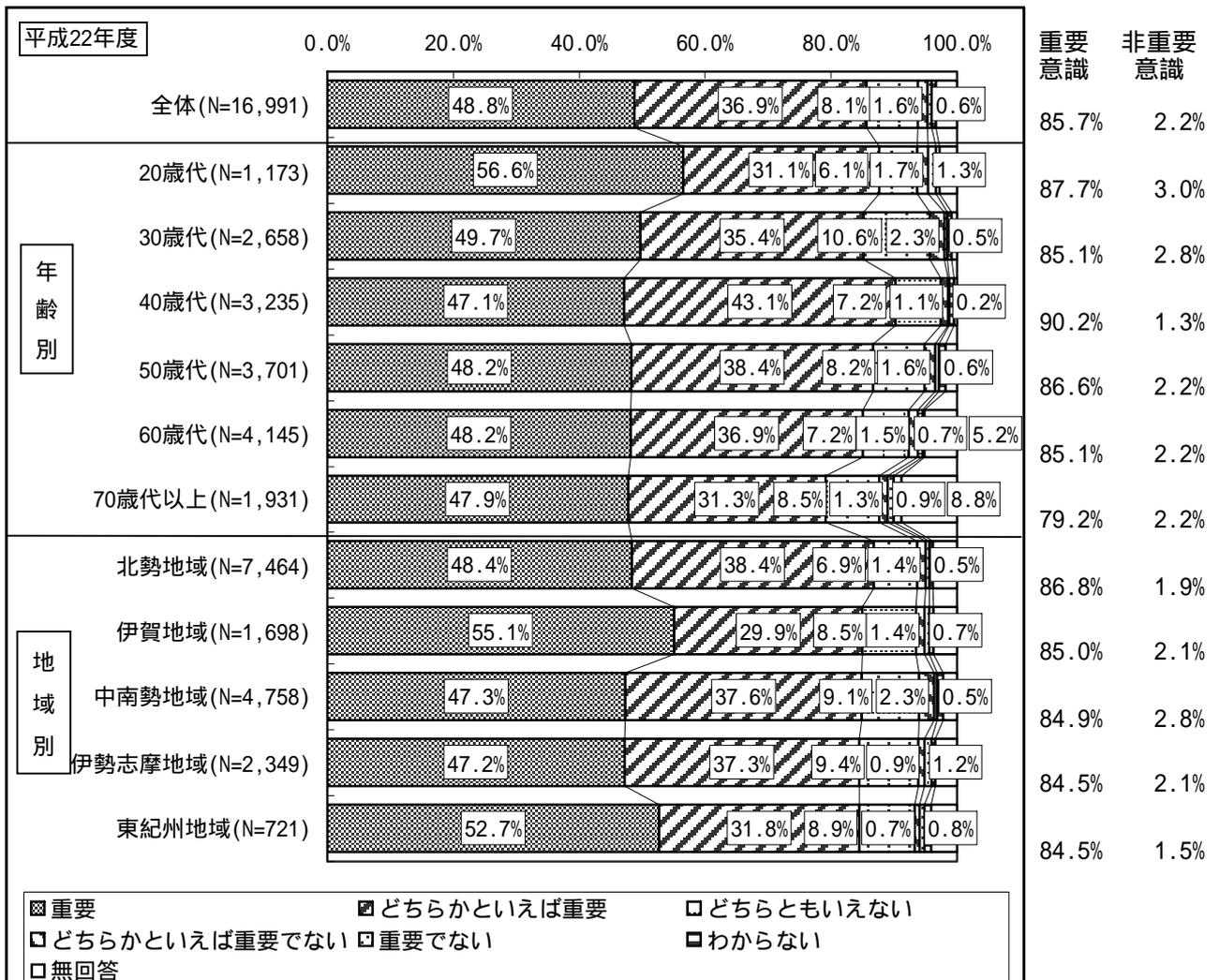
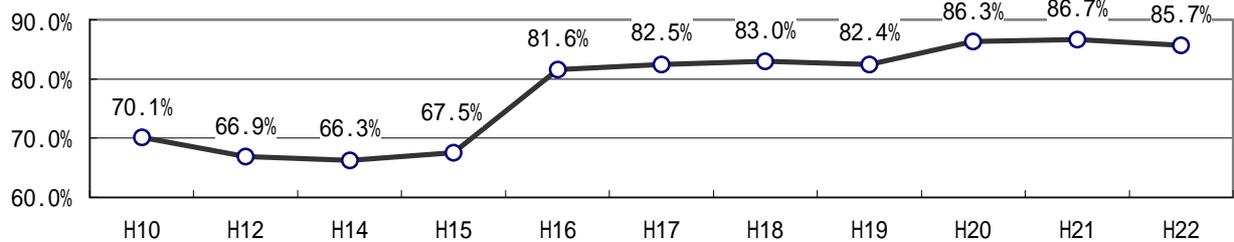


38) 公共交通機関

平成 15 年度までの表現	鉄道やバスなど公共交通機関の整備
平成 16 年度以降の表現	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと。

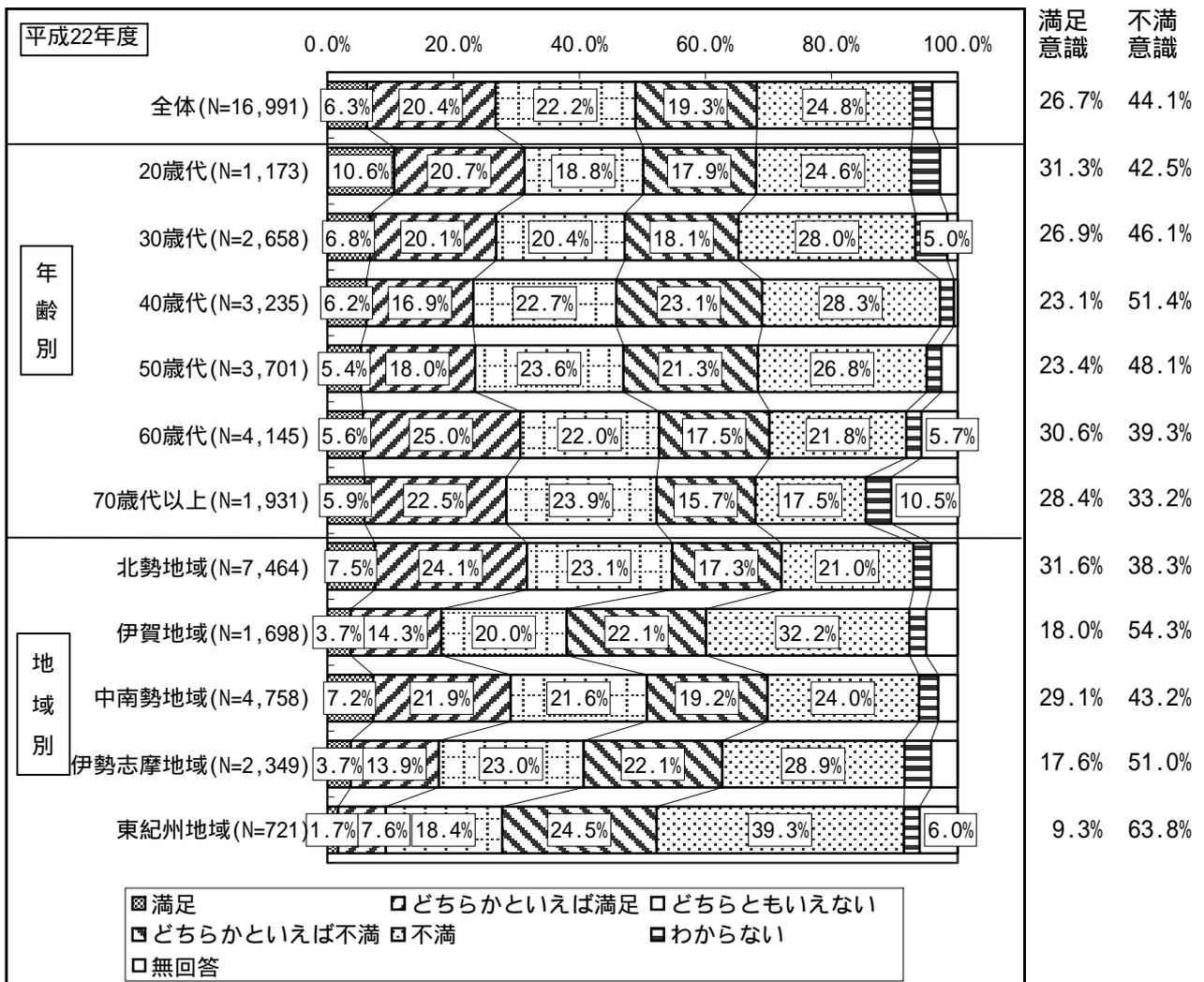
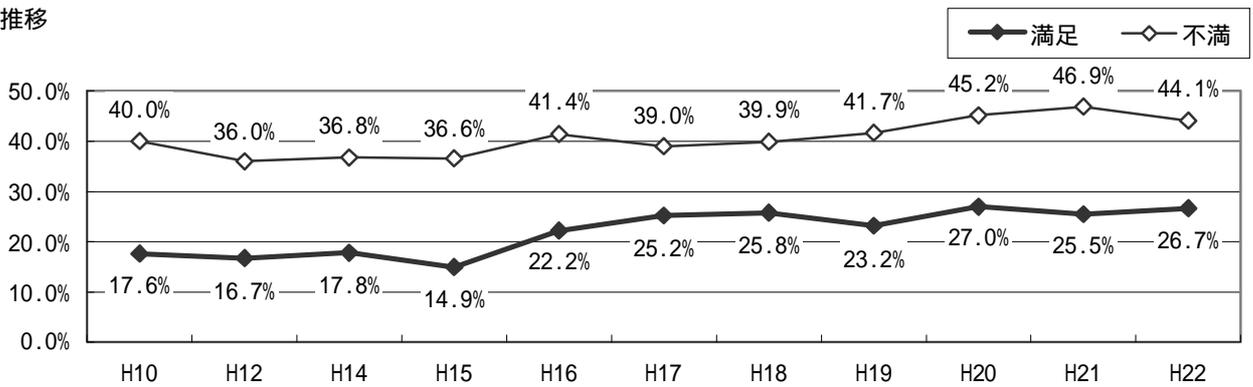
重要意識 (集計資料 p.108)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.109)

11回の推移

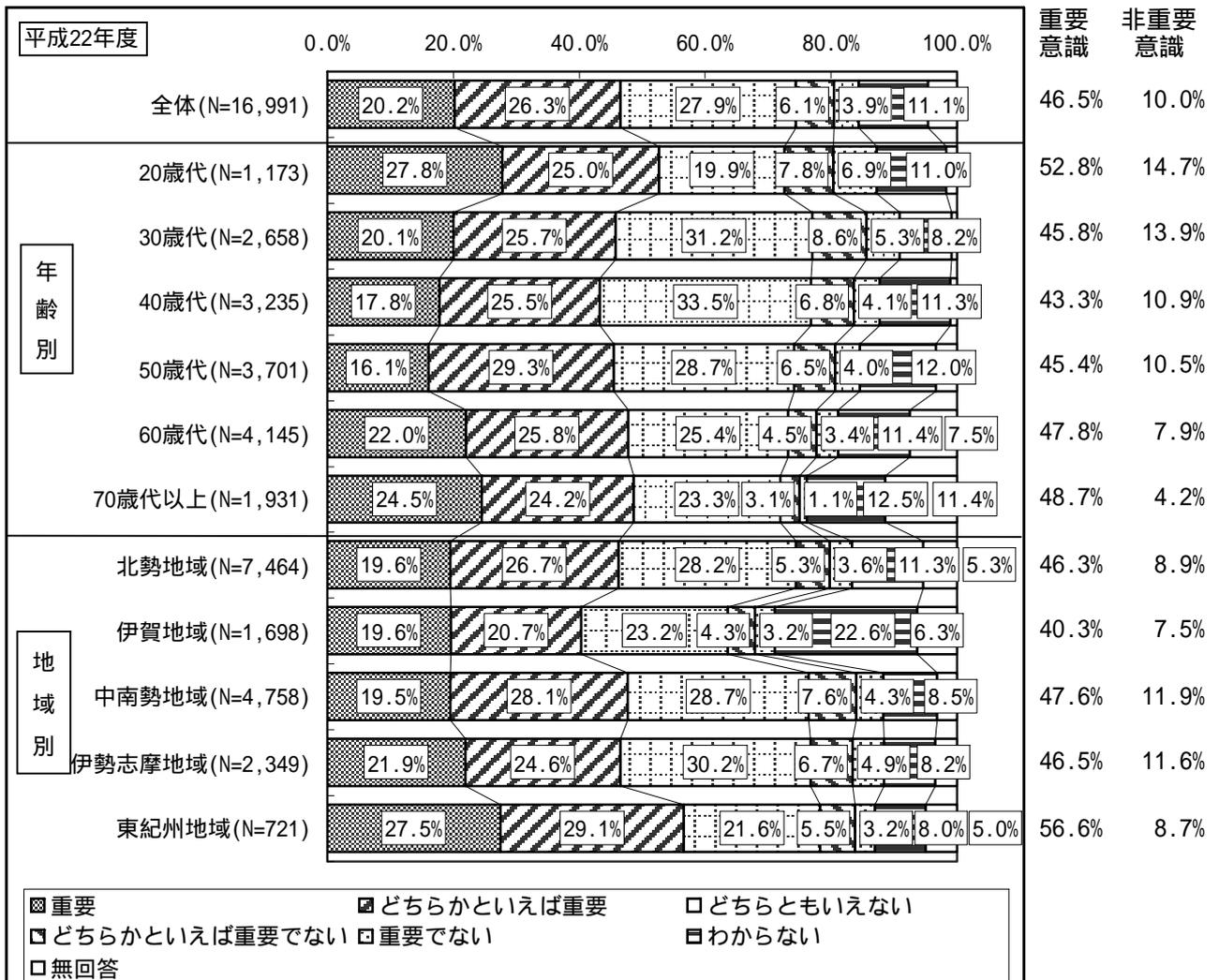
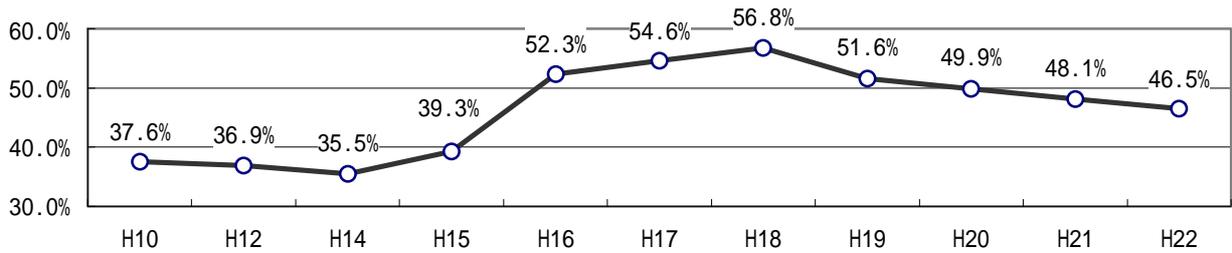


39) 港の整備

平成 15 年度までの表現	港湾の整備
平成 16 年度以降の表現	港が整備され、多くの船や人々が利用していること。

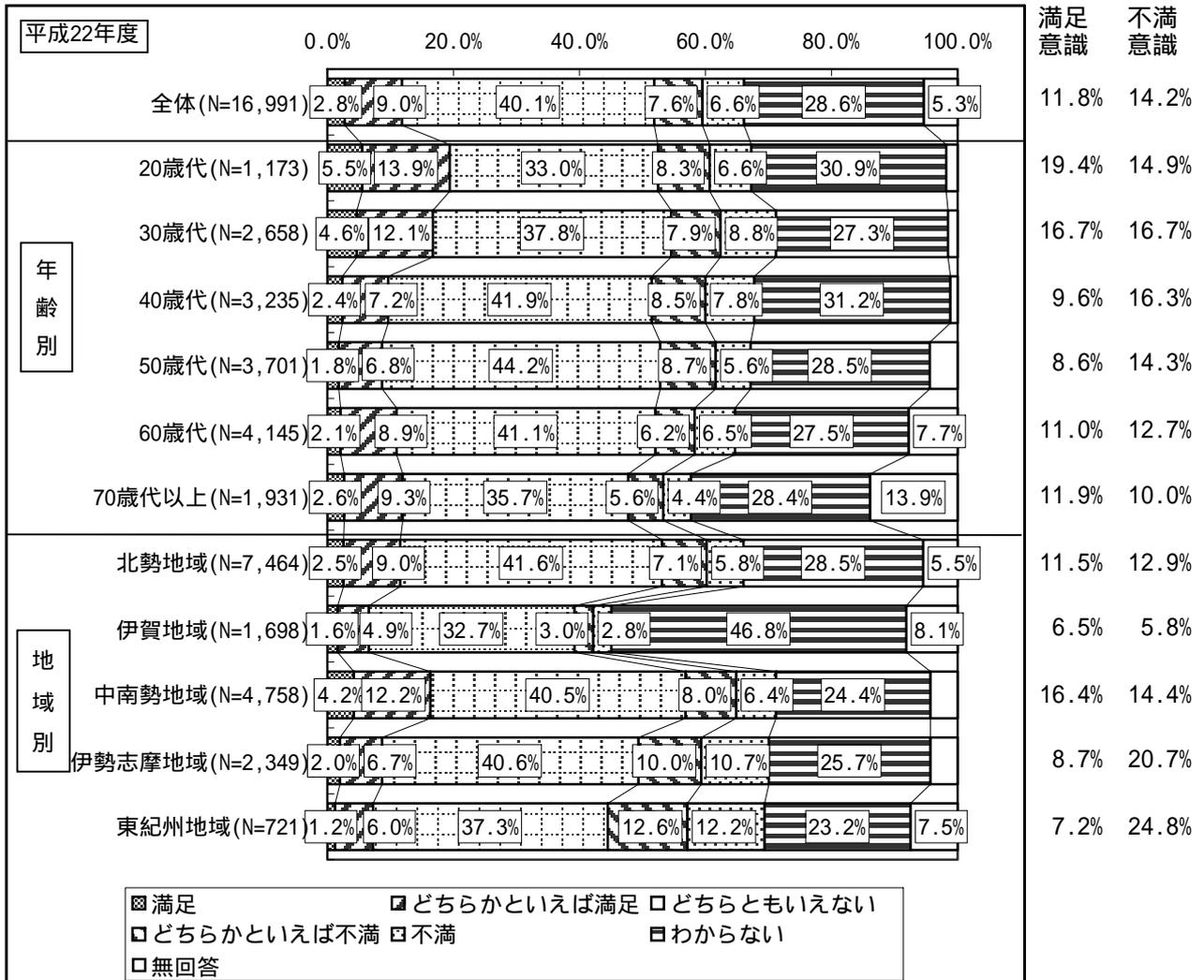
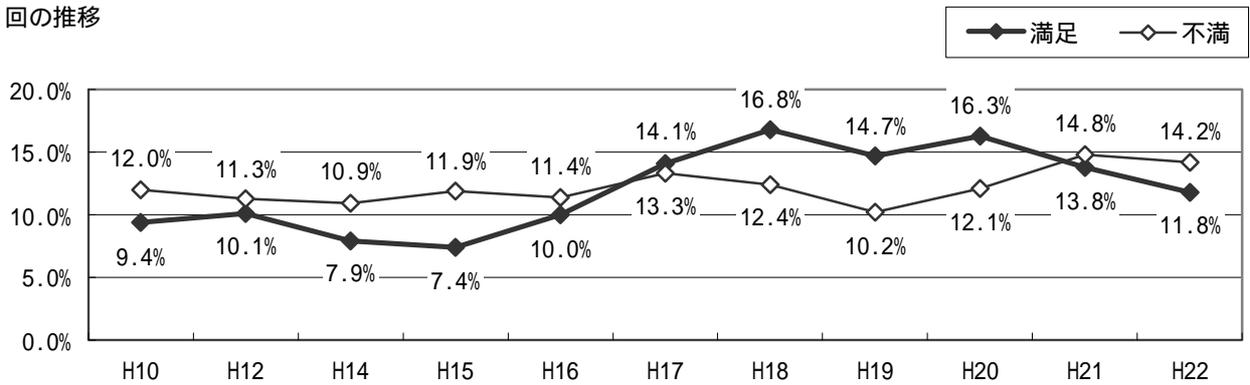
重要意識 (集計資料 p.110)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.111)

11回の推移

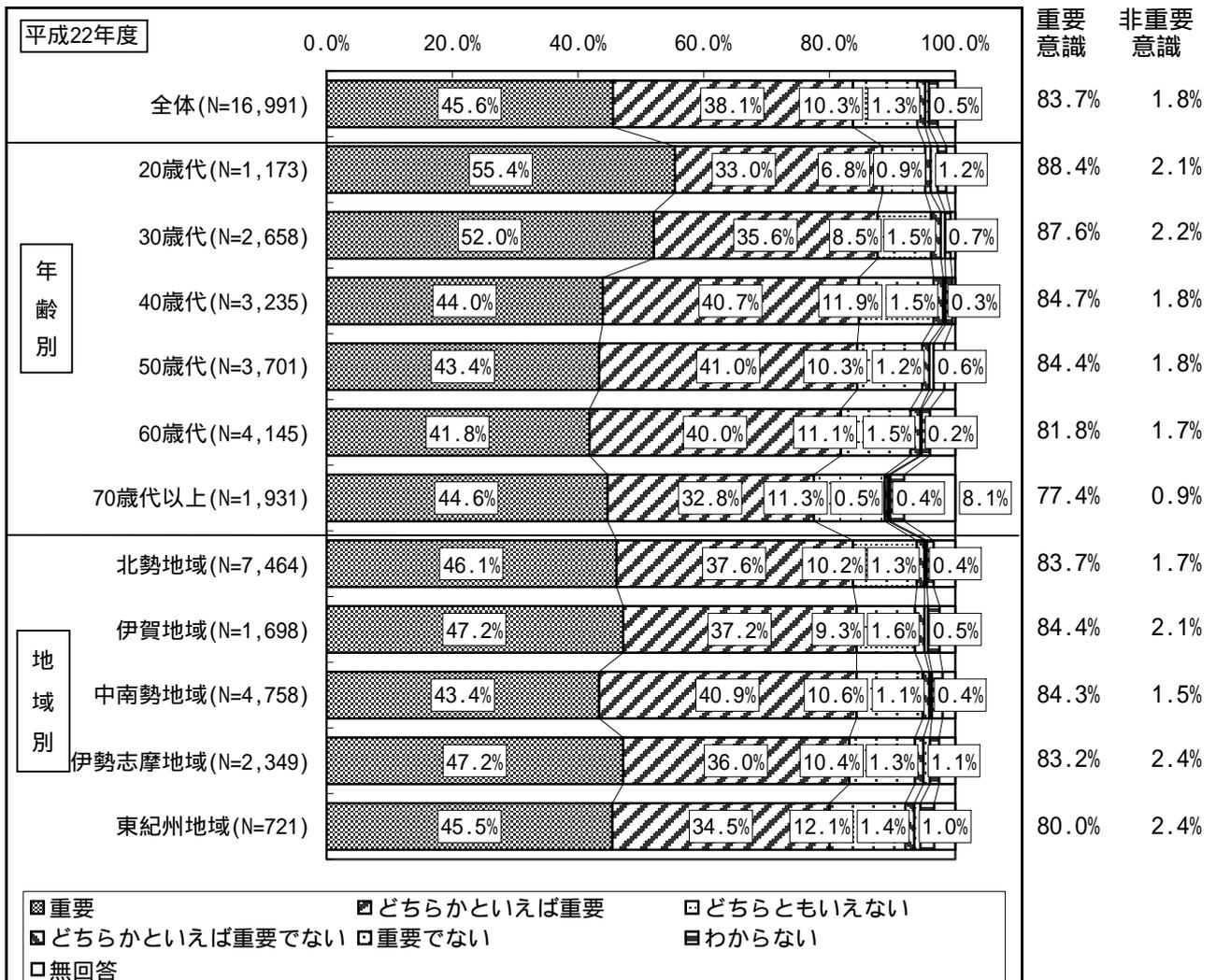
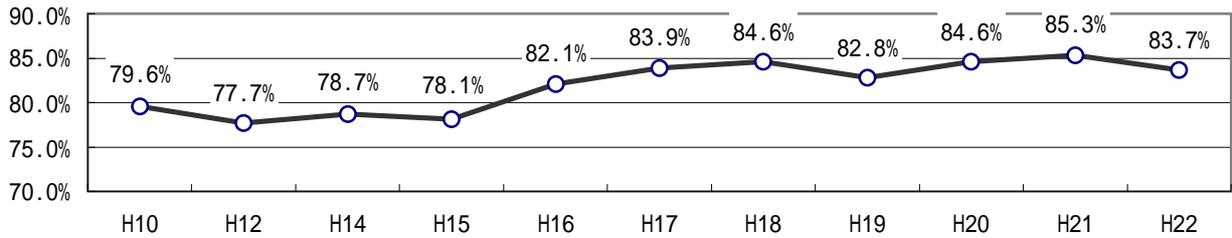


40) 快適なまちづくり

平成 15 年度までの表現	公園や歩道、段差のない公共的施設など快適なまちづくり
平成 16 年度以降の表現	段差のない公共的施設、公園や歩道など、快適で暮らしやすいまちづくりが行われていること。

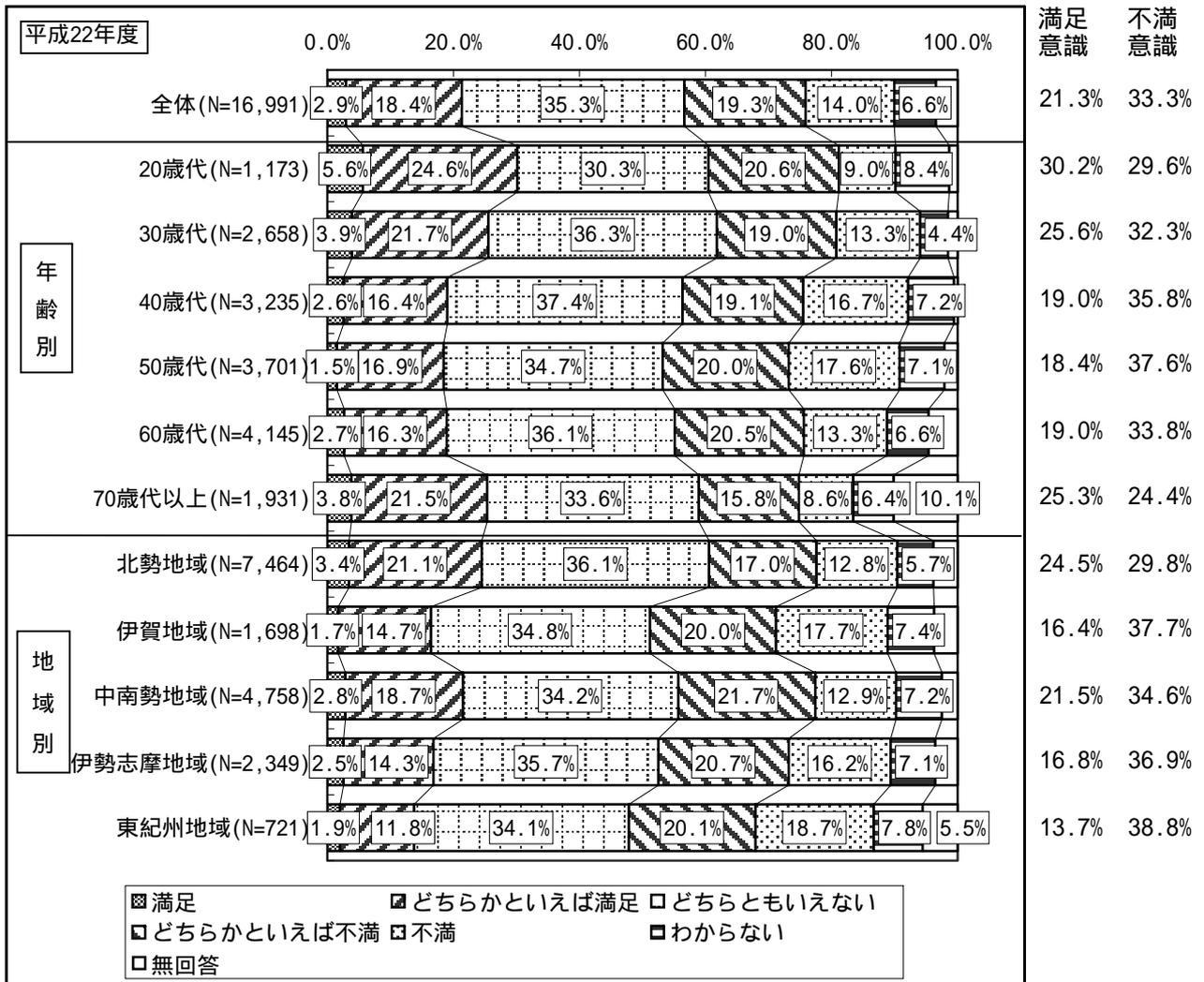
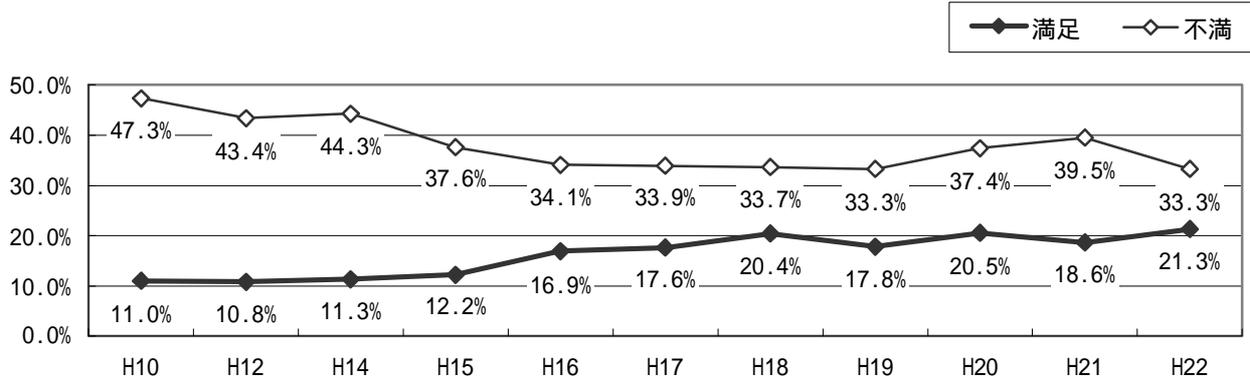
重要意識 (集計資料 p.112)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.113)

11回の推移

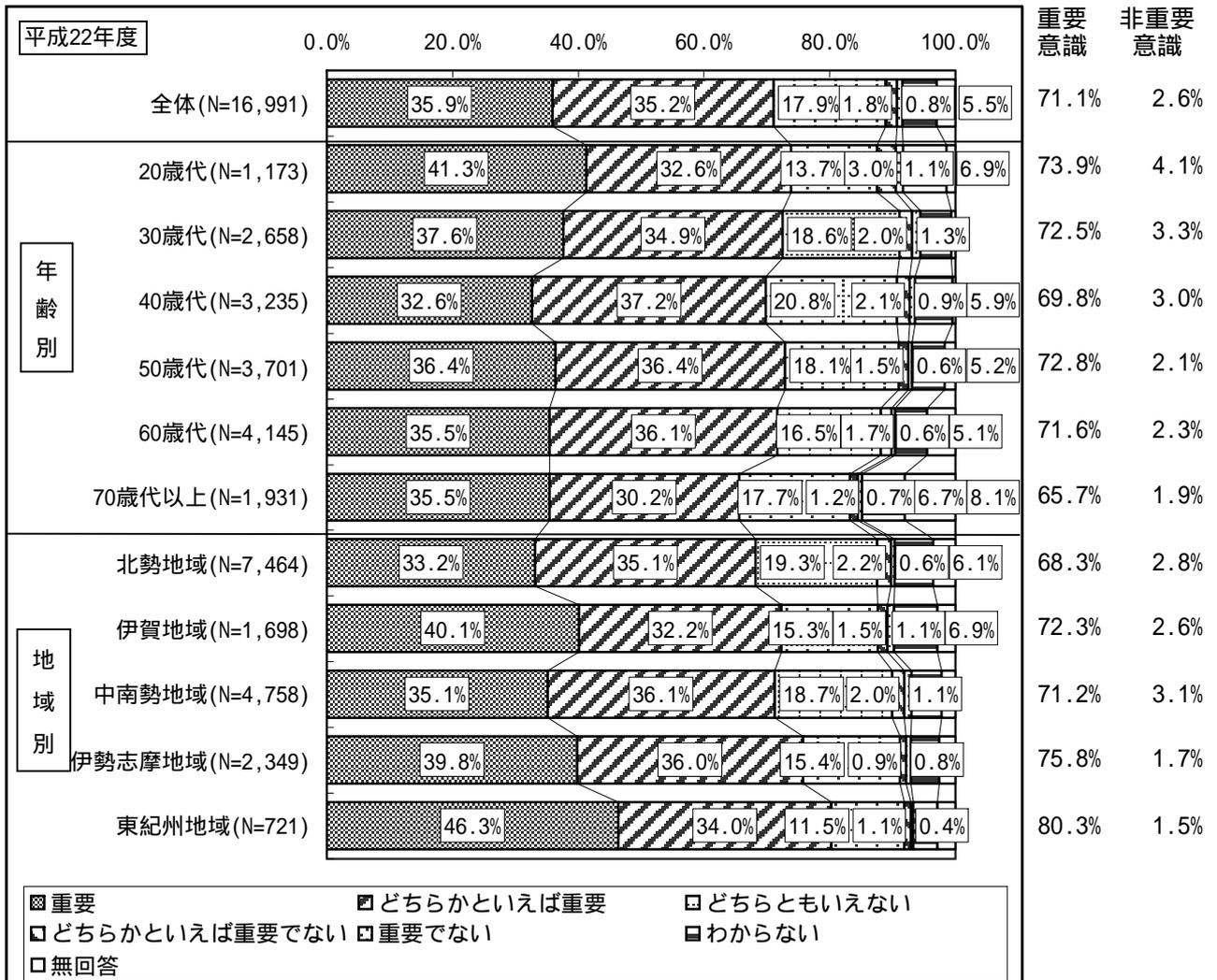
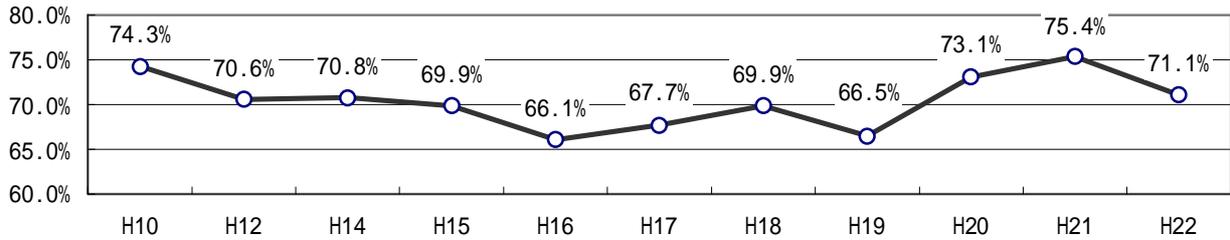


41) 農山漁村づくり

平成 15 年度までの表現	道路、生活排水処理施設の整備など若者が定住する農山漁村づくり
平成 16 年度以降の表現	農山漁村の生活基盤が整備され、住民や訪れた人々にとって魅力がある地域になっていること。

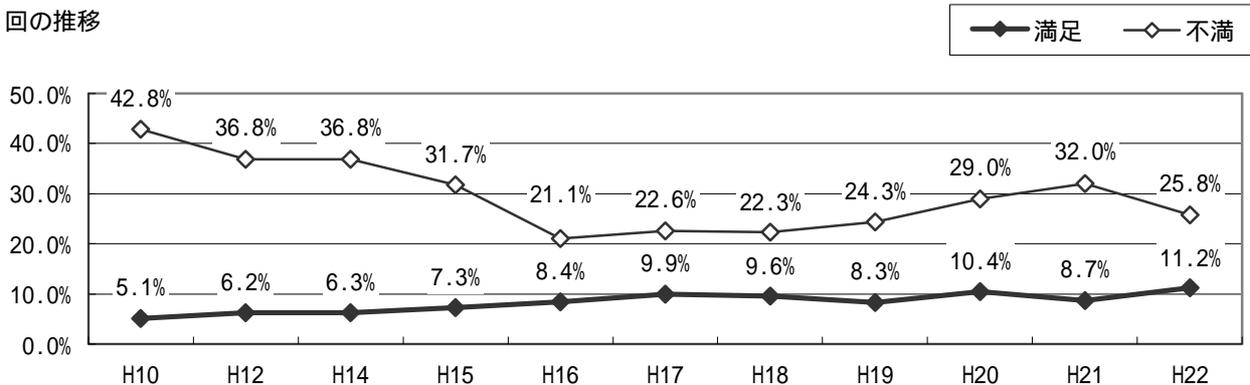
重要意識 (集計資料 p.114)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.115)

11回の推移

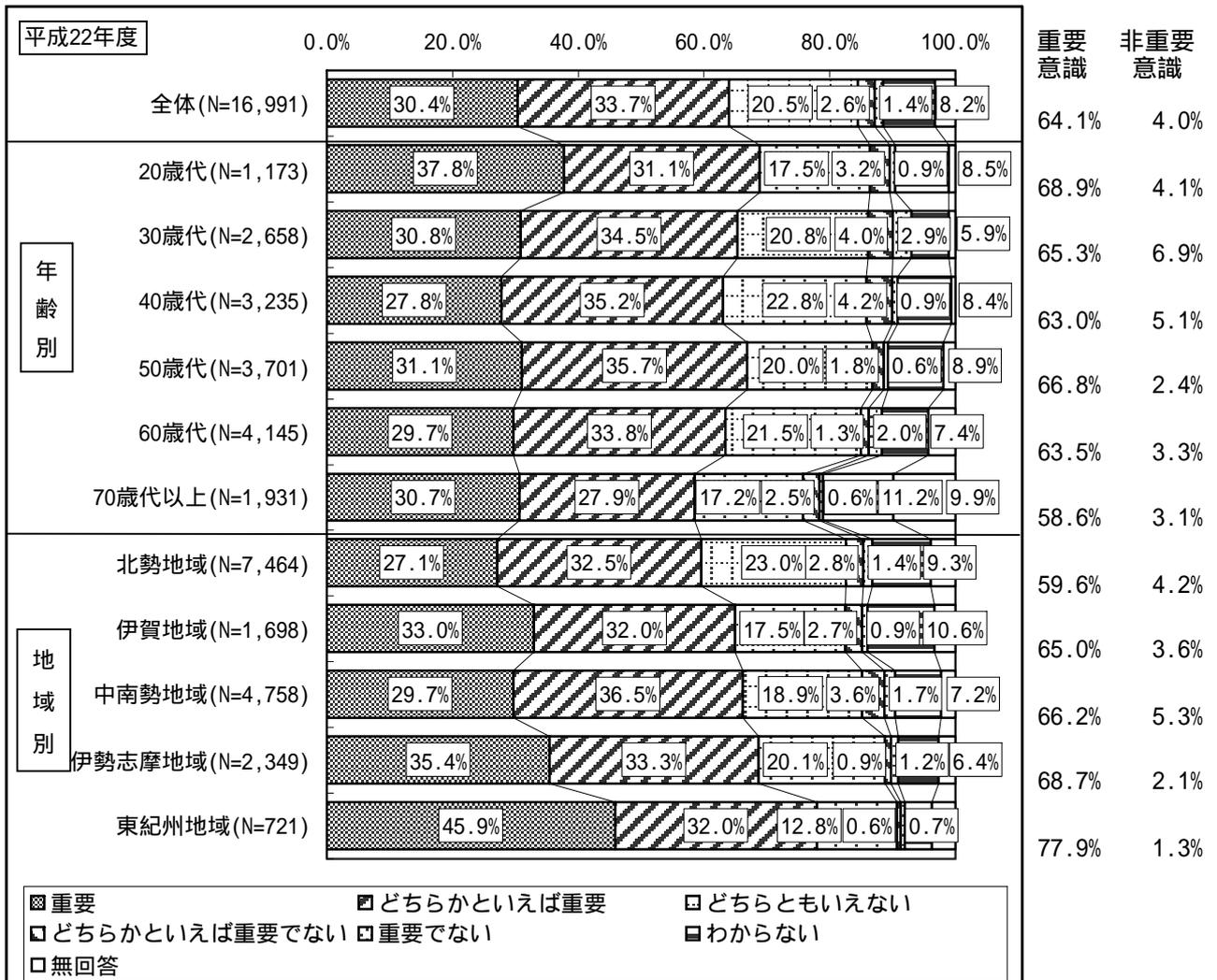
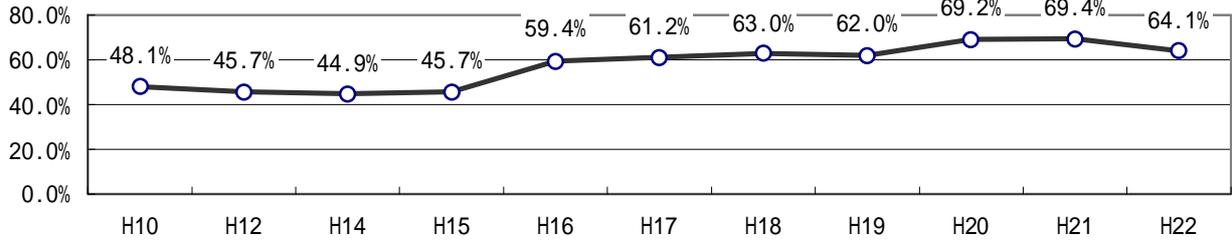


42) 過疎地域等の振興

平成 15 年度までの表現	過疎地域や離島、半島地域の活性化
平成 16 年度以降の表現	過疎地域や離島等が活性化や地域おこしの取組を通じて魅力のある地域になっていること。

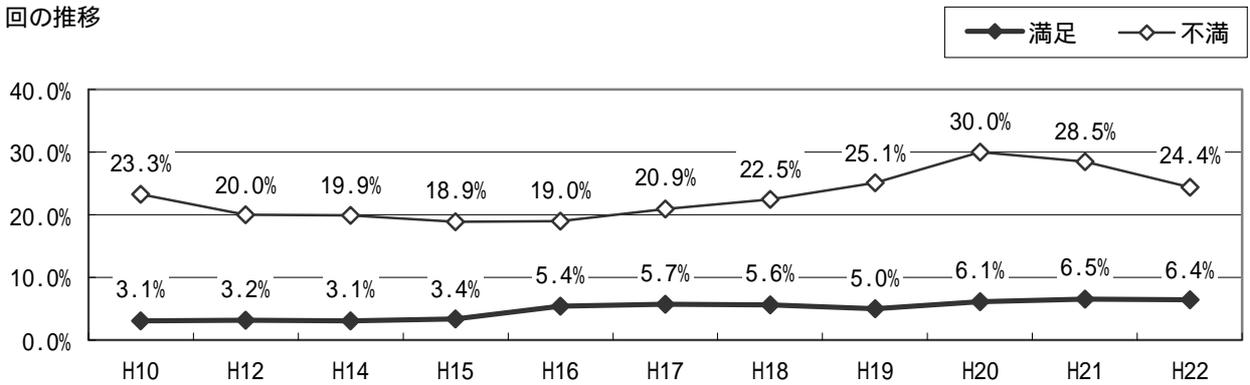
重要意識 (集計資料 p.116)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.117)

11回の推移

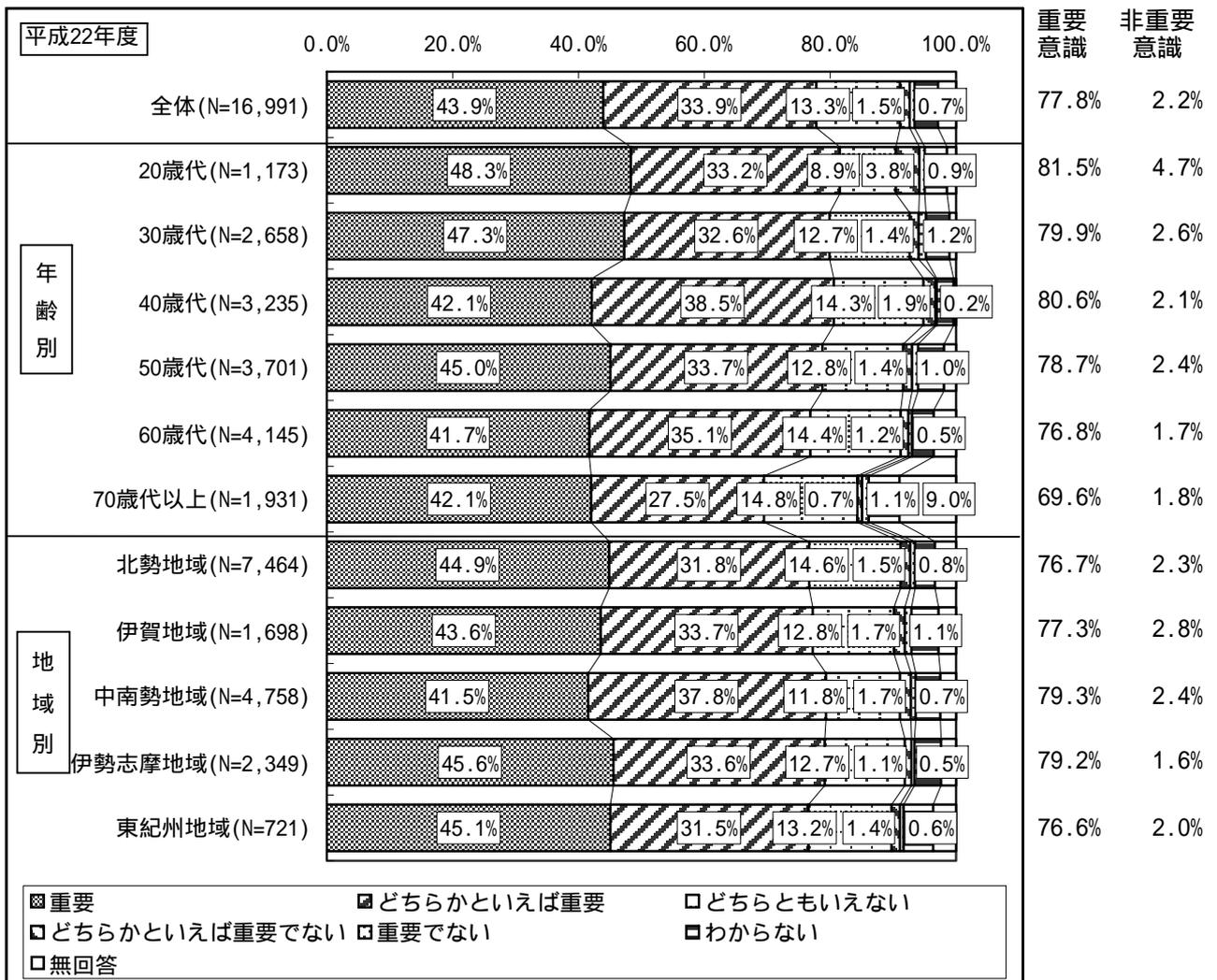
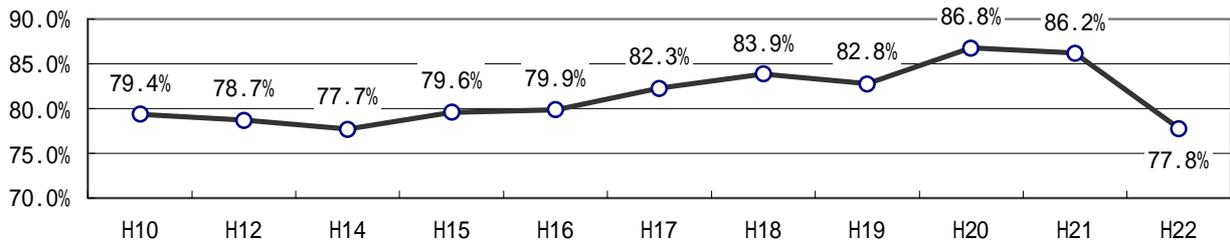


43) エネルギー

平成 15 年度までの表現	省エネルギー対策の推進、太陽光発電の普及など地球に優しいエネルギー対策
平成 16 年度以降の表現	省エネルギーの意識や、太陽光発電の普及など地球にやさしいエネルギー対策が進んでいること。

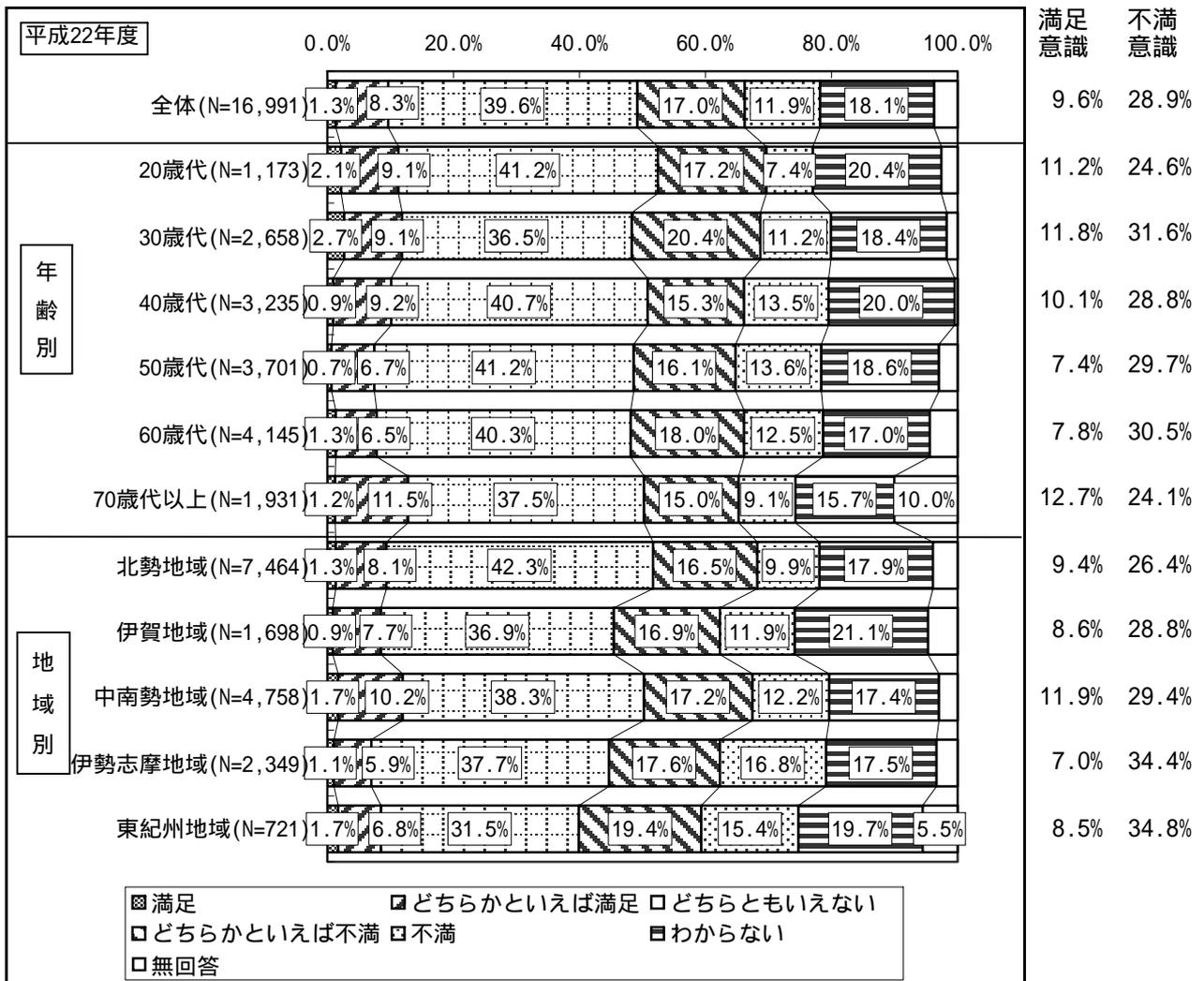
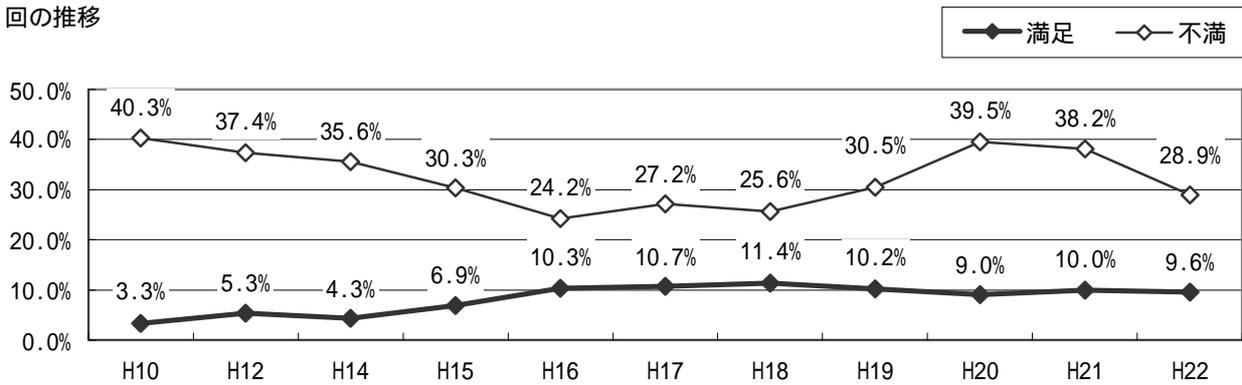
重要意識 (集計資料 p.118)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.119)

11回の推移

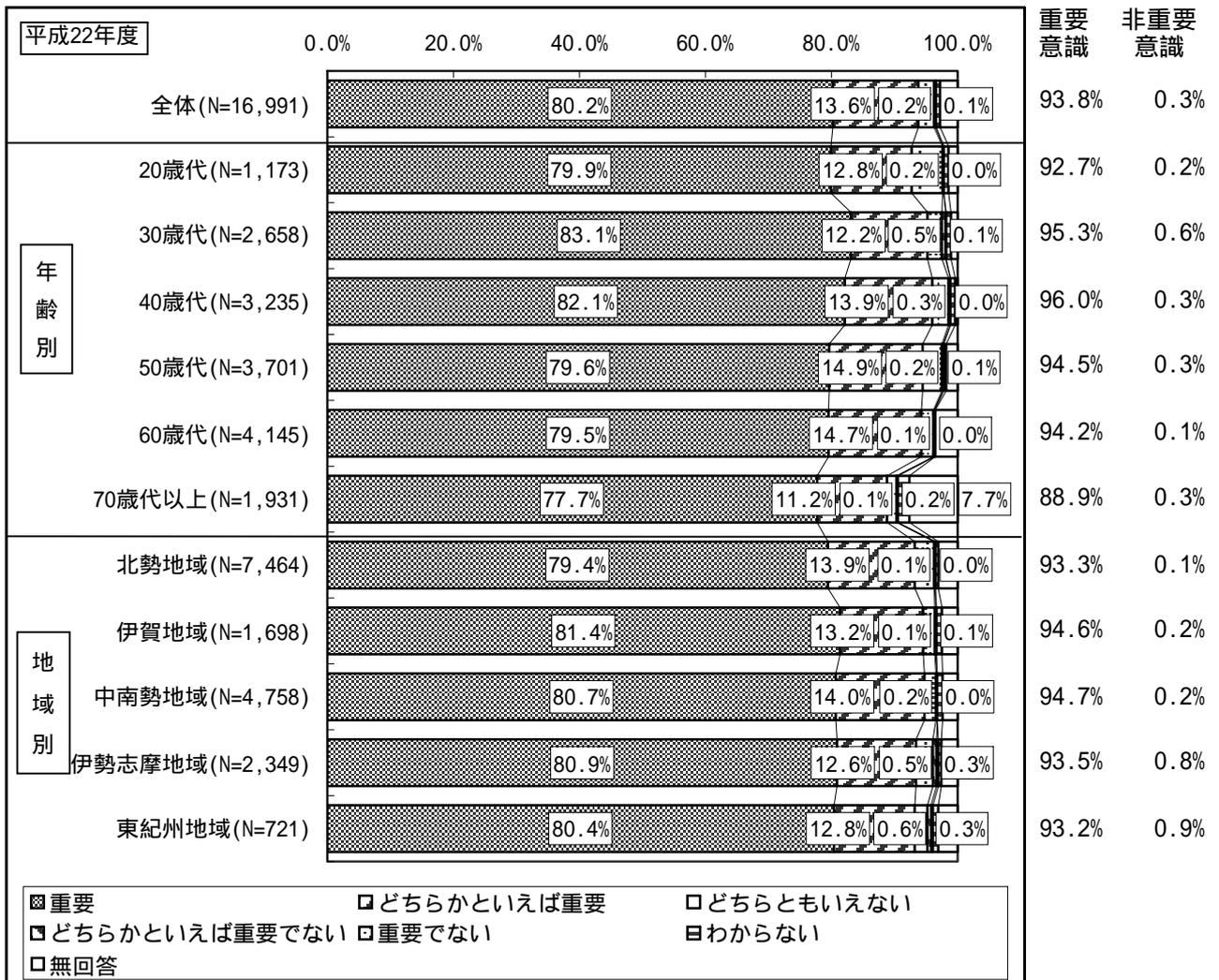
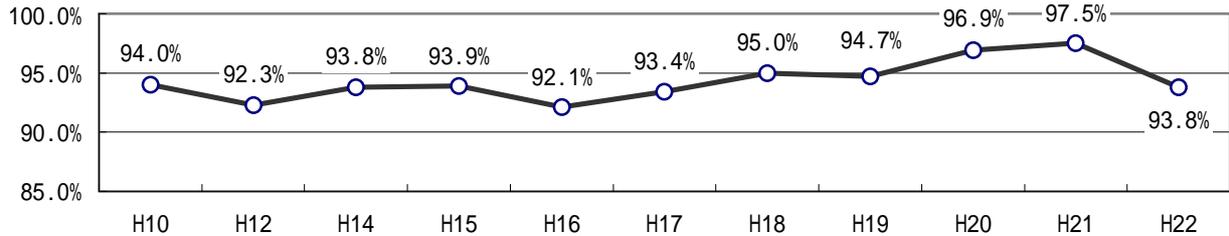


44) 飲料水の供給

平成 15 年度までの表現	安心して飲める水の安定確保
平成 16 年度以降の表現	安心して飲める水が安定的に供給されること。

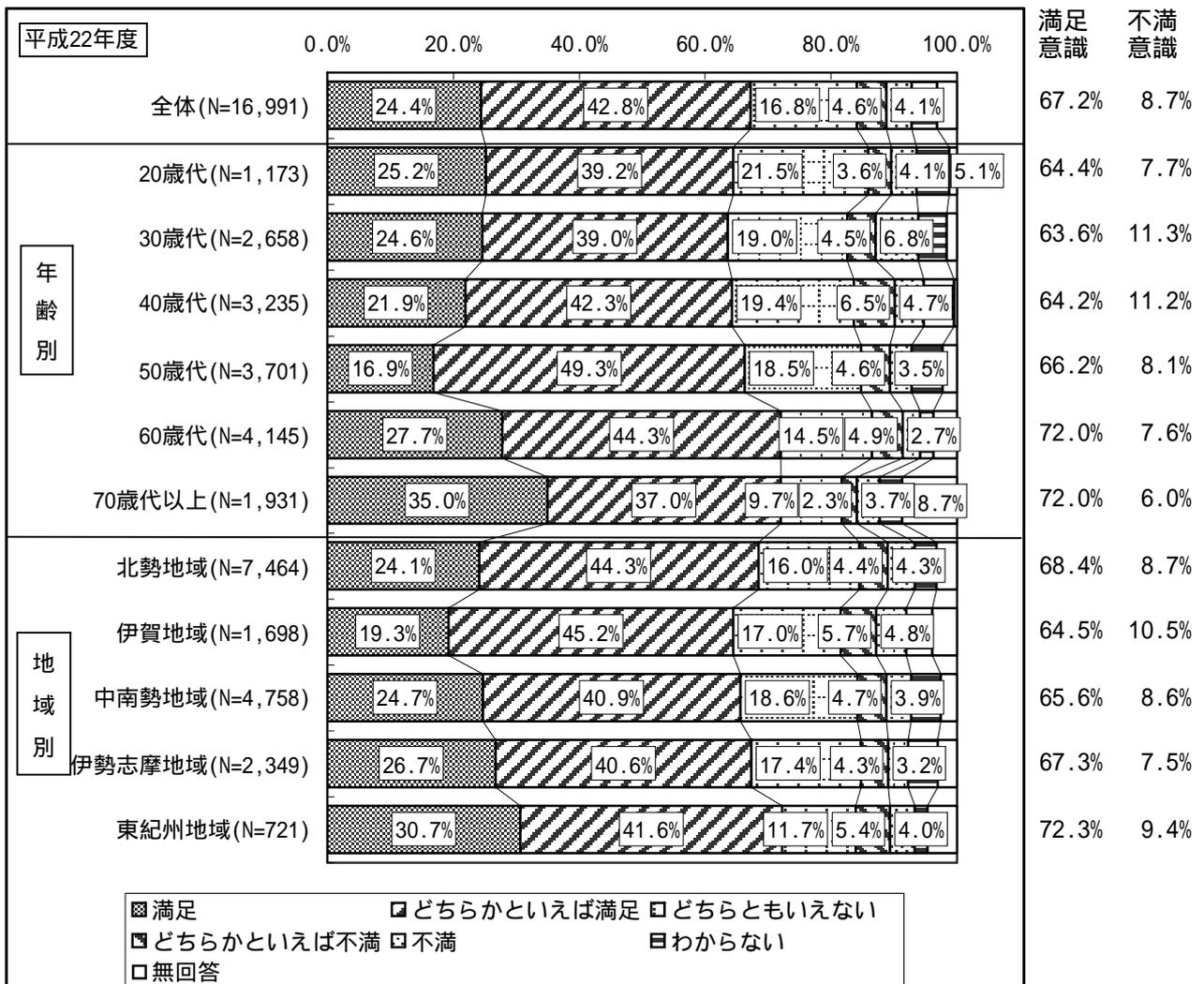
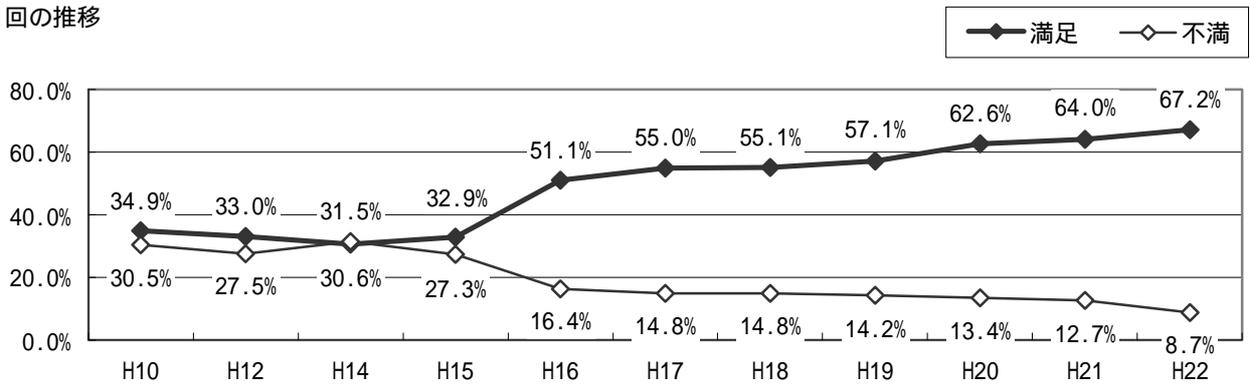
重要意識 (集計資料 p.120)

11 回の推移



満足意識 (集計資料 p.121)

11回の推移



## 2 . 重要度、満足度について

### ( 1 ) 重要度と満足度の算出方法について

項目間の比較や、地域ごとの傾向の比較を容易にするため、各選択肢の構成比を1つの指標に置き換えることを考える。具体的には、各分野の取組の重要意識及び満足意識の各選択肢に重みをつけて得点化し、加重平均を算出したものをそれぞれ重要度・満足度とする。

表 得点配分

選択肢	得点
重要・満足	+ 2
どちらかといえば重要・どちらかといえば満足	+ 1
どちらともいえない	± 0
どちらかといえば重要でない・どちらかといえば不満	- 1
重要でない・不満	- 2

$$\text{重要度 (満足度)} = \frac{(\text{選択肢の回答数}) \times (\text{選択肢の得点})}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

この結果を基に 44 項目の重要度・満足度の現状や、重要度と満足度の関係等を分析する。

(2) 重要度、満足度のプロット図について

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとって44項目の回答結果をプロットした。

44項目の重要度と満足度のそれぞれの平均値(重要度県平均値1.34、満足度県平均値-0.07)によって分けられた4つのグループについて以下のように分類している。

なお、地域別による違い等を分析する際、県全体や他地域との比較を分かりやすくするため、ゾーン分けは県全体の平均ラインを用い、参考として図中に地域の重要度、満足度の平均ラインを一点鎖線で示している。

重要度

<p><b>Bゾーン</b></p> <p>重要度：平均値より高い 満足度：平均値より高い</p> <p>今後も現在の水準を維持するため、着実に取組を推進する必要がある。</p>	<p><b>Aゾーン</b></p> <p>重要度：平均値より高い 満足度：平均値より低い</p> <p>特に取組の推進や改善に対する県民のニーズ(必要性)が高い項目と考えられ、従来の施策の取組方向について、さらに改善を検討する必要がある。</p>
<p><b>Dゾーン</b></p> <p>重要度：平均値より低い 満足度：平均値より高い</p> <p>現状どおりの着実な取組の推進とともに、施策の重要性についてさらに認知してもらえらる取組を進める必要があると考えられる。</p>	<p><b>Cゾーン</b></p> <p>重要度：平均値より低い 満足度：平均値より低い</p> <p>施策の重要性をさらに認知してもらえらるような取組とともに、従来の施策の取組方向の改善を検討する必要があると考えられる。</p>

満足度

### 3. 現在の行政の取組 44 項目に対する重要度、満足度

平成 22 年度における現在の行政の取組に対する重要度、満足度の結果は、以下ようになった。

重要度については、全ての項目でゼロ以上となっており、県民は 44 項目のいずれについても重要だと感じていることがわかる。また、満足度については多くの項目が負（マイナス）の値を示しており、特に「地域商工業」「雇用」の満足度は低くなっている。

表 平成 22 年度の重要度、満足度

順位	項目	重要度	前年比
1位	医療体制【くらし】	1.81	-0.05
2位	飲料水の供給【くらし】	1.80	-0.04
3位	防犯【くらし】	1.77	-0.04
4位	食の安全【くらし】	1.72	-0.04
5位	きれいな空気【くらし】	1.72	-0.02
6位	青少年の健全育成【元気】	1.72	-0.03
7位	学校教育【元気】	1.70	-0.03
8位	雇用【元気】	1.70	0.01
9位	災害対策【くらし】	1.69	-0.08
10位	川や海の水質【くらし】	1.67	-0.06
11位	交通安全【くらし】	1.66	-0.06
12位	子育て環境【くらし】	1.66	-0.06
13位	地域での防災の取組【くらし】	1.65	-0.10
14位	福祉サービス【くらし】	1.60	-0.03
15位	保健予防体制【くらし】	1.54	-0.03
16位	人権尊重【元気】	1.54	-0.13
17位	地球温暖化防止【くらし】	1.53	-0.11
18位	公共交通機関【絆】	1.37	0.02
19位	地域商工業【元気】	1.37	0.01
20位	ごみの減量【くらし】	1.33	-0.07
21位	自然環境との共生【くらし】	1.33	0.04
22位	快適なまちづくり【絆】	1.33	0.01
23位	農林水産業の振興【元気】	1.29	-0.07
24位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	1.27	-0.01
25位	エネルギー【くらし】	1.27	-0.17
26位	生涯学習【元気】	1.26	-0.04
27位	職業能力開発【元気】	1.26	0.01
28位	観光【元気】	1.26	0.08
29位	道路の整備【絆】	1.25	0.13
30位	産業振興【元気】	1.24	0.05
31位	高等教育機関【絆】	1.22	-0.04
32位	技術開発【元気】	1.15	0.00
33位	農山漁村づくり【絆】	1.13	-0.03
34位	広域交流・連携【絆】	1.06	-0.08
35位	情報ネットワーク【絆】	1.04	0.08
36位	歴史・文化遺産【元気】	1.03	-0.02
37位	高速交通網【絆】	1.03	0.07
38位	過疎地域等の振興【絆】	1.00	-0.06
39位	希少な生物【くらし】	1.00	-0.01
40位	スポーツ・レクリエーション【元気】	0.99	-0.07
41位	市民活動【絆】	0.91	-0.02
42位	文化・芸術【元気】	0.89	0.01
43位	国際化【絆】	0.77	-0.04
44位	港の整備【絆】	0.63	0.04
	重要度平均	1.34	-0.03

順位	項目	満足度	前年比
1位	飲料水の供給【くらし】	0.85	0.14
2位	食の安全【くらし】	0.52	0.50
3位	自然環境との共生【くらし】	0.51	0.16
4位	きれいな空気【くらし】	0.51	0.38
5位	情報ネットワーク【絆】	0.34	0.02
6位	歴史・文化遺産【元気】	0.23	0.07
7位	生涯学習【元気】	0.19	-0.01
8位	人権尊重【元気】	0.16	0.08
9位	保健予防体制【くらし】	0.14	0.08
10位	希少な生物【くらし】	0.08	0.09
11位	市民活動【絆】	0.08	0.06
12位	道路の整備【絆】	0.05	-0.06
13位	川や海の水質【くらし】	0.02	0.33
14位	ごみの減量【くらし】	0.00	0.16
15位	高速交通網【絆】	0.00	-0.05
16位	災害対策【くらし】	-0.01	0.13
17位	観光【元気】	-0.02	0.03
18位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	-0.03	0.06
19位	スポーツ・レクリエーション【元気】	-0.05	0.08
20位	防犯【くらし】	-0.06	0.23
21位	地域での防災の取組【くらし】	-0.08	0.18
22位	港の整備【絆】	-0.09	-0.03
23位	子育て環境【くらし】	-0.09	0.28
24位	文化・芸術【元気】	-0.10	0.02
25位	福祉サービス【くらし】	-0.11	0.11
26位	学校教育【元気】	-0.11	0.13
27位	医療体制【くらし】	-0.12	0.20
28位	広域交流・連携【絆】	-0.14	0.01
29位	地球温暖化防止【くらし】	-0.15	0.28
30位	国際化【絆】	-0.17	0.01
31位	技術開発【元気】	-0.20	0.01
32位	青少年の健全育成【元気】	-0.20	0.22
33位	高等教育機関【絆】	-0.22	0.01
34位	交通安全【くらし】	-0.22	0.19
35位	快適なまちづくり【絆】	-0.26	0.11
36位	農山漁村づくり【絆】	-0.30	0.16
37位	産業振興【元気】	-0.37	-0.04
38位	エネルギー【くらし】	-0.38	0.14
39位	過疎地域等の振興【絆】	-0.38	0.07
40位	公共交通機関【絆】	-0.39	0.03
41位	農林水産業の振興【元気】	-0.47	0.16
42位	職業能力開発【元気】	-0.52	-0.02
43位	雇用【元気】	-0.78	0.05
44位	地域商工業【元気】	-0.93	0.04
	満足度平均	-0.07	0.11

## 4 . 重要度、満足度プロット図

### ( 1 ) 重要度、満足度プロット図

図 重要度と満足度の関係 (平成 22 年度)

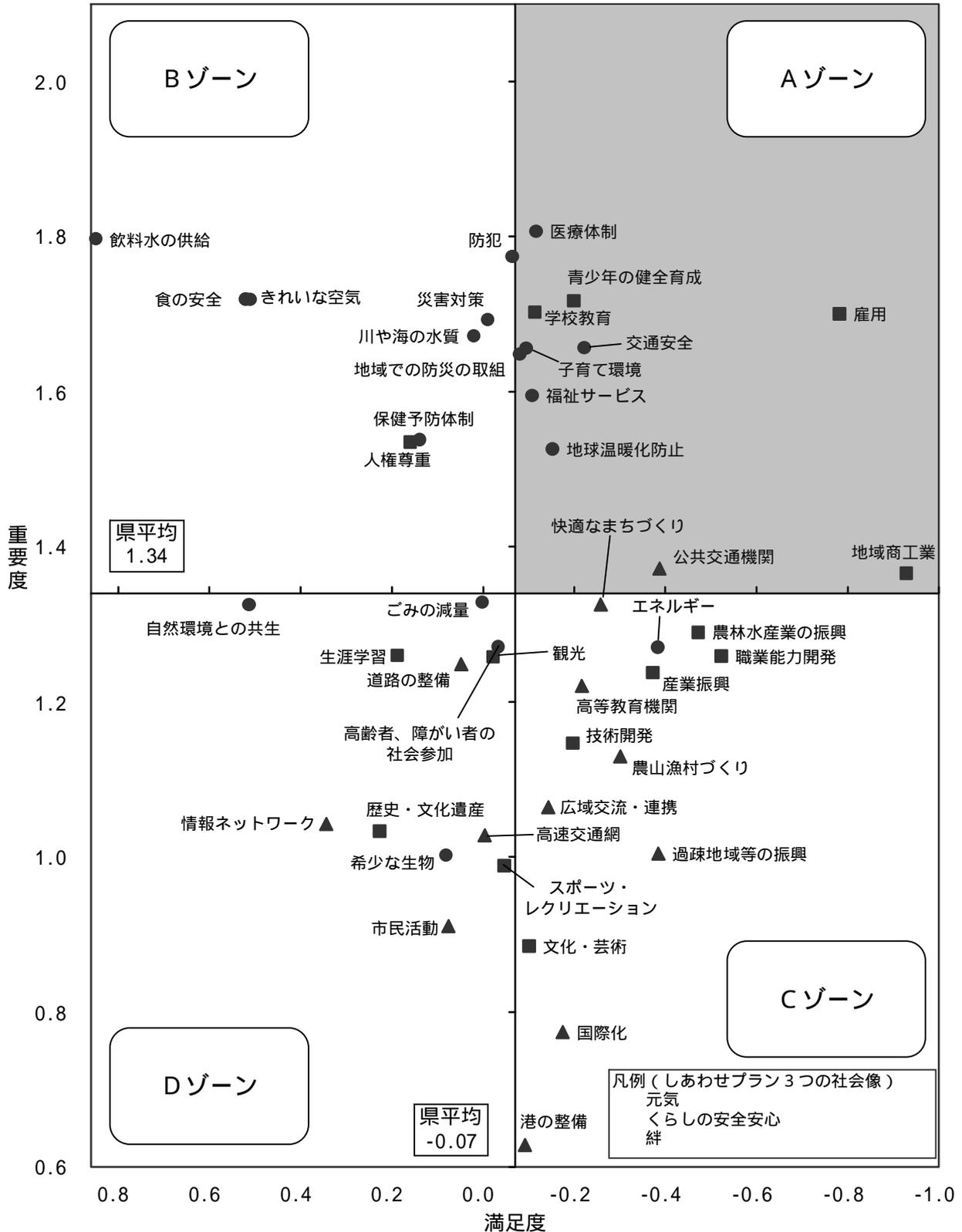
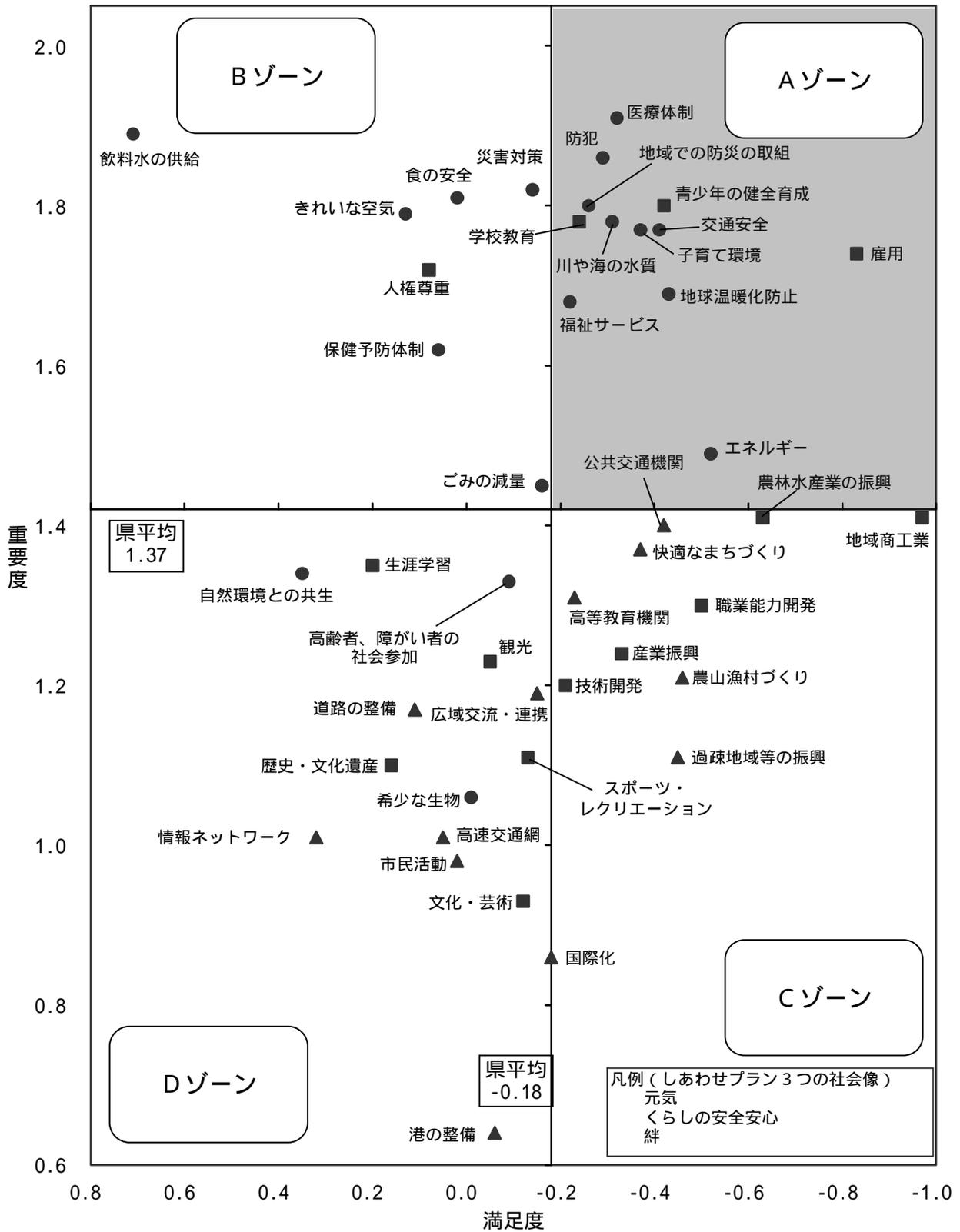


図 重要度と満足度の関係（平成 21 年度）



図は縦軸に重要度、横軸に満足度をとって、各項目をプロットしたものである。この中で特に注目すべき部分は、重要度が高く満足度が低い（不満足度が高い）項目であり、これらはグラフの右上方に位置している（Aゾーン）。これらの取組については特に推進や改善に対する住民のニーズが高いものである。

今回調査における県民ニーズの高い項目（Aゾーンに位置する項目）は、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地域温暖化防止」「地域商工業」「雇用」「公共交通機関」の11項目である。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する18項目のうち13項目が重要度の平均値以上の位置にあり、県民が安全や安心に非常に関心を持っていることがうかがえる。その中で、満足度が低い項目は「福祉サービス」「医療体制」「地球温暖化防止」「交通安全」などとなっている。

「元気」に関する項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「雇用」「地域商工業」がAゾーンに位置し、県民ニーズが高いと考えられる。

また、「人権尊重」「災害対策」「食の安全」「保健予防体制」「きれいな空気」「飲料水の供給」「川や海の水質」「防犯」は、重要度、満足度ともに平均値以上であるBゾーンに位置しており、今後も着実に推進していく必要がある。

## （2）平成21年度との比較

平成21年度の重要度、満足度と比較すると、重要度の平均値は0.03ポイント低く、満足度の平均値は0.11ポイント高くなった。

各項目のゾーンの移動については、次の表の通り。

ゾーンの移動	項目
重要度が平均値より高くなった項目 (Cゾーン Aゾーン)	「地域商工業」「公共交通機関」
満足度が平均値より高くなった項目 (Aゾーン Bゾーン)	「防犯」「川や海の水質」
重要度が平均値より低くなった項目 (Aゾーン Cゾーン)	「エネルギー」

重要度の増加の幅が大きい項目は、「道路の整備」(0.13ポイント増加)、「情報ネットワーク」「観光」(0.08ポイント増加)などとなっている。また、重要度の減少の幅が大きい項目は、「エネルギー」(0.17ポイント減少)、「人権尊重」(0.13ポイント減少)、「地球温暖化防止」(0.11ポイント減少)などとなっている。

満足度の増加の幅が大きい項目は、「食の安全」(0.50ポイント増加)、「きれいな空気」(0.38ポイント増加)、「川や海の水質」(0.33ポイント増加)などとなっている。また、満足度が0.1ポイント以上減少した項目はなかった。

重要度・満足度のいずれかで変化が大きい上位10項目について推移を図示する。

図 平成 21 年度から平成 22 年度の推移で変化の大きい項目

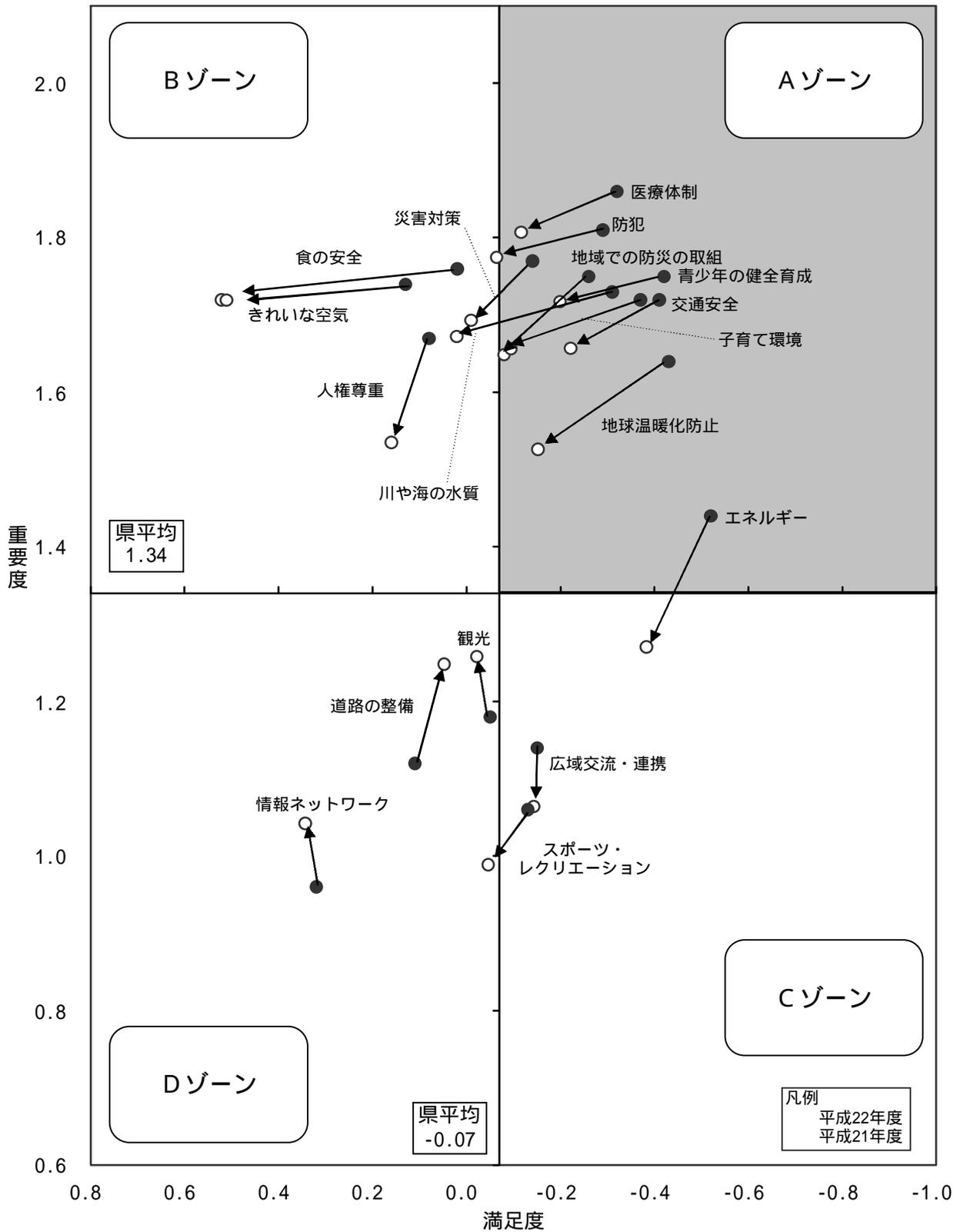


表 重要度の変化が大きい項目

	重要度		増減
	H22	H21	
43. エネルギー	1.27	1.44	-0.17
01. 人権尊重	1.54	1.67	-0.13
37. 道路の整備	1.25	1.12	0.13
25. 地球温暖化防止	1.53	1.64	-0.11
10. 地域での防災の取組	1.65	1.75	-0.10
35. 情報ネットワーク	1.04	0.96	0.08
28. 観光	1.26	1.18	0.08
11. 災害対策	1.69	1.77	-0.08
34. 広域交流・連携	1.06	1.14	-0.08
09. スポーツ・レクリエーション	0.99	1.06	-0.07

表 満足度の変化が大きい項目

	満足度		増減
	H22	H21	
14. 食の安全	0.52	0.02	0.50
23. きれいな空気	0.51	0.13	0.38
24. 川や海の水質	0.02	-0.31	0.33
25. 地球温暖化防止	-0.15	-0.43	0.28
17. 子育て環境	-0.09	-0.37	0.28
13. 防犯	-0.06	-0.29	0.23
04. 青少年の健全育成	-0.20	-0.42	0.22
18. 医療体制	-0.12	-0.32	0.20
12. 交通安全	-0.22	-0.41	0.19
10. 地域での防災の取組	-0.08	-0.26	0.18

(3) 重要度と満足度の関係の推移 (地域別)

重要度と満足度について、今回と前回(平成21年度)さらに5年前の平成17年度の3カ年について各地域ごとに時系列分析を行った。以下は分析結果の概要である。

< 県全体の重要度と満足度の推移 >

- ・「学校教育」「地域での防災の取組」等では、一貫して満足度が上がっている。
- ・「産業振興」「職業能力開発」等では、一貫して満足度が下がっている。
- ・「文化・芸術」「観光」「地域商工業」「雇用」「職業能力開発」「公共交通機関」では、一貫して重要度が上がっている。
- ・「市民活動」「歴史・文化遺産」「地域での防災の取組」「災害対策」「防犯」「保健予防体制」「希少な生物」「ごみの減量」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「国際化」「エネルギー」では、一貫して重要度が下がっている。

< 地域別の重要度と満足度の推移 > (集計資料 p.137~141)

重要度・満足度の増減のある項目が多い場合は、0.1ポイント以上の増減がある項目のみを記載している。

【北勢地域】

満足度が上がっているもの……「防犯」「地域での防災の取組」「飲料水の供給」「青少年の健全育成」「学校教育」「災害対策」「文化・芸術」「歴史・文化遺産」「情報ネットワーク」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
13. 防犯	1.86	1.80	1.76	-0.51	-0.37	-0.11	0.40
10. 地域での防災の取組	1.78	1.76	1.60	-0.34	-0.28	0.03	0.37
44. 飲料水の供給	1.85	1.84	1.79	0.53	0.69	0.85	0.32
04. 青少年の健全育成	1.73	1.73	1.71	-0.50	-0.49	-0.19	0.31
03. 学校教育	1.72	1.72	1.71	-0.32	-0.29	-0.04	0.28
11. 災害対策	1.78	1.76	1.67	-0.17	-0.13	0.11	0.28
07. 文化・芸術	0.85	0.83	0.88	-0.20	-0.14	-0.08	0.12
08. 歴史・文化遺産	0.97	1.00	0.99	0.11	0.12	0.23	0.12
35. 情報ネットワーク	0.94	0.90	1.01	0.26	0.28	0.37	0.11

満足度が下がっているもの……「高速交通網」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
36. 高速交通網	0.97	0.89	1.00	0.17	0.13	0.12	-0.05

重要度が上がっているもの……「観光」「高等教育機関」「技術開発」「職業能力開発」「公共交通機関」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
28. 観光	1.01	1.08	1.21	0.03	-0.04	0.09	0.20
05. 高等教育機関	1.13	1.22	1.23	-0.14	-0.25	-0.16	0.10
29. 技術開発	1.06	1.12	1.14	-0.08	-0.19	-0.04	0.08
32. 職業能力開発	1.15	1.21	1.23	-0.33	-0.40	-0.35	0.08
38. 公共交通機関	1.32	1.34	1.39	-0.16	-0.37	-0.22	0.07

重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「地域での防災の取組」「エネルギー」「地球温暖化防止」「災害対策」「川や海の水質」「防犯」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
22. ごみの減量	1.51	1.39	1.32	-0.12	-0.21	0.02	-0.19
10. 地域での防災の取組	1.78	1.76	1.60	-0.34	-0.28	0.03	-0.18
43. エネルギー	1.41	1.40	1.27	-0.31	-0.53	-0.33	-0.14
25. 地球温暖化防止	1.67	1.61	1.53	-0.38	-0.55	-0.20	-0.14
11. 災害対策	1.78	1.76	1.67	-0.17	-0.13	0.11	-0.11
24. 川や海の水質	1.75	1.71	1.65	-0.34	-0.46	-0.07	-0.10
13. 防犯	1.86	1.80	1.76	-0.51	-0.37	-0.11	-0.10

【伊賀地域】

満足度が上がっているもの……「地域での防災の取組」「川や海の水質」「防犯」「飲料水の供給」「青少年の健全育成」「災害対策」「自然環境との共生」「希少な生物」「学校教育」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
10. 地域での防災の取組	1.76	1.70	1.64	-0.52	-0.20	-0.12	0.40
24. 川や海の水質	1.73	1.74	1.68	-0.24	-0.11	0.15	0.39
13. 防犯	1.79	1.81	1.79	-0.31	-0.15	0.01	0.32
44. 飲料水の供給	1.84	1.85	1.82	0.45	0.67	0.74	0.29
04. 青少年の健全育成	1.76	1.77	1.73	-0.43	-0.37	-0.18	0.25
11. 災害対策	1.72	1.73	1.64	-0.23	-0.05	-0.03	0.20
20. 自然環境との共生	1.38	1.30	1.33	0.50	0.54	0.69	0.19
21. 希少な生物	1.03	1.00	0.96	0.03	0.05	0.21	0.18
03. 学校教育	1.76	1.73	1.74	-0.34	-0.27	-0.19	0.15

満足度が下がっているもの……「医療体制」「職業能力開発」「産業振興」「地域商工業」「公共交通機関」「雇用」「福祉サービス」「高速交通網」「技術開発」「過疎地域等の振興」「高等教育機関」「広域交流・連携」「保健予防体制」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
18. 医療体制	1.84	1.88	1.86	-0.19	-0.72	-0.73	-0.54
32. 職業能力開発	1.22	1.27	1.28	-0.39	-0.51	-0.70	-0.31
27. 産業振興	1.19	1.23	1.26	-0.13	-0.28	-0.42	-0.29
30. 地域商工業	1.27	1.37	1.36	-0.68	-0.86	-0.97	-0.29
38. 公共交通機関	1.29	1.43	1.44	-0.45	-0.54	-0.70	-0.25
31. 雇用	1.61	1.71	1.74	-0.69	-0.83	-0.94	-0.25
19. 福祉サービス	1.58	1.65	1.63	0.04	-0.18	-0.21	-0.25
36. 高速交通網	1.05	1.05	1.05	-0.09	-0.14	-0.31	-0.22
29. 技術開発	1.10	1.17	1.15	-0.09	-0.17	-0.29	-0.20
42. 過疎地域等の振興	0.95	1.13	1.09	-0.27	-0.42	-0.46	-0.19
05. 高等教育機関	1.20	1.26	1.26	-0.20	-0.25	-0.38	-0.18
34. 広域交流・連携	1.17	1.22	1.19	-0.10	-0.13	-0.22	-0.12
16. 保健予防体制	1.56	1.59	1.59	0.16	0.06	0.05	-0.11

重要度が上がっているもの……「観光」「公共交通機関」「雇用」「産業振興」「職業能力開発」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
28. 観光	1.13	1.24	1.30	0.06	0.06	-0.07	0.17
38. 公共交通機関	1.29	1.43	1.44	-0.45	-0.54	-0.70	0.15
31. 雇用	1.61	1.71	1.74	-0.69	-0.83	-0.94	0.13
27. 産業振興	1.19	1.23	1.26	-0.13	-0.28	-0.42	0.07
32. 職業能力開発	1.22	1.27	1.28	-0.39	-0.51	-0.70	0.06

重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「スポーツ・レクリエーション」「地域での防災の取組」「国際化」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
22. ごみの減量	1.53	1.39	1.32	-0.02	-0.01	0.05	-0.21
09. スポーツ・レクリエーション	1.16	1.04	1.02	-0.12	-0.06	-0.07	-0.14
10. 地域での防災の取組	1.76	1.70	1.64	-0.52	-0.20	-0.12	-0.12
33. 国際化	0.90	0.82	0.79	-0.14	-0.12	-0.19	-0.11

【中南勢地域】

満足度が上がっているもの……「飲料水の供給」「防犯」「川や海の水質」「地域での防災の取組」「青少年の健全育成」「災害対策」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
44. 飲料水の供給	1.81	1.85	1.81	0.51	0.68	0.84	0.33
13. 防犯	1.84	1.83	1.79	-0.38	-0.33	-0.13	0.25
24. 川や海の水質	1.76	1.75	1.67	-0.30	-0.28	-0.06	0.24
10. 地域での防災の取組	1.81	1.78	1.68	-0.41	-0.29	-0.19	0.22
04. 青少年の健全育成	1.73	1.78	1.73	-0.47	-0.40	-0.29	0.18
11. 災害対策	1.79	1.81	1.71	-0.25	-0.15	-0.09	0.16

満足度が下がっているもの……「産業振興」「地域商工業」「雇用」「過疎地域等の振興」「高齢者、障がい者の社会参加」「技術開発」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
27. 産業振興	1.19	1.20	1.21	-0.09	-0.37	-0.47	-0.38
30. 地域商工業	1.30	1.35	1.36	-0.80	-1.02	-1.08	-0.28
31. 雇用	1.66	1.71	1.71	-0.68	-0.83	-0.90	-0.22
42. 過疎地域等の振興	0.98	1.06	0.98	-0.31	-0.47	-0.49	-0.18
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.24	1.34	1.25	0.03	-0.06	-0.09	-0.12
29. 技術開発	1.18	1.17	1.11	-0.15	-0.17	-0.27	-0.12

重要度が上がっているもの……「観光」「地域商工業」「産業振興」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
28. 観光	1.11	1.18	1.23	-0.04	-0.04	-0.11	0.12
30. 地域商工業	1.30	1.35	1.36	-0.80	-1.02	-1.08	0.06
27. 産業振興	1.19	1.20	1.21	-0.09	-0.37	-0.47	0.02

重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「地球温暖化防止」「国際化」「地域での防災の取組」「希少な生物」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
22. ごみの減量	1.54	1.44	1.33	-0.12	-0.16	-0.06	-0.21
25. 地球温暖化防止	1.69	1.65	1.50	-0.29	-0.41	-0.19	-0.19
33. 国際化	0.90	0.89	0.75	-0.14	-0.17	-0.22	-0.15
10. 地域での防災の取組	1.81	1.78	1.68	-0.41	-0.29	-0.19	-0.13
21. 希少な生物	1.08	1.04	0.96	-0.04	-0.04	-0.02	-0.12

【伊勢志摩地域】

満足度が上がっているもの……「川や海の水質」「きれいな空気」「防犯」「青少年の健全育成」「飲料水の供給」「学校教育」「災害対策」「地域での防災の取組」「観光」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
24. 川や海の水質	1.76	1.76	1.73	-0.23	-0.16	0.21	0.44
23. きれいな空気	1.74	1.76	1.75	0.38	0.42	0.80	0.42
13. 防犯	1.81	1.81	1.77	-0.29	-0.13	0.06	0.35
04. 青少年の健全育成	1.68	1.74	1.71	-0.41	-0.35	-0.11	0.30
44. 飲料水の供給	1.82	1.84	1.79	0.62	0.80	0.90	0.28
03. 学校教育	1.69	1.75	1.69	-0.31	-0.22	-0.09	0.22
11. 災害対策	1.77	1.78	1.74	-0.40	-0.19	-0.18	0.22
10. 地域での防災の取組	1.75	1.73	1.74	-0.38	-0.24	-0.18	0.20
28. 観光	1.34	1.40	1.42	-0.29	-0.13	-0.10	0.19

満足度が下がっているもの……「職業能力開発」「産業振興」「港の整備」「地域商工業」「公共交通機関」「高速交通網」「過疎地域等の振興」「高等教育機関」「雇用」「技術開発」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
32. 職業能力開発	1.27	1.30	1.34	-0.50	-0.63	-0.78	-0.28
27. 産業振興	1.29	1.30	1.32	-0.45	-0.64	-0.72	-0.27
39. 港の整備	0.88	0.58	0.59	-0.05	-0.21	-0.30	-0.25
30. 地域商工業	1.41	1.44	1.44	-0.92	-1.04	-1.16	-0.24
38. 公共交通機関	1.32	1.31	1.34	-0.41	-0.49	-0.64	-0.23
36. 高速交通網	1.12	0.96	1.02	-0.04	-0.12	-0.23	-0.19
42. 過疎地域等の振興	1.05	1.14	1.11	-0.39	-0.54	-0.57	-0.18
05. 高等教育機関	1.23	1.22	1.27	-0.13	-0.22	-0.28	-0.15
31. 雇用	1.68	1.73	1.78	-0.96	-0.99	-1.09	-0.13
29. 技術開発	1.20	1.21	1.21	-0.27	-0.30	-0.38	-0.11

重要度が上がっているもの……「雇用」「観光」「高齢者、障がい者の社会参加」「職業能力開発」「生涯学習」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
31. 雇用	1.68	1.73	1.78	-0.96	-0.99	-1.09	0.10
28. 観光	1.34	1.40	1.42	-0.29	-0.13	-0.10	0.08
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.21	1.24	1.29	0.00	-0.13	-0.04	0.08
32. 職業能力開発	1.27	1.30	1.34	-0.50	-0.63	-0.78	0.07
02. 生涯学習	1.27	1.28	1.31	0.19	0.09	0.13	0.04

重要度が下がっているもの……「国際化」「ごみの減量」「エネルギー」「地球温暖化防止」「広域交流・連携」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
33. 国際化	1.04	0.83	0.76	-0.20	-0.20	-0.25	-0.28
22. ごみの減量	1.54	1.39	1.34	0.00	-0.15	0.00	-0.20
43. エネルギー	1.49	1.48	1.31	-0.41	-0.60	-0.55	-0.18
25. 地球温暖化防止	1.71	1.67	1.57	-0.26	-0.31	-0.13	-0.14
34. 広域交流・連携	1.20	1.13	1.08	-0.16	-0.17	-0.17	-0.12

【東紀州地域】

満足度が上がっているもの……「川や海の水質」「きれいな空気」「飲料水の供給」「防犯」「地域での防災の取組」「災害対策」「青少年の健全育成」「道路の整備」「学校教育」「交通安全」「希少な生物」「文化・芸術」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
24. 川や海の水質	1.76	1.73	1.76	0.01	0.10	0.63	0.62
23. きれいな空気	1.78	1.72	1.76	0.56	0.57	1.12	0.56
44. 飲料水の供給	1.84	1.82	1.80	0.58	0.82	0.96	0.38
13. 防犯	1.82	1.74	1.77	-0.03	0.10	0.34	0.37
10. 地域での防災の取組	1.83	1.77	1.72	-0.34	-0.15	0.00	0.34
11. 災害対策	1.82	1.80	1.74	-0.44	-0.24	-0.10	0.34
04. 青少年の健全育成	1.75	1.75	1.72	-0.36	-0.20	-0.04	0.32
37. 道路の整備	1.57	1.44	1.47	-0.87	-0.62	-0.59	0.28
03. 学校教育	1.76	1.73	1.71	-0.32	-0.23	-0.15	0.17
12. 交通安全	1.69	1.66	1.61	-0.21	-0.16	-0.06	0.15
21. 希少な生物	1.05	0.98	1.02	0.08	0.11	0.22	0.14
07. 文化・芸術	0.95	0.88	0.91	-0.40	-0.34	-0.29	0.11

満足度が下がっているもの……「職業能力開発」「高齢者、障がい者の社会参加」「産業振興」「技術開発」「広域交流・連携」「公共交通機関」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
32. 職業能力開発	1.33	1.38	1.36	-0.69	-0.90	-0.97	-0.28
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.34	1.28	1.31	0.12	0.01	-0.06	-0.18
27. 産業振興	1.41	1.34	1.41	-0.64	-0.79	-0.81	-0.17
29. 技術開発	1.25	1.23	1.22	-0.35	-0.47	-0.49	-0.14
34. 広域交流・連携	1.29	1.19	1.16	-0.13	-0.19	-0.27	-0.14
38. 公共交通機関	1.40	1.39	1.42	-0.88	-0.92	-1.01	-0.13

重要度が上がっているもの……「観光」「農林水産業の振興」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
28. 観光	1.25	1.38	1.39	-0.14	-0.36	-0.25	0.14
26. 農林水産業の振興	1.44	1.48	1.50	-0.56	-0.78	-0.66	0.06

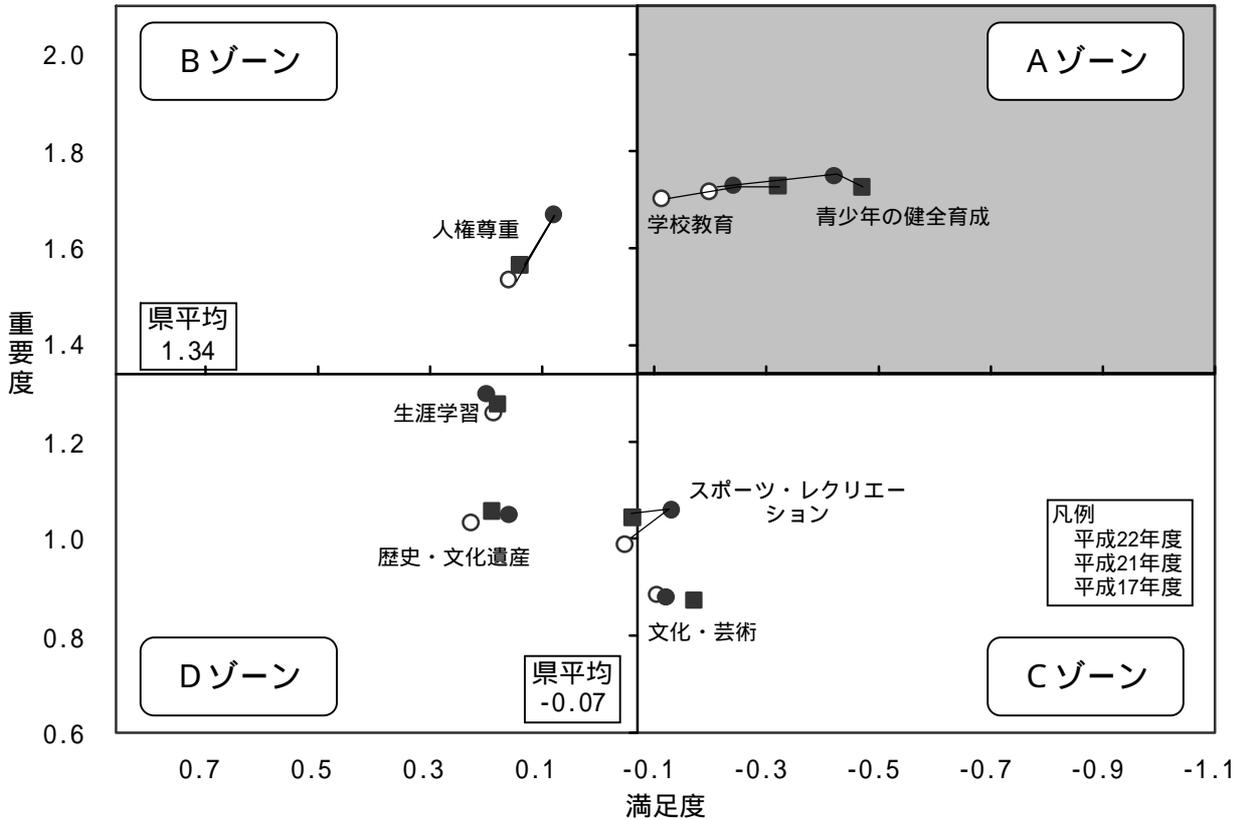
重要度が下がっているもの……「エネルギー」「スポーツ・レクリエーション」「広域交流・連携」「地球温暖化防止」「快適なまちづくり」「地域での防災の取組」「国際化」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
43. エネルギー	1.50	1.44	1.30	-0.58	-0.71	-0.54	-0.20
09. スポーツ・レクリエーション	1.18	1.06	0.98	-0.23	-0.27	-0.20	-0.20
34. 広域交流・連携	1.29	1.19	1.16	-0.13	-0.19	-0.27	-0.13
25. 地球温暖化防止	1.72	1.65	1.60	-0.13	-0.18	0.18	-0.12
40. 快適なまちづくり	1.41	1.31	1.29	-0.46	-0.44	-0.48	-0.12
10. 地域での防災の取組	1.83	1.77	1.72	-0.34	-0.15	0.00	-0.11
33. 国際化	0.88	0.83	0.77	-0.23	-0.33	-0.30	-0.11

(4) 重要度と満足度の関係の推移 (県民しあわせプラン柱別)

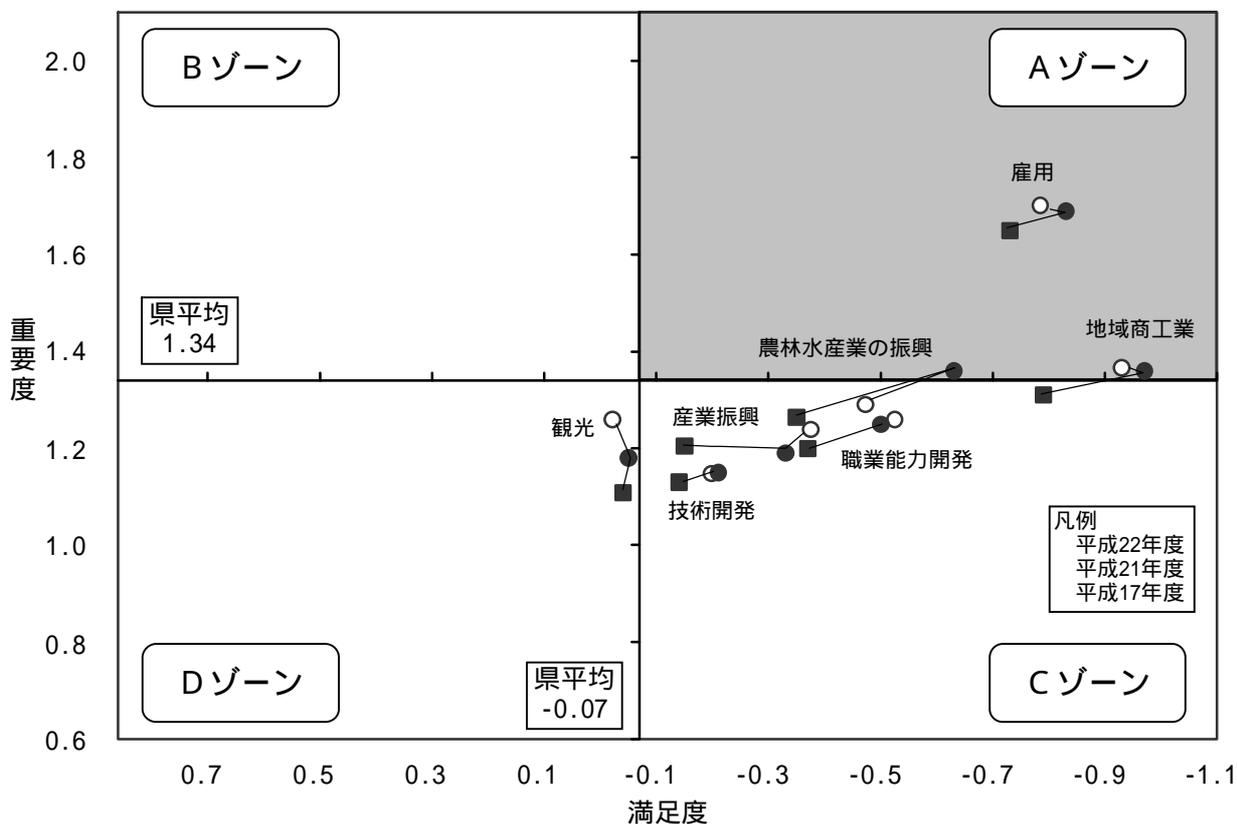
現在の行政の44項目の取組を「県民しあわせプラン」のめざすべき社会を実現するための五つの柱ごとにまとめ、各分野における施策の平成17年度・平成21～22年度の重要度、満足度のポイントの推移を図にプロットした。重要度が高く満足度が低い(不満足度が高い)方向への移動(グラフの右上方向)は、住民からのニーズが高まっていることを表している。また、グラフ中の「県平均」は22年度のものを示している。

一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり〔元気(その1)〕



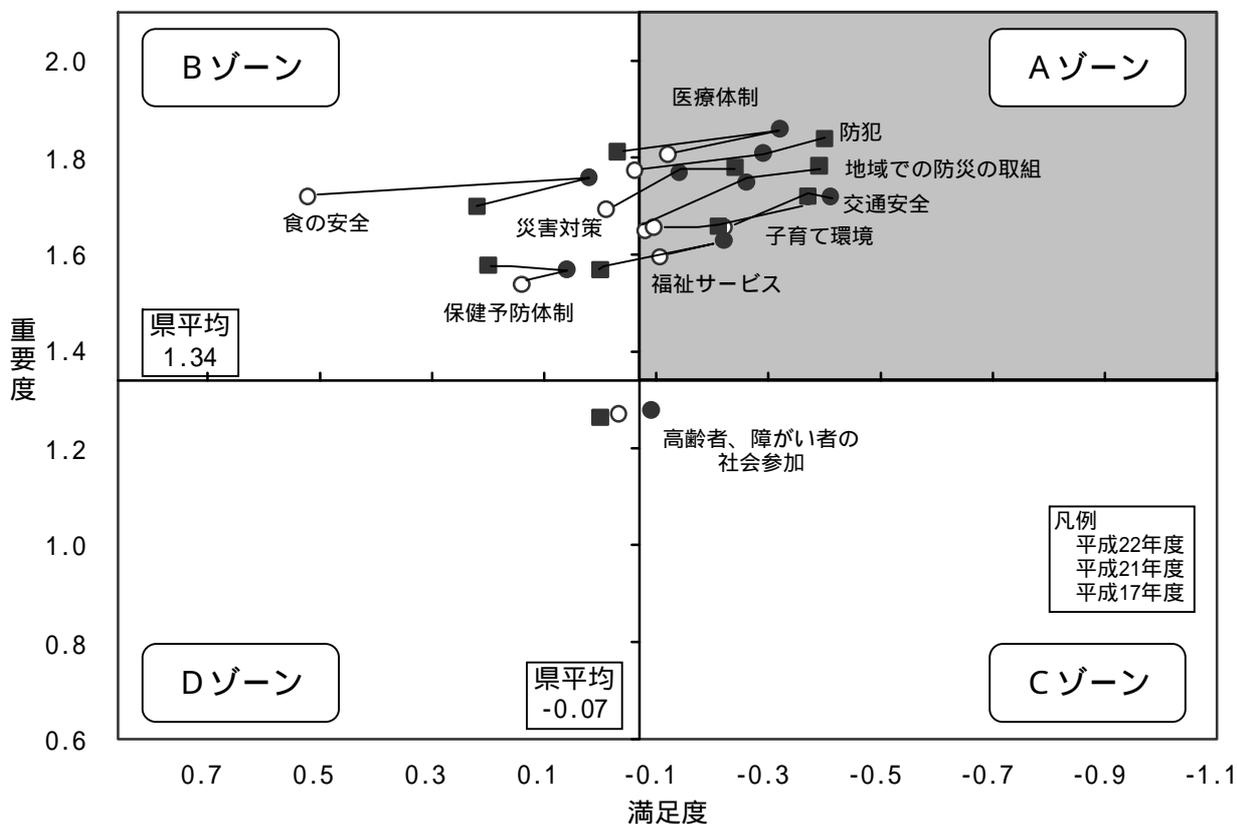
	重要度			満足度		
	H17	H21	H22	H17	H21	H22
01. 人権尊重	1.57	1.67	1.54	0.14	0.08	0.16
02. 生涯学習	1.28	1.30	1.26	0.18	0.20	0.19
03. 学校教育	1.73	1.73	1.70	-0.32	-0.24	-0.11
04. 青少年の健全育成	1.73	1.75	1.72	-0.47	-0.42	-0.20
07. 文化・芸術	0.87	0.88	0.89	-0.17	-0.12	-0.10
08. 歴史・文化遺産	1.06	1.05	1.03	0.19	0.16	0.23
09. スポーツ・レクリエーション	1.04	1.06	0.99	-0.06	-0.13	-0.05

安心を支える雇用・就業環境づくりと元気な産業づくり〔元気(その2)〕



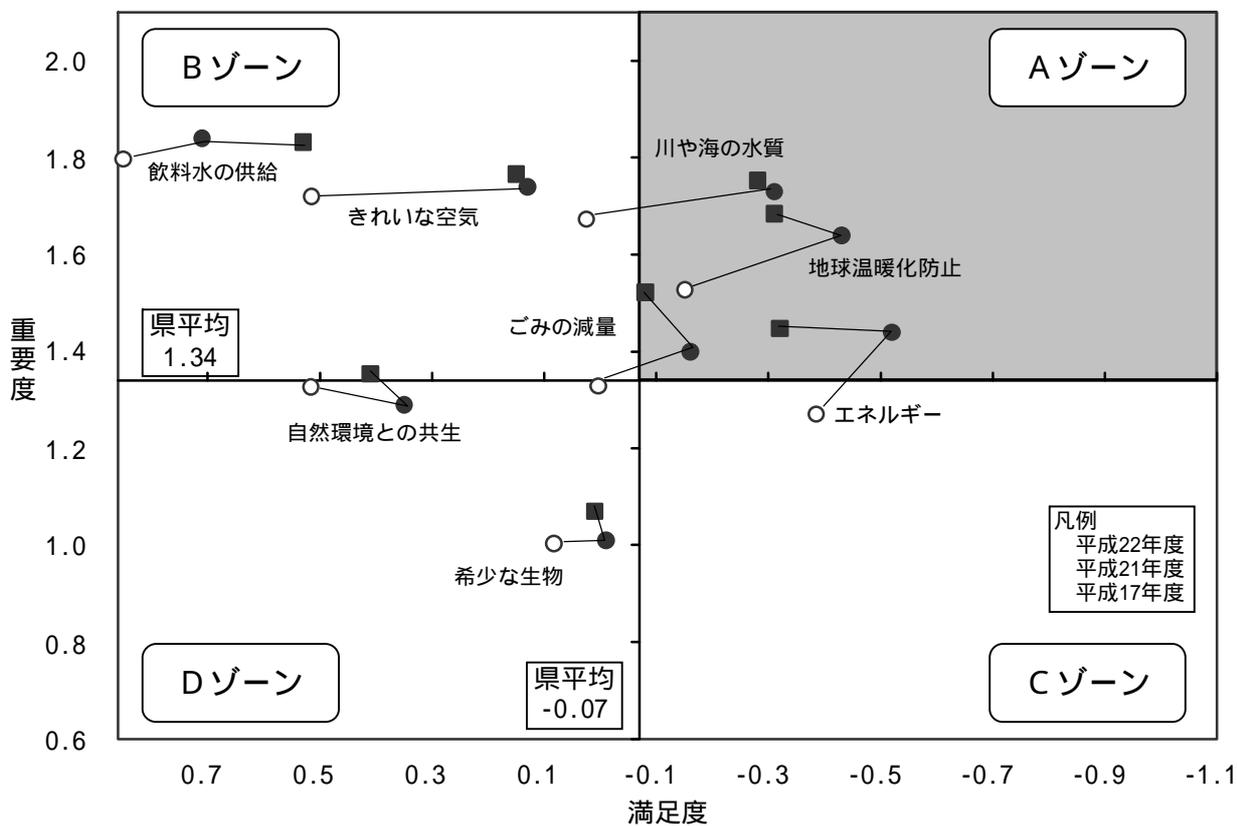
	重要度			満足度		
	H17	H21	H22	H17	H21	H22
26. 農林水産業の振興	1.26	1.36	1.29	-0.35	-0.63	-0.47
27. 産業振興	1.21	1.19	1.24	-0.15	-0.33	-0.37
28. 観光	1.11	1.18	1.26	-0.04	-0.05	-0.02
29. 技術開発	1.13	1.15	1.15	-0.14	-0.21	-0.20
30. 地域商工業	1.31	1.36	1.37	-0.79	-0.97	-0.93
31. 雇用	1.65	1.69	1.70	-0.73	-0.83	-0.78
32. 職業能力開発	1.20	1.25	1.26	-0.37	-0.50	-0.52

安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造〔くらしの安全安心(その1)〕



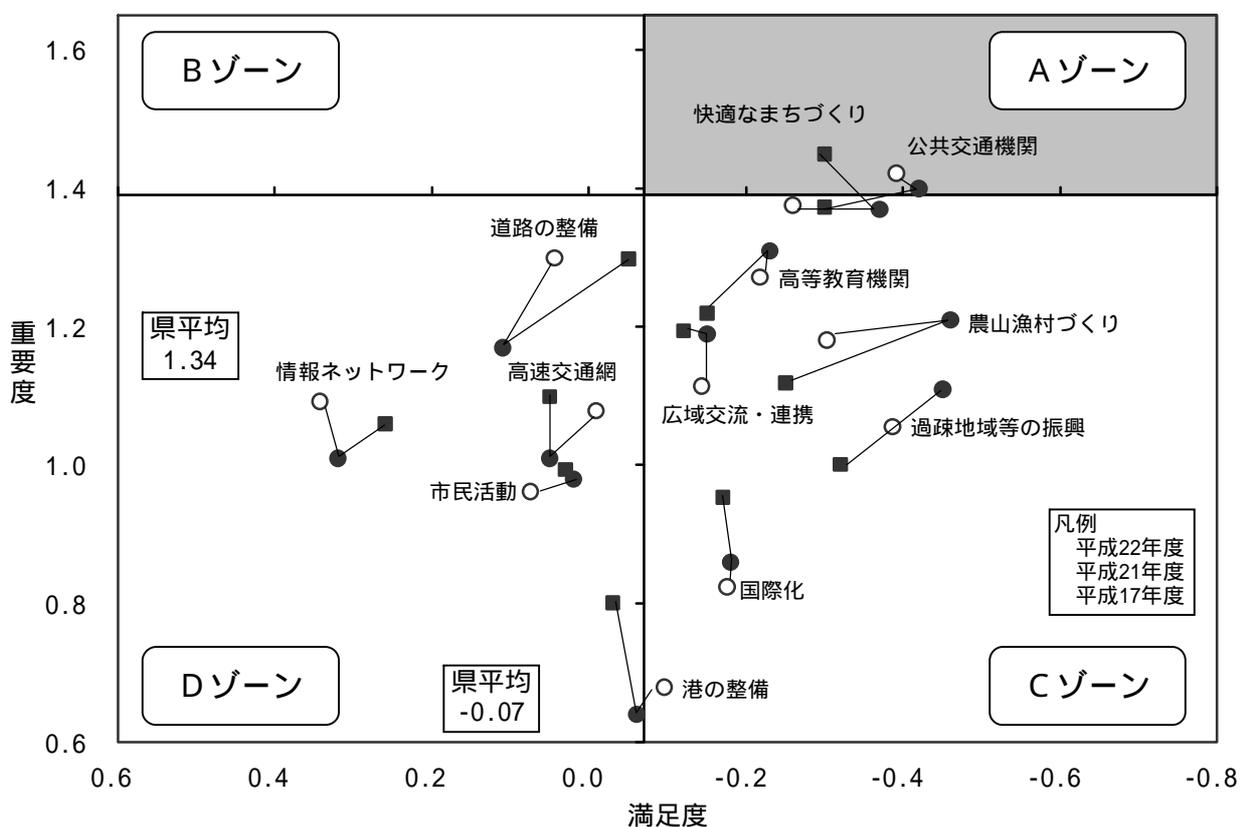
	重要度			満足度		
	H17	H21	H22	H17	H21	H22
10. 地域での防災の取組	1.78	1.75	1.65	-0.39	-0.26	-0.08
11. 災害対策	1.78	1.77	1.69	-0.24	-0.14	-0.01
12. 交通安全	1.72	1.72	1.66	-0.37	-0.41	-0.22
13. 防犯	1.84	1.81	1.77	-0.40	-0.29	-0.06
14. 食の安全	1.70	1.76	1.72	0.22	0.02	0.52
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.26	1.28	1.27	0.00	-0.09	-0.03
16. 保健予防体制	1.58	1.57	1.54	0.20	0.06	0.14
17. 子育て環境	1.66	1.72	1.66	-0.21	-0.37	-0.09
18. 医療体制	1.81	1.86	1.81	-0.03	-0.32	-0.12
19. 福祉サービス	1.57	1.63	1.60	0.00	-0.22	-0.11

持続可能な循環型社会の創造〔くらしの安全安心（その2）〕



	重要度			満足度		
	H17	H21	H22	H17	H21	H22
20．自然環境との共生	1.35	1.29	1.33	0.41	0.35	0.51
21．希少な生物	1.07	1.01	1.00	0.01	-0.01	0.08
22．ごみの減量	1.52	1.40	1.33	-0.08	-0.16	0.00
23．きれいな空気	1.77	1.74	1.72	0.15	0.13	0.51
24．川や海の水質	1.75	1.73	1.67	-0.28	-0.31	0.02
25．地球温暖化防止	1.68	1.64	1.53	-0.31	-0.43	-0.15
43．エネルギー	1.45	1.44	1.27	-0.32	-0.52	-0.38
44．飲料水の供給	1.83	1.84	1.80	0.53	0.71	0.85

人と地域の絆づくりと魅力あふれるふるさと創造〔絆〕



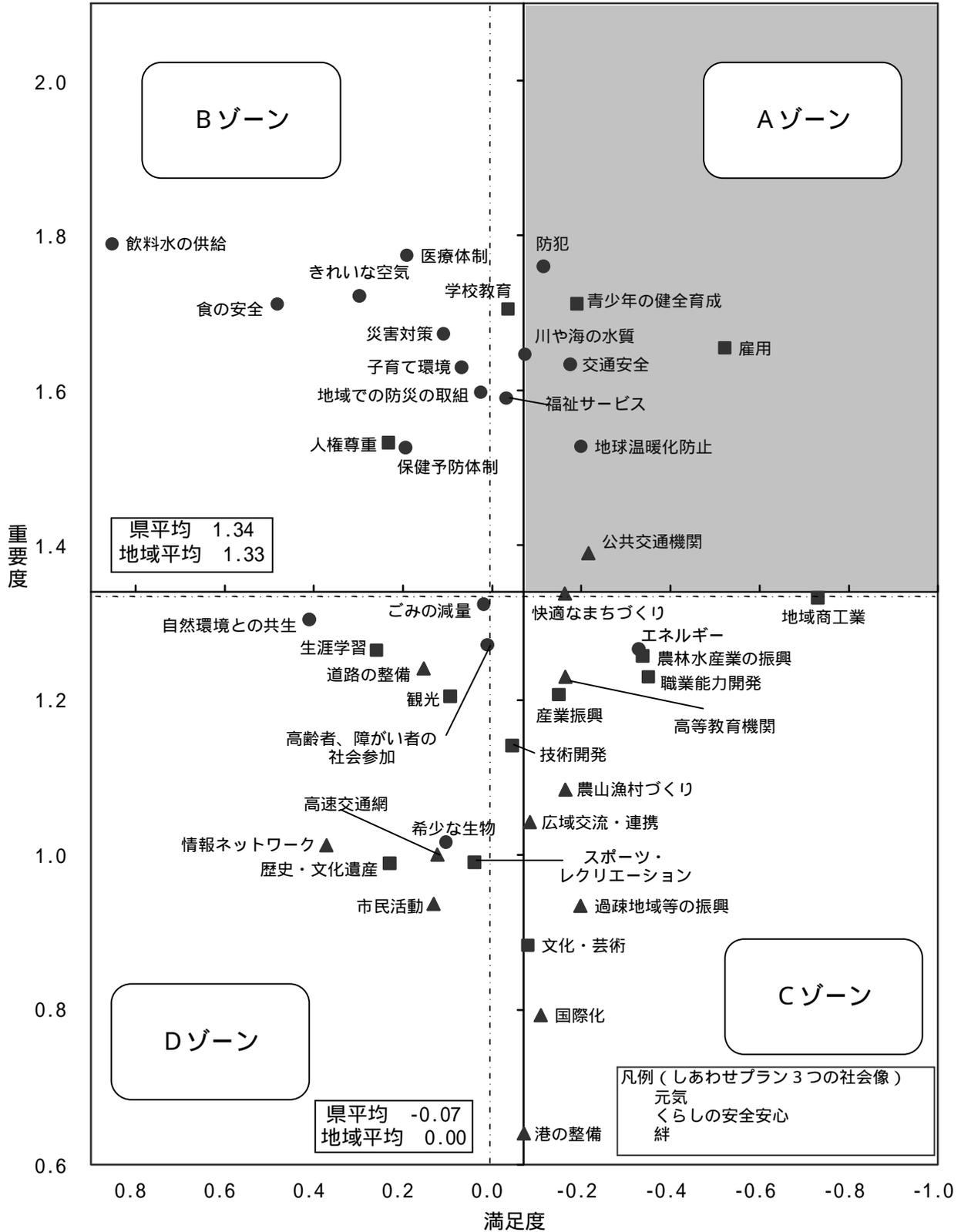
	重要度			満足度		
	H17	H21	H22	H17	H21	H22
05. 高等教育機関	1.17	1.26	1.22	-0.15	-0.23	-0.22
06. 市民活動	0.94	0.93	0.91	0.03	0.02	0.08
33. 国際化	0.90	0.81	0.77	-0.17	-0.18	-0.17
34. 広域交流・連携	1.14	1.14	1.06	-0.12	-0.15	-0.14
35. 情報ネットワーク	1.01	0.96	1.04	0.26	0.32	0.34
36. 高速交通網	1.05	0.96	1.03	0.05	0.05	0.00
37. 道路の整備	1.25	1.12	1.25	-0.05	0.11	0.05
38. 公共交通機関	1.32	1.35	1.37	-0.30	-0.42	-0.39
39. 港の整備	0.75	0.59	0.63	-0.03	-0.06	-0.09
40. 快適なまちづくり	1.40	1.32	1.33	-0.30	-0.37	-0.26
41. 農山漁村づくり	1.07	1.16	1.13	-0.25	-0.46	-0.30
42. 過疎地域等の振興	0.95	1.06	1.00	-0.32	-0.45	-0.38

(5) 重要度、満足度の地域特性

5つの地域について、それぞれ重要度、満足度の関係を図にプロットして地域的な特性をつかむ。県全体の場合と比較するため、県全体の場合の平均値ラインを実線「——」で、各地域の平均値ラインを一点鎖線「- - - - -」で示す。

北勢地域

図 重要度と満足度の関係（北勢）



県全体の場合と比較して、平均値では重要度はほぼ同じ、満足度はやや高くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「青少年の健全育成」「交通安全」「防犯」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「公共交通機関」「快適なまちづくり」の8項目があげられ、県全体では入っていない「防犯」「川や海の水質」「快適なまちづくり」が北勢地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「学校教育」「地域での防災の取組」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地域商工業」が北勢地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「交通安全」「防犯」「川や海の水質」「地球温暖化防止」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「青少年の健全育成」「雇用」があげられている。さらに、「絆」に関する項目では「公共交通機関」「快適なまちづくり」があげられている。

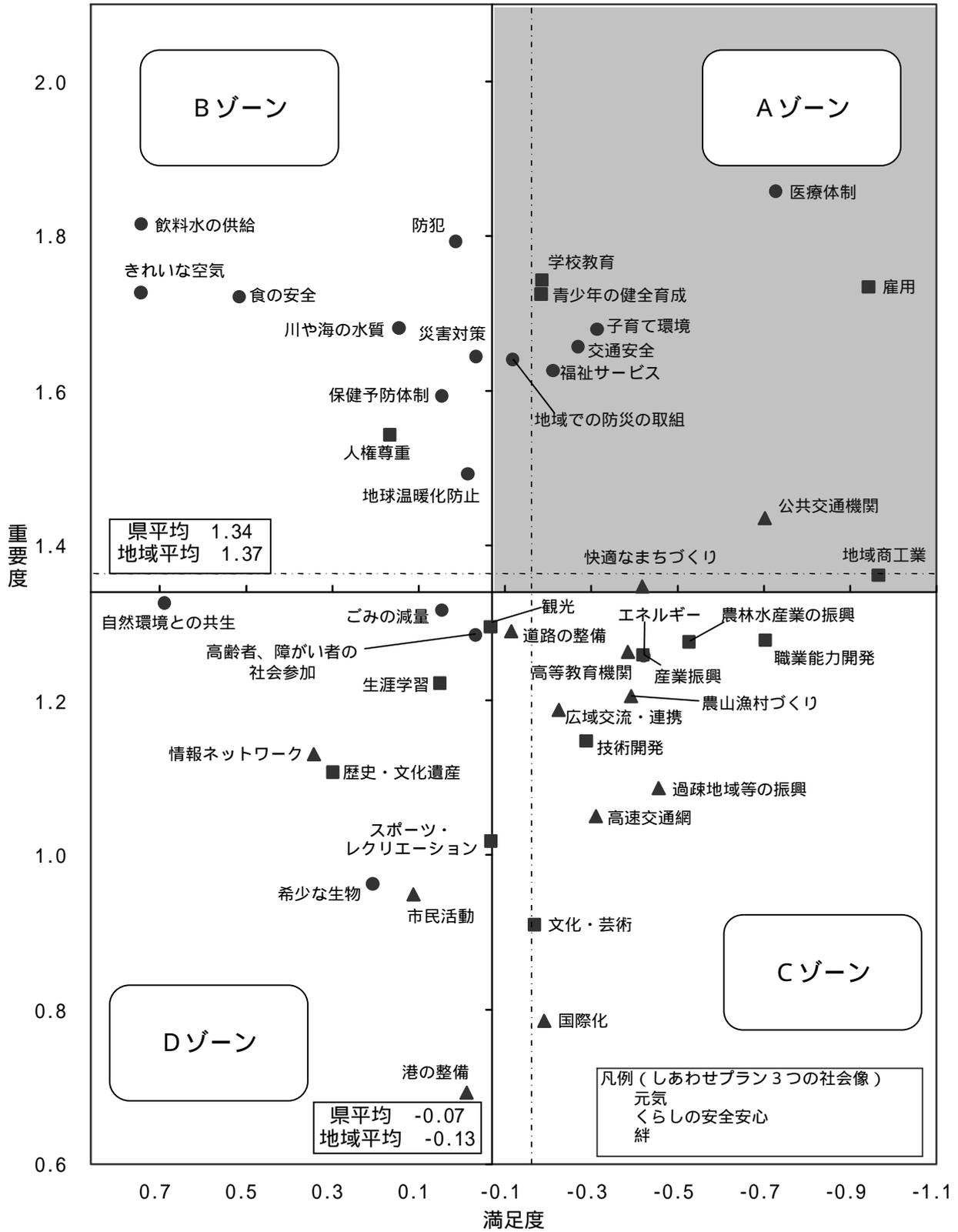
なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「医療体制」「雇用」「産業振興」「地域商工業」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては「きれいな空気」「自然環境との共生」「川や海の水質」「地球温暖化防止」等があげられている。

表 北勢地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	北勢地域	県全体	北勢地域	県全体		北勢地域	県全体	北勢地域	県全体
01.人権尊重	1.53	1.54	0.23	0.16	23.きれいな空気	1.72	1.72	0.30	0.51
02.生涯学習	1.26	1.26	0.26	0.19	24.川や海の水質	1.65	1.67	-0.07	0.02
03.学校教育	1.71	1.70	-0.04	-0.11	25.地球温暖化防止	1.53	1.53	-0.20	-0.15
04.青少年の健全育成	1.71	1.72	-0.19	-0.20	26.農林水産業の振興	1.26	1.29	-0.34	-0.47
05.高等教育機関	1.23	1.22	-0.16	-0.22	27.産業振興	1.21	1.24	-0.15	-0.37
06.市民活動	0.94	0.91	0.13	0.08	28.観光	1.21	1.26	0.09	-0.02
07.文化・芸術	0.88	0.89	-0.08	-0.10	29.技術開発	1.14	1.15	-0.04	-0.20
08.歴史・文化遺産	0.99	1.03	0.23	0.23	30.地域商工業	1.33	1.37	-0.73	-0.93
09.スポーツ・レクリエーション	0.99	0.99	0.04	-0.05	31.雇用	1.66	1.70	-0.52	-0.78
10.地域での防災の取組	1.60	1.65	0.03	-0.08	32.職業能力開発	1.23	1.26	-0.35	-0.52
11.災害対策	1.67	1.69	0.11	-0.01	33.国際化	0.79	0.77	-0.11	-0.17
12.交通安全	1.63	1.66	-0.17	-0.22	34.広域交流・連携	1.04	1.06	-0.08	-0.14
13.防犯	1.76	1.77	-0.11	-0.06	35.情報ネットワーク	1.01	1.04	0.37	0.34
14.食の安全	1.71	1.72	0.48	0.52	36.高速交通網	1.00	1.03	0.12	0.00
15.高齢者、障がい者の社会参加	1.27	1.27	0.01	-0.03	37.道路の整備	1.24	1.25	0.15	0.05
16.保健予防体制	1.53	1.54	0.19	0.14	38.公共交通機関	1.39	1.37	-0.22	-0.39
17.子育て環境	1.63	1.66	0.07	-0.09	39.港の整備	0.64	0.63	-0.07	-0.09
18.医療体制	1.77	1.81	0.19	-0.12	40.快適なまちづくり	1.34	1.33	-0.16	-0.26
19.福祉サービス	1.59	1.60	-0.03	-0.11	41.農山漁村づくり	1.08	1.13	-0.16	-0.30
20.自然環境との共生	1.30	1.33	0.41	0.51	42.過疎地域等の振興	0.93	1.00	-0.20	-0.38
21.希少な生物	1.02	1.00	0.10	0.08	43.エネルギー	1.27	1.27	-0.33	-0.38
22.ごみの減量	1.32	1.33	0.02	0.00	44.飲料水の供給	1.79	1.80	0.85	0.85
					平均	1.33	1.34	0.00	-0.07

伊賀地域

図 重要度と満足度の関係（伊賀）



県全体の場合と比較して、重要度の平均値はやや高く、満足度の平均値はやや低くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地域商工業」「雇用」「公共交通機関」「快適なまちづくり」の11項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「快適なまちづくり」が伊賀地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「地球温暖化防止」が伊賀地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」といった次世代を育む取組や、「地域商工業」「雇用」があげられている。さらに、「絆」に関する項目は「公共交通機関」「快適なまちづくり」があげられている。

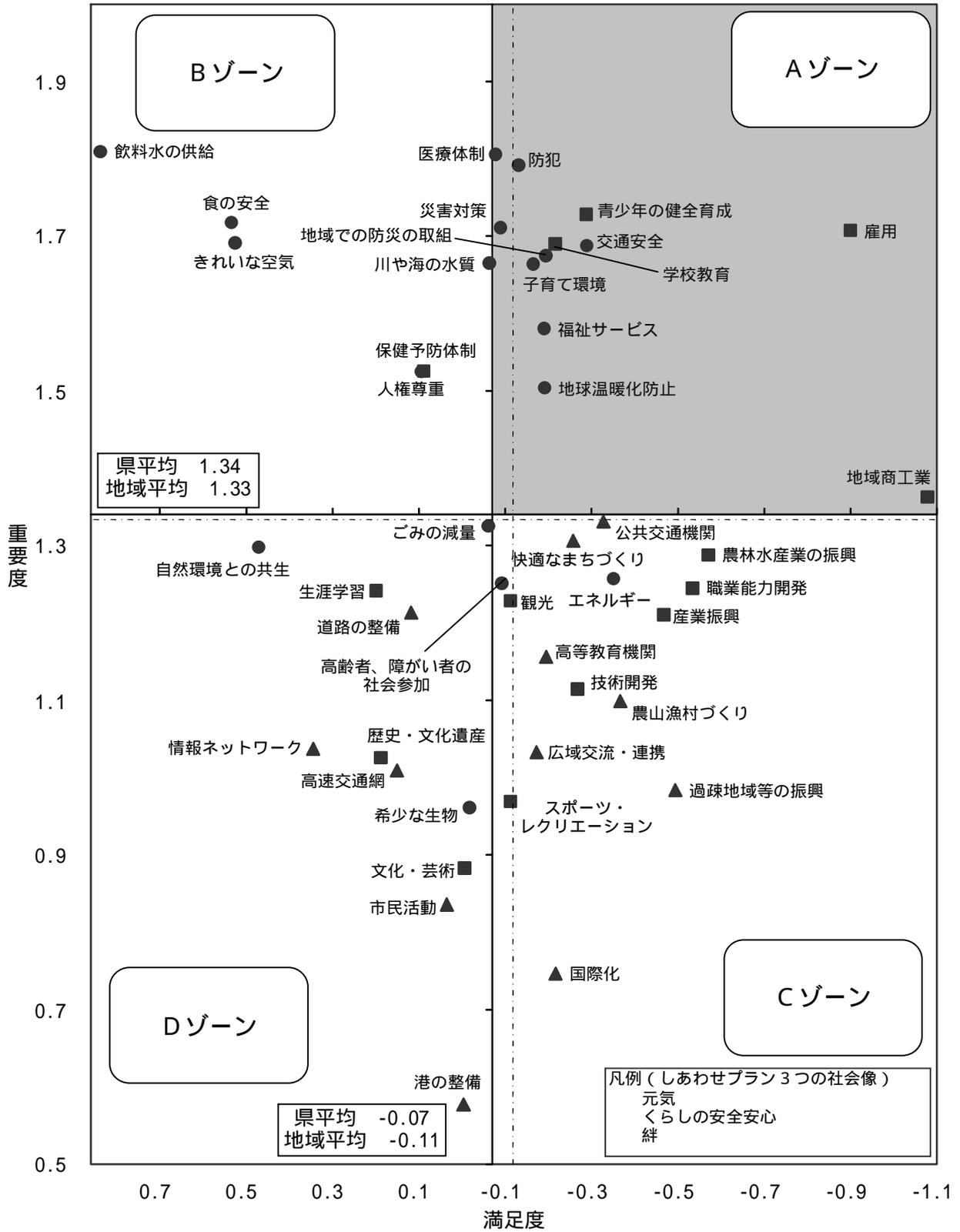
なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「きれいな空気」「自然環境との共生」「地球温暖化防止」「希少な生物」「川や海の水質」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては「医療体制」「公共交通機関」「高速交通網」「子育て環境」等があげられている。

表 伊賀地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	伊賀地域	県全体	伊賀地域	県全体		伊賀地域	県全体	伊賀地域	県全体
01.人権尊重	1.54	1.54	0.17	0.16	23.きれいな空気	1.73	1.72	0.74	0.51
02.生涯学習	1.22	1.26	0.05	0.19	24.川や海の水質	1.68	1.67	0.15	0.02
03.学校教育	1.74	1.70	-0.19	-0.11	25.地球温暖化防止	1.49	1.53	-0.01	-0.15
04.青少年の健全育成	1.73	1.72	-0.18	-0.20	26.農林水産業の振興	1.28	1.29	-0.53	-0.47
05.高等教育機関	1.26	1.22	-0.38	-0.22	27.産業振興	1.26	1.24	-0.42	-0.37
06.市民活動	0.95	0.91	0.11	0.08	28.観光	1.30	1.26	-0.07	-0.02
07.文化・芸術	0.91	0.89	-0.17	-0.10	29.技術開発	1.15	1.15	-0.29	-0.20
08.歴史・文化遺産	1.11	1.03	0.30	0.23	30.地域商工業	1.36	1.37	-0.97	-0.93
09.スポーツ・レクリエーション	1.02	0.99	-0.07	-0.05	31.雇用	1.74	1.70	-0.94	-0.78
10.地域での防災の取組	1.64	1.65	-0.12	-0.08	32.職業能力開発	1.28	1.26	-0.70	-0.52
11.災害対策	1.64	1.69	-0.03	-0.01	33.国際化	0.79	0.77	-0.19	-0.17
12.交通安全	1.66	1.66	-0.27	-0.22	34.広域交流・連携	1.19	1.06	-0.22	-0.14
13.防犯	1.79	1.77	0.01	-0.06	35.情報ネットワーク	1.13	1.04	0.34	0.34
14.食の安全	1.72	1.72	0.52	0.52	36.高速交通網	1.05	1.03	-0.31	0.00
15.高齢者、障がい者の社会参加	1.28	1.27	-0.03	-0.03	37.道路の整備	1.29	1.25	-0.11	0.05
16.保健予防体制	1.59	1.54	0.05	0.14	38.公共交通機関	1.44	1.37	-0.70	-0.39
17.子育て環境	1.68	1.66	-0.31	-0.09	39.港の整備	0.69	0.63	-0.01	-0.09
18.医療体制	1.86	1.81	-0.73	-0.12	40.快適なまちづくり	1.35	1.33	-0.42	-0.26
19.福祉サービス	1.63	1.60	-0.21	-0.11	41.農山漁村づくり	1.21	1.13	-0.39	-0.30
20.自然環境との共生	1.33	1.33	0.69	0.51	42.過疎地域等の振興	1.09	1.00	-0.46	-0.38
21.希少な生物	0.96	1.00	0.21	0.08	43.エネルギー	1.26	1.27	-0.42	-0.38
22.ごみの減量	1.32	1.33	0.05	0.00	44.飲料水の供給	1.82	1.80	0.74	0.85
					平均	1.37	1.34	-0.13	-0.07

中南勢地域

図 重要度と満足度の関係（中南勢）



県全体の場合と比較して、重要度の平均値はほぼ同じ、満足度の平均値はやや低くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地球温暖化防止」「地域商工業」「雇用」の12項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「災害対策」「防犯」が中南勢地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「公共交通機関」が中南勢地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地球温暖化防止」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組や、「地域商工業」「雇用」があげられている。さらに、「絆」に関する項目はあげられていない。

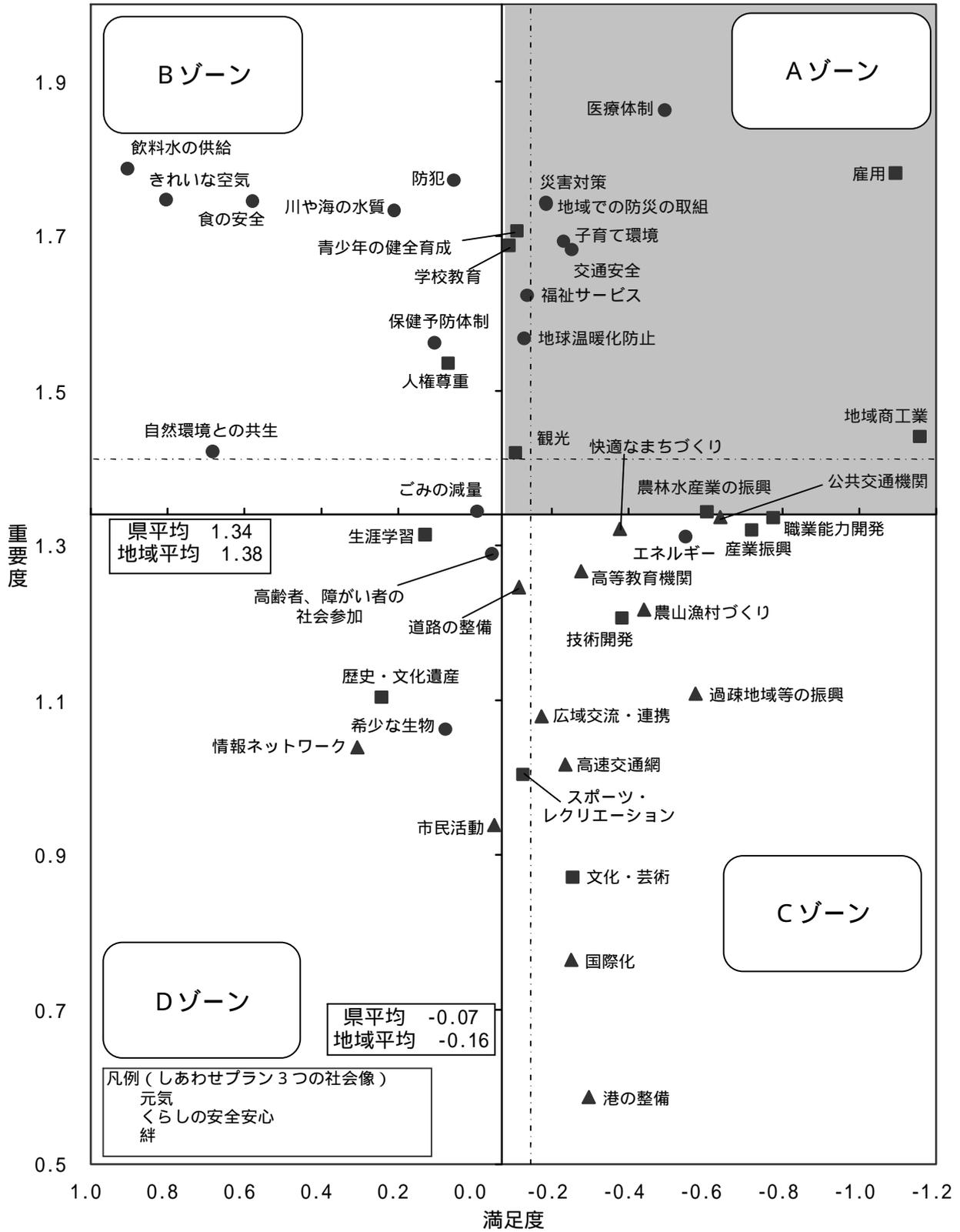
なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「高速交通網」「文化・芸術」等、満足度が低い項目としては「過疎地域等の振興」「地域での防災の取組」「雇用」「地域商工業」等があげられている。

表 中南勢地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	中南勢地域	県全体	中南勢地域	県全体		中南勢地域	県全体	中南勢地域	県全体
01.人権尊重	1.53	1.54	0.09	0.16	23.きれいな空気	1.69	1.72	0.53	0.51
02.生涯学習	1.24	1.26	0.20	0.19	24.川や海の水質	1.67	1.67	-0.06	0.02
03.学校教育	1.69	1.70	-0.22	-0.11	25.地球温暖化防止	1.50	1.53	-0.19	-0.15
04.青少年の健全育成	1.73	1.72	-0.29	-0.20	26.農林水産業の振興	1.29	1.29	-0.57	-0.47
05.高等教育機関	1.16	1.22	-0.19	-0.22	27.産業振興	1.21	1.24	-0.47	-0.37
06.市民活動	0.84	0.91	0.04	0.08	28.観光	1.23	1.26	-0.11	-0.02
07.文化・芸術	0.88	0.89	-0.01	-0.10	29.技術開発	1.11	1.15	-0.27	-0.20
08.歴史・文化遺産	1.03	1.03	0.19	0.23	30.地域商工業	1.36	1.37	-1.08	-0.93
09.スポーツ・レクリエーション	0.97	0.99	-0.11	-0.05	31.雇用	1.71	1.70	-0.90	-0.78
10.地域での防災の取組	1.68	1.65	-0.19	-0.08	32.職業能力開発	1.24	1.26	-0.53	-0.52
11.災害対策	1.71	1.69	-0.09	-0.01	33.国際化	0.75	0.77	-0.22	-0.17
12.交通安全	1.69	1.66	-0.29	-0.22	34.広域交流・連携	1.03	1.06	-0.17	-0.14
13.防犯	1.79	1.77	-0.13	-0.06	35.情報ネットワーク	1.04	1.04	0.34	0.34
14.食の安全	1.72	1.72	0.53	0.52	36.高速交通網	1.01	1.03	0.15	0.00
15.高齢者、障がい者の社会参加	1.25	1.27	-0.09	-0.03	37.道路の整備	1.21	1.25	0.12	0.05
16.保健予防体制	1.53	1.54	0.09	0.14	38.公共交通機関	1.33	1.37	-0.33	-0.39
17.子育て環境	1.66	1.66	-0.16	-0.09	39.港の整備	0.58	0.63	0.00	-0.09
18.医療体制	1.81	1.81	-0.08	-0.12	40.快適なまちづくり	1.31	1.33	-0.26	-0.26
19.福祉サービス	1.58	1.60	-0.19	-0.11	41.農山漁村づくり	1.10	1.13	-0.37	-0.30
20.自然環境との共生	1.30	1.33	0.47	0.51	42.過疎地域等の振興	0.98	1.00	-0.49	-0.38
21.希少な生物	0.96	1.00	-0.02	0.08	43.エネルギー	1.26	1.27	-0.35	-0.38
22.ごみの減量	1.33	1.33	-0.06	0.00	44.飲料水の供給	1.81	1.80	0.84	0.85
					平均	1.33	1.34	-0.11	-0.07

伊勢志摩地域

図 重要度と満足度の関係（伊勢志摩）



県全体の場合と比較して、重要度の平均値はやや高く、満足度の平均値はやや低くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地球温暖化防止」「農林水産業の振興」「観光」「地域商工業」「雇用」「職業能力開発」「公共交通機関」の15項目があげられ、県全体では入っていない「災害対策」「農林水産業の振興」「観光」「職業能力開発」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っている。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地球温暖化防止」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組や、「農林水産業の振興」「観光」「地域商工業」「雇用」「職業能力開発」があげられている。さらに、「絆」に関する項目は「公共交通機関」があげられている。

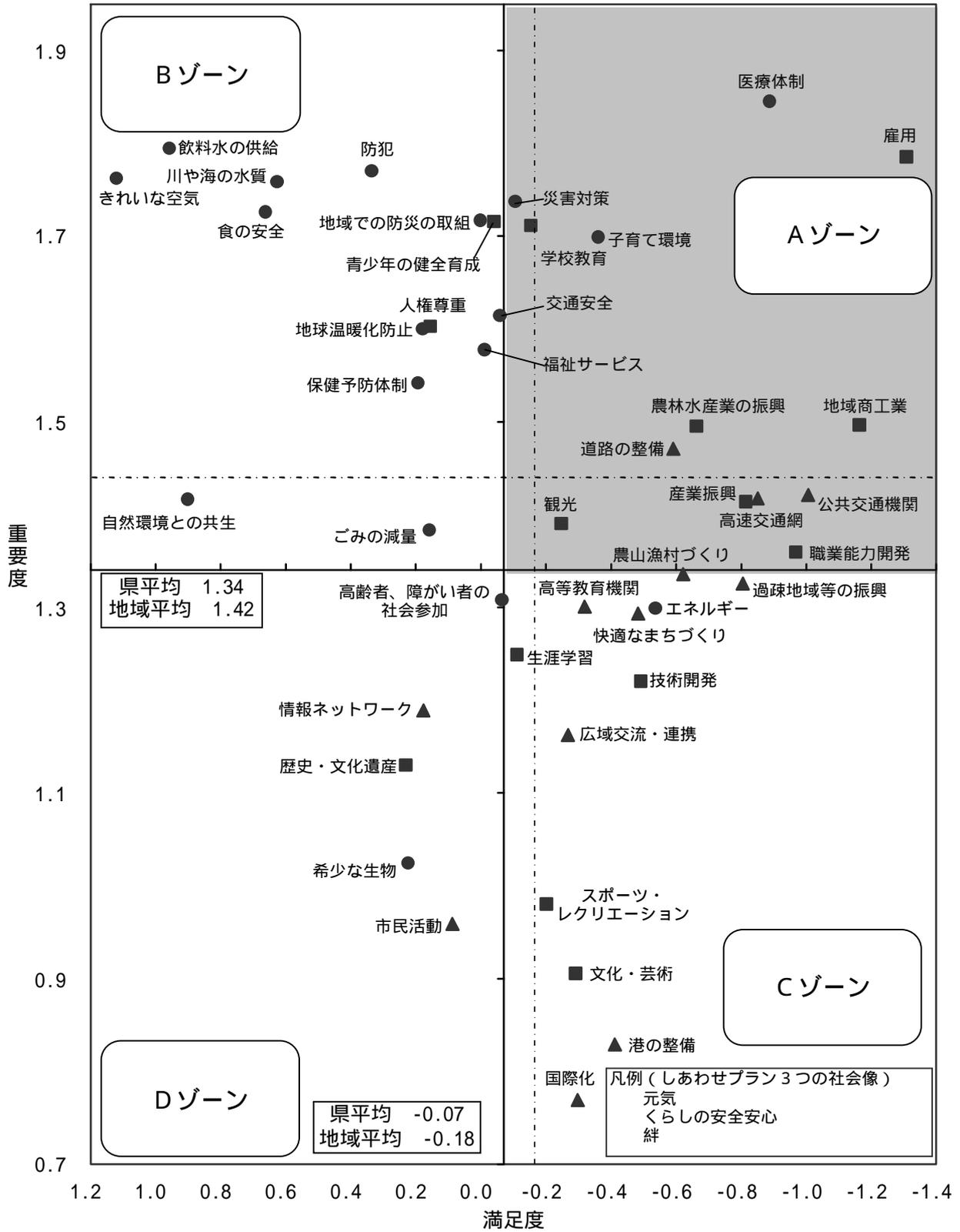
なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「きれいな空気」「川や海の水質」「自然環境との共生」「防犯」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては、「医療体制」「産業振興」「雇用」「職業能力開発」「公共交通機関」「地域商工業」「高速交通網」「港の整備」等があげられている。

表 伊勢志摩地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	伊勢志摩地域	県全体	伊勢志摩地域	県全体		伊勢志摩地域	県全体	伊勢志摩地域	県全体
01.人権尊重	1.54	1.54	0.07	0.16	23.きれいな空気	1.75	1.72	0.80	0.51
02.生涯学習	1.31	1.26	0.13	0.19	24.川や海の水質	1.73	1.67	0.21	0.02
03.学校教育	1.69	1.70	-0.09	-0.11	25.地球温暖化防止	1.57	1.53	-0.13	-0.15
04.青少年の健全育成	1.71	1.72	-0.11	-0.20	26.農林水産業の振興	1.34	1.29	-0.60	-0.47
05.高等教育機関	1.27	1.22	-0.28	-0.22	27.産業振興	1.32	1.24	-0.72	-0.37
06.市民活動	0.94	0.91	-0.05	0.08	28.観光	1.42	1.26	-0.10	-0.02
07.文化・芸術	0.87	0.89	-0.25	-0.10	29.技術開発	1.21	1.15	-0.38	-0.20
08.歴史・文化遺産	1.10	1.03	0.24	0.23	30.地域商工業	1.44	1.37	-1.16	-0.93
09.スポーツ・レクリエーション	1.00	0.99	-0.12	-0.05	31.雇用	1.78	1.70	-1.09	-0.78
10.地域での防災の取組	1.74	1.65	-0.18	-0.08	32.職業能力開発	1.34	1.26	-0.78	-0.52
11.災害対策	1.74	1.69	-0.18	-0.01	33.国際化	0.76	0.77	-0.25	-0.17
12.交通安全	1.68	1.66	-0.25	-0.22	34.広域交流・連携	1.08	1.06	-0.17	-0.14
13.防犯	1.77	1.77	0.06	-0.06	35.情報ネットワーク	1.04	1.04	0.31	0.34
14.食の安全	1.75	1.72	0.58	0.52	36.高速交通網	1.02	1.03	-0.23	0.00
15.高齢者、障がい者の社会参加	1.29	1.27	-0.04	-0.03	37.道路の整備	1.25	1.25	-0.11	0.05
16.保健予防体制	1.56	1.54	0.11	0.14	38.公共交通機関	1.34	1.37	-0.64	-0.39
17.子育て環境	1.69	1.66	-0.23	-0.09	39.港の整備	0.59	0.63	-0.30	-0.09
18.医療体制	1.86	1.81	-0.49	-0.12	40.快適なまちづくり	1.32	1.33	-0.38	-0.26
19.福祉サービス	1.62	1.60	-0.14	-0.11	41.農山漁村づくり	1.22	1.13	-0.44	-0.30
20.自然環境との共生	1.42	1.33	0.68	0.51	42.過疎地域等の振興	1.11	1.00	-0.57	-0.38
21.希少な生物	1.06	1.00	0.08	0.08	43.エネルギー	1.31	1.27	-0.55	-0.38
22.ごみの減量	1.34	1.33	0.00	0.00	44.飲料水の供給	1.79	1.80	0.90	0.85
					平均	1.38	1.34	-0.16	-0.07

東紀州地域

図 重要度と満足度の関係（東紀州）



県全体の場合と比較して、重要度の平均値は高く、満足度の平均値は低くなっている。また、全体的に満足度の分布幅が大きく、項目によって満足度の差が大きい。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「災害対策」「子育て環境」「医療体制」「農林水産業の振興」「産業振興」「観光」「地域商工業」「雇用」「職業能力開発」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「農山漁村づくり」の14項目があげられ、県全体では入っていない「災害対策」「農林水産業の振興」「産業振興」「観光」「職業能力開発」「高速交通網」「道路の整備」「農山漁村づくり」が東紀州地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「福祉サービス」「地球温暖化防止」は東紀州地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「災害対策」「子育て環境」「医療体制」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「学校教育」「農林水産業の振興」「産業振興」「観光」「地域商工業」「雇用」「職業能力開発」があげられている。さらに、「絆」に関する項目では「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「農山漁村づくり」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「きれいな空気」「川や海の水質」「防犯」「自然環境との共生」「地球温暖化防止」等があげられている。一方、県全体と比べて満足度が低い項目のうち、0.4ポイント以上の開きがみられるのは、「高速交通網」「医療体制」「道路の整備」「公共交通機関」「雇用」「職業能力開発」「産業振興」「過疎地域等の振興」で、中でも「高速交通網」は0.85ポイントの開きがある。

表 東紀州地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	東紀州地域	県全体	東紀州地域	県全体		東紀州地域	県全体	東紀州地域	県全体
01.人権尊重	1.60	1.54	0.16	0.16	23.きれいな空気	1.76	1.72	1.12	0.51
02.生涯学習	1.25	1.26	-0.11	0.19	24.川や海の水質	1.76	1.67	0.63	0.02
03.学校教育	1.71	1.70	-0.15	-0.11	25.地球温暖化防止	1.60	1.53	0.18	-0.15
04.青少年の健全育成	1.72	1.72	-0.04	-0.20	26.農林水産業の振興	1.50	1.29	-0.66	-0.47
05.高等教育機関	1.30	1.22	-0.32	-0.22	27.産業振興	1.41	1.24	-0.81	-0.37
06.市民活動	0.96	0.91	0.09	0.08	28.観光	1.39	1.26	-0.25	-0.02
07.文化・芸術	0.91	0.89	-0.29	-0.10	29.技術開発	1.22	1.15	-0.49	-0.20
08.歴史・文化遺産	1.13	1.03	0.23	0.23	30.地域商工業	1.50	1.37	-1.16	-0.93
09.スポーツ・レクリエーション	0.98	0.99	-0.20	-0.05	31.雇用	1.79	1.70	-1.31	-0.78
10.地域での防災の取組	1.72	1.65	0.00	-0.08	32.職業能力開発	1.36	1.26	-0.97	-0.52
11.災害対策	1.74	1.69	-0.10	-0.01	33.国際化	0.77	0.77	-0.30	-0.17
12.交通安全	1.61	1.66	-0.06	-0.22	34.広域交流・連携	1.16	1.06	-0.27	-0.14
13.防犯	1.77	1.77	0.34	-0.06	35.情報ネットワーク	1.19	1.04	0.18	0.34
14.食の安全	1.73	1.72	0.66	0.52	36.高速交通網	1.42	1.03	-0.85	0.00
15.高齢者、障がい者の社会参加	1.31	1.27	-0.06	-0.03	37.道路の整備	1.47	1.25	-0.59	0.05
16.保健予防体制	1.54	1.54	0.19	0.14	38.公共交通機関	1.42	1.37	-1.01	-0.39
17.子育て環境	1.70	1.66	-0.36	-0.09	39.港の整備	0.83	0.63	-0.41	-0.09
18.医療体制	1.85	1.81	-0.89	-0.12	40.快適なまちづくり	1.29	1.33	-0.48	-0.26
19.福祉サービス	1.58	1.60	-0.01	-0.11	41.農山漁村づくり	1.34	1.13	-0.62	-0.30
20.自然環境との共生	1.42	1.33	0.90	0.51	42.過疎地域等の振興	1.33	1.00	-0.80	-0.38
21.希少な生物	1.02	1.00	0.22	0.08	43.エネルギー	1.30	1.27	-0.54	-0.38
22.ごみの減量	1.38	1.33	0.16	0.00	44.飲料水の供給	1.80	1.80	0.96	0.85
					平均	1.42	1.34	-0.18	-0.07

< 地域特性の総括 >

地域別にみると、Aゾーンに入っている項目は伊勢志摩地域では 15 個、東紀州地域では 14 個、中南勢地域では 12 個、伊賀地域では 11 個であるのに対し、北勢地域では 8 個と少なくなっており、県の南部ほど多くなっている。また、全体ではAゾーンに入っていないが各地域ではAゾーンに入っている項目は、東紀州地域が 8 項目で最も多くなっている。

また、すべての地域でAゾーンに入っている項目は「雇用」の 1 項目となっている。

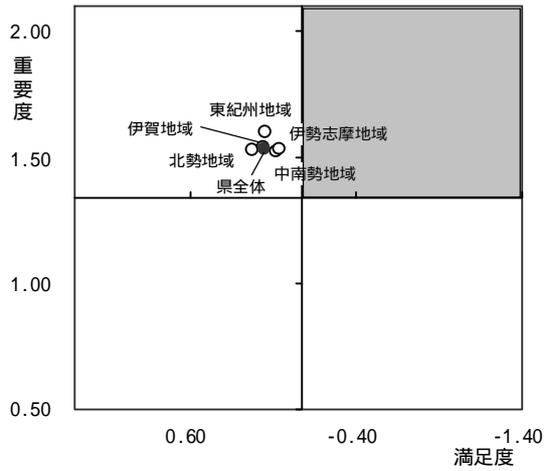
表 地域別 各項目の県民ニーズ

	全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
01.人権尊重	B	B	B	B	B	B
02.生涯学習	D	D	D	D	D	C
03.学校教育	A	B	A	A	A	A
04.青少年の健全育成	A	A	A	A	A	B
05.高等教育機関	C	C	C	C	C	C
06.市民活動	D	D	D	D	D	D
07.文化・芸術	C	C	C	D	C	C
08.歴史・文化遺産	D	D	D	D	D	D
09.スポーツ・レクリエーション	D	D	C	C	C	C
10.地域での防災の取組	A	B	A	A	A	B
11.災害対策	B	B	B	A	A	A
12.交通安全	A	A	A	A	A	B
13.防犯	B	A	B	A	B	B
14.食の安全	B	B	B	B	B	B
15.高齢者、障がい者の社会参加	D	D	D	C	D	D
16.保健予防体制	B	B	B	B	B	B
17.子育て環境	A	B	A	A	A	A
18.医療体制	A	B	A	A	A	A
19.福祉サービス	A	B	A	A	A	B
20.自然環境との共生	D	D	D	D	B	B
21.希少な生物	D	D	D	D	D	D
22.ごみの減量	D	D	D	D	B	B
23.きれいな空気	B	B	B	B	B	B
24.川や海の水質	B	A	B	B	B	B
25.地球温暖化防止	A	A	B	A	A	B
26.農林水産業の振興	C	C	C	C	A	A
27.産業振興	C	C	C	C	C	A
28.観光	D	D	C	C	A	A
29.技術開発	C	D	C	C	C	C
30.地域商工業	A	C	A	A	A	A
31.雇用	A	A	A	A	A	A
32.職業能力開発	C	C	C	C	A	A
33.国際化	C	C	C	C	C	C
34.広域交流・連携	C	C	C	C	C	C
35.情報ネットワーク	D	D	D	D	D	D
36.高速交通網	D	D	C	D	C	A
37.道路の整備	D	D	C	D	C	A
38.公共交通機関	A	A	A	C	A	A
39.港の整備	C	C	D	D	C	C
40.快適なまちづくり	C	A	A	C	C	C
41.農山漁村づくり	C	C	C	C	C	A
42.過疎地域等の振興	C	C	C	C	C	C
43.エネルギー	C	C	C	C	C	C
44.飲料水の供給	B	B	B	B	B	B

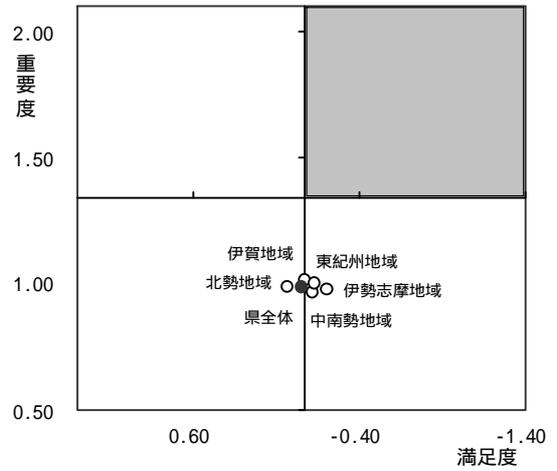
網掛けの項目は、Aゾーンに挙げられている項目

各項目について、地域別にプロットした。図中の実線「——」は県平均（重要度平均 1.34、満足度平均-0.07）を示している。

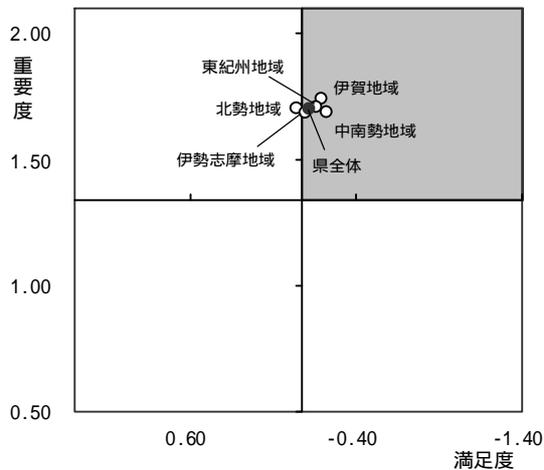
### 1 【人権尊重】



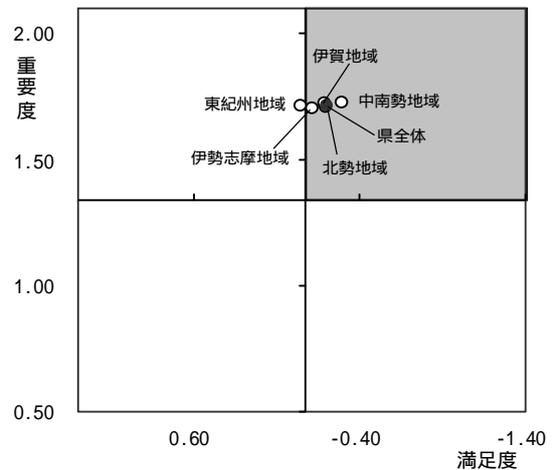
### 2 【生涯学習】



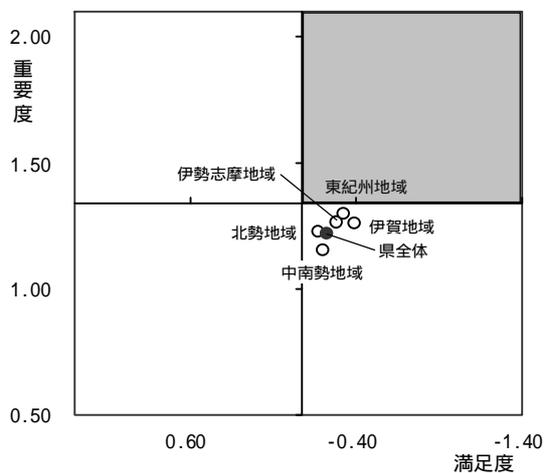
### 3 【学校教育】



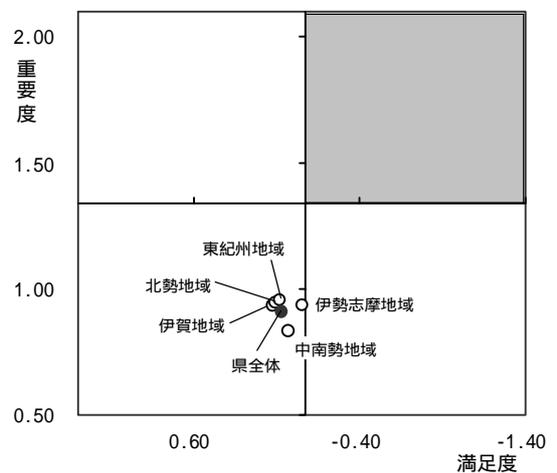
### 4 【青少年の健全育成】



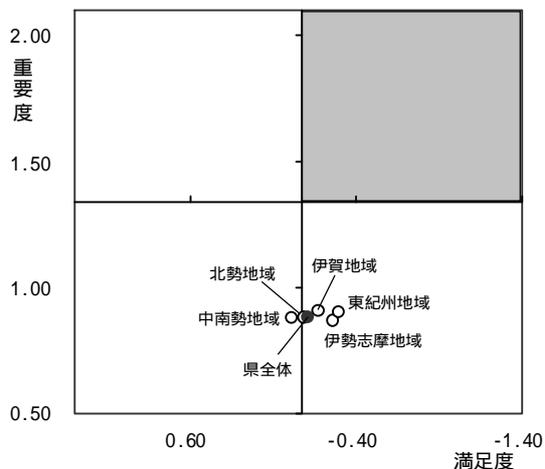
### 5 【高等教育機関】



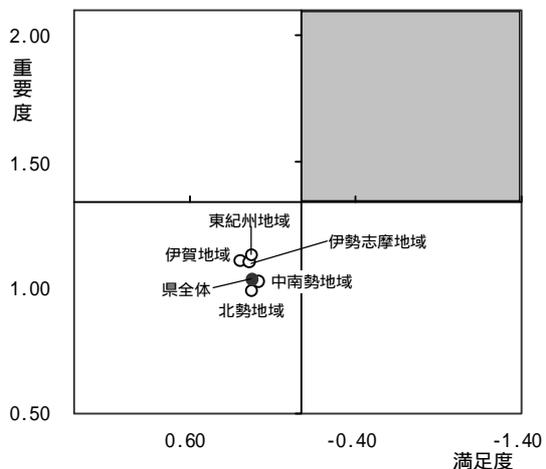
### 6 【市民活動】



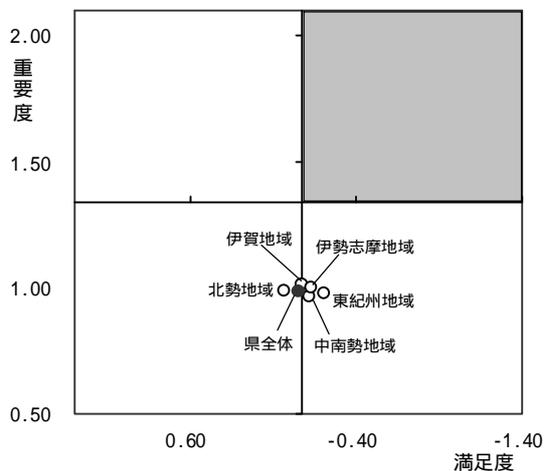
7 【文化・芸術】



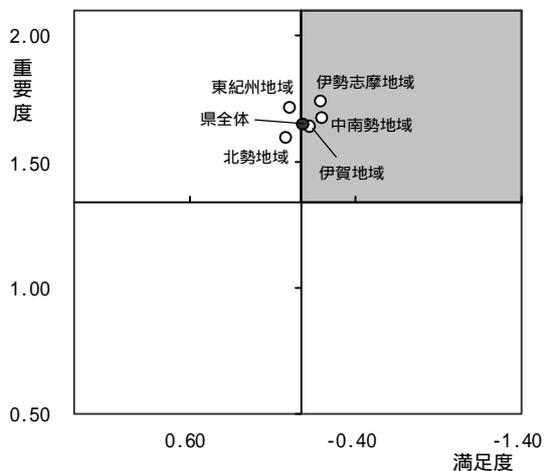
8 【歴史・文化遺産】



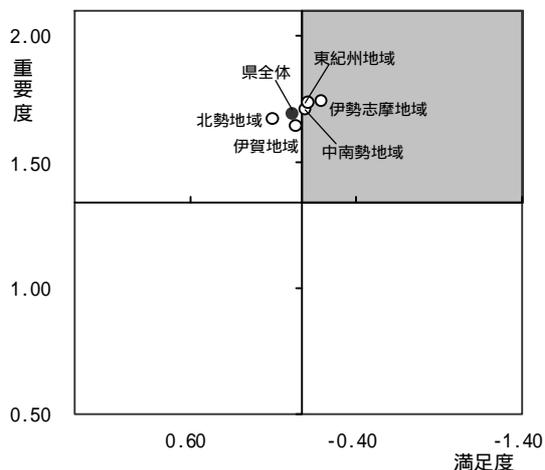
9 【スポーツ・レクリエーション】



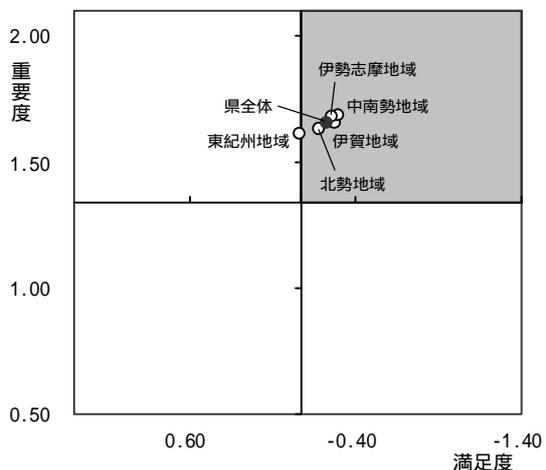
10 【地域での防災の取組】



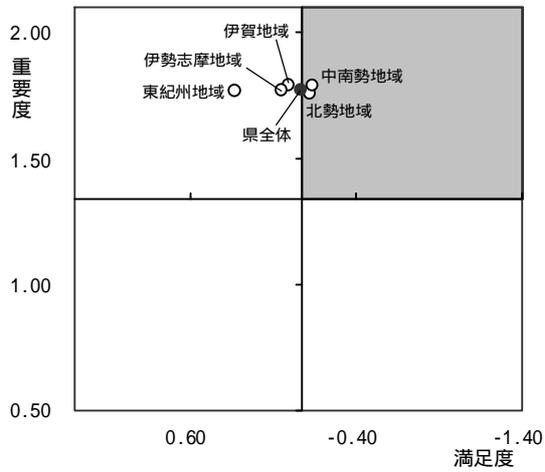
11 【災害対策】



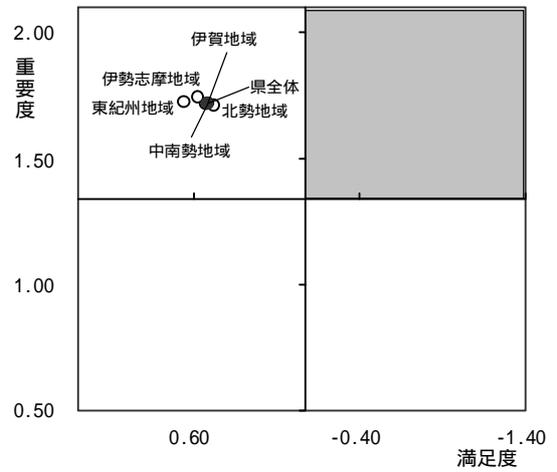
12 【交通安全】



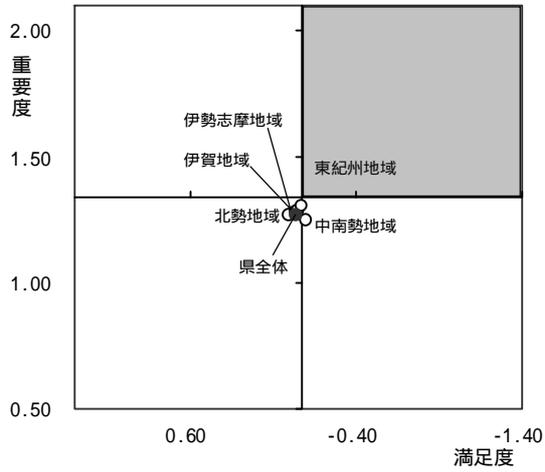
13 【防犯】



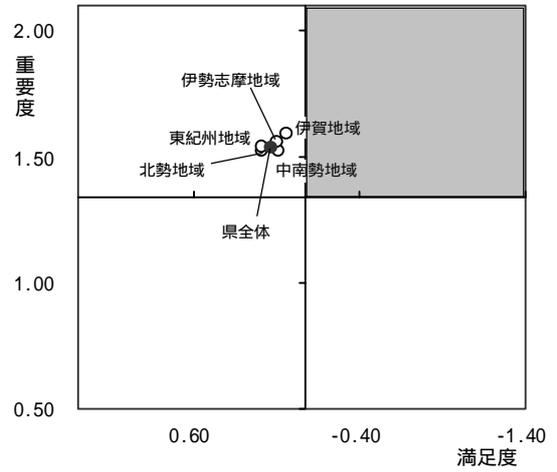
14 【食の安全】



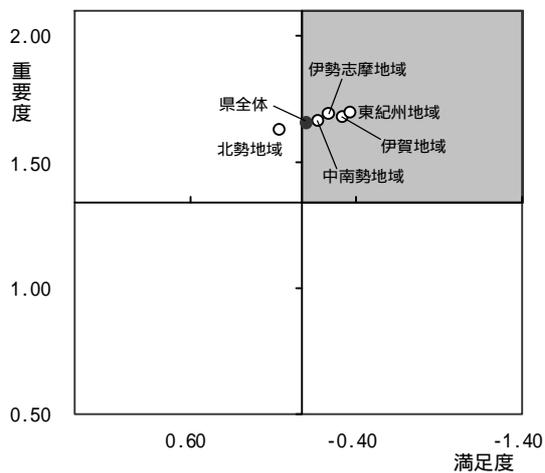
15 【高齢者、障がい者の社会参加】



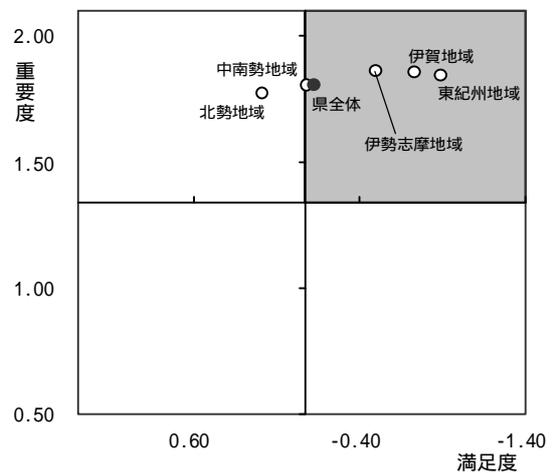
16 【保健予防体制】



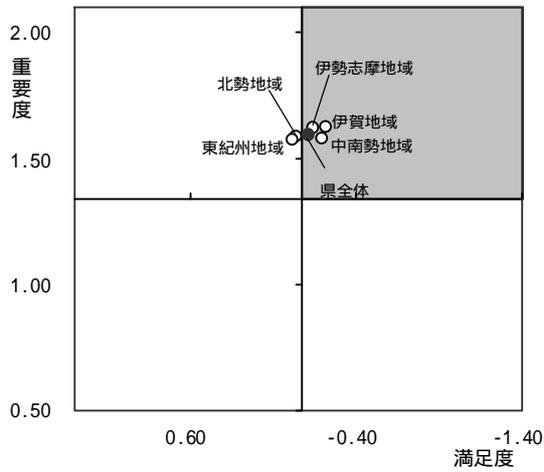
17 【子育て環境】



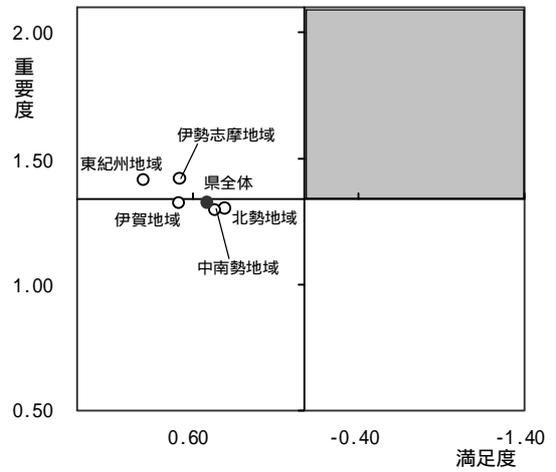
18 【医療体制】



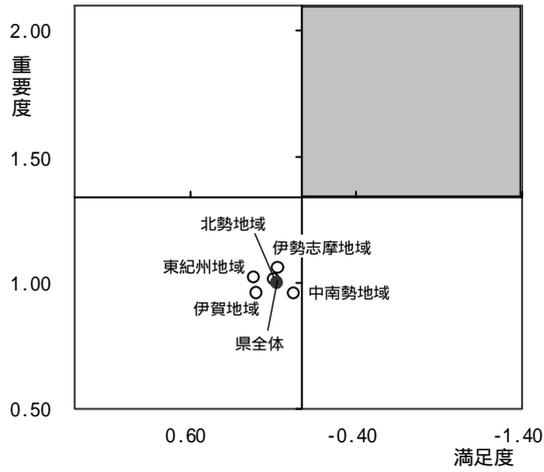
19 【福祉サービス】



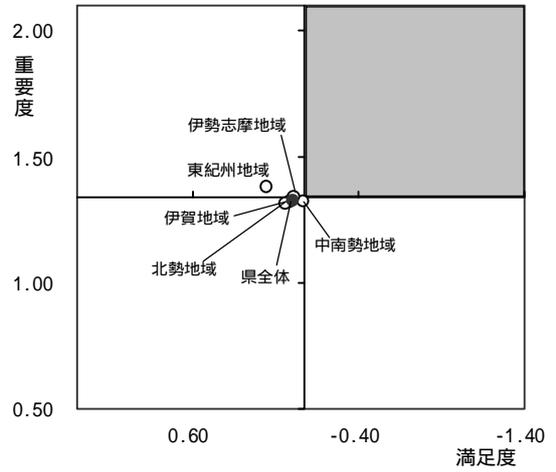
20 【自然環境との共生】



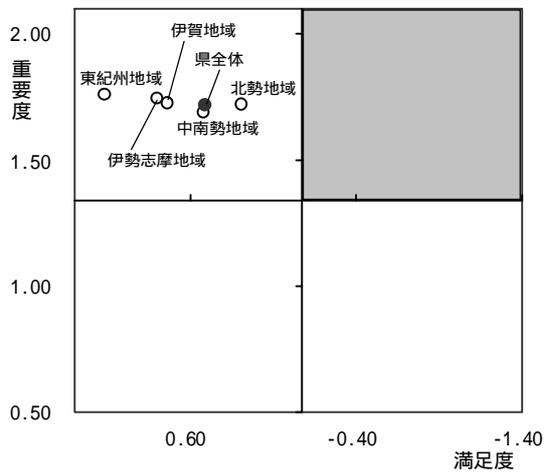
21 【希少な生物】



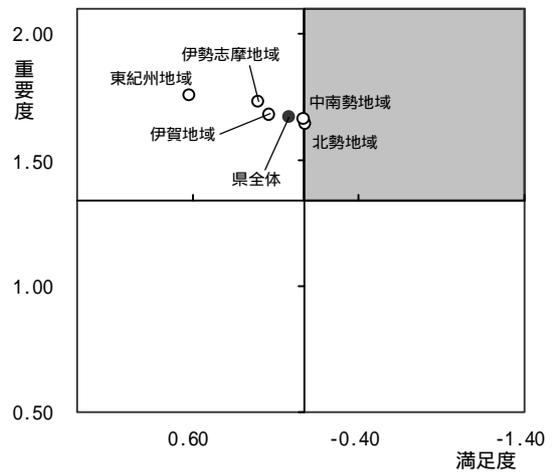
22 【ごみの減量】



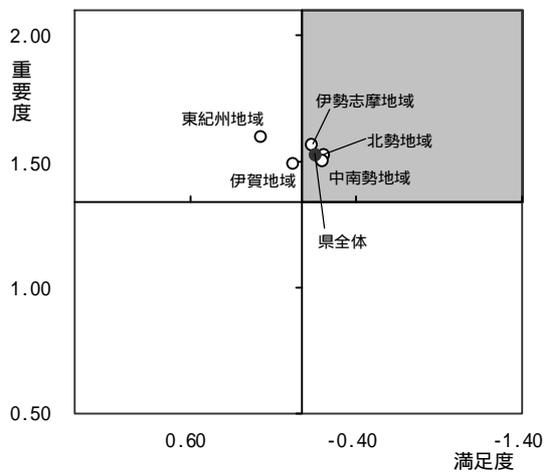
23 【きれいな空気】



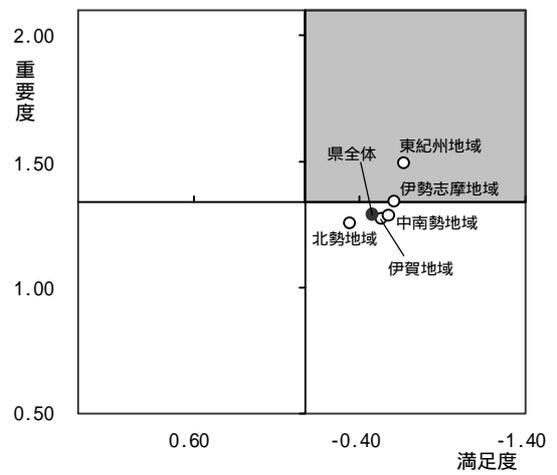
24 【川や海の水質】



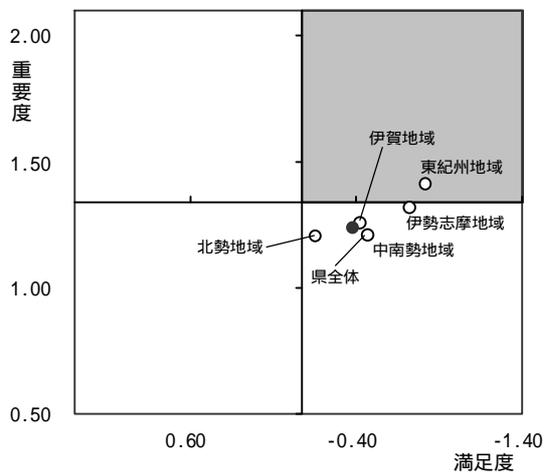
25 【地球温暖化防止】



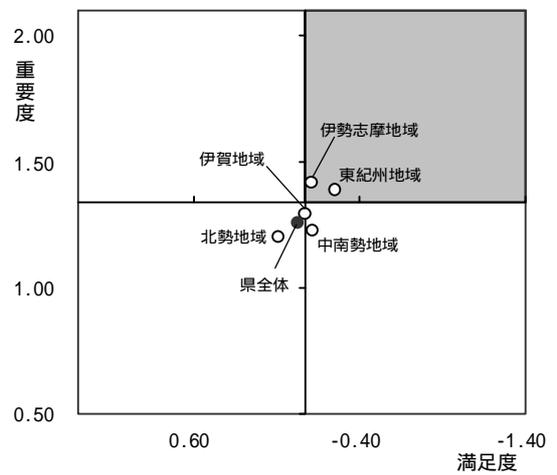
26 【農林水産業の振興】



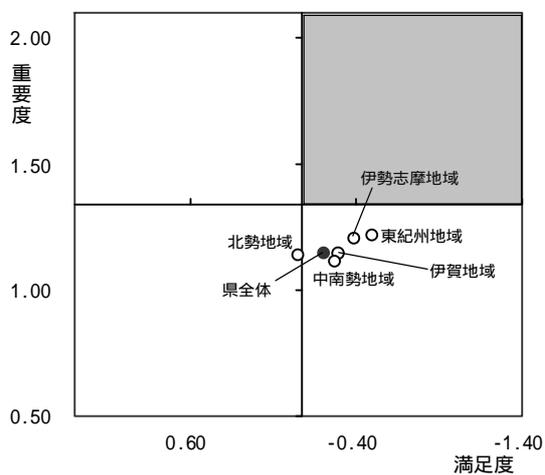
27 【産業振興】



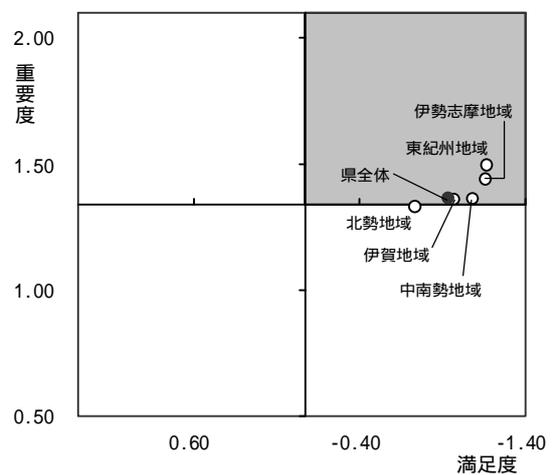
28 【観光】



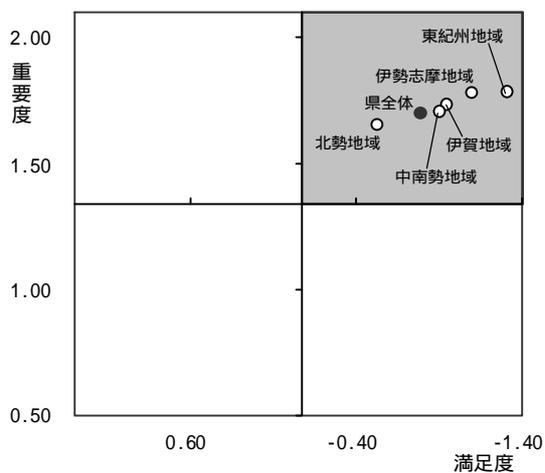
29 【技術開発】



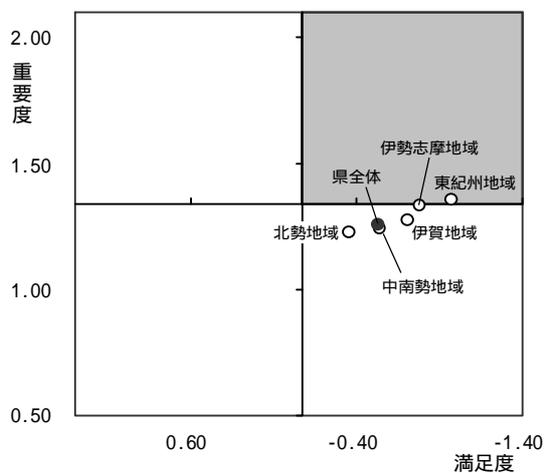
30 【地域商工業】



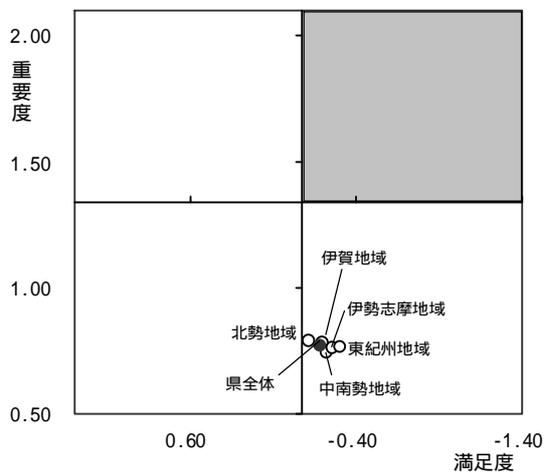
31 【雇用】



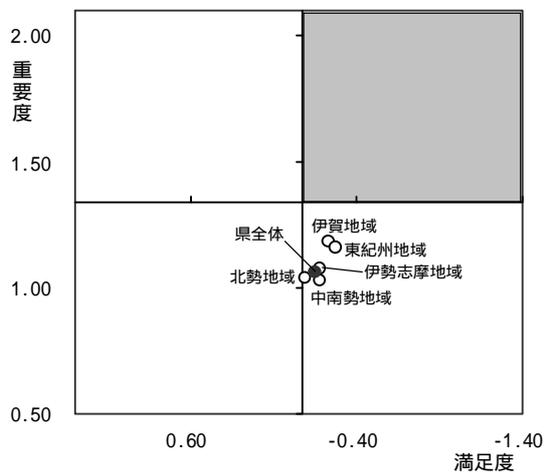
32 【職業能力開発】



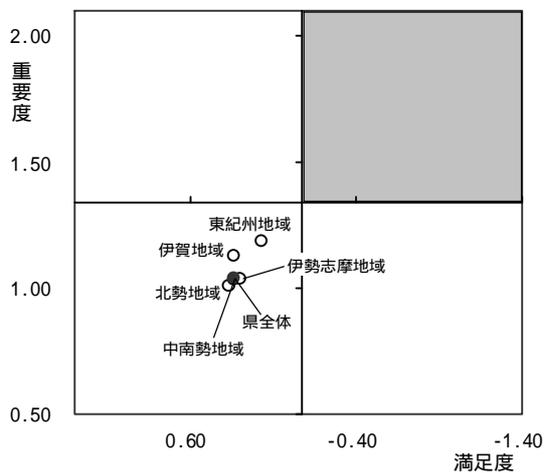
33 【国際化】



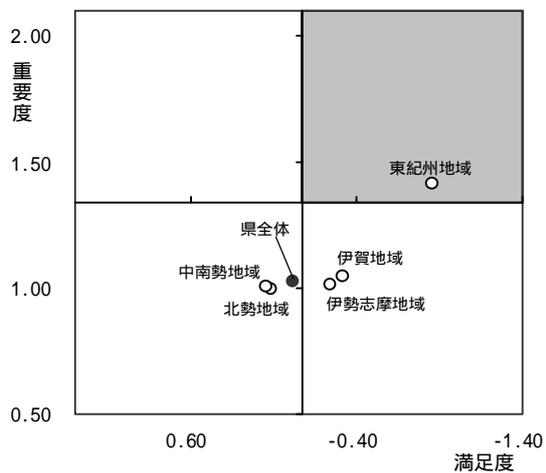
34 【広域交流・連携】



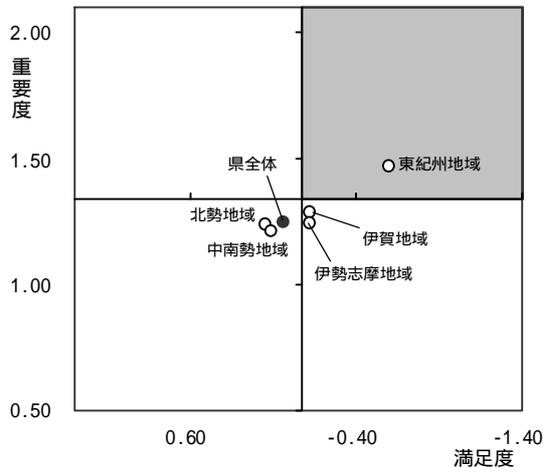
35 【情報ネットワーク】



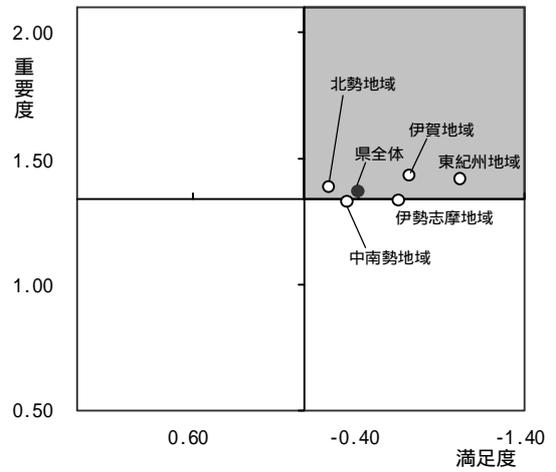
36 【高速交通網】



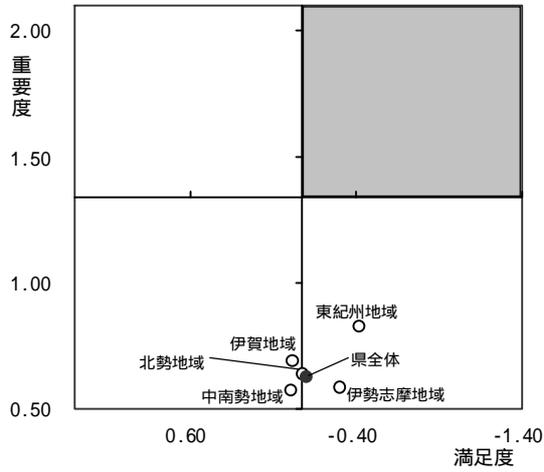
37 【道路の整備】



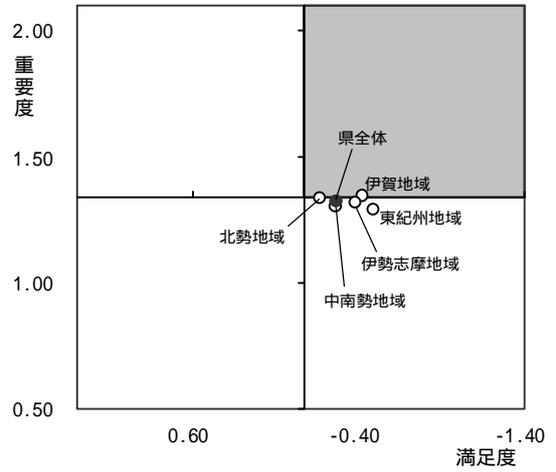
38 【公共交通機関】



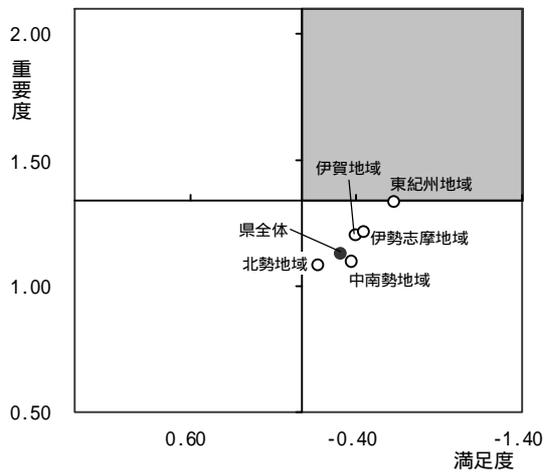
39 【港の整備】



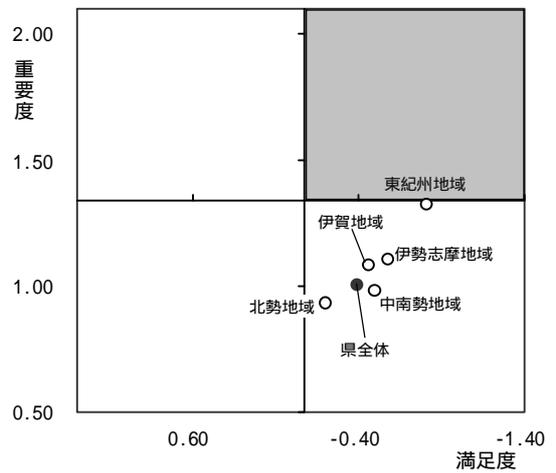
40 【快適なまちづくり】



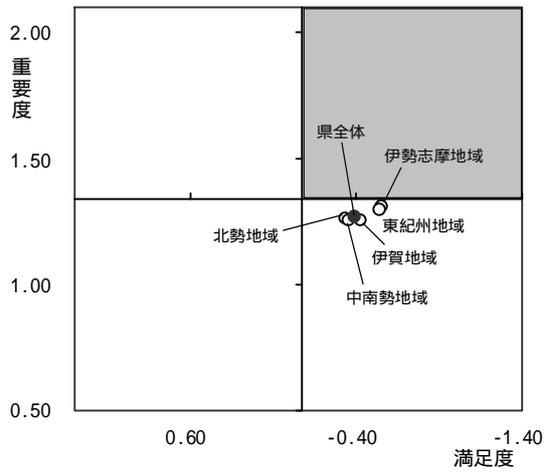
41 【農山漁村づくり】



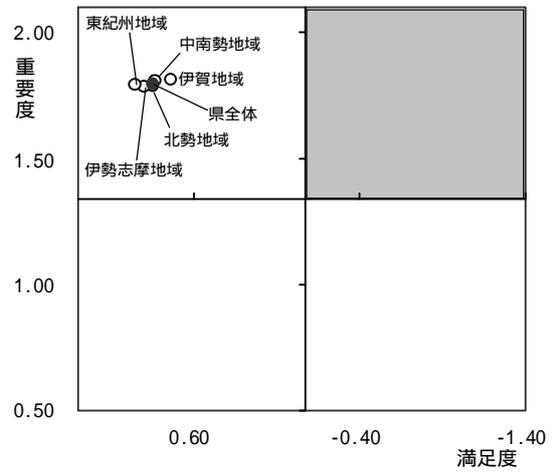
42 【過疎地域等の振興】



43 【エネルギー】



44 【飲料水の供給】



## 5. 各項目の地域によるばらつき

前節では地域ごとにその特徴を把握したが、本節では項目の視点から地域の特徴を明らかにする。44項目について5つの地域の標準偏差を算出して、どれくらいのばらつきがみられるかを分析することで、項目の地域特性を明らかにする。標準偏差とは、データの平均からの離れ具合を表した数値であり、ばらつき具合を表す。標準偏差が大きいほど、地域によるばらつきが大きいといえる。

この結果、地域によるばらつきは項目によって違いが大きいこととともに、重要度の地域によるばらつきに比べ、満足度の地域によるばらつきが大きいことがわかる。

### (1) 各項目の重要度の地域によるばらつき

「高速交通網」「過疎地域等の振興」「道路の整備」「港の整備」「農山漁村づくり」等の標準偏差が高く、ばらつきがみられる。(図参照)また、上位5項目について、全項目の重要度が東紀州地域で高くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「青少年の健全育成」「飲料水の供給」「食の安全」「防犯」等で、これらの項目の重要度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

図 重要度の標準偏差(地域)

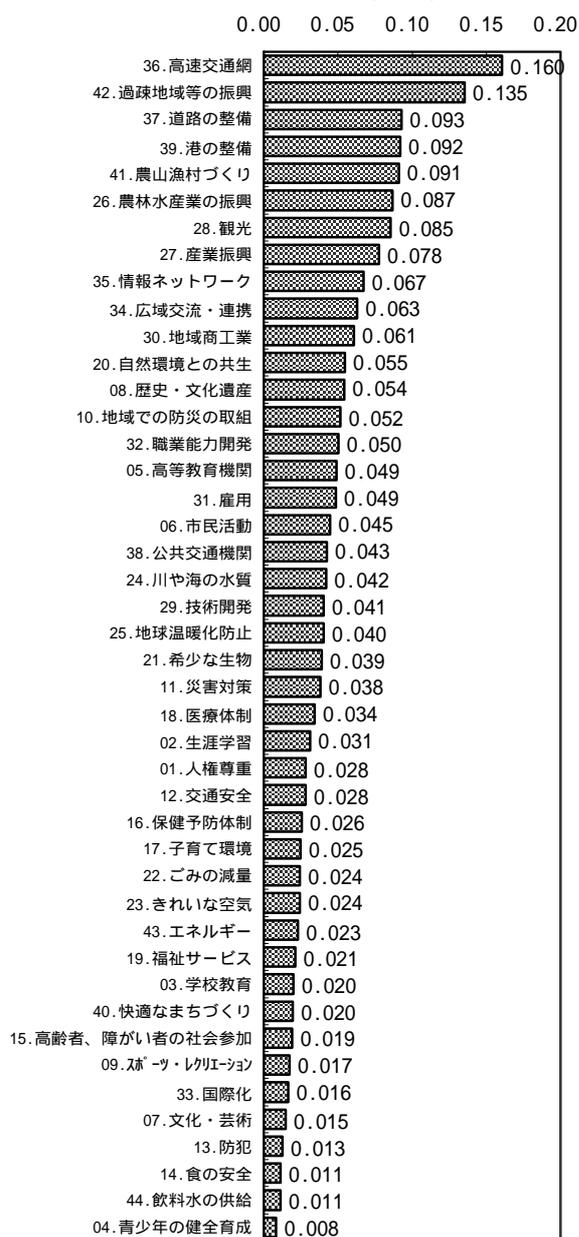


表 各地域の重要度と標準偏差

順位	項目	重要度					標準偏差	
		全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域		東紀州地域
1位	36. 高速交通網	1.03	1.00	1.05	1.01	1.02	1.42	0.160
2位	42. 過疎地域等の振興	1.00	0.93	1.09	0.98	1.11	1.33	0.135
3位	37. 道路の整備	1.25	1.24	1.29	1.21	1.25	1.47	0.093
4位	39. 港の整備	0.63	0.64	0.69	0.58	0.59	0.83	0.092
5位	41. 農山漁村づくり	1.13	1.08	1.21	1.10	1.22	1.34	0.091

## (2) 各項目の満足度の地域によるばらつき

「医療体制」の標準偏差が最も高く、次いで「高速交通網」「公共交通機関」となっている。また、上位5項目について各地域の満足度の内訳を下表に示す。東紀州地域では、「きれいな空気」を除く4項目の満足度が他地域と比べて低くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「高齢者、障がい者の社会参加」「歴史・文化遺産」「人権尊重」「保健・予防体制」「広域交流・連携」「食の安全」「国際化」「市民活動」等で、これらの項目の満足度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

図 満足度の標準偏差（地域）

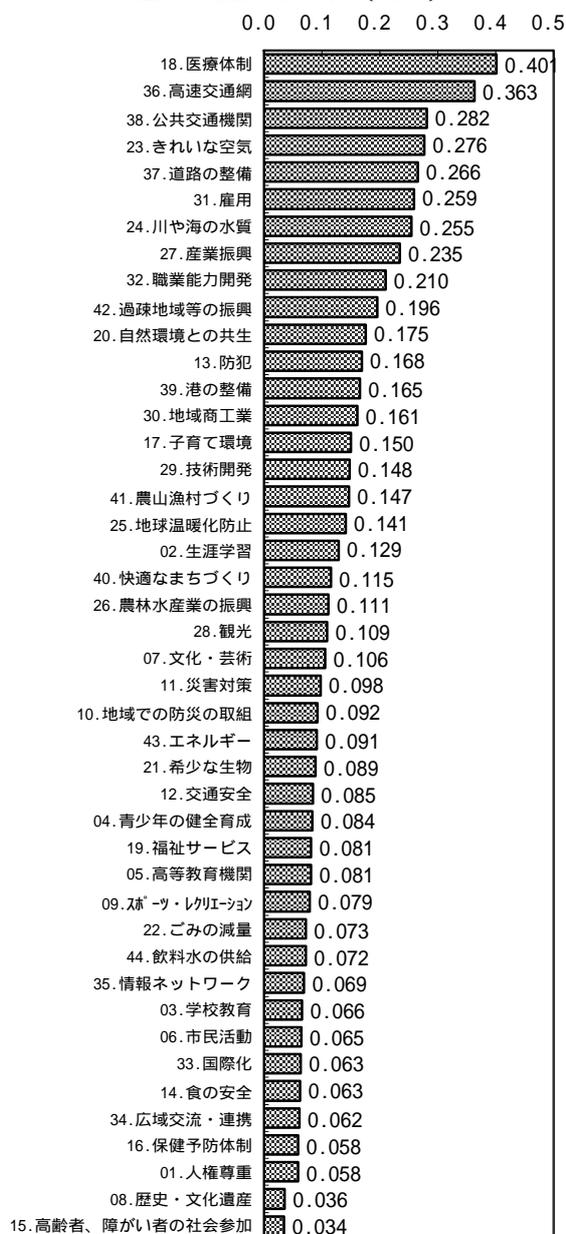


表 各地域の満足度と標準偏差

順位	項目	満足度						標準偏差
		全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域	
1位	18. 医療体制	-0.12	0.19	-0.73	-0.08	-0.49	-0.89	0.401
2位	36. 高速交通網	0.00	0.12	-0.31	0.15	-0.23	-0.85	0.363
3位	38. 公共交通機関	-0.39	-0.22	-0.70	-0.33	-0.64	-1.01	0.282
4位	23. きれいな空気	0.51	0.30	0.74	0.53	0.80	1.12	0.276
5位	37. 道路の整備	0.05	0.15	-0.11	0.12	-0.11	-0.59	0.266

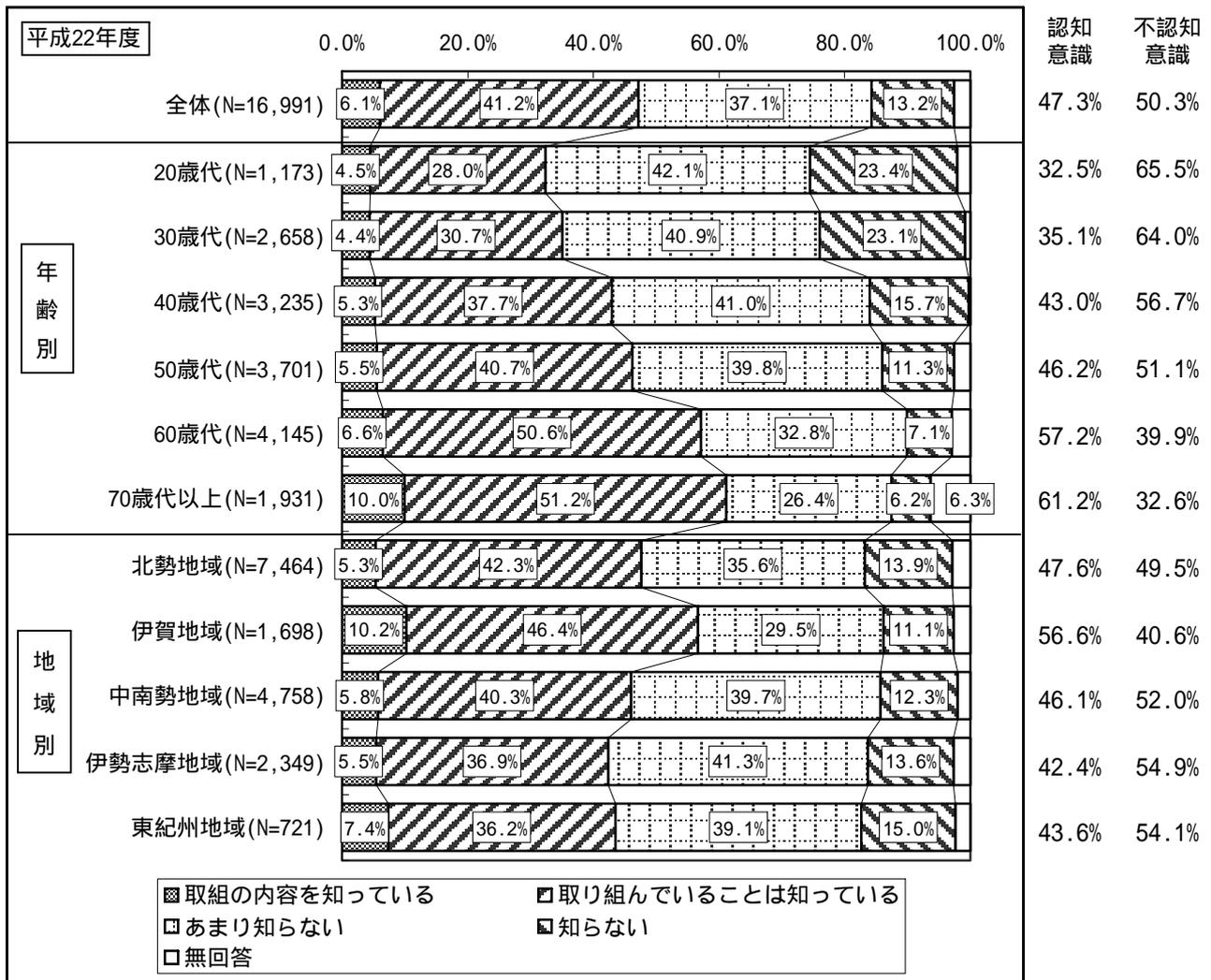
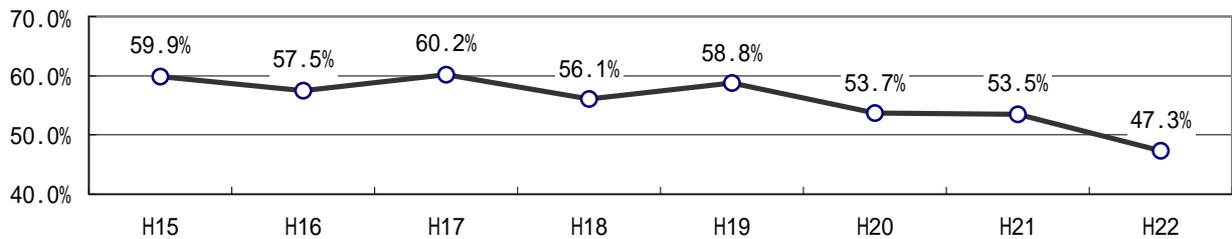
## 6. 人権尊重、食の安全における認知意識（年齢層別、地域別）

問5-2 あなたは、以下の目指すべき社会の状態について、現在の行政の具体的な取組をどの程度ご存知ですか。

### 1) 人権尊重

平成15年度までの表現	人権侵害や差別をなくすための取組
平成16年度以降の表現	性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。

認知意識（集計資料 p.122）



#### 平成 22 年度

「取組の内容を知っている」(6.1%)と「取り組んでいることは知っている」(41.2%)を合わせた認知意識は、47.3%となっている。

#### 7 年間の推移

認知意識を調査しはじめた平成 15 年度からの推移をみると、19 年度までは増減を繰り返していたが、それ以降は減少が続いている。

#### 年齢別

年齢別でみると、年齢が高いほど認知意識は高く、60 歳代以上では 6 割前後を占めている。

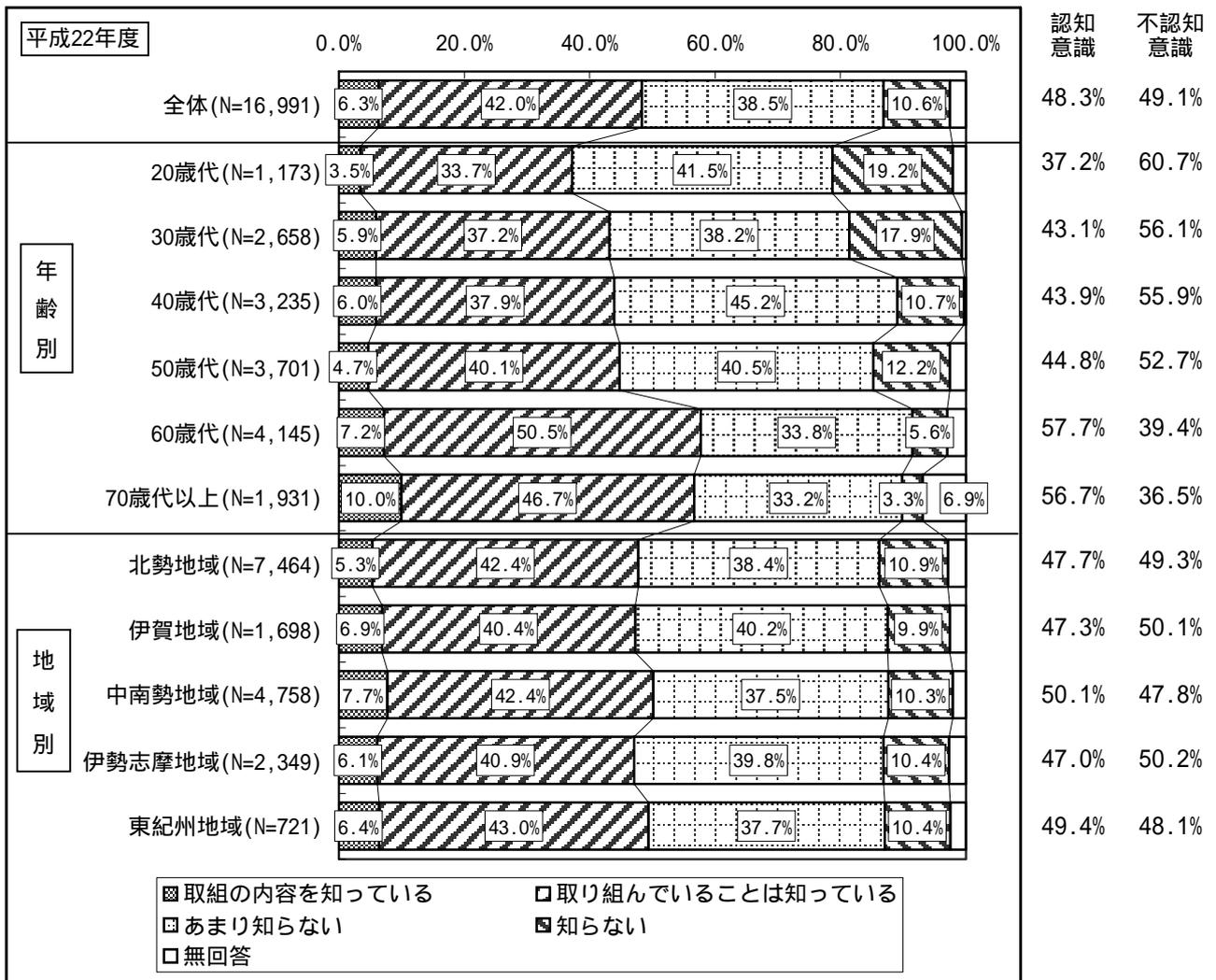
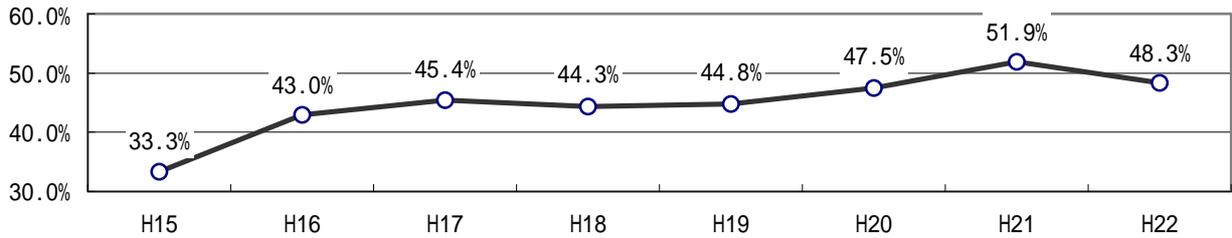
#### 地域別

地域別でみると、認知意識は伊賀地域で特に高くなっている。

14) 食の安全

平成 15 年度までの表現	食品の安全性確保のための衛生管理指導体制の整備
平成 16 年度以降の表現	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。

認知意識 (集計資料 p.123)



#### 平成 22 年度

「取組の内容を知っている」(6.3%)と「取り組んでいることは知っている」(42.0%)を合わせた認知意識は 48.3%となっている。

#### 7 年間の推移

平成 15 年度からの推移をみると、21 年度までは増加傾向であったが、22 年度では減少に転じている。

#### 年齢別

年齢別でみると、年齢が高いほど認知意識は高く、60 歳代以上では 6 割弱を占めている。

#### 地域別

地域別でみると、中南勢地域では 5 割台、その他の地域では 4 割台となっている。

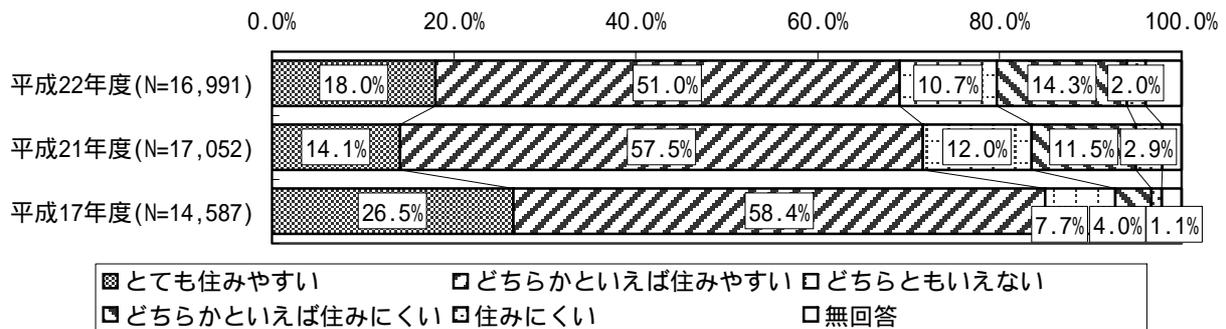
## 7. お住まいの地域の住みやすさについての評価・愛着及び今後の定住意向

### (1) お住まいの地域の住みやすさについての評価

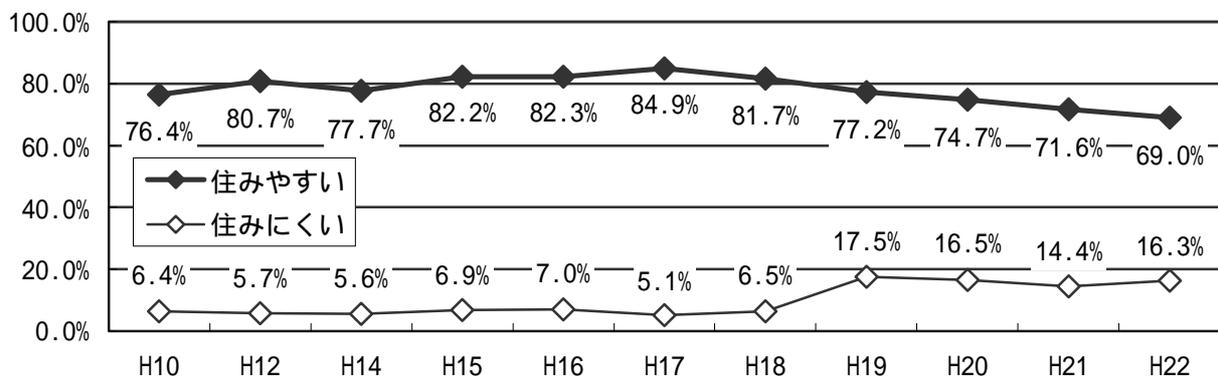
問1-1 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。

(回答は単一選択式)

#### 全体



#### 経年



#### 平成22年度

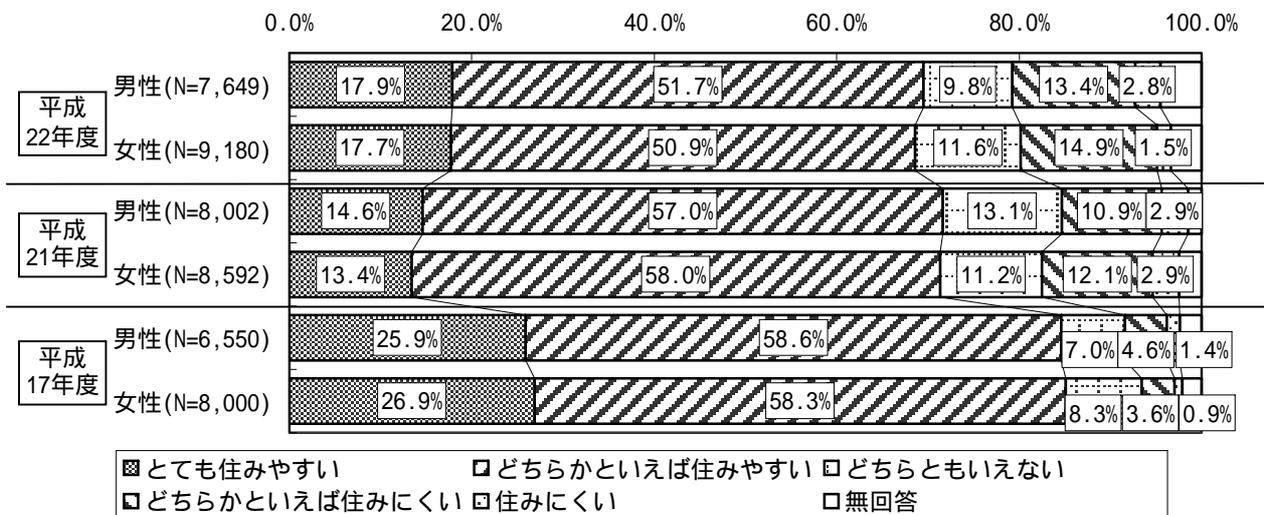
全体では、「どちらかといえば住みやすい」が5割以上(51.0%)を占め、これに「とても住みやすい」(18.0%)を合わせた“住みやすい”と答えた人は69.0%となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(14.3%)と「住みにくい」(2.0%)を合わせた“住みにくい”と答えた人は16.3%となっている。

#### 平成17年度、平成21年度との比較

「とても住みやすい」と答えた人は21年度より増加したものの、17年度と比較して8.5ポイント減少しており、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”と答えた人は減少が続いている。また、“住みにくい”と答えた人は増加し、「どちらともいえない」は増加傾向にある。

# 性別

(集計資料 p.1)



## 平成22年度

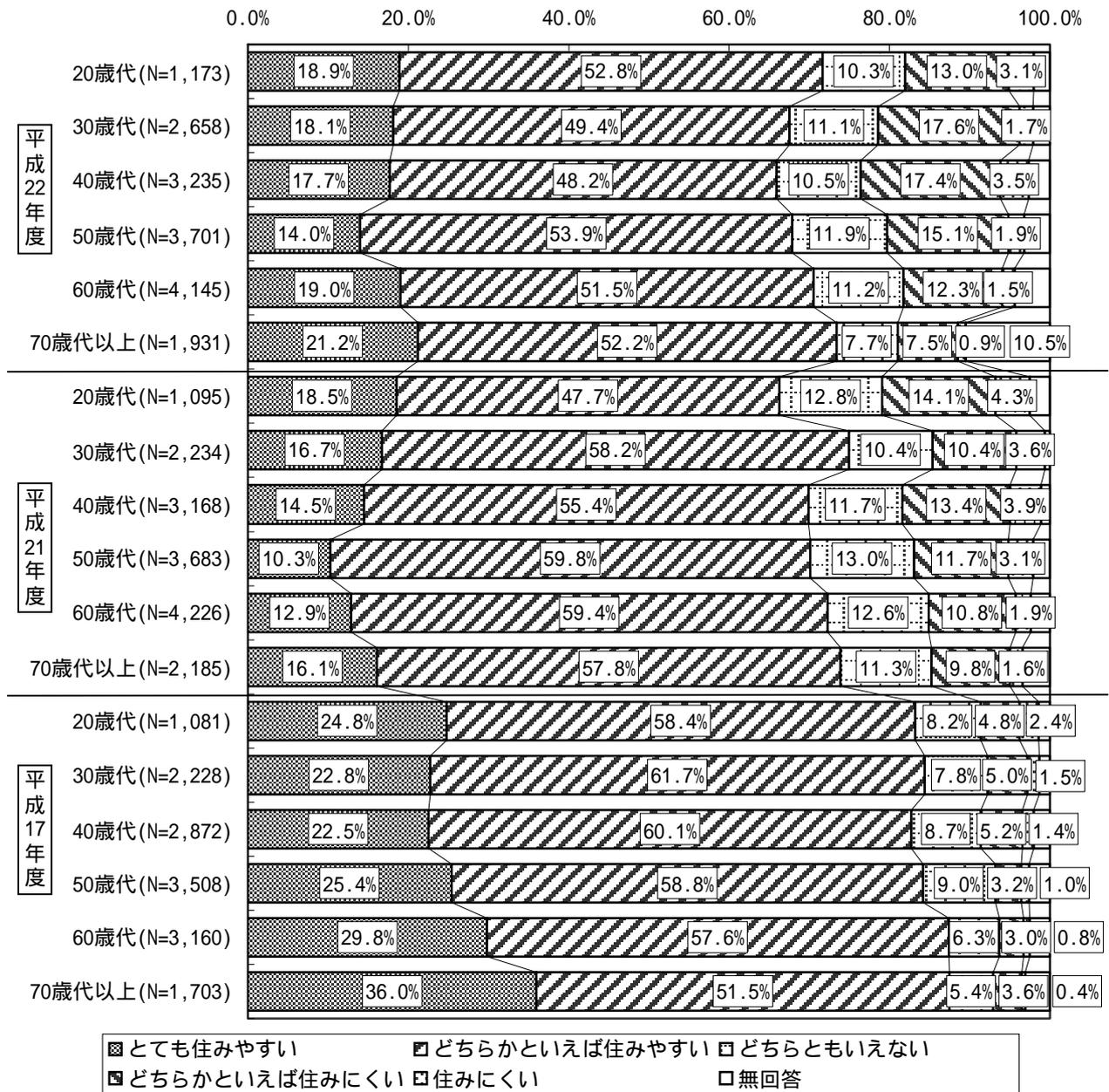
“住みやすい”と答えた人は、男性が69.6%、女性が68.6%とほとんど差はない。

## 平成17年度、平成21年度との比較

17年度から21年度にかけてみると、“住みやすい”では男女の差はほとんどなく、21年度は13ポイント前後減少、22年度は緩やかに減少している。

# 年齢層別

(集計資料 p.1)



## 平成22年度

“住みやすい”と答えた人は、全ての年齢層で7割前後を占め、特に70歳代以上(73.4%)で最も多くなっている。

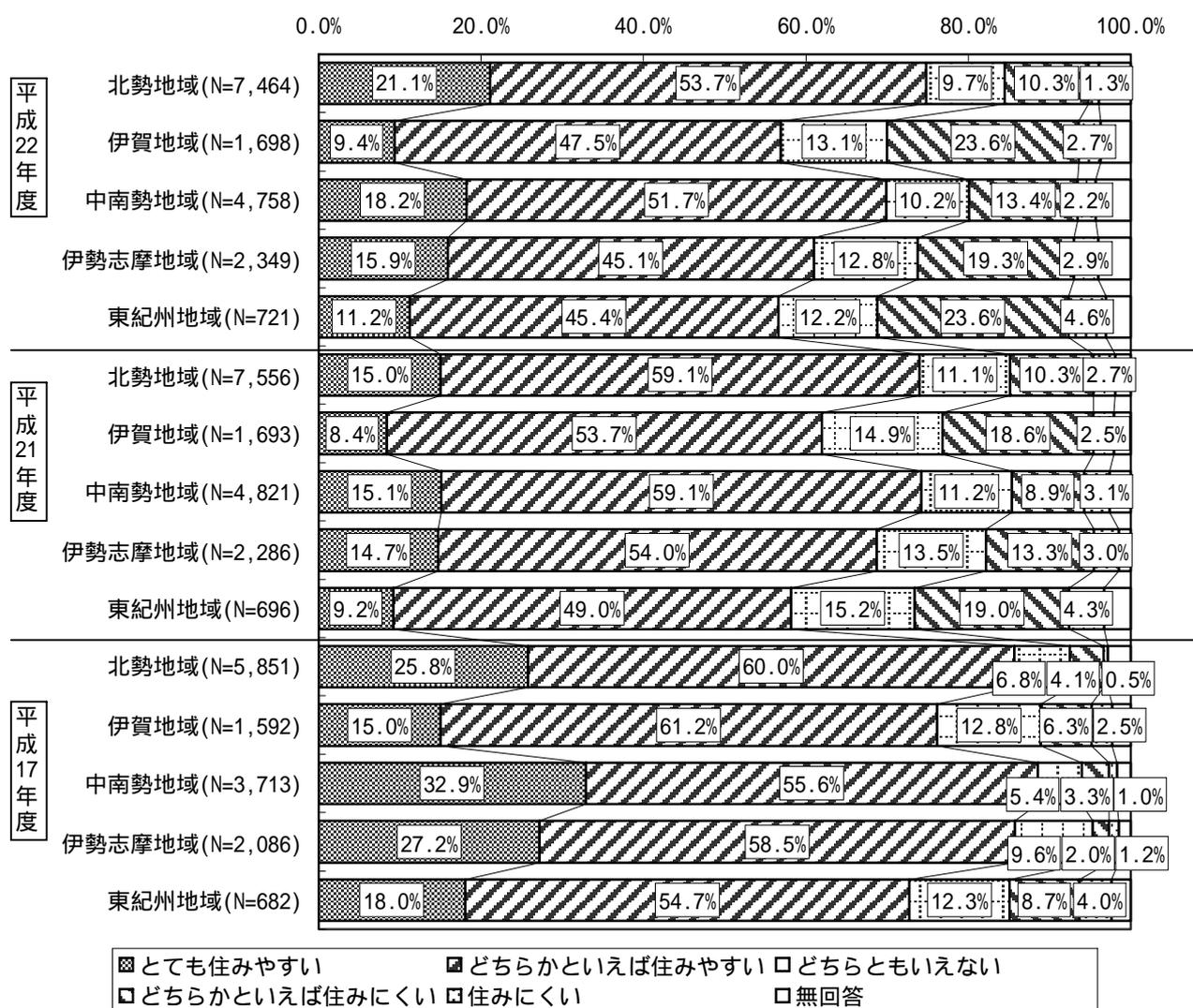
## 平成17年度、平成21年度との比較

「とても住みやすい」と答えた人は、21年度では全ての年齢層で減少しているが、22年度では全ての年齢層でわずかながら増加している。また、“住みやすい”と答えた人は、21年度では全ての年齢層で減少しているが、22年度では20歳代以外の全ての年齢層で減少しており、特に30歳代では7ポイント以上減少している。

“住みにくい”は21年度では全ての年齢層で10ポイント前後増加していたが、22年度では20歳代、70歳代以上では減少、それ以外の年齢層ではやや増加している。

## 地域別

(集計資料 p.1)



### 平成22年度

「とても住みやすい」と答えた人は、北勢地域（21.1%）、中南勢地域（18.2%）、伊勢志摩地域（15.9%）で15%以上となっているのに対し、伊賀地域、東紀州地域では1割前後となっている。

また、「住みやすい」は、北勢地域は7割を越えているが、中南勢地域、伊勢志摩地域は6割台、伊賀地域、東紀州地域は6割に満たない。

一方、「住みにくい」と答えた人は伊賀地域、伊勢志摩地域、東紀州地域では2割を超えている。

### 平成17年度、平成21年度との比較

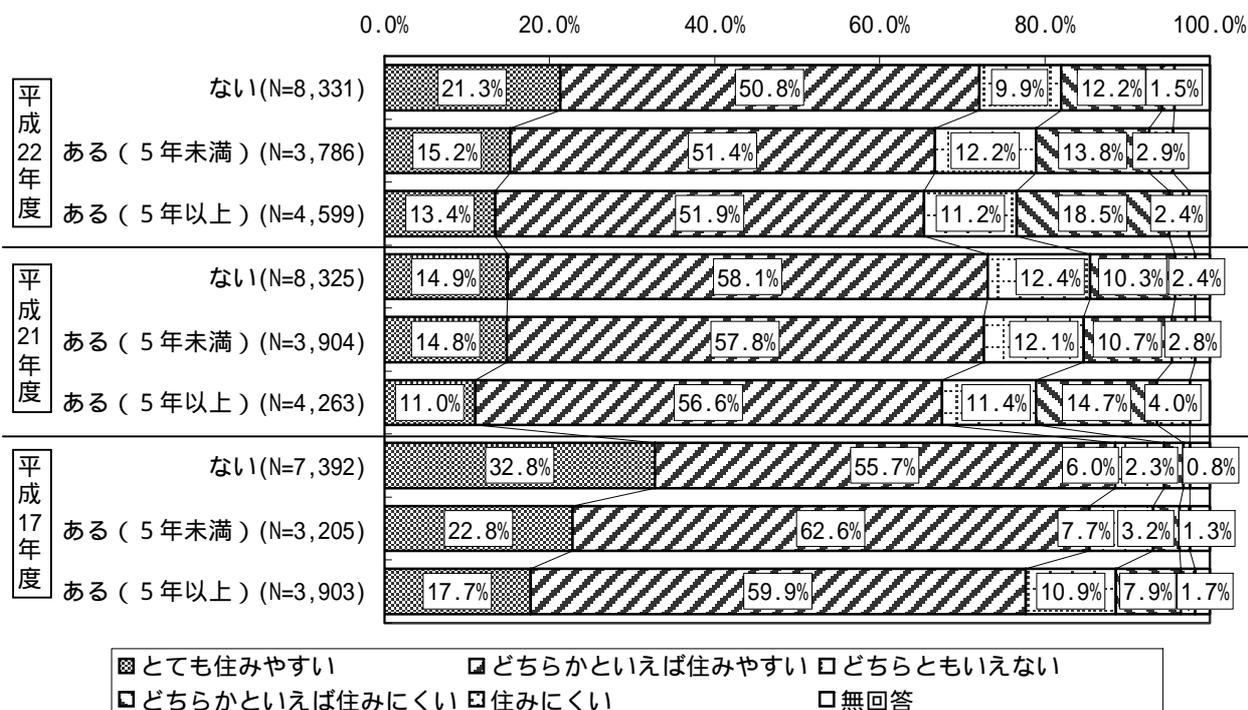
「住みやすい」と答えた人は、21年から22年にかけて北勢地域以外の4地域で減少している。

17年度と比較すると、「住みやすい」と答えた人は、全ての地域で減少しており、最も減少幅が大きいのは伊勢志摩地域で、24.7ポイント減少している。

一方、「住みにくい」を17年度と比較すると、全ての地域で増加しており、北勢地域を除く4地域では10ポイント以上増加している。

## 県外在住の経験別

(集計資料 p.1)



### 平成22年度

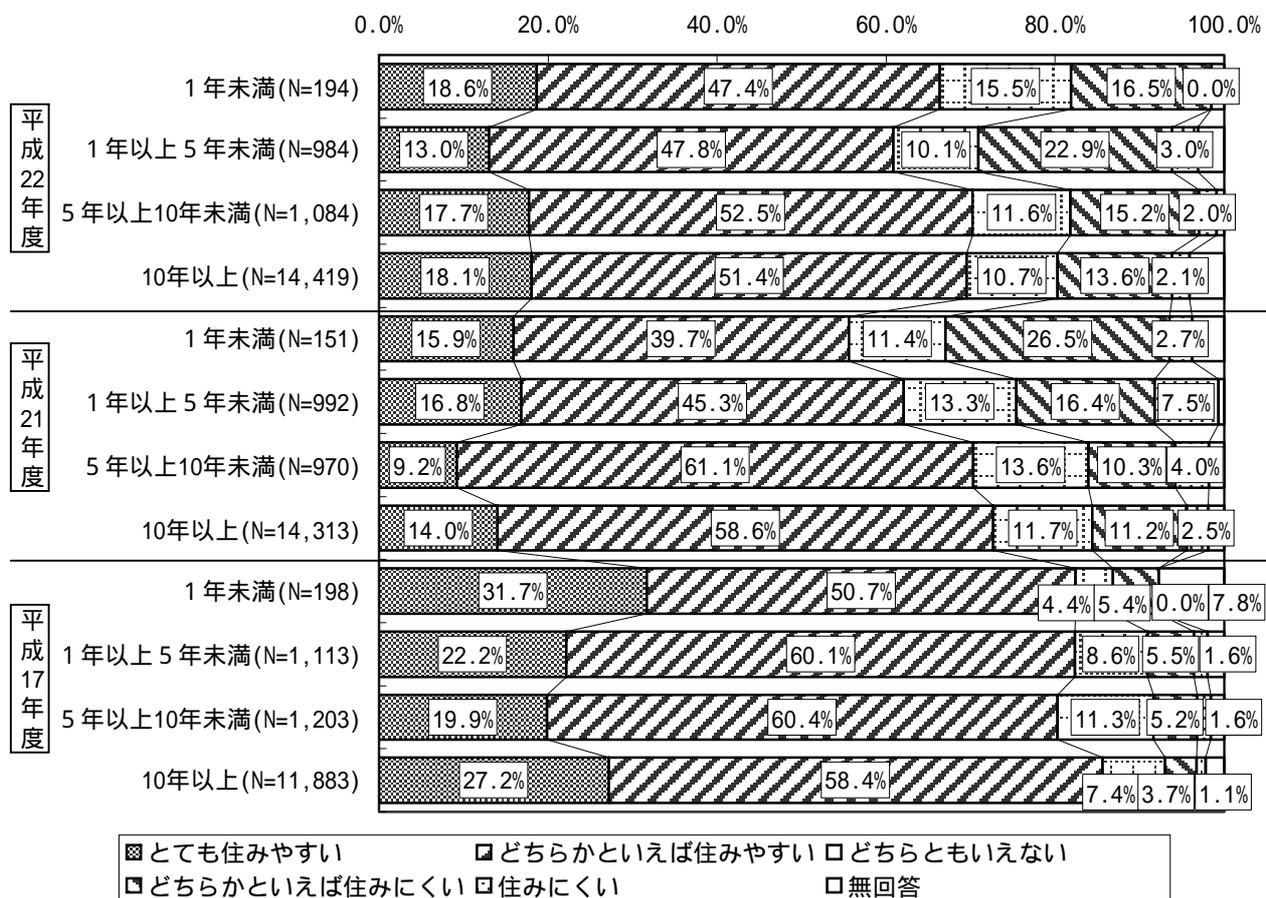
“住みやすい”と答えた人は、県外在住経験が「ない」人が72.1%、「ある(5年未満)」の人は66.6%、「ある(5年以上)」の人は65.3%とやや少なくなっている。

### 平成17年度、平成21年度との比較

17年度、21年度と比較すると、「ない」人で“住みやすい”と感じている人は年々減少している。また、「ある(5年以上)」人で“住みやすい”と感じている人は、21年度と22年度では7割に満たない。“住みにくい”については、いずれの階層においても増加している。各年度とも県外在住経験が「ある」で長いほど“住みにくい”が多い。

# 居住年数別

(集計資料 p.1)



## 平成22年度

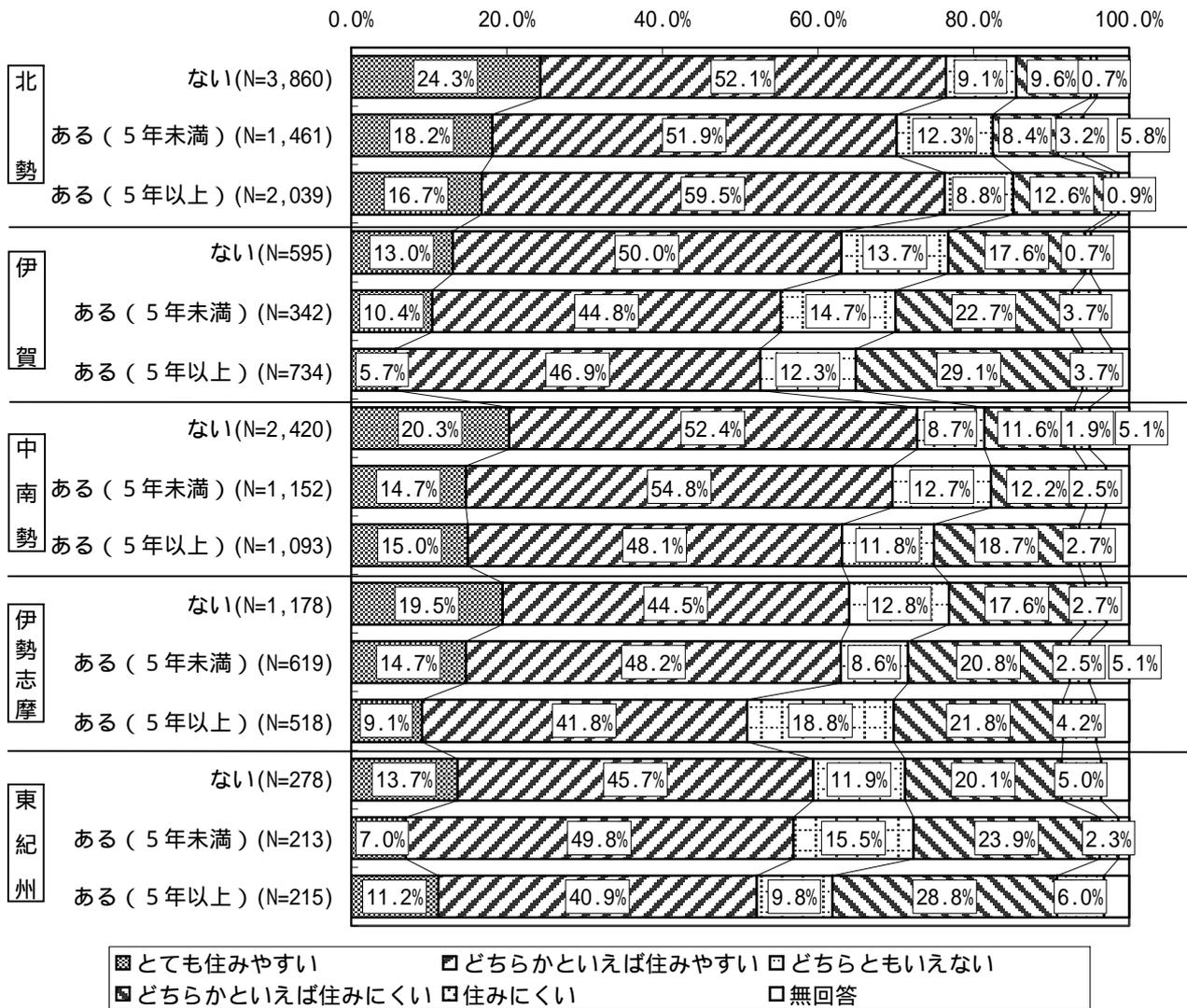
“住みやすい”と答えた人は、居住年数が5年以上10年未満の人が最も多く70.2%となっている。居住年数が短いほど、“住みやすい”と感じる人が少ない傾向にある。「住みにくい」は、1年以上5年未満(25.9%)で最も多くなっている。

## 平成17年度、平成21年度との比較

“住みやすい”と答えた人は、17年度と21年度を比較すると、全ての階層で10ポイント以上減少している。特に、1年未満については、26.8ポイントも減少している。21年度から22年度にかけては、1年未満を除いて減少している。“住みにくい”については、17年度と22年度を比較すると、全ての階層で10ポイント以上増加している。

地域・県外在住経験別

(集計資料 p.2)



“住みやすい”と答えた人は、北勢地域を除く地域で、県外在住経験が「ある」で長い人ほど少なくなっている。

(2) 住みやすいと感じている点

【問1 - 1で、1または2に をつけた方だけにおうかがいします】

問1 - 2 現在お住まいの地域が住みやすいとお感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分に満足されているからですか。(回答は3つ選択式)

全体

(集計資料 p.3~7)

順位	平成22年度		前年比	順位	平成21年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	きれいな空気【くらし】	37.2%		第1位	きれいな空気【くらし】	32.3%
第2位	自然環境との共生【くらし】	26.2%		第2位	自然環境との共生【くらし】	25.3%
第3位	公共交通機関【絆】	17.6%		第3位	飲料水の供給【くらし】	23.4%
第4位	道路の整備【絆】	15.7%		第4位	医療体制【くらし】	16.5%
第5位	医療体制【くらし】	15.0%		第5位	道路の整備【絆】	14.8%
第6位	子育て環境【くらし】	14.7%		第6位	食の安全【くらし】	14.4%
第7位	飲料水の供給【くらし】	14.2%		第7位	公共交通機関【絆】	13.3%
第8位	食の安全【くらし】	11.6%		第8位	子育て環境【くらし】	10.4%
第9位	防犯【くらし】	10.8%		第9位	防犯【くらし】	9.7%
第10位	高速交通網【絆】	10.2%		第10位	高速交通網【絆】	9.6%
第11位	快適なまちづくり【絆】	7.9%		第11位	快適なまちづくり【絆】	6.6%
第12位	川や海の水質【くらし】	7.2%		第12位	福祉サービス【くらし】	6.0%
第13位	福祉サービス【くらし】	6.5%		第13位	学校教育【元気】	5.8%
第14位	歴史・文化遺産【元気】	6.3%		第14位	生涯学習【元気】	5.6%
	学校教育【元気】				地域での防災の取組【くらし】	
第16位	市民活動【絆】	5.6%			川や海の水質【くらし】	
第17位	地域商工業【元気】	5.5%		第17位	ごみの減量【くらし】	5.1%
第18位	地域での防災の取組【くらし】	4.2%		第18位	市民活動【絆】	4.9%
	スポーツ・レクリエーション【元気】			第19位	人権尊重【元気】	4.8%
第20位	観光【元気】	4.1%		第20位	歴史・文化遺産【元気】	4.4%
	ごみの減量【くらし】			第21位	スポーツ・レクリエーション【元気】	4.3%
第22位	交通安全【くらし】	3.9%		第22位	災害対策【くらし】	3.8%
第23位	人権尊重【元気】	3.4%		第23位	情報ネットワーク【絆】	3.6%
第24位	生涯学習【元気】	3.2%		第24位	文化・芸術【元気】	3.5%
	文化・芸術【元気】			第25位	観光【元気】	3.4%
第26位	雇用【元気】	2.5%		第26位	交通安全【くらし】	3.1%
第27位	青少年の健全育成【元気】	2.1%		第27位	青少年の健全育成【元気】	2.5%
第28位	情報ネットワーク【絆】	1.6%		第28位	雇用【元気】	2.2%
	災害対策【くらし】			第29位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	2.0%
	保健予防体制【くらし】			第30位	保健予防体制【くらし】	1.7%
第31位	広域交流・連携【絆】	1.4%		第31位	地域商工業【元気】	1.4%
第32位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	1.3%		第32位	広域交流・連携【絆】	1.3%
第33位	港の整備【絆】	1.1%		第33位	農山漁村づくり【絆】	0.8%
第34位	産業振興【元気】	1.0%		第34位	農林水産業の振興【元気】	0.7%
	希少な生物【くらし】				高等教育機関【絆】	
第36位	農林水産業の振興【元気】	0.9%		第36位	産業振興【元気】	0.6%
	農山漁村づくり【絆】				港の整備【絆】	
第38位	高等教育機関【絆】	0.6%		第38位	希少な生物【くらし】	0.5%
第39位	エネルギー【くらし】	0.4%		第39位	地球温暖化防止【くらし】	0.4%
	地球温暖化防止【くらし】			第40位	過疎地域等の振興【絆】	0.3%
第41位	国際化【絆】	0.3%		第41位	技術開発【元気】	0.2%
第42位	職業能力開発【元気】	0.2%			職業能力開発【元気】	
第44位	技術開発【元気】		0.1%		第43位	エネルギー【くらし】
	その他	5.8%			国際化【絆】	
					その他	3.8%

住みやすいと感じている点については、「きれいな空気」が37.2%と最も多く、次いで「自然環境との共生」(26.2%)、「公共交通機関」(17.6%)、「道路の整備」(15.7%)、「医療体制」(15.0%)、「子育て環境」(14.7%)、「飲料水の供給」(14.2%)、「食の安全」(11.6%)などとなっている。  
21年度と比較しても、大きな変化はみられない。

#### 年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 37.2%	20.自然環境との共生 26.2%	38.公共交通機関 17.6%	37.道路の整備 15.7%	18.医療体制 15.0%
20歳代	23.きれいな空気 27.3%	20.自然環境との共生 22.6%	17.子育て環境 22.0%	38.公共交通機関 19.1%	18.医療体制 15.9%
30歳代	17.子育て環境 32.8%	23.きれいな空気 27.8%	20.自然環境との共生 23.7%	38.公共交通機関 17.6%	37.道路の整備 12.4%
40歳代	23.きれいな空気 32.2%	20.自然環境との共生 23.0%	38.公共交通機関 20.4%	37.道路の整備 17.9%	17.子育て環境 17.2%
50歳代	23.きれいな空気 47.6%	20.自然環境との共生 30.2%	38.公共交通機関 19.8%	37.道路の整備 18.2%	18.医療体制 15.9%
60歳代	23.きれいな空気 41.2%	20.自然環境との共生 30.9%	18.医療体制 17.2%	44.飲料水の供給 17.1%	38.公共交通機関 16.1%
70歳以上	23.きれいな空気 36.0%	20.自然環境との共生 20.9%	44.飲料水の供給 18.8%	37.道路の整備 18.6%	18.医療体制 18.0%

- ・ 全体の上位5項目では、「きれいな空気」「自然環境との共生」は全ての年齢層で上位5項目としてあげられており、「公共交通機関」は70歳代以上を除く年齢層で、「医療体制」は30歳代、40歳代を除く年齢層で、「道路の整備」は20歳代、60歳代を除く年齢層で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」が子育て世代である20～40歳代で、「飲料水の供給」が60歳代、70歳代以上でそれぞれ第4位、第3位に入っている。

#### 地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 37.2%	20.自然環境との共生 26.2%	38.公共交通機関 17.6%	37.道路の整備 15.7%	18.医療体制 15.0%
北勢地域	23.きれいな空気 26.5%	20.自然環境との共生 22.6%	38.公共交通機関 21.7%	18.医療体制 18.2%	37.道路の整備 18.0%
伊賀地域	23.きれいな空気 59.4%	20.自然環境との共生 34.5%	14.食の安全 14.3%	44.飲料水の供給 13.4%	13.防犯 11.9%
中南勢地域	23.きれいな空気 37.1%	20.自然環境との共生 26.4%	38.公共交通機関 20.0%	37.道路の整備 17.2%	18.医療体制 16.7%
伊勢志摩地域	23.きれいな空気 55.9%	20.自然環境との共生 29.8%	14.食の安全 17.8%	17.子育て環境 16.2%	24.川や海の水質 16.0%
東紀州地域	23.きれいな空気 66.2%	20.自然環境との共生 41.9%	24.川や海の水質 28.2%	14.食の安全 20.6%	44.飲料水の供給 18.9%

- ・ 全体の上位5項目では、全地域で「きれいな空気」が第1位、「自然環境との共生」が第2位となっている。
- ・ 3地域で「食の安全」、2地域で「公共交通機関」「医療体制」「道路の整備」「飲料水の供給」「川や海の水質」、1地域で「防犯」「子育て環境」が上位5項目に入っている。

(3) 住みにくいと感じている点

【問1 - 1で、3または4に をつけた方だけにおうかがいします】

問1 - 3 現在お住まいの地域が住みにくいとお感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分が不足しているからですか。(回答は3つ選択式)

全体

(集計資料 p.8~12)

順位	平成22年度		前年比	順位	平成21年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	医療体制【くらし】	36.8%		第1位	医療体制【くらし】	36.4%
第2位	公共交通機関【絆】	34.2%		第2位	公共交通機関【絆】	36.3%
第3位	雇用【元気】	28.0%		第3位	雇用【元気】	17.3%
第4位	道路の整備【絆】	15.3%		第4位	道路の整備【絆】	14.1%
第5位	子育て環境【くらし】	12.0%		第5位	防犯【くらし】	11.3%
第6位	福祉サービス【くらし】	10.3%		第6位	子育て環境【くらし】	11.2%
第7位	快適なまちづくり【絆】	9.0%		第7位	快適なまちづくり【絆】	9.4%
第8位	防犯【くらし】	8.7%		第8位	交通安全【くらし】	8.0%
第9位	地域商工業【元気】	8.4%		第9位	学校教育【元気】	7.8%
第10位	過疎地域等の振興【絆】	7.8%		第10位	災害対策【くらし】	7.4%
第11位	交通安全【くらし】	7.0%		第11位	過疎地域等の振興【絆】	6.7%
第12位	文化・芸術【元気】	6.7%		第12位	高速交通網【絆】	6.3%
第13位	災害対策【くらし】	6.4%		第13位	福祉サービス【くらし】	5.9%
第14位	学校教育【元気】	6.1%		第14位	人権尊重【元気】	5.1%
第15位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	5.2%		第15位	農林水産業の振興【元気】	5.0%
第16位	高等教育機関【絆】	4.7%		第16位	川や海の水質【くらし】	4.9%
第17位	産業振興【元気】	4.6%		第17位	きれいな空気【くらし】	4.6%
第18位	きれいな空気【くらし】	4.5%		第19位	地域商工業【元気】	4.5%
第20位	人権尊重【元気】	4.5%		第19位	自然環境との共生【くらし】	4.5%
第20位	自然環境との共生【くらし】	4.2%		第20位	産業振興【元気】	3.8%
第21位	観光【元気】	3.8%		第20位	文化・芸術【元気】	3.8%
第22位	川や海の水質【くらし】	3.6%		第22位	スポーツ・レクリエーション【元気】	3.7%
第24位	高速交通網【絆】	3.4%		第22位	青少年の健全育成【元気】	3.7%
第24位	農林水産業の振興【元気】	3.4%		第24位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	2.9%
第25位	農山漁村づくり【絆】	3.3%		第25位	農山漁村づくり【絆】	2.8%
第26位	スポーツ・レクリエーション【元気】	3.1%		第25位	地域での防災の取組【くらし】	2.8%
第27位	青少年の健全育成【元気】	2.7%		第26位	高等教育機関【絆】	2.3%
第28位	情報ネットワーク【絆】	2.6%		第26位	生涯学習【元気】	1.9%
第28位	市民活動【絆】	2.6%		第28位	飲料水の供給【くらし】	1.9%
第30位	生涯学習【元気】	2.3%		第30位	食の安全【くらし】	1.7%
第31位	職業能力開発【元気】	1.7%		第30位	ごみの減量【くらし】	1.7%
第32位	広域交流・連携【絆】	1.5%		第32位	広域交流・連携【絆】	1.6%
第32位	ごみの減量【くらし】	1.5%		第32位	観光【元気】	1.5%
第34位	希少な生物【くらし】	1.2%		第33位	地球温暖化防止【くらし】	1.5%
第34位	飲料水の供給【くらし】	1.2%		第35位	情報ネットワーク【絆】	1.2%
第36位	食の安全【くらし】	0.9%		第36位	市民活動【絆】	1.0%
第36位	国際化【絆】	0.9%		第37位	技術開発【元気】	0.9%
第36位	歴史・文化遺産【元気】	0.9%		第38位	保健予防体制【くらし】	0.8%
第39位	地球温暖化防止【くらし】	0.6%		第39位	職業能力開発【元気】	0.7%
第40位	地域での防災の取組【くらし】	0.5%		第40位	エネルギー【くらし】	0.5%
第40位	保健予防体制【くらし】	0.5%		第40位	国際化【絆】	0.4%
第42位	エネルギー【くらし】	0.4%		第41位	港の整備【絆】	0.4%
第42位	技術開発【元気】	0.4%		第41位	歴史・文化遺産【元気】	0.4%
第44位	港の整備【絆】	0.1%		第44位	希少な生物【くらし】	0.2%
その他		12.4%		その他		8.9%

住みにくいと感じている点については、「医療体制」(36.8%)、「公共交通機関」(34.2%)が多く、これらに次いで「雇用」(28.0%)、「道路の整備」(15.3%)、「子育て環境」(12.0%)、「福祉サービス」

(10.3%)が1割台で続いている。

21年度と比較すると、「雇用」が10.7ポイント、「福祉サービス」が4.4ポイント、「地域商工業」が3.8ポイント増加している。一方、「高速交通網」が2.7ポイント、「防犯」が2.6ポイント、「公共交通機関」が2.1ポイント減少している。

年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18.医療体制 36.8%	38.公共交通機関 34.2%	31.雇用 28.0%	37.道路の整備 15.3%	17.子育て環境 12.0%
20歳代	38.公共交通機関 41.2%	31.雇用 34.8%	18.医療体制 24.6%	28.観光 14.4%	17.子育て環境 10.2%
30歳代	31.雇用 33.7%	38.公共交通機関 33.3%	18.医療体制 29.7%	17.子育て環境 24.2%	37.道路の整備 18.4%
40歳代	38.公共交通機関 41.3%	18.医療体制 36.5%	31.雇用 33.9%	37.道路の整備 19.0%	17.子育て環境 16.8%
50歳代	38.公共交通機関 41.6%	18.医療体制 39.0%	31.雇用 31.0%	40.快適なまちづくり 17.6%	19.福祉サービス 15.1%
60歳代	18.医療体制 47.8%	38.公共交通機関 22.6%	31.雇用 17.7%	37.道路の整備 16.6%	19.福祉サービス 15.9%
70歳以上	18.医療体制 53.0%	38.公共交通機関 29.3%	19.福祉サービス 23.2%	15.高齢者、障がい者の社会参加 18.3%	31.雇用 17.1%

- ・ 全体の上位5項目では、「医療体制」「雇用」「公共交通機関」が全ての年齢層で上位5項目にあげられている。また、「子育て環境」は20～40歳代で、「道路の整備」は30歳代、40歳代、60歳代で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、「観光」が20歳代で、「快適なまちづくり」が50歳代で、「福祉サービス」は50歳代以上で、「高齢者、障がい者の社会参加」が70歳代以上で、上位5位までに入っている。

地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18.医療体制 36.8%	38.公共交通機関 34.2%	31.雇用 28.0%	37.道路の整備 15.3%	17.子育て環境 12.0%
北勢地域	38.公共交通機関 30.8%	18.医療体制 18.7%	37.道路の整備 15.4%	19.福祉サービス 14.3%	12.交通安全 13.2%
伊賀地域	18.医療体制 59.6%	38.公共交通機関 46.5%	31.雇用 32.9%	37.道路の整備 13.6%	42.過疎地域等の振興 13.1%
中南勢地域	38.公共交通機関 38.6%	18.医療体制	31.雇用 26.0%	37.道路の整備	17.子育て環境 16.5%
伊勢志摩地域	18.医療体制 53.6%	31.雇用 46.4%	38.公共交通機関 25.3%	37.道路の整備 15.7%	17.子育て環境 12.0%
東紀州地域	18.医療体制 59.6%	31.雇用 54.2%	38.公共交通機関 28.6%	42.過疎地域等の振興 18.2%	36.高速交通網 16.3%

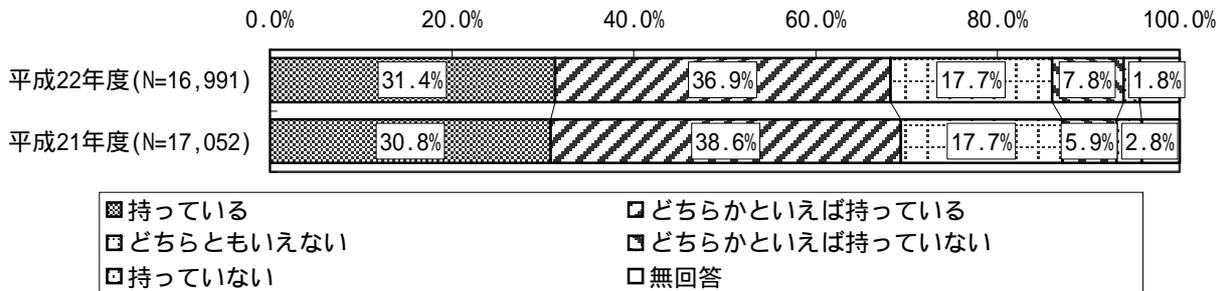
- ・ 全体の上位5項目では、「公共交通機関」「医療体制」が全地域で上位5項目としてあげられており、「道路の整備」「雇用」が4地域、「過疎地域等の振興」「子育て環境」が2地域で上位5位までに入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「福祉サービス」「交通安全」が北勢地域で、「高速交通網」が東紀州地域で上位5位までに入っている。

(4) お住まいの地域の愛着についての評価

問2-1 現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。(回答は単一選択式)

全体

(集計資料 p.13)



平成22年度

「持っている」(31.4%)、「どちらかといえば持っている」(36.9%)を合わせた“持っている”と答えた人が約7割(68.3%)を占めている。

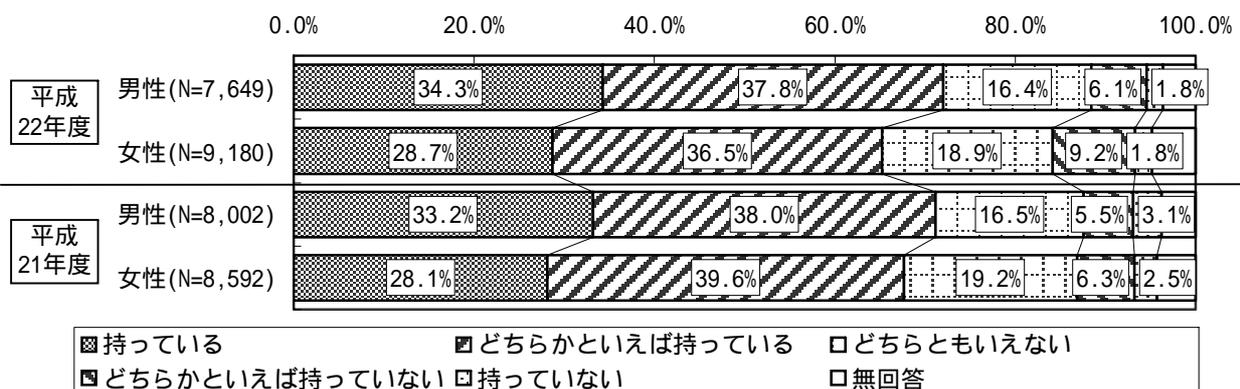
一方、「持っていない」(1.8%)、「どちらかといえば持っていない」(7.8%)を合わせた“持っていない”と答えた人は1割弱(9.6%)である。

平成21年度との比較

“持っている”は前回(69.4%)より1.1ポイント減少している。

性別

(集計資料 p.13)



平成22年度

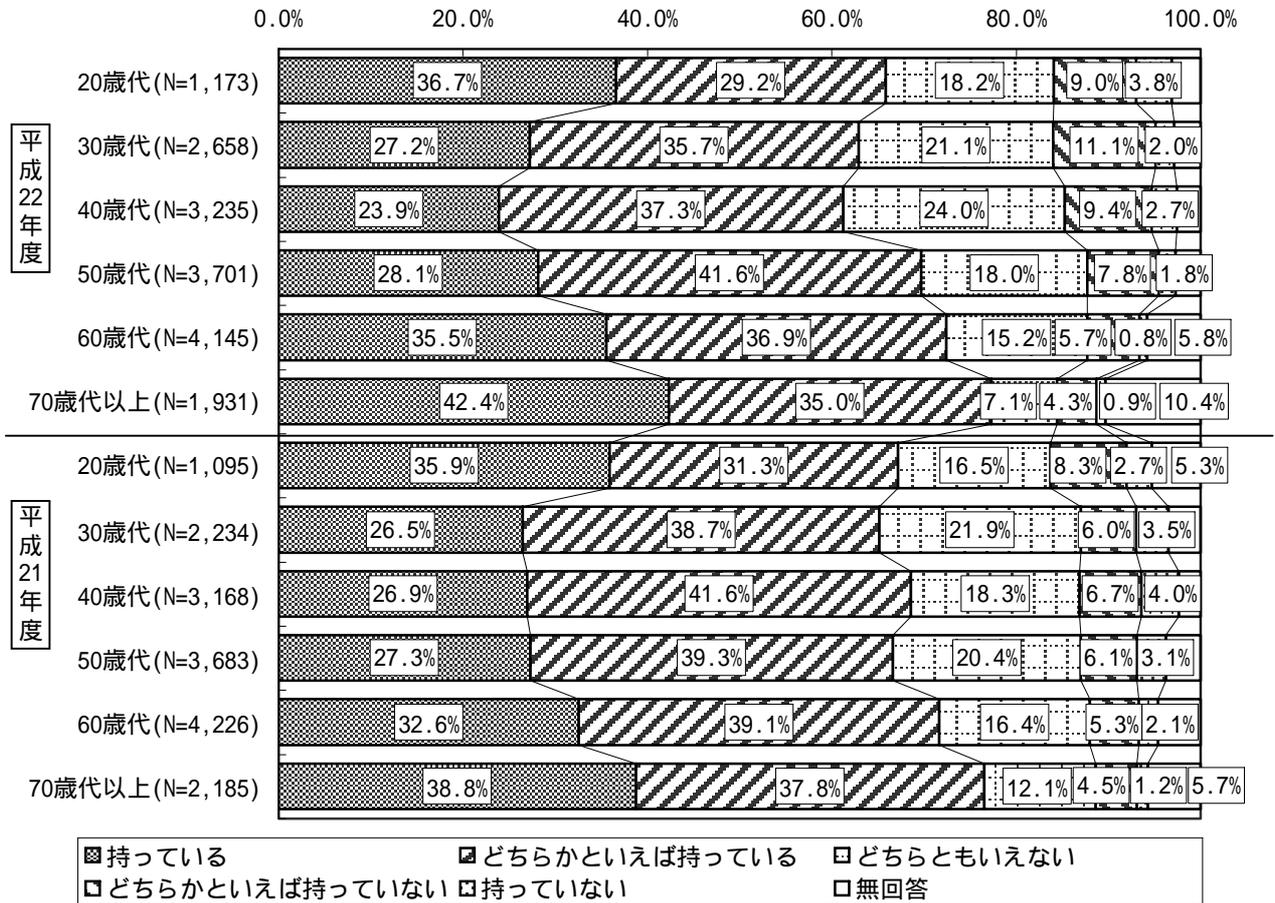
“持っている”と答えた人は、男性が72.1%、女性が65.2%と男性の方がやや多くなっている。

平成21年度との比較

“持っている”は男性では前回(71.2%)より0.9ポイント増加しているが、女性では前回(67.7%)より2.5ポイント減少している。

# 年齢層別

(集計資料 p.13)



## 平成22年度

「持っている」と答えた人は、20歳代（36.7%）、60歳代（35.5%）、70歳代以上（42.4%）で3割以上となっている。

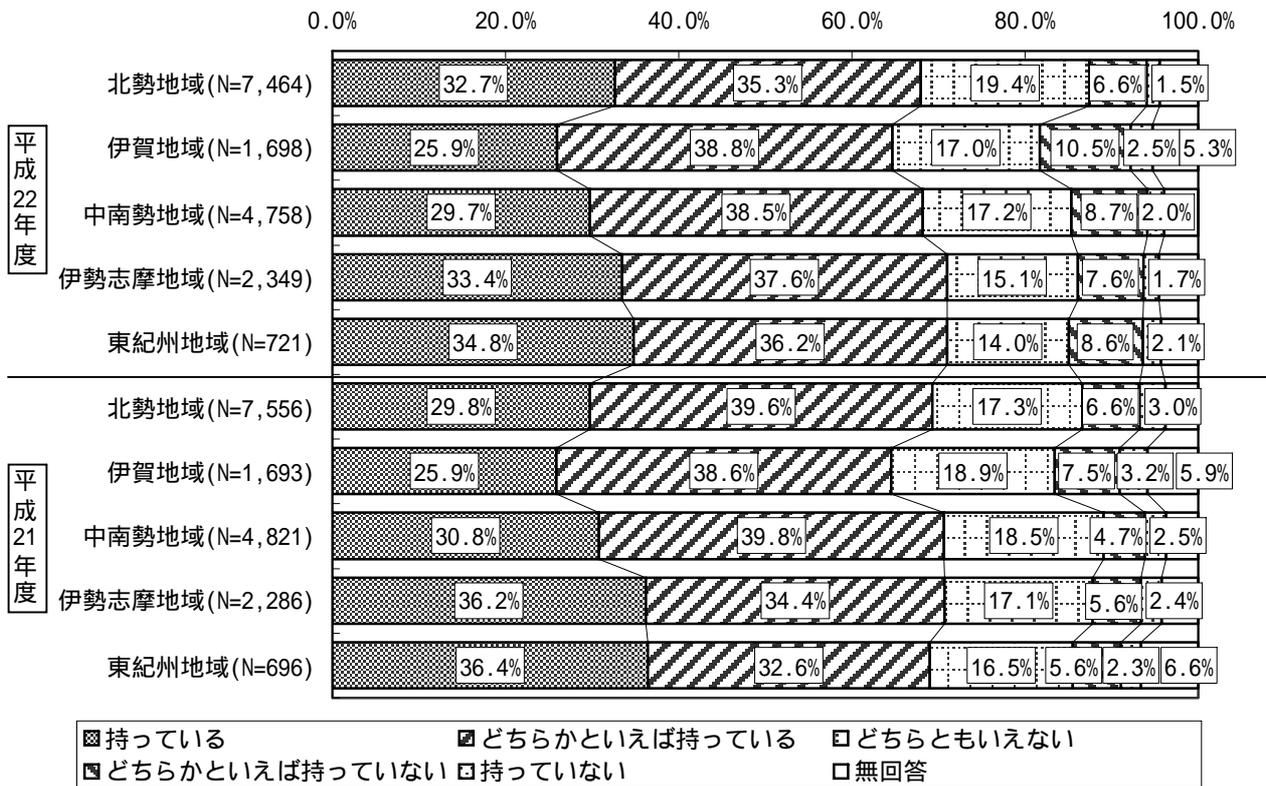
また、「持っている」と答えた人は、20～50歳代では7割弱と大きな差はないが、60歳代以上では7割を超えている。

## 平成21年度との比較

「持っている」と答えた人は、40歳代で前回（68.5%）から7.3ポイント減少しており、減少幅が大きくなっている。

## 地域別

(集計資料 p.13)



### 平成22年度

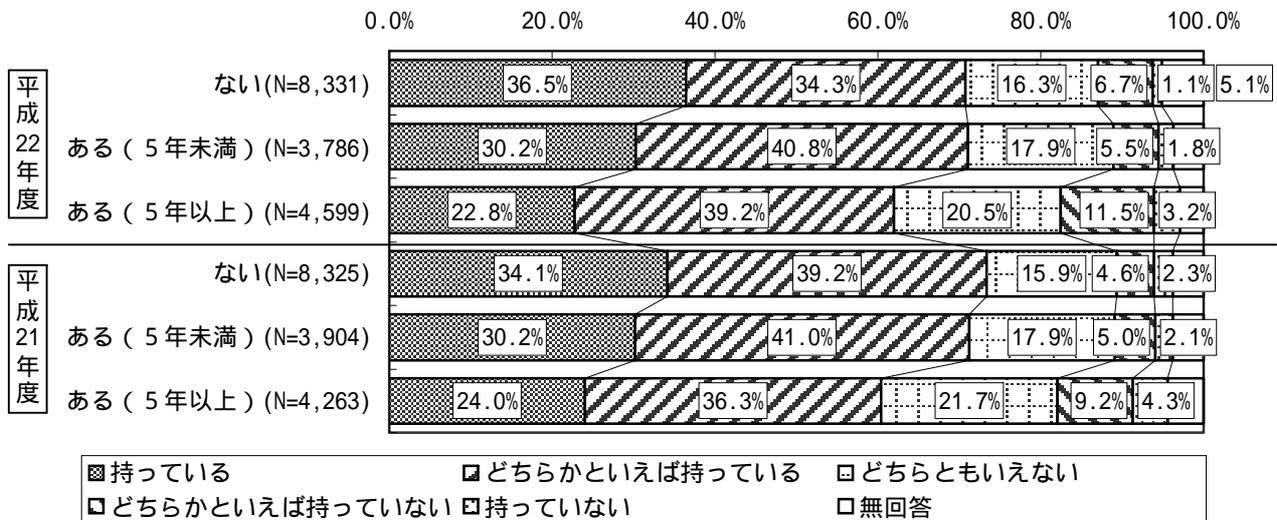
「持っている」と答えた人は、東紀州地域（34.8%）、伊勢志摩地域（33.4%）で多くなっている。「持っている」と答えた人は、ほとんどの地域で7割前後だが、伊賀地域はやや低くなっている。

### 平成21年度との比較

“持っている”は、伊賀地域、伊勢志摩地域、東紀州地域では増加しているが、北勢地域と中南勢地域では減少している。

## 県外在住の経験別

(集計資料 p.13)



### 平成22年度

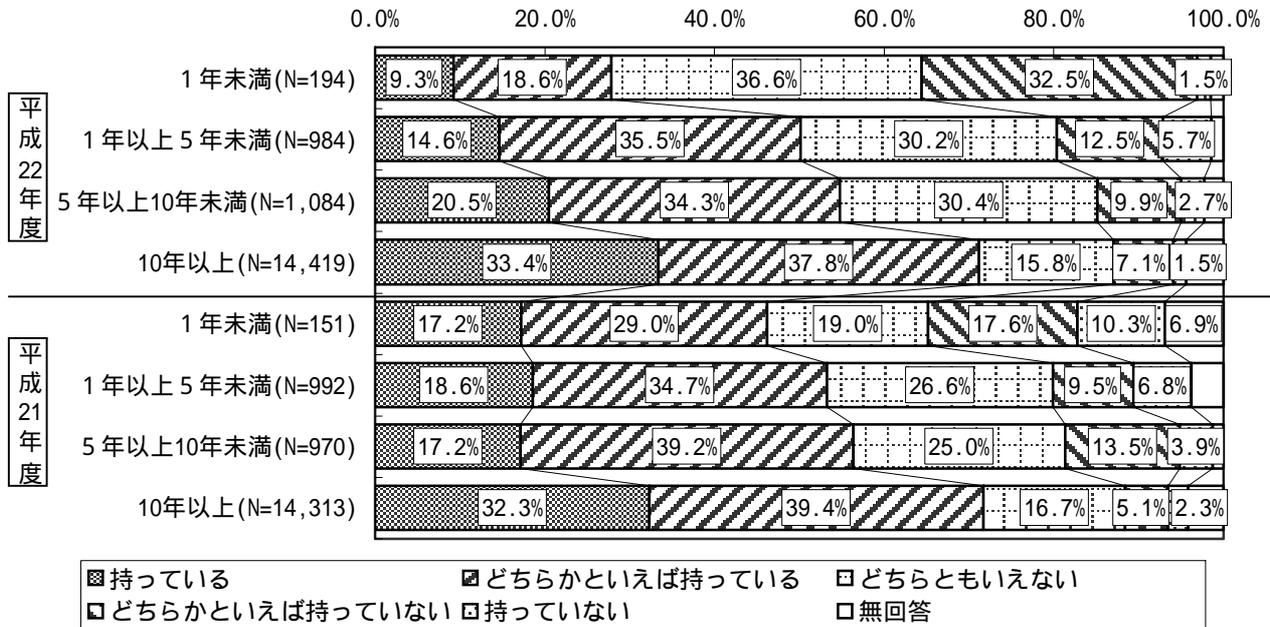
“持っている”と答えた人は、県外在住経験が「ある(5年未満)」人が71.0%で最も多く、「ない」、「ある(5年以上)」の順で少なくなっている。

### 平成21年度との比較

県外在住経験が「ある(5年以上)」人では“持っている”が前回(60.3%)より1.7ポイント増加している。

# 居住年数別

(集計資料 p.13)



## 平成22年度

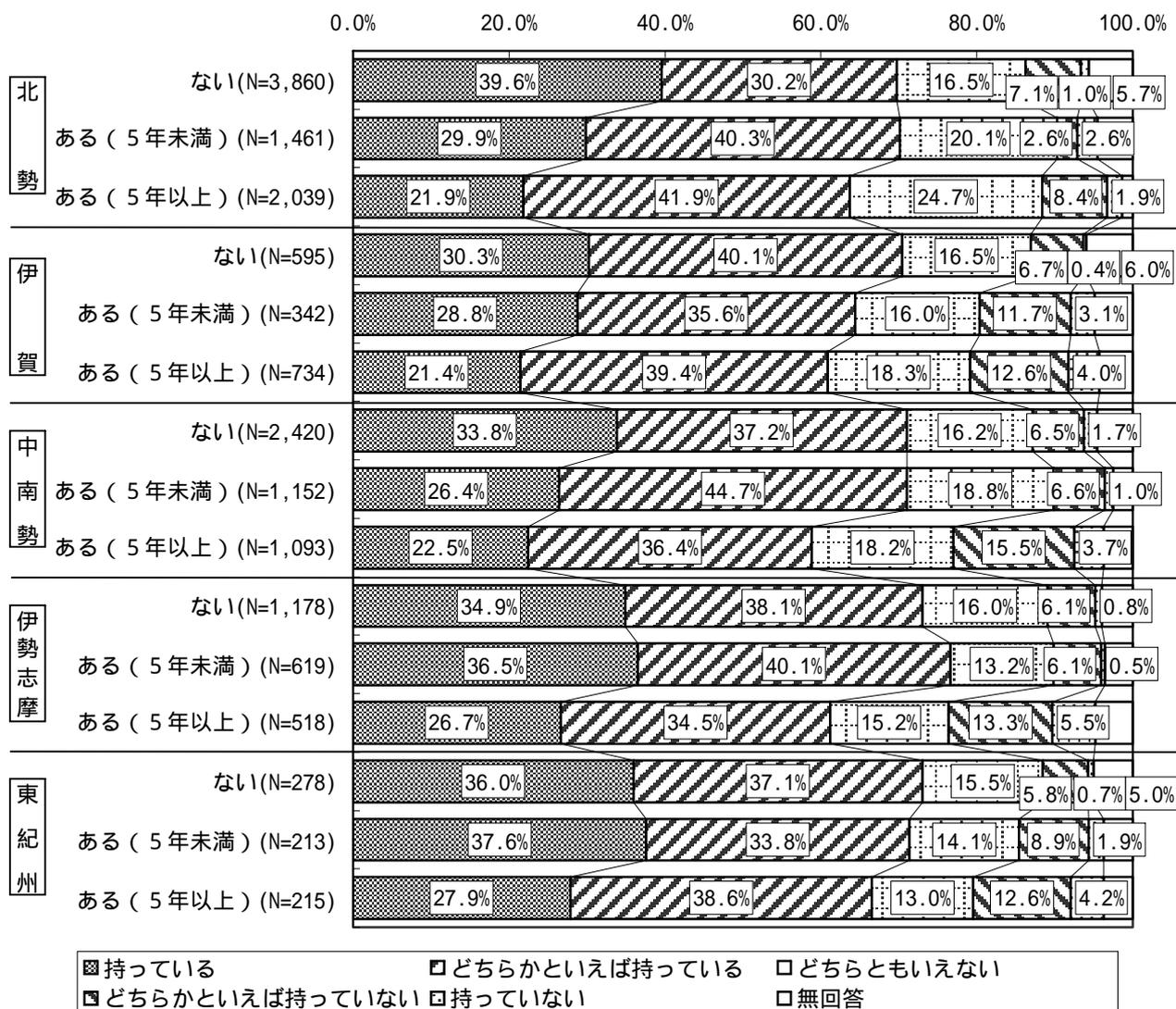
“持っている”と答えた人は、居住年数が長くなるにつれて多くなっている。「1年未満」と「10年以上」とでは43.3ポイントの開きがある。

## 平成21年度との比較

居住年数が「1年未満」では、“持っている”が前回(46.2%)より18.3ポイント減少と、大きく減少している。

地域・県外在住経験別

(集計資料 p.14)



「持っている」と答えた人は、北勢地域、伊賀地域、中南勢地域で、県外在住経験が「ない」人が最も多く、「ある(5年未満)」、「ある(5年以上)」の順で少なくなる。「持っている」と答えた人は、北勢地域、中南勢地域、伊勢志摩地域は「ある(5年未満)」人が最も多く、伊賀地域、東紀州地域は「ない」人が最も多く、「ない」「ある(5年未満)」「ある(5年以上)」の順で少なくなっている。

(5) 愛着を持っていると感じる点

【問2 - 1で、1または2に をつけた方だけにおうかがいします】

問2 - 2 現在お住まいの地域に愛着を持っていると感じになるのは、問1の44項目のうち、どの項目によるものですか。(回答は複数選択式)

全体

(集計資料 p.15~19)

順位	平成22年度		前 年 比	順位	平成21年度	
	項目	構成 比			項目	構成 比
第1位	きれいな空気【くらし】	47.4%		第1位	きれいな空気【くらし】	45.2%
第2位	自然環境との共生【くらし】	34.3%		第2位	自然環境との共生【くらし】	37.4%
第3位	飲料水の供給【くらし】	20.3%		第3位	飲料水の供給【くらし】	30.6%
第4位	子育て環境【くらし】	19.1%		第4位	食の安全【くらし】	20.5%
第5位	食の安全【くらし】	19.0%		第5位	道路の整備【絆】	19.8%
第6位	道路の整備【絆】	18.7%		第6位	子育て環境【くらし】	18.3%
第7位	歴史・文化遺産【元気】	18.4%		第7位	医療体制【くらし】	17.8%
第8位	川や海の水質【くらし】	16.3%		第8位	歴史・文化遺産【元気】	14.7%
第9位	医療体制【くらし】	16.2%		第9位	公共交通機関【絆】	14.5%
第10位	公共交通機関【絆】	15.3%		第10位	快適なまちづくり【絆】	14.0%
第11位	防犯【くらし】	14.2%		第11位	川や海の水質【くらし】	13.8%
第12位	快適なまちづくり【絆】	13.3%		第12位	防犯【くらし】	12.8%
第13位	市民活動【絆】	11.9%		第13位	福祉サービス【くらし】	11.7%
第14位	学校教育【元気】	11.6%		第14位	高速交通網【絆】	11.4%
第15位	観光【元気】	11.5%		第15位	学校教育【元気】	11.3%
第16位	福祉サービス【くらし】	10.9%		第16位	ごみの減量【くらし】	10.8%
第17位	スポーツ・レクリエーション【元気】	10.3%		第17位	人権尊重【元気】	10.4%
第18位	文化・芸術【元気】	10.1%		第18位	スポーツ・レクリエーション【元気】	10.4%
第19位	高速交通網【絆】	10.0%		第19位	地域での防災の取組【くらし】	10.3%
第20位	地域での防災の取組【くらし】	9.9%		第20位	市民活動【絆】	10.1%
第21位	交通安全【くらし】	9.6%		第21位	文化・芸術【元気】	9.8%
第22位	ごみの減量【くらし】	9.3%		第22位	生涯学習【元気】	9.6%
第23位	人権尊重【元気】	8.0%		第23位	観光【元気】	8.8%
第24位	生涯学習【元気】	7.9%		第24位	交通安全【くらし】	8.4%
第25位	災害対策【くらし】	5.6%		第25位	災害対策【くらし】	6.3%
第26位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	5.3%		第26位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	6.0%
第28位	保健予防体制【くらし】	5.2%		第28位	保健予防体制【くらし】	5.5%
第30位	地域商工業【元気】	4.4%		第29位	情報ネットワーク【絆】	4.9%
第31位	希少な生物【くらし】	4.4%		第30位	広域交流・連携【絆】	3.6%
第32位	農林水産業の振興【元気】	3.9%		第30位	雇用【元気】	3.6%
第33位	広域交流・連携【絆】	3.5%		第32位	希少な生物【くらし】	3.0%
第34位	雇用【元気】	3.4%		第33位	農山漁村づくり【絆】	2.6%
第35位	情報ネットワーク【絆】	3.3%		第34位	地域商工業【元気】	2.5%
第36位	産業振興【元気】	2.6%		第34位	農林水産業の振興【元気】	2.5%
第36位	農山漁村づくり【絆】	2.5%		第36位	高等教育機関【絆】	2.3%
第38位	高等教育機関【絆】	2.5%		第37位	地球温暖化防止【くらし】	2.2%
第38位	港の整備【絆】	2.3%		第38位	産業振興【元気】	2.0%
第39位	エネルギー【くらし】	1.7%		第39位	港の整備【絆】	1.7%
第40位	地球温暖化防止【くらし】	1.4%		第40位	過疎地域等の振興【絆】	1.1%
第41位	過疎地域等の振興【絆】	1.0%		第40位	エネルギー【くらし】	1.1%
第42位	技術開発【元気】	0.9%		第42位	国際化【絆】	1.0%
第42位	国際化【絆】	0.9%		第43位	職業能力開発【元気】	0.6%
第44位	職業能力開発【元気】	0.7%		第43位	技術開発【元気】	0.6%
	その他	9.3%			その他	7.1%

愛着を持っていると感じる点については、「きれいな空気」(47.4%)が最も多く、次いで「自然環境との共生」(34.3%)、「飲料水の供給」(20.3%)、「子育て環境」(19.1%)、「食の安全」(19.0%)と続いている。「飲料水の供給」は上位にあるものの、21年度より10.3%減少している。

#### 年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 47.4%	20.自然環境との共生 34.3%	44.飲料水の供給 20.3%	17.子育て環境 19.1%	14.食の安全 19.0%
20歳代	23.きれいな空気 41.9%	20.自然環境との共生 24.7%	14.食の安全 23.4%	24.川や海の水質 17.6%	40.快適なまちづくり 17.6%
30歳代	23.きれいな空気 39.3%	20.自然環境との共生 31.9%	17.子育て環境 30.3%	40.快適なまちづくり 18.7%	08.歴史・文化遺産 16.6%
40歳代	23.きれいな空気 40.6%	20.自然環境との共生 34.8%	17.子育て環境 24.5%	08.歴史・文化遺産 20.4%	03.学校教育 18.7%
50歳代	23.きれいな空気 51.1%	20.自然環境との共生 40.8%	17.子育て環境 16.7%	37.道路の整備 16.4%	14.食の安全 16.0%
60歳代	23.きれいな空気 52.4%	20.自然環境との共生 34.7%	44.飲料水の供給 29.1%	37.道路の整備 23.6%	14.食の安全 22.7%
70歳以上	23.きれいな空気 51.4%	37.道路の整備 31.1%	20.自然環境との共生 29.0%	44.飲料水の供給 28.7%	18.医療体制 28.5%

- ・全体の上位5項目をみると、全ての年齢層で「きれいな空気」が第1位となっている。「自然環境との共生」は全ての年齢層で上位5項目としてあげられており、「食の安全」は20歳代、50～60歳代で、「道路の整備」は50～70歳代以上で、「快適なまちづくり」は20～30歳代で、上位5項目に挙げられている。
- ・上記以外の項目では、20歳代で「川や海の水質」が第4位、30歳代で「歴史・文化遺産」が第5位、40歳代で「学校教育」が第5位、70歳代以上で「飲料水の供給」「医療体制」がそれぞれ第4位、第5位に挙げられている。

#### 地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 47.4%	20.自然環境との共生 34.3%	44.飲料水の供給 20.3%	17.子育て環境 19.1%	14.食の安全 19.0%
北勢地域	23.きれいな空気 37.6%	20.自然環境との共生 29.7%	17.子育て環境 23.4%	37.道路の整備 22.6%	44.飲料水の供給 21.7%
伊賀地域	23.きれいな空気 68.5%	20.自然環境との共生 39.9%	08.歴史・文化遺産 26.5%	14.食の安全 21.9%	44.飲料水の供給 18.3%
中南勢地域	23.きれいな空気 42.3%	20.自然環境との共生 33.9%	14.食の安全 21.8%	37.道路の整備 20.7%	44.飲料水の供給 19.3%
伊勢志摩地域	23.きれいな空気 64.8%	20.自然環境との共生 41.8%	08.歴史・文化遺産 26.7%	24.川や海の水質 25.8%	14.食の安全 23.9%
東紀州地域	23.きれいな空気 76.0%	20.自然環境との共生 46.9%	24.川や海の水質 42.2%	14.食の安全 27.0%	08.歴史・文化遺産 23.0%

- ・全体の上位5項目をみると、「きれいな空気」「自然環境との共生」は全ての地域で第1位、第2位となっている。「食の安全」は北勢地域を除いた4地域で、「飲料水の供給」は3地域で、また、「道路の整備」は北勢地域、中南勢地域で上位5項目に入っている。
- ・上記以外の項目では、「川や海の水質」は伊勢志摩地域、東紀州地域で、「子育て環境」は北勢地域で、「歴史・文化遺産」は伊賀地域、伊勢志摩地域、東紀州地域で上位5項目までに入っている。

(6) 愛着を持ってないと感じる点

【問2-1で、4または5に つけた方だけにおうかがいします】

問2-3 現在お住まいの地域に愛着を持ってないと感じになるのは、問1の44項目のうち、どの項目によるものですか。(回答は複数選択式)

全体

(集計資料 p.20~24)

順位	平成22年度		前年比	順位	平成21年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	公共交通機関【絆】	35.9%		第1位	医療体制【くらし】	34.8%
第2位	医療体制【くらし】	33.4%		第2位	公共交通機関【絆】	34.1%
第3位	雇用【元気】	26.5%		第3位	防犯【くらし】	24.6%
第4位	道路の整備【絆】	25.6%		第4位	雇用【元気】	21.9%
第5位	子育て環境【くらし】	22.9%		第5位	快適なまちづくり【絆】	21.8%
第6位	快適なまちづくり【絆】	22.4%		第6位	子育て環境【くらし】	20.6%
第7位	防犯【くらし】	20.1%		第7位	道路の整備【絆】	20.1%
第8位	地域商工業【元気】	16.2%		第8位	交通安全【くらし】	15.6%
第9位	観光【元気】	14.9%		第9位	人権尊重【元気】	15.3%
第10位	学校教育【元気】	14.8%		第10位	福祉サービス【くらし】	14.3%
第11位	交通安全【くらし】	14.5%		第11位	学校教育【元気】	12.9%
第12位	福祉サービス【くらし】	13.5%			地域商工業【元気】	
第13位	過疎地域等の振興【絆】	13.3%		第13位	災害対策【くらし】	12.4%
第14位	人権尊重【元気】	12.6%		第14位	スポーツ・レクリエーション【元気】	10.5%
第15位	文化・芸術【元気】	12.5%		第15位	きれいな空気【くらし】	10.4%
第16位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	11.5%		第16位	川や海の水質【くらし】	9.9%
第17位	川や海の水質【くらし】	11.3%		第17位	高速交通網【絆】	9.5%
第18位	災害対策【くらし】	10.8%		第18位	文化・芸術【元気】	9.4%
第19位	市民活動【絆】 青少年の健全育成【元気】	10.5%		第19位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	9.2%
第21位	高速交通網【絆】	9.8%		第20位	市民活動【絆】 自然環境との共生【くらし】	8.8%
第22位	産業振興【元気】 広域交流・連携【絆】	8.9%		第22位	広域交流・連携【絆】	8.7%
第24位	きれいな空気【くらし】 高等教育機関【絆】	8.3%		第23位	産業振興【元気】	8.6%
第26位	ごみの減量【くらし】	7.7%		第24位	ごみの減量【くらし】	8.4%
第27位	スポーツ・レクリエーション【元気】 職業能力開発【元気】	7.3%		第25位	青少年の健全育成【元気】	7.8%
第29位	情報ネットワーク【絆】 自然環境との共生【くらし】	7.2%		第26位	飲料水の供給【くらし】	7.3%
第31位	農林水産業の振興【元気】	6.8%		第27位	高等教育機関【絆】	6.8%
第32位	保健予防体制【くらし】	6.4%		第28位	生涯学習【元気】	6.5%
第33位	生涯学習【元気】	5.9%		第29位	観光【元気】 過疎地域等の振興【絆】	6.3%
第34位	国際化【絆】	5.8%		第31位	地域での防災の取組【くらし】	5.7%
第35位	農山漁村づくり【絆】	5.5%		第32位	食の安全【くらし】	5.4%
第36位	歴史・文化遺産【元気】	5.0%		第33位	保健予防体制【くらし】 地球温暖化防止【くらし】	4.8%
第37位	地域での防災の取組【くらし】	4.2%		第35位	農山漁村づくり【絆】	4.6%
第38位	飲料水の供給【くらし】 食の安全【くらし】	3.7%		第36位	情報ネットワーク【絆】 農林水産業の振興【元気】	3.4%
第40位	エネルギー【くらし】	3.2%		第38位	職業能力開発【元気】	3.2%
第41位	技術開発【元気】	3.1%		第39位	エネルギー【くらし】	2.7%
第42位	地球温暖化防止【くらし】	2.8%		第40位	歴史・文化遺産【元気】	2.6%
第43位	希少な生物【くらし】	2.2%		第41位	国際化【絆】	2.5%
第44位	港の整備【絆】	0.8%		第42位	港の整備【絆】	1.8%
	その他	17.3%		第43位	技術開発【元気】	1.7%
				第44位	希少な生物【くらし】	1.0%
					その他	13.8%

愛着が持てないと感じる点については、「公共交通機関」(35.9%)、「医療体制」(33.4%)が3割以上を占め、これらに次いで、「雇用」(26.5%)、「道路の整備」(25.6%)、「子育て環境」(22.9%)

「快適なまちづくり」(22.4%)、「防犯」(20.1%)が2割台で続いている。

年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	38.公共交通機関 35.9%	18.医療体制 33.4%	31.雇用 26.5%	37.道路の整備 25.6%	17.子育て環境 22.9%
20歳代	17.子育て環境 30.2%	38.公共交通機関 25.5%	18.医療体制 22.8%	31.雇用 18.8%	08.歴史・文化遺産 18.1%
30歳代	38.公共交通機関 38.8%	18.医療体制 35.1%	17.子育て環境 33.3%	31.雇用 32.5%	13.防犯 31.0%
40歳代	38.公共交通機関 39.7%	37.道路の整備 33.1%	17.子育て環境 32.3%	31.雇用 29.8%	18.医療体制 29.5%
50歳代	40.快適なまちづくり 34.6%	38.公共交通機関 33.7%	18.医療体制 30.9%	31.雇用 26.3%	30.地域商工業 25.8%
60歳代	18.医療体制 38.1%	38.公共交通機関 35.2%	31.雇用 25.9%	37.道路の整備 24.4%	13.防犯 19.6%
70歳以上	18.医療体制 61.4%	38.公共交通機関 39.6%	37.道路の整備 38.6%	40.快適なまちづくり 15.高齢者、障がい者の社会参加 25.7%	

・全体の上位5項目では、「公共交通機関」「医療体制」が全年齢層で上位5項目としてあげられており、「快適なまちづくり」は50歳代と70歳代以上で、「道路の整備」は40歳代、60歳代、70歳代以上で、「雇用」は20～60歳代で上位5項目にあげられている。

・上記以外の項目では、「子育て環境」が20～40歳代で、「歴史・文化遺産」が20歳代、「防犯」が30歳代と60歳代、「地域商工業」が50歳代、「高齢者、障がい者の社会参加」が70歳代以上でそれぞれ上位5項目にあげられている。

地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	38.公共交通機関 35.9%	18.医療体制 33.4%	31.雇用 26.5%	37.道路の整備 25.6%	17.子育て環境 22.9%
北勢地域	38.公共交通機関 26.6%	13.防犯 26.6%	37.道路の整備 20.3%	18.医療体制 40.快適なまちづくり 18.8%	
伊賀地域	18.医療体制 58.1%	38.公共交通機関 48.6%	37.道路の整備 32.4%	31.雇用 30.5%	19.福祉サービス 25.7%
中南勢地域	38.公共交通機関 39.1%	17.子育て環境 33.3%	18.医療体制 31.0%	37.道路の整備 40.快適なまちづくり 27.6%	
伊勢志摩地域	18.医療体制 44.3%	31.雇用 40.0%	38.公共交通機関 38.6%	37.道路の整備 28.6%	40.快適なまちづくり 27.1%
東紀州地域	18.医療体制 63.6%	31.雇用 58.4%	38.公共交通機関 44.2%	42.過疎地域等の振興 32.5%	37.道路の整備 26.0%

・全体の上位5項目では、「医療体制」「公共交通機関」「道路の整備」が全地域で上位5項目としてあげられており、「雇用」「快適なまちづくり」は3地域で上位5項目に入っている。

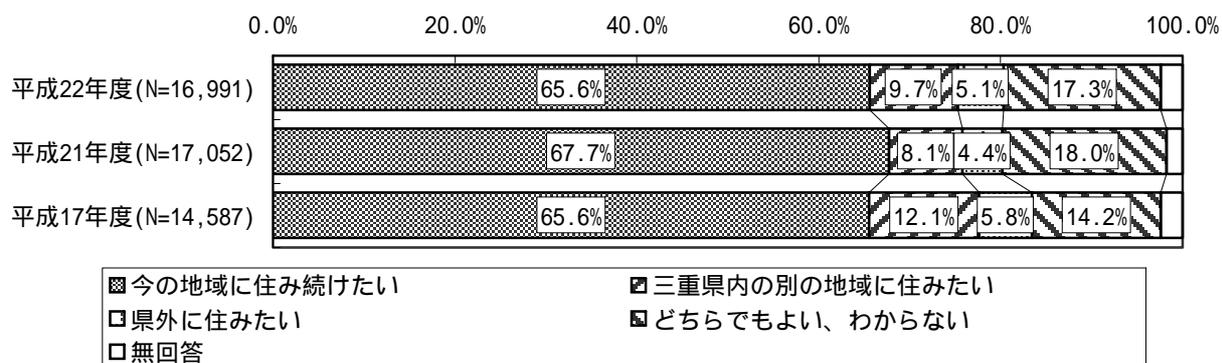
・上記以外の項目では、「子育て環境」は中南勢地域で、「福祉サービス」は伊賀地域で、「過疎地域等の振興」は東紀州地域で上位5位までに入っている。

( 7 ) 今後の定住意向

問3 あなたは今後も現在の地域に住みたいと思いますか。(回答は単一選択式)

全体

(集計資料 p.25)



平成22年度

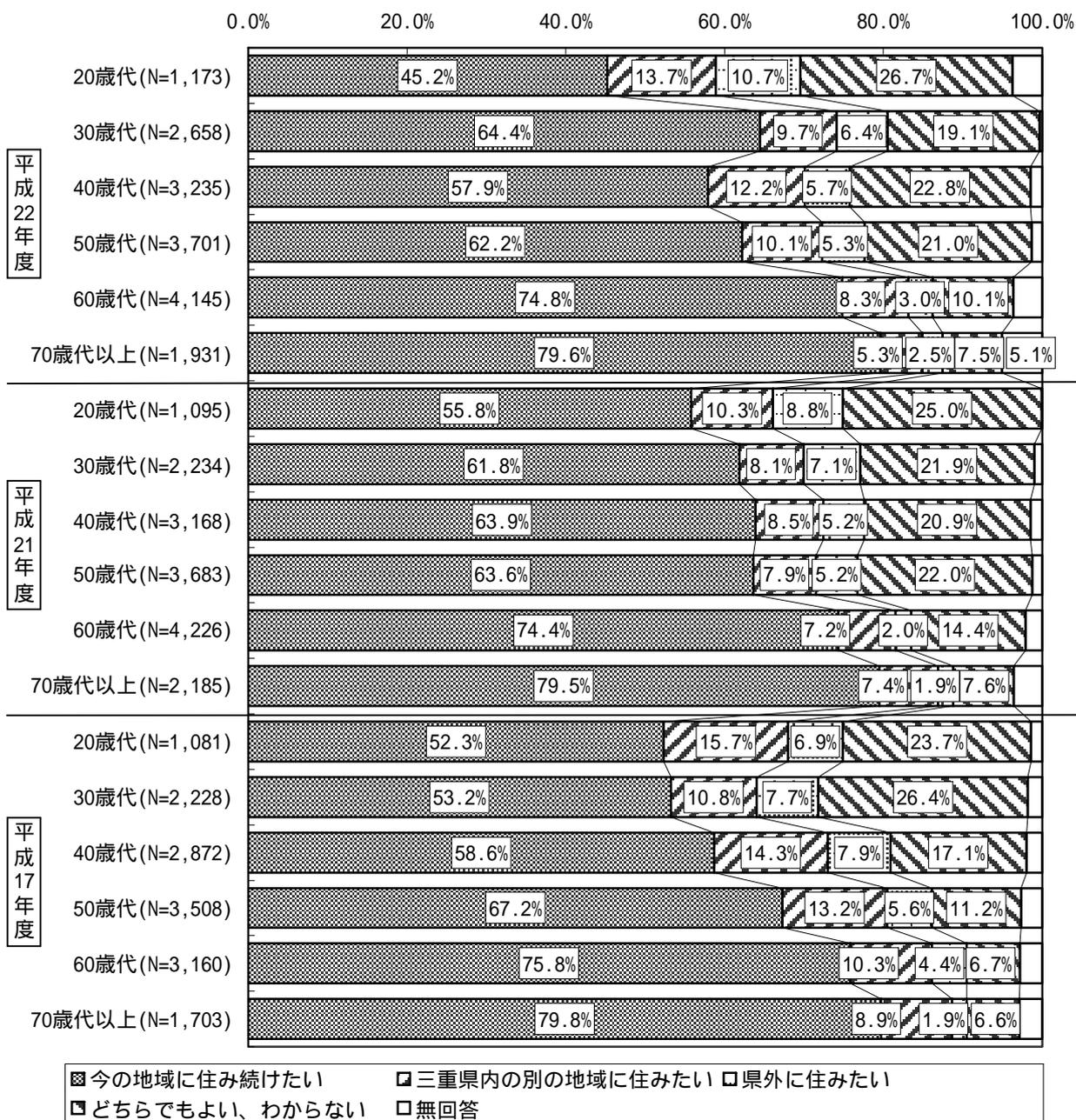
全体では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人が65.6%と最も多くなっている。また、「三重県内の別の地域に住みたい」が9.7%、「県外に住みたい」が5.1%となっている。

平成17年度、平成21年度との比較

「今の地域に住み続けたい」は17年度から22年度にかけては、大きな変化はみられない。

# 年齢層別

(集計資料 p.25)



## 平成22年度

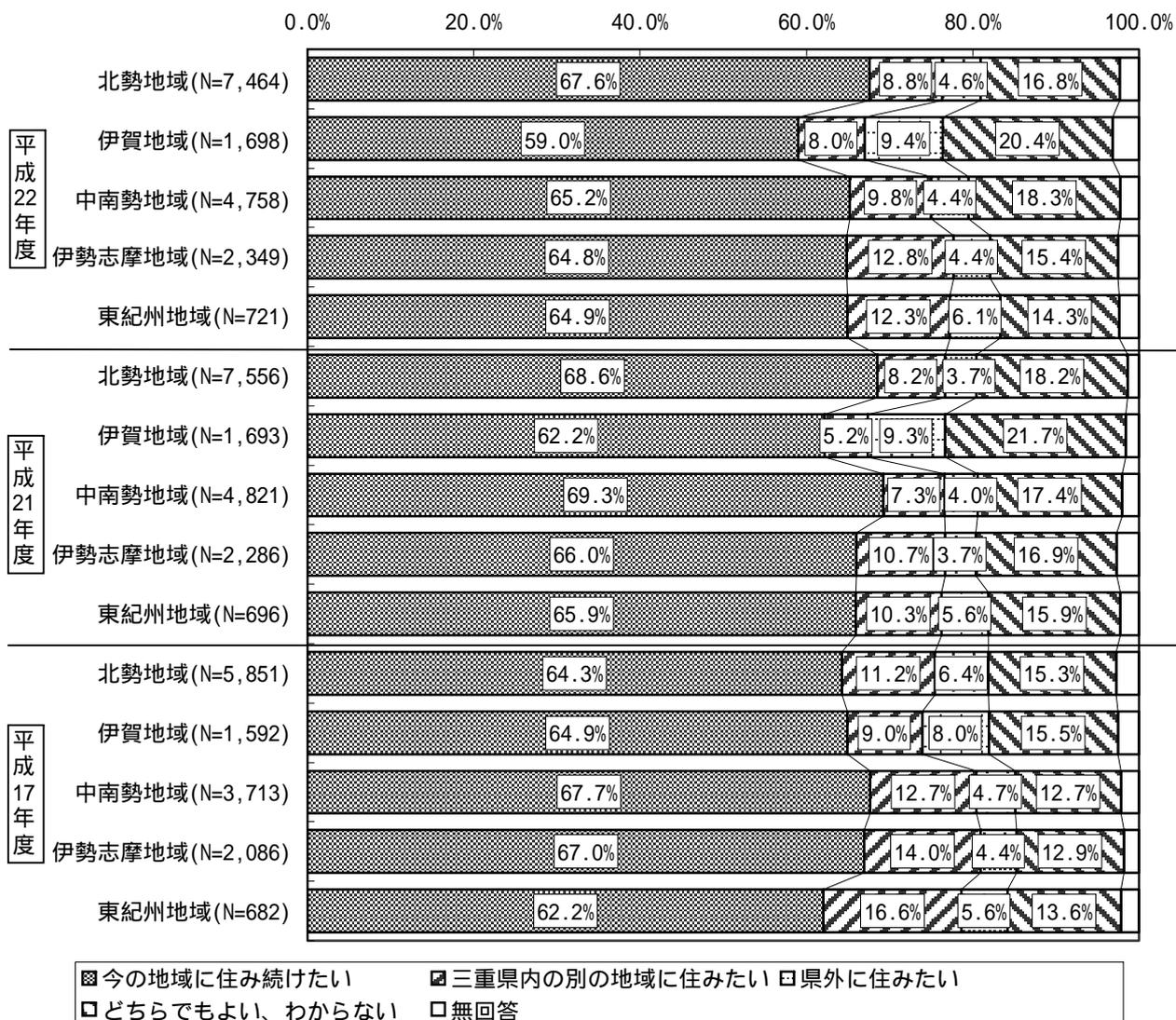
年齢層別では、「今の地域に住みたい」と答えた人は、60歳代以上で7割以上を占めているのに対し、30～50歳代では6割前後、20歳代では5割弱と少なくなっている。

## 平成17年度、平成21年度との比較

「今の地域に住みたい」は17年度から21年度にかけては、50～70歳代以上以外では増加している。21年度から22年度にかけては、20歳代、40歳代、50歳代では減少、それ以外の年齢層では増加している。

# 地域別

(集計資料 p.25)



## 平成22年度

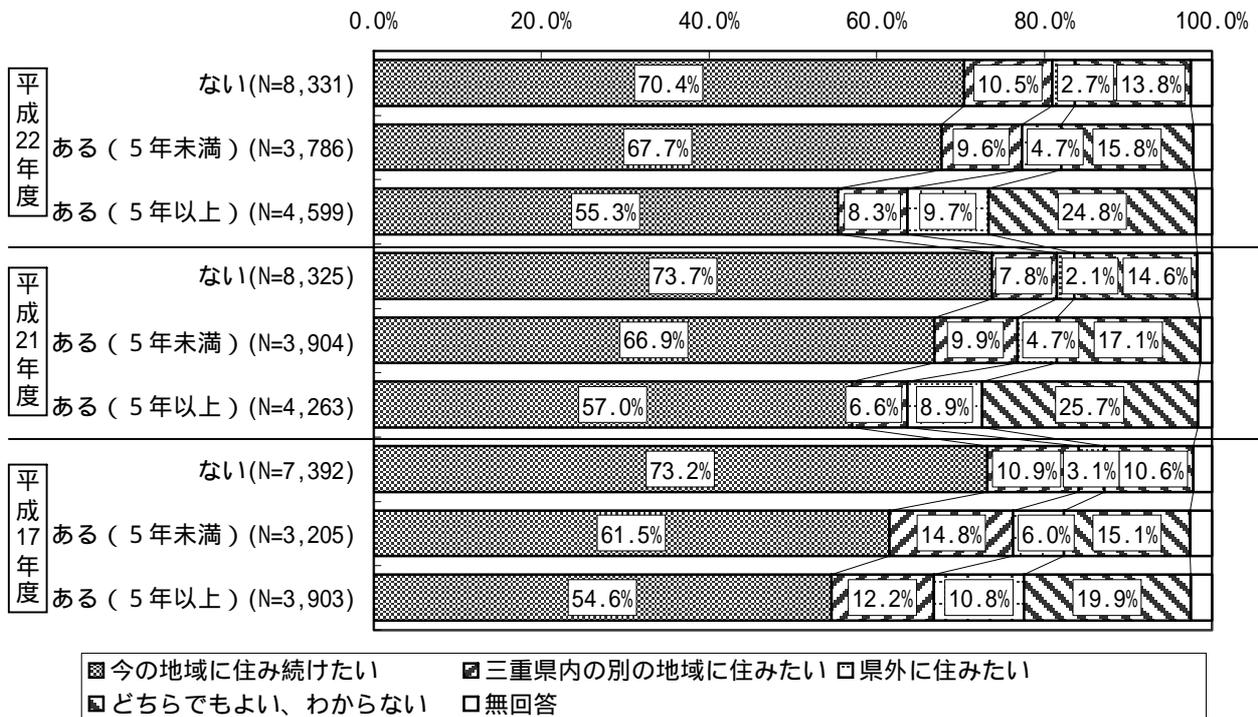
地域別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、伊賀地域（59.0%）が他地域に比べやや少ないのに対し、「県外に住みたい」は伊賀地域（9.4%）で最も多くなっている。

## 平成17年度、平成21年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、17年度から21年度にかけては、北勢地域、中南勢地域、東紀州地域では増加しているが、21年度から22年度にかけては全地域で減少に転じている。伊賀地域、伊勢志摩地域では年々減少している。

## 県外在住の経験別

(集計資料 p.25)



### 平成22年度

県外在住経験別では、「今の地域に住みたい」と答えた人は、県外在住経験が「ある」人に比べ「ない」人の方が多くなっており、7割を超えている。

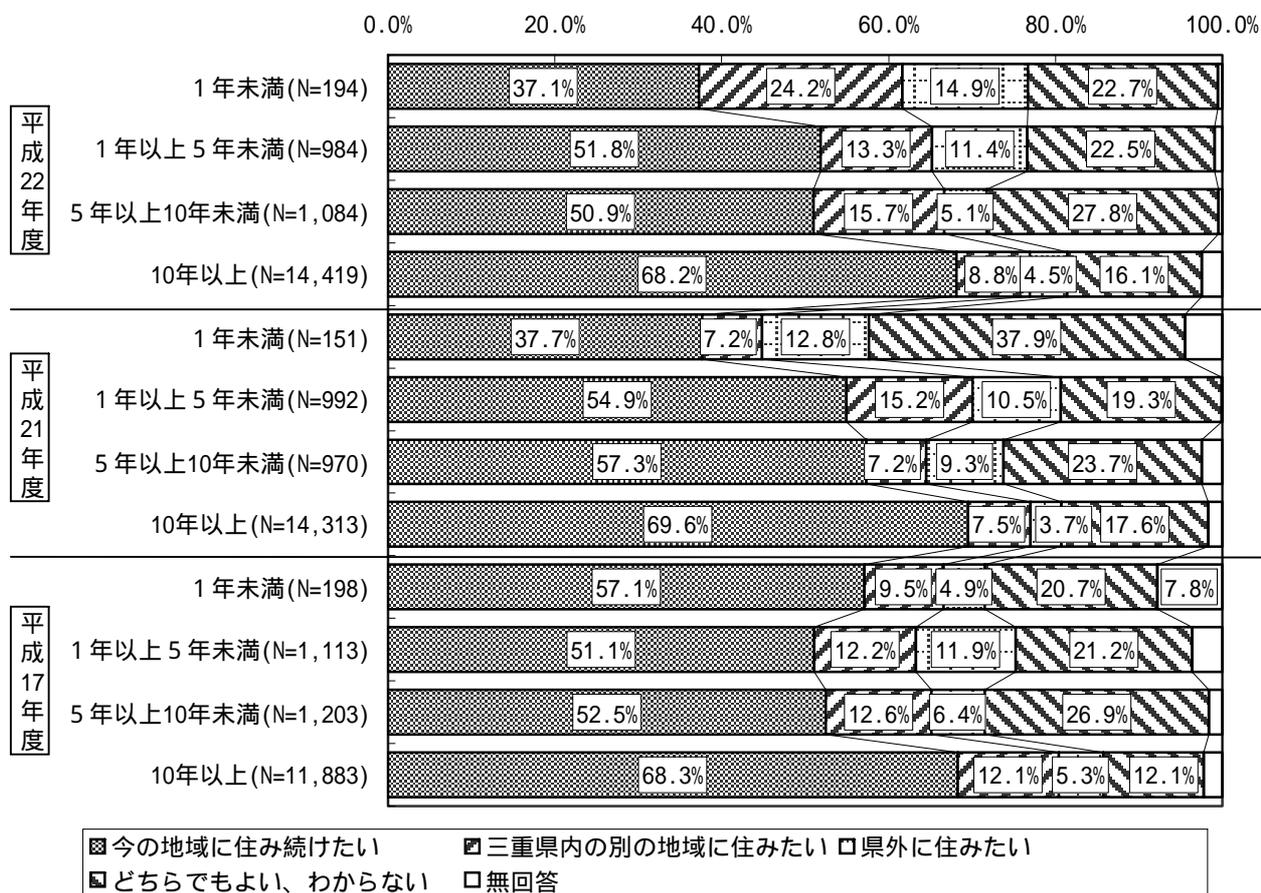
### 平成17年度、平成21年度との比較

「今の地域に住みたい」と答えた人は、3年間とも「ない」人が最も多く、「ある(5年未満)」、「ある(5年以上)」の順で少なくなっている。

17年度から21年度にかけては、県外在住経験が「ない」人、「ある」人ともに増加している。21年度から22年度にかけては「ある(5年未満)」人は増加しているが、「ない」人、「ある(5年以上)」は減少に転じている。

# 居住年数別

(集計資料 p.25)



## 平成22年度

居住年数別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は「10年以上」が68.2%と最も多く、次いで「1年以上5年未満」(51.8%)、「5年以上10年未満」(50.9%)、「1年未満」(37.1%)となっている。

## 平成17年度、平成21年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、17年度から21年度にかけては、「1年未満」で19.4ポイント減少している。21年度から22年度にかけては、居住年数にかかわらず減少している。

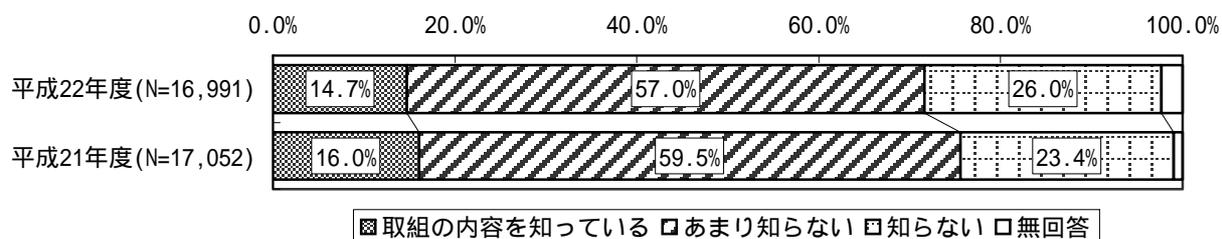
(8) 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の認知度

問4 三重県では、2009年(平成21年)から2014年(平成26年)までの6年間にわたって、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組を展開していきます。あなたは、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組をどの程度ご存知ですか。

(回答は単一選択式)

全体

(集計資料 p.27)



取組の内容を知っている  あまり知らない  知らない  無回答

平成22年度

全体では、「取組の内容を知っている」が14.7%となっている。

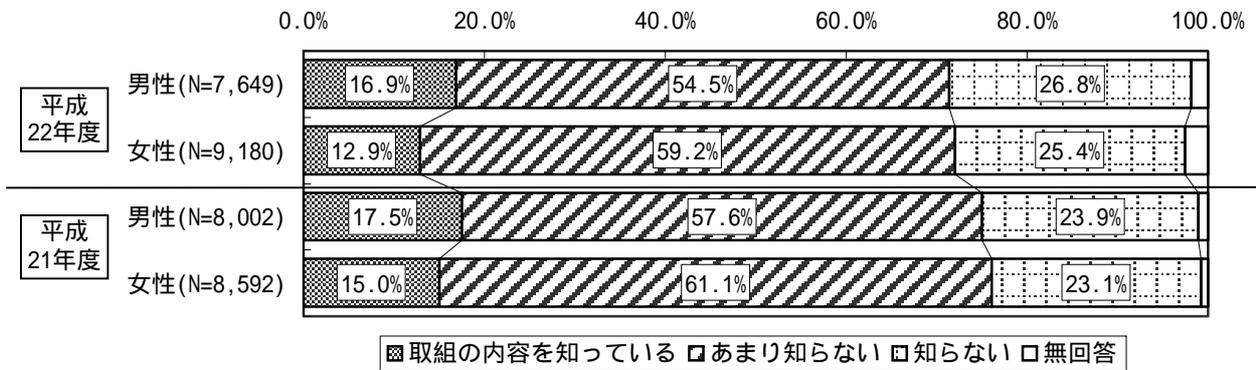
一方、「あまり知らない」と答えた人が57.0%と最も多く、「知らない」(26.0%)を合わせると8割以上を占めている。

平成21年度との比較

「取組の内容を知っている」は前回より1.3ポイント減少している一方、「知らない」は2.6ポイント増加しており、認知度は下がっている。

## 性別

(集計資料 p.27)



### 平成22年度

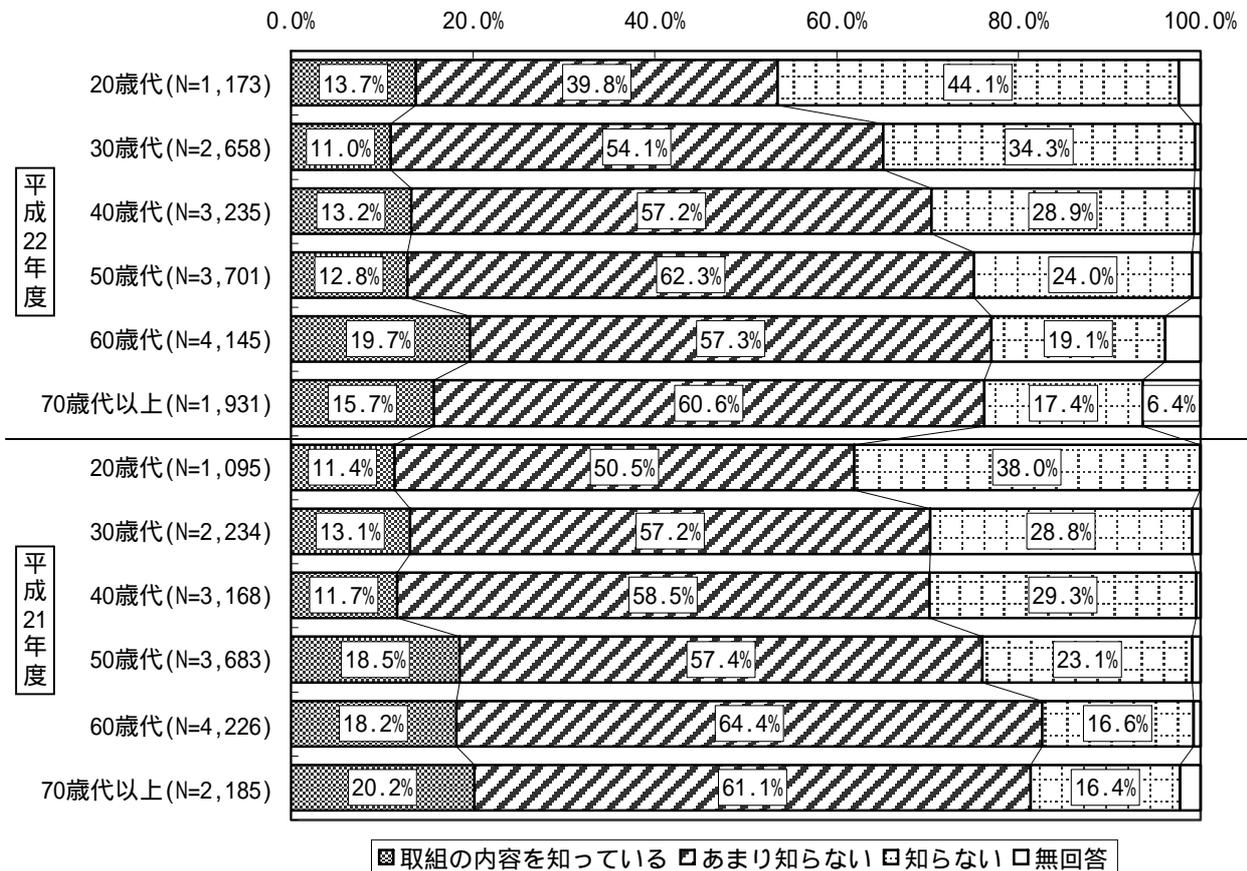
「取組の内容を知っている」と答えた人は、男性 16.9%、女性 12.9%と男性の方がやや多くなっている。

### 平成21年度との比較

男女ともに「取組の内容を知っている」は減少、「知らない」は増加しており、認知度は下がっている。

## 年齢層別

(集計資料 p.27)



### 平成22年度

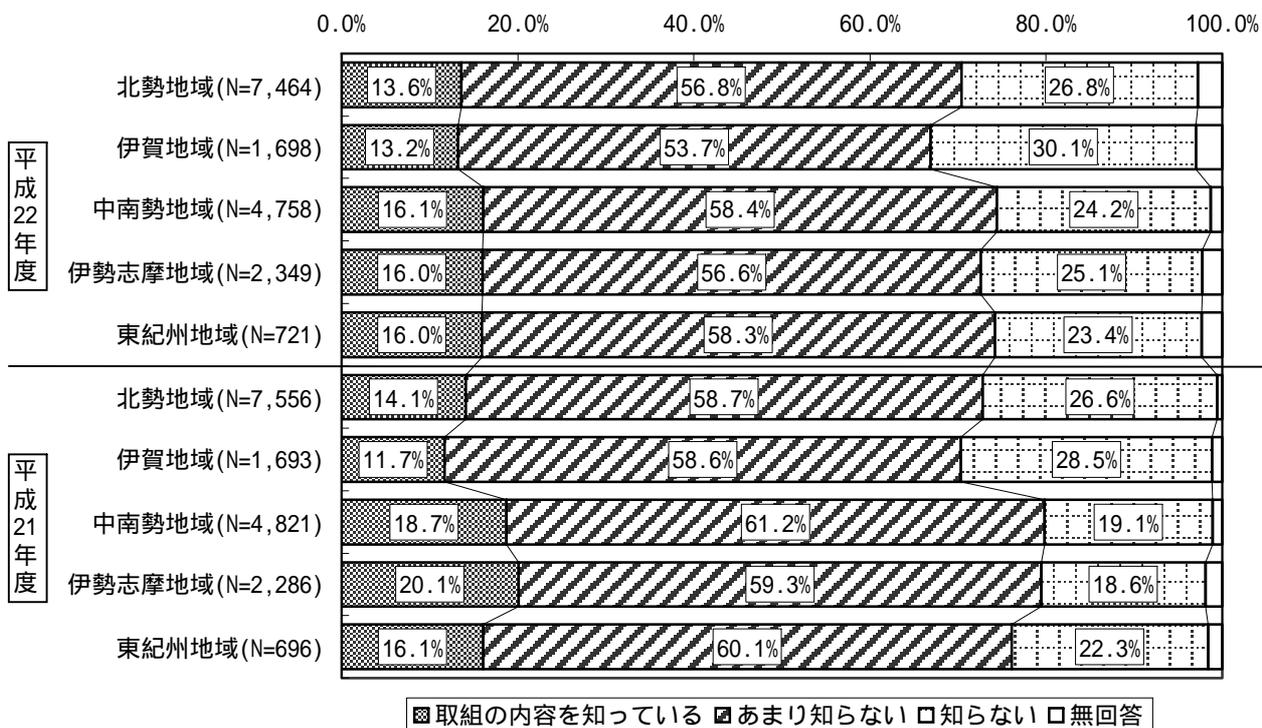
「取組の内容を知っている」と答えた人は、20～50歳代は約1割、60～70歳代以上は約2割となっている。また、「知らない」と答えた人は、20歳代(44.1%)で最も多く、年齢が上がるに従って少なくなっている。

### 平成21年度との比較

「知らない」は40歳代以外の全年齢層で前回より増加しており、特に30歳代以下の増加幅が大きい。

## 地域別

(集計資料 p.27)



### 平成22年度

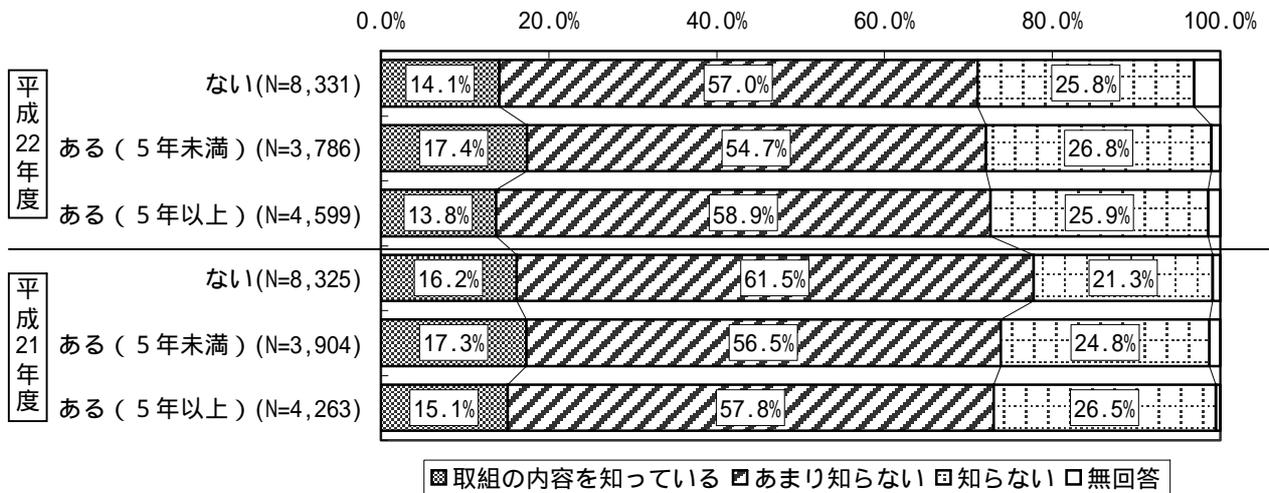
「取組の内容を知っている」と答えた人は、中南勢地域(16.1%)が最も多く、次いで伊勢志摩地域、東紀州地域の順で、最も低い伊賀地域では13.2%となっている。

### 平成21年度との比較

伊賀地域を除いて「取組の内容を知っている」が減少している。また「知らない」はいずれの地域でも増加しており、特に中南勢地域と伊勢志摩地域の増加幅が大きい。

## 県外在住の経験別

(集計資料 p.27)



### 平成22年度

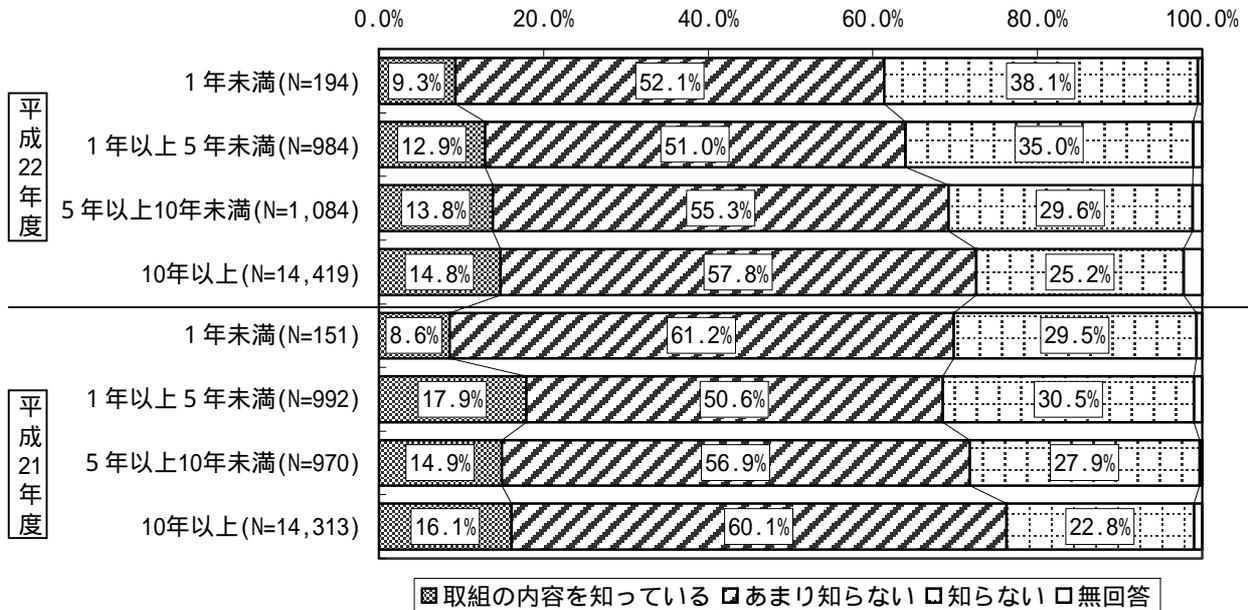
「取組の内容を知っている」と答えた人は、県外在住経験が「ある(5年未満)」(17.4%)が最も多いが、県外在住経験による大きな違いはない。

### 平成21年度との比較

県外在住経験による傾向は、平成21年度と比べて大きな差はみられない。

## 居住年数別

(集計資料 p.27)



### 平成22年度

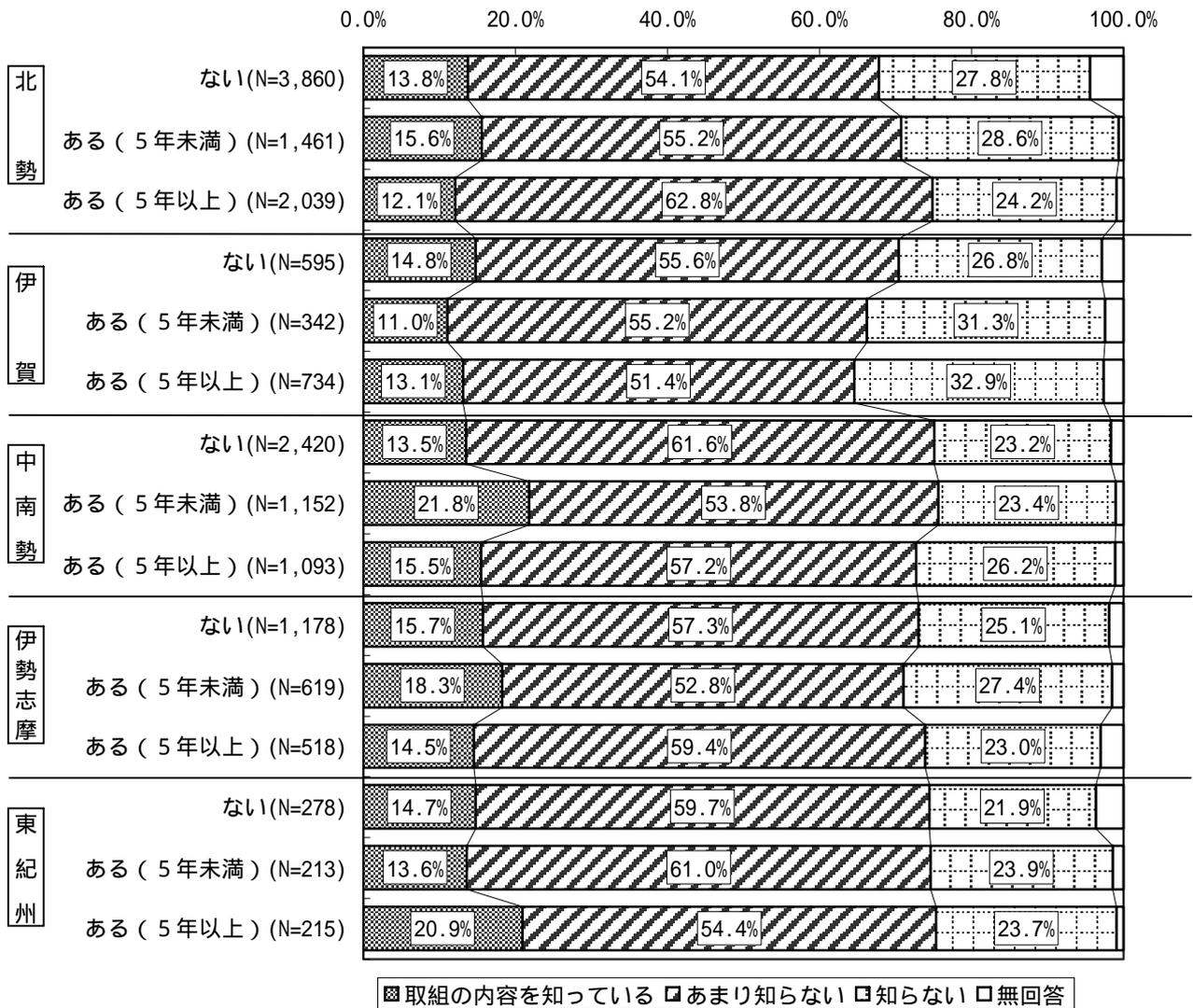
「取組の内容を知っている」と答えた人は、「10年以上」(14.8%)で最も多く、居住年数が短いほど少なくなっており、「1年未満」は9.3%となっている。

### 平成21年度との比較

居住年数にかかわらず「知らない」が増加している。特に「1年未満」では前回(29.5%)より8.6ポイントの増加となっている。

地域・県外在住経験別

(集計資料 p.28)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、北勢地域、伊賀地域、伊勢志摩地域では、県外在住経験による差はないが、中南勢地域では「ある(5年未満)」、東紀州地域では「ある(5年以上)」が最も多くなっている。

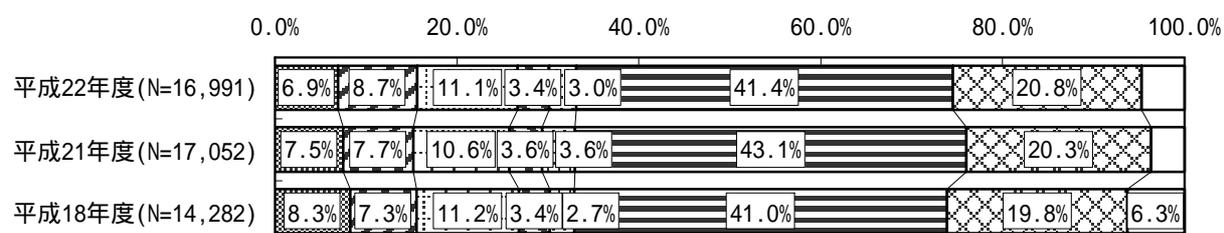
## 8 . 地域の活動についての質問

### ( 1 ) 活動への参加状況

問 6 - 1 近年、NPO（民間非営利団体）と呼ばれる、営利を目的としないボランティア団体や市民団体の活動が盛んになっていますが、あなたは、NPOやボランティア、地域の活動などに参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。（回答は単一選択式）

全体

（集計資料 p.124）



- 現在、積極的に参加している
- 現在、お付き合いで参加している
- 過去に参加したことがあります、また参加したい
- 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない
- これまで参加したことはないが、今後はぜひ参加したい
- これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい
- これまで参加したことはなく、今後も参加したいと思わない
- 無回答

#### 平成 22 年度

NPOやボランティア、地域の活動への参加状況や今後の意向については、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が41.4%と最も多くなっている。

また、「現在、積極的に参加している」(6.9%)、「現在、お付き合いで参加している」(8.7%)を合わせた“現在、活動に参加している人”は15.6%となっている。

なお、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」に「過去に参加したことがあります、また参加したい」(11.1%)と「これまで参加したことはないが、今後はぜひ参加したい」(3.0%)を合わせた“活動への参加意欲を持つ人”は55.5%を占めている。

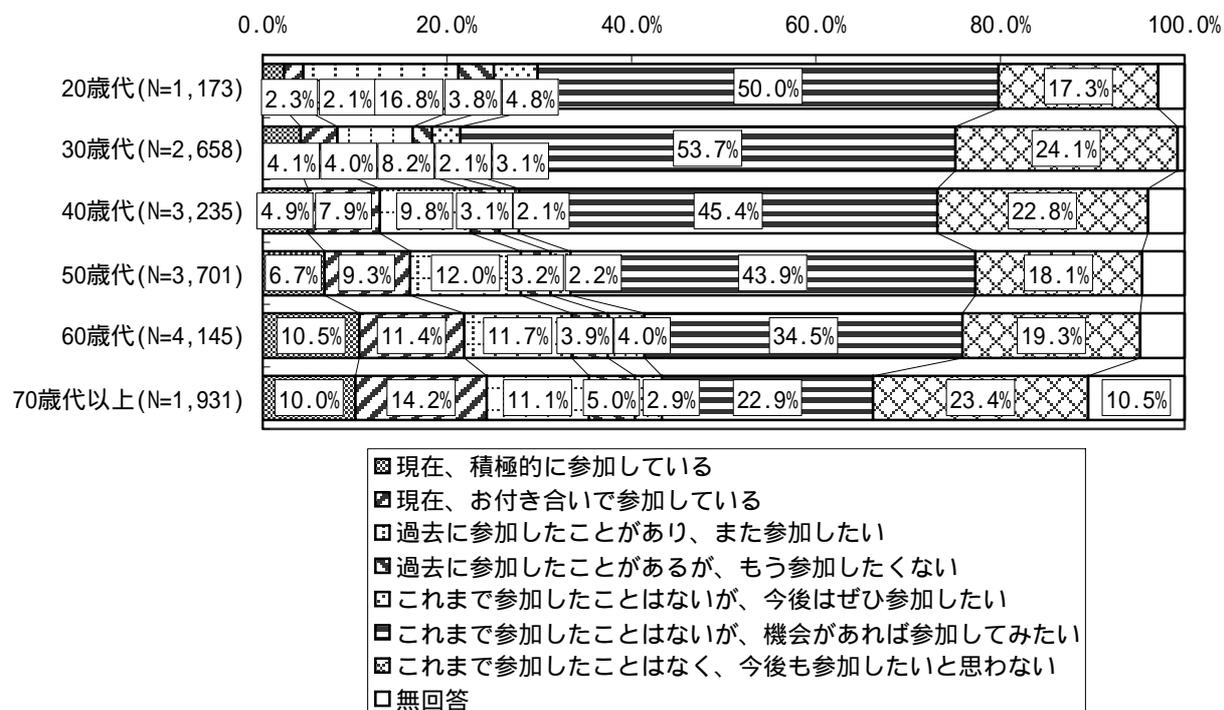
#### 平成 18 年度、平成 21 年度との比較

“現在、活動に参加している人”は21年度(15.2%)からは0.4ポイント増加、18年度(15.6%)とは同率となっておりほぼ一定の水準で推移しているが、「現在、積極的に参加している」は一貫して減少している。

また、“活動への参加意欲を持つ人”は18年度(54.9%)からは0.6ポイント増加しているが、21年度(57.3%)からは1.8ポイント減少している。

## 年齢層別

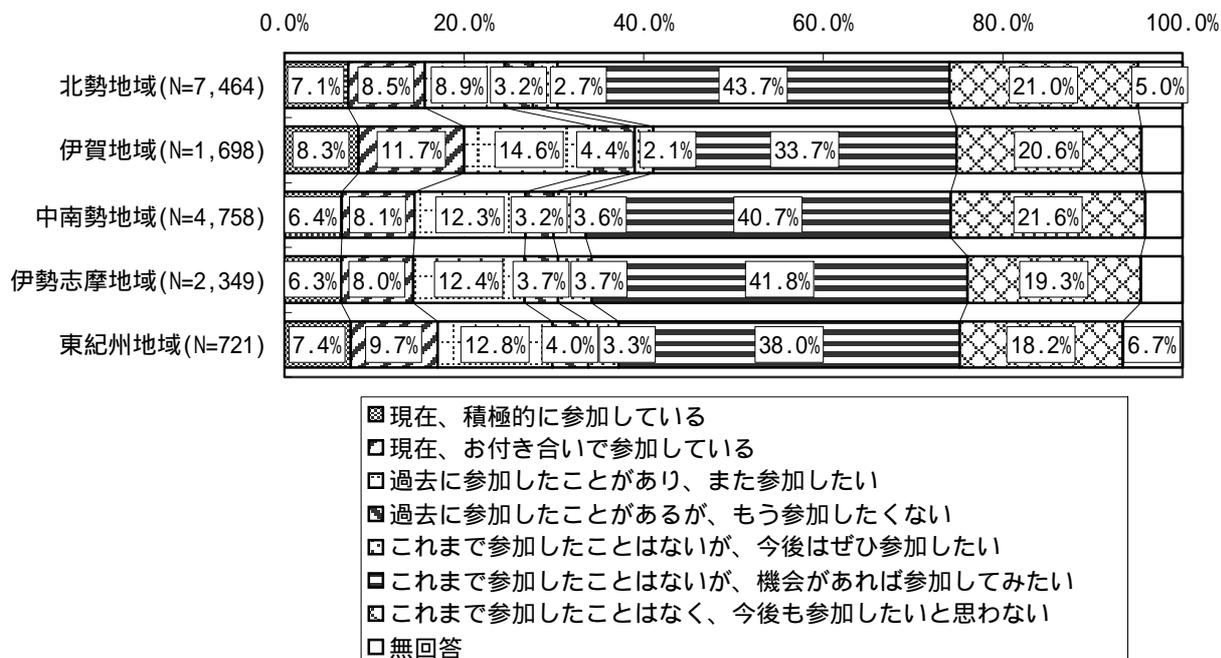
(集計資料 p.124)



年齢層別でみると、「現在、活動に参加している人」は60歳代以上で2割を占め、年齢が下がるに従って少なくなっている。また、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」は30歳代(53.7%)では5割を超えている。一方、「活動への参加意欲を持つ人」は、年齢が下がるにつれて多くなる傾向にある。

## 地域別

( 集計資料 p.124 )



地域別でみると、“現在、活動に参加している人”は伊賀地域(20.0%)が最も多くなっている。続いて、東紀州地域(17.1%)、北勢地域(15.6%)、中南勢地域(14.5%)、伊勢志摩地域(14.3%)の順となっている。

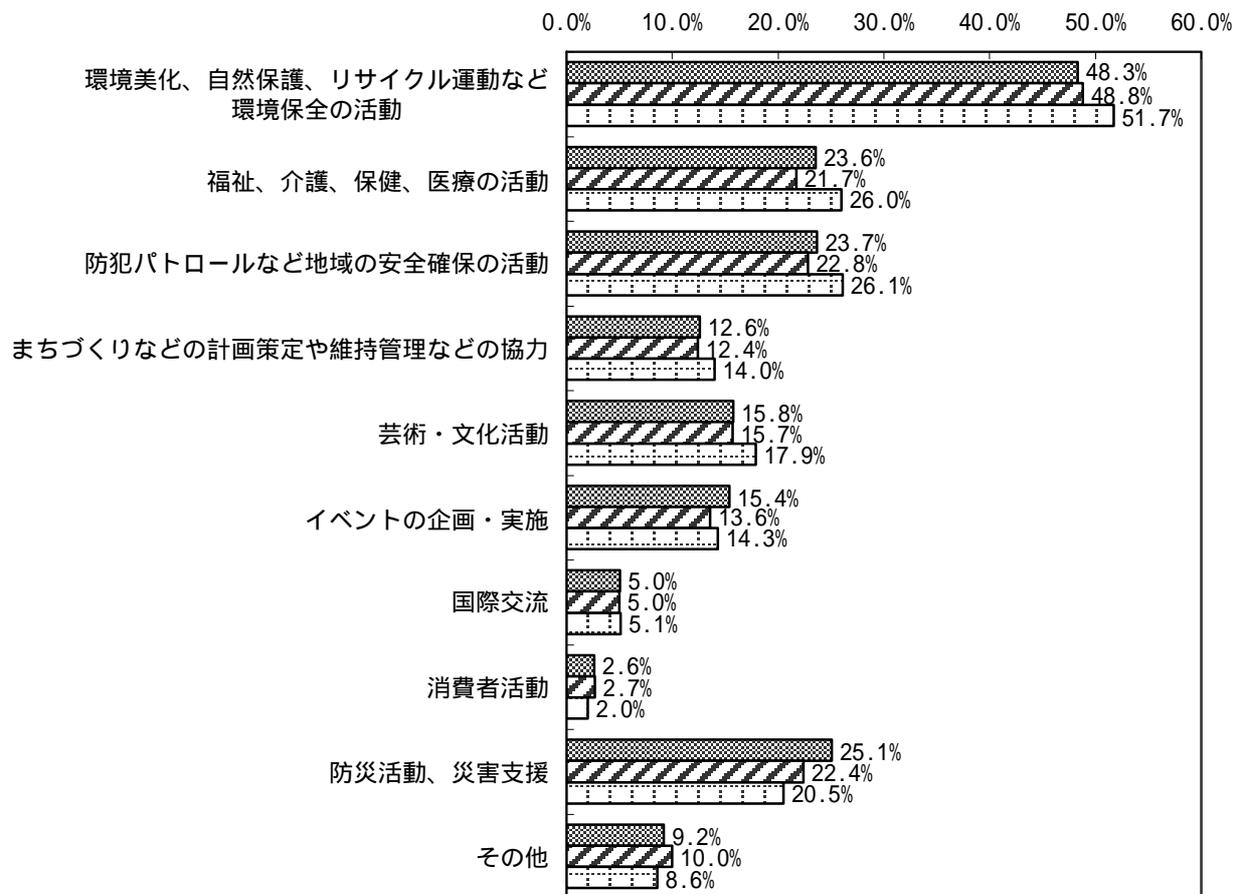
また、“活動への参加意欲を持つ人”は伊勢志摩地域(57.9%)で最も多く、次いで、中南勢地域(56.6%)、北勢地域(55.3%)、東紀州地域(54.1%)、伊賀地域(50.4%)で、いずれも5割台となっている。

(2) 参加している(した)活動

【問6-1で、1~4に をつけた方だけにおうかがいします】  
 問6-2 どのような活動に参加されていますか。あるいは、参加されましたか。  
 (回答は複数選択式)

全体

(集計資料 p.125~126)



■平成22年度(N=5,116) ■平成21年度(N=4,991) □平成18年度(N=4,317)

平成22年度

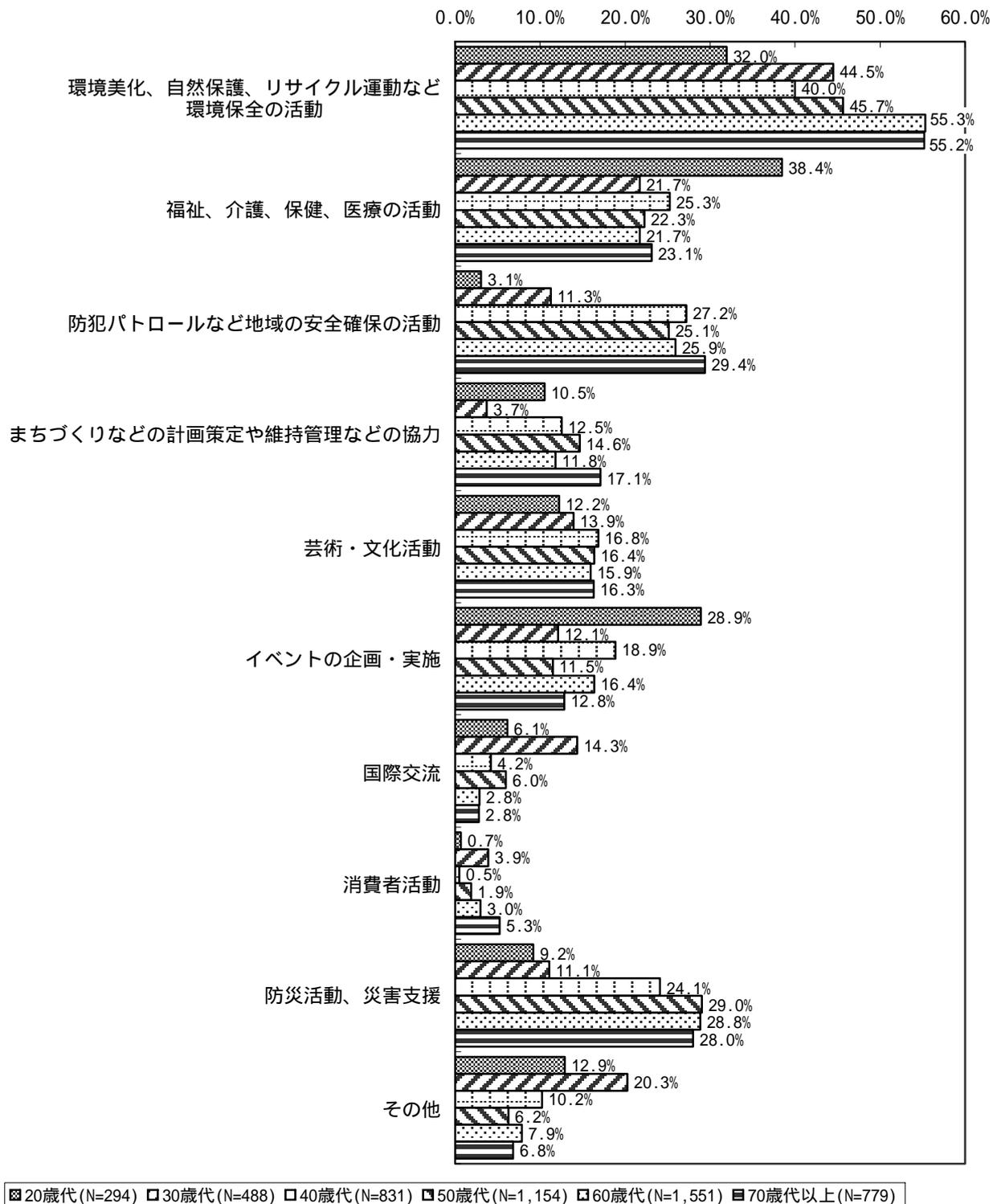
参加している、または参加した活動については、「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」(48.3%)が他の項目を20ポイント以上離して最も多くなっている。次いで「防災活動、災害支援」が25.1%、「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」が23.7%、「福祉、介護、保健、医療の活動」が23.6%となっている。

平成18年度、平成21年度との比較

上位5項目の内容は、18年度から変化していない。「環境美化、自然保護、リサイクル運動などの環境保全の活動」は一貫して減少しており、18年度から3.4ポイントの減少となっている。また、「防災活動、災害支援」は一貫して増加しており、18年度から4.9ポイント増加している。

# 年齢層別

(集計資料 p.125 ~ 126)



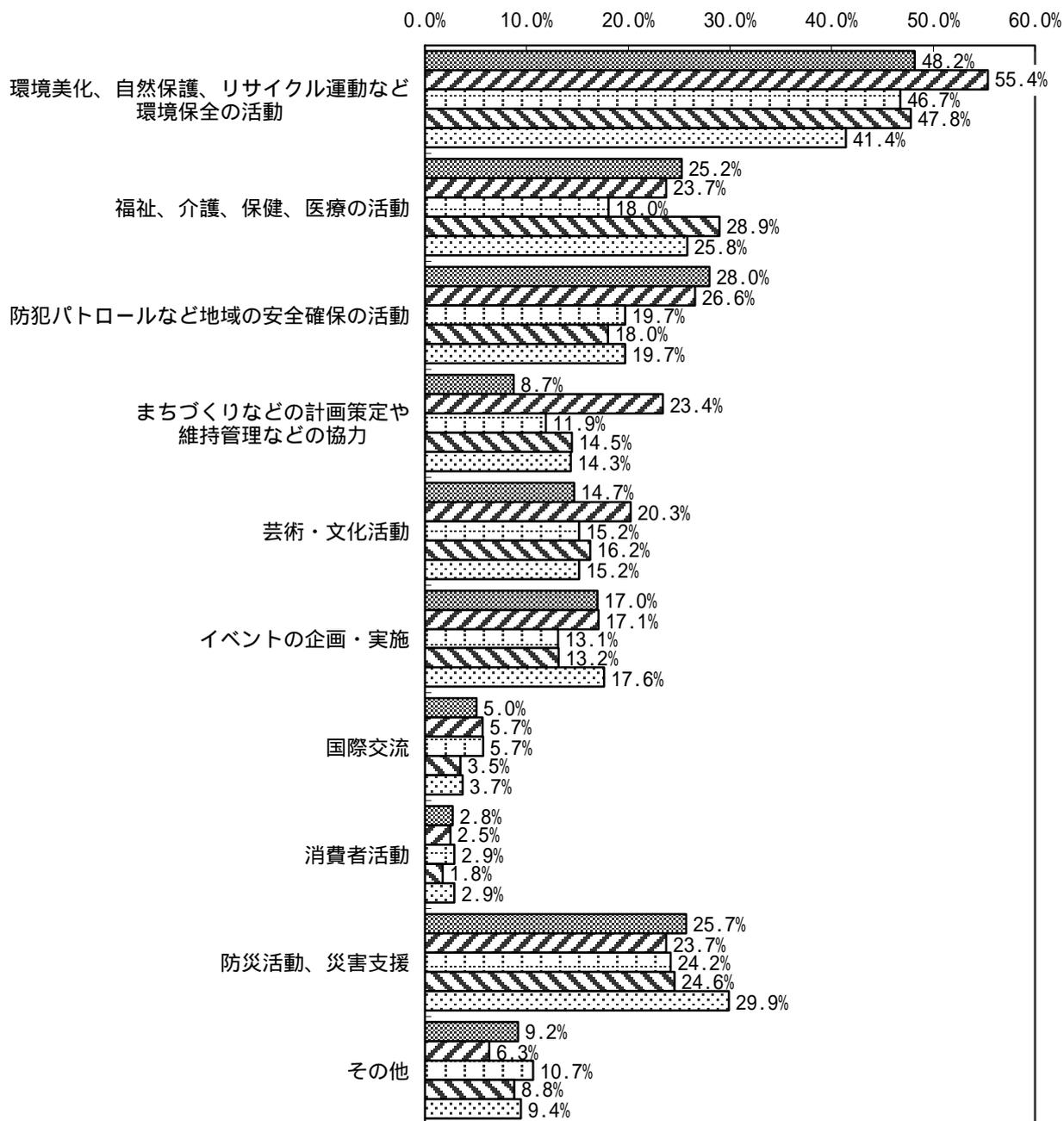
年齢層別でみると、20歳代を除く全ての年齢層で「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」が最も多くなっており、年齢が上がるに従って多くなる傾向にある。20歳代は「福祉、介護、保健、医療の活動」「イベントの企画・実施」、30歳代は「国際交流」、40歳代は「芸術・文化活動」、50歳代、60歳代は「防災活動、災害支援」、70歳代以上は「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」等で他の年齢層に比べて多くなっている。

一方、20歳代は「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」「防犯パトロール

など地域の安全確保の活動」「芸術・文化活動」「防災活動、災害支援」、30歳代は「福祉、介護、保健、医療の活動」「まちづくりなどの計画策定や維持管理などの協力」、40歳代は「消費者活動」、50歳代は「イベントの企画・実施」、60歳代は「福祉、介護、保健、医療の活動」「国際交流」、70歳代以上は「国際交流」で他の年齢層よりも少なくなっている。

## 地域別

(集計資料 p.125～126)



■北勢地域(N=2,067) ■伊賀地域(N=664) □中南勢地域(N=1,427) ■伊勢志摩地域(N=716) □東紀州地域(N=244)

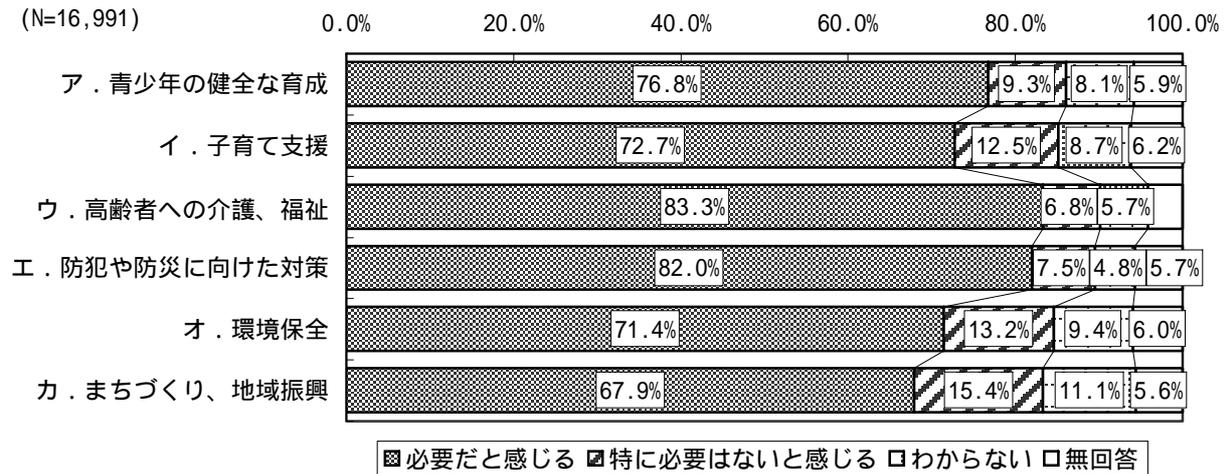
地域別でみると、全ての地域で「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」が最も多い。伊賀地域は「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」「まちづくりなどの計画策定や維持管理などの協力」「芸術・文化活動」で他の地域と比べて多くなっている。

(3) 地域の人を中心となって積極的に取り組むことの必要性

問6-3 あなたは、次のア～カの項目について、あなたの住んでいる地域の人を中心となって積極的に取り組むことが必要だと感じますか。(回答は各単一選択式)

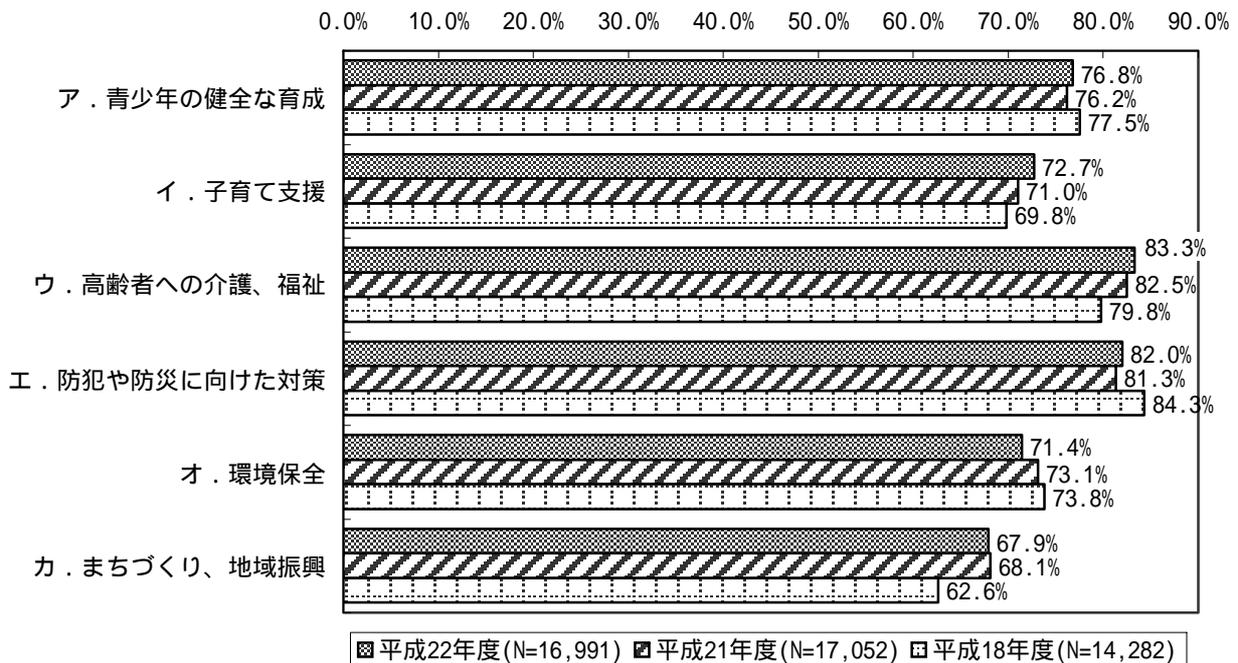
全体

(集計資料 p.127～132)



地域の人を中心となって積極的に取り組むことが「必要だと感じる」と答えた人は、「カ．まちづくり、地域振興」で67.9%となっているほかはいずれも7割を超えており、「ウ．高齢者への介護、福祉」(83.3%)、「エ．防犯や防災に向けた対策」(82.0%)は8割を超えている。

「必要だと感じる」の前回調査及び平成18年度調査との比較



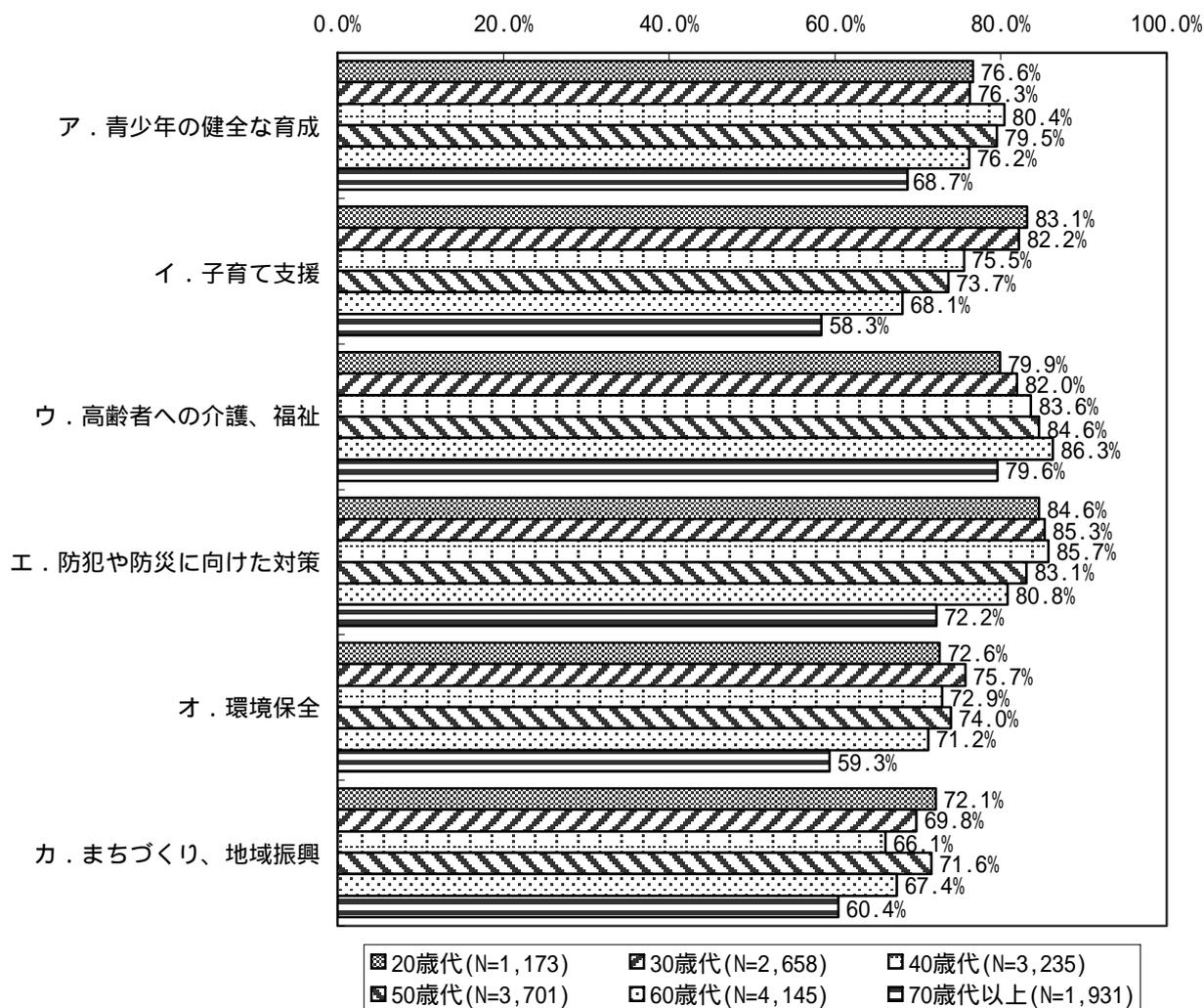
「必要だと感じる」と答えた人の割合を21年度と比較すると、ほとんどの項目で横ばいとなり

大きな変化はない。

18年度と比較すると、最も変化幅が大きいのは「カ．まちづくり、地域振興」で、5.3ポイント増加となっている。

### 年齢層別

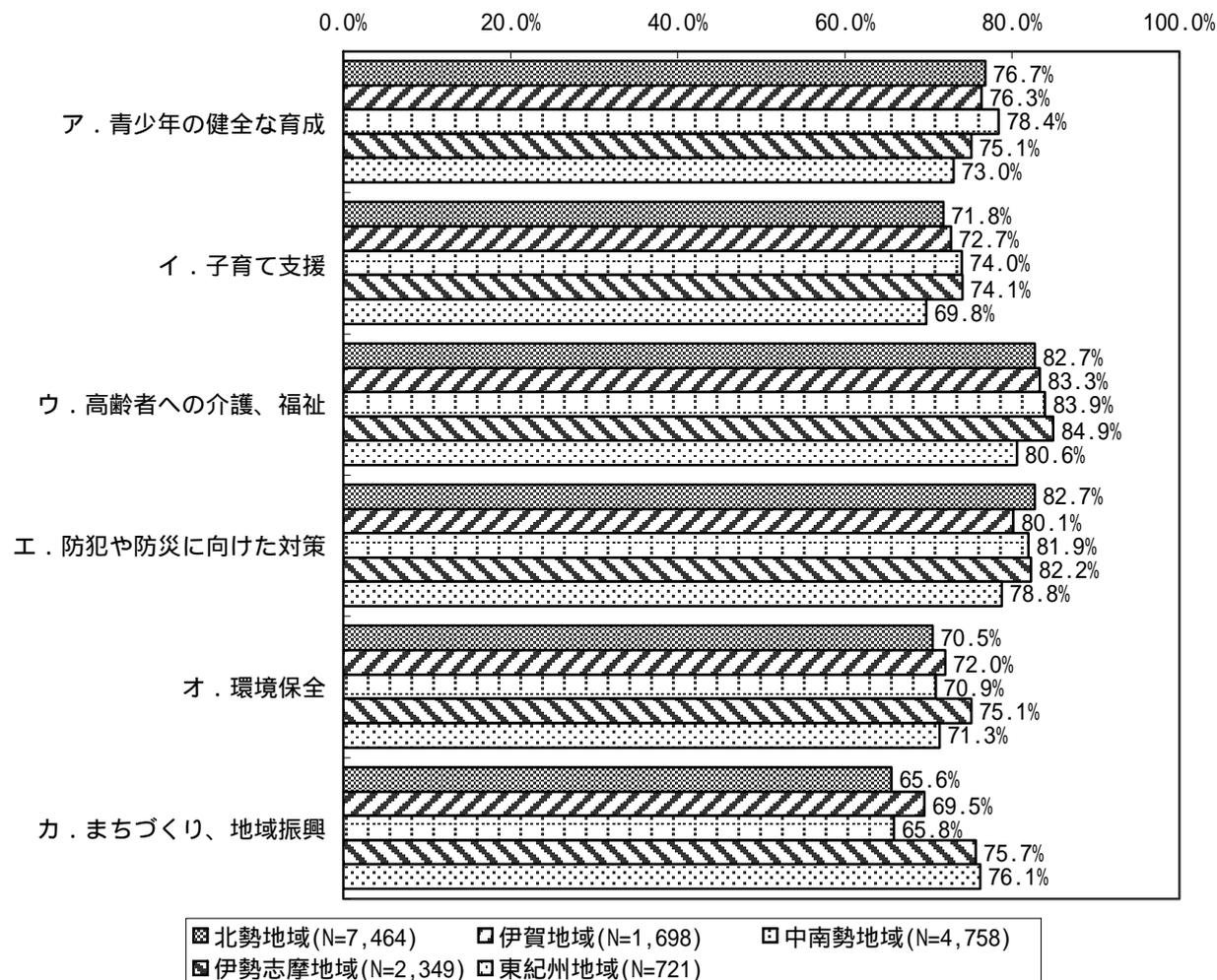
(集計資料 p.127～132)



「必要だと感じる」と答えた人の割合を年齢層別で見ると、「イ．子育て支援」は20～30歳代で多く、「ウ．高齢者への介護、福祉」は50～60歳代で多くなっている。70歳代以上は全ての項目で「必要だと感じる」の回答が他の年齢層に比べてかなり少なくなっている。

地域別

( 集計資料 p.127 ~ 132 )



「必要だと感じる」と答えた人の割合を地域別で見ると、「カ．まちづくり、地域振興」は伊勢志摩地域、東紀州地域が多い一方、北勢地域、中南勢地域では少なくなっており、最も多い東紀州地域（76.1%）と最も少ない北勢地域（65.6%）では10ポイント以上の差がある。

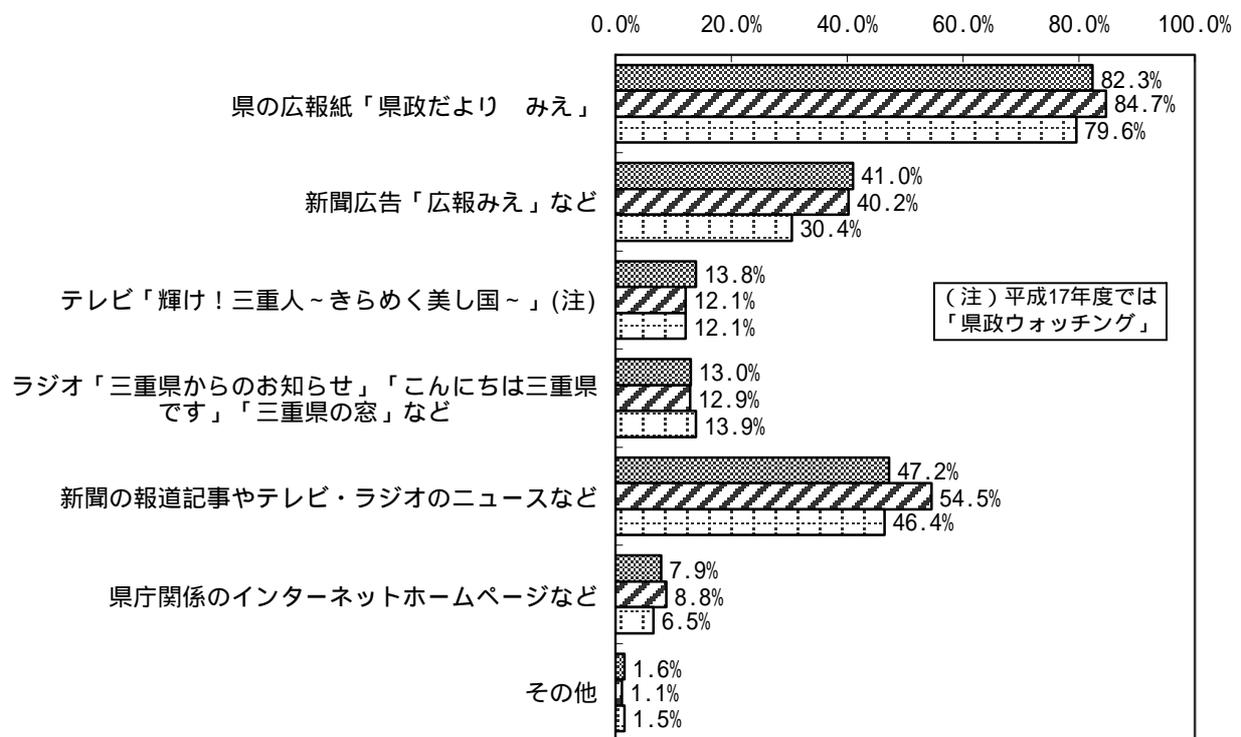
## 9 . 県の広報広聴活動についての質問

### ( 1 ) 県の施策や事業についての情報入手先

問7 - 1 あなたは、県が行っている施策や事業について、どこから情報を得ていますか。(回答は複数選択式)

全体

( 集計資料 p.133 )



■平成22年度(N=16,991) ■平成20年度(N=15,659) □平成17年度(N=14,587)

#### 平成 22 年度

県の施策や事業についての情報入手先は、「県の広報紙『県政だより みえ』」が82.3%で最も多くなっている。次いで、「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど」(47.2%)、「新聞広告『広報みえ』など」(41.0%)で、4割台を占めている。

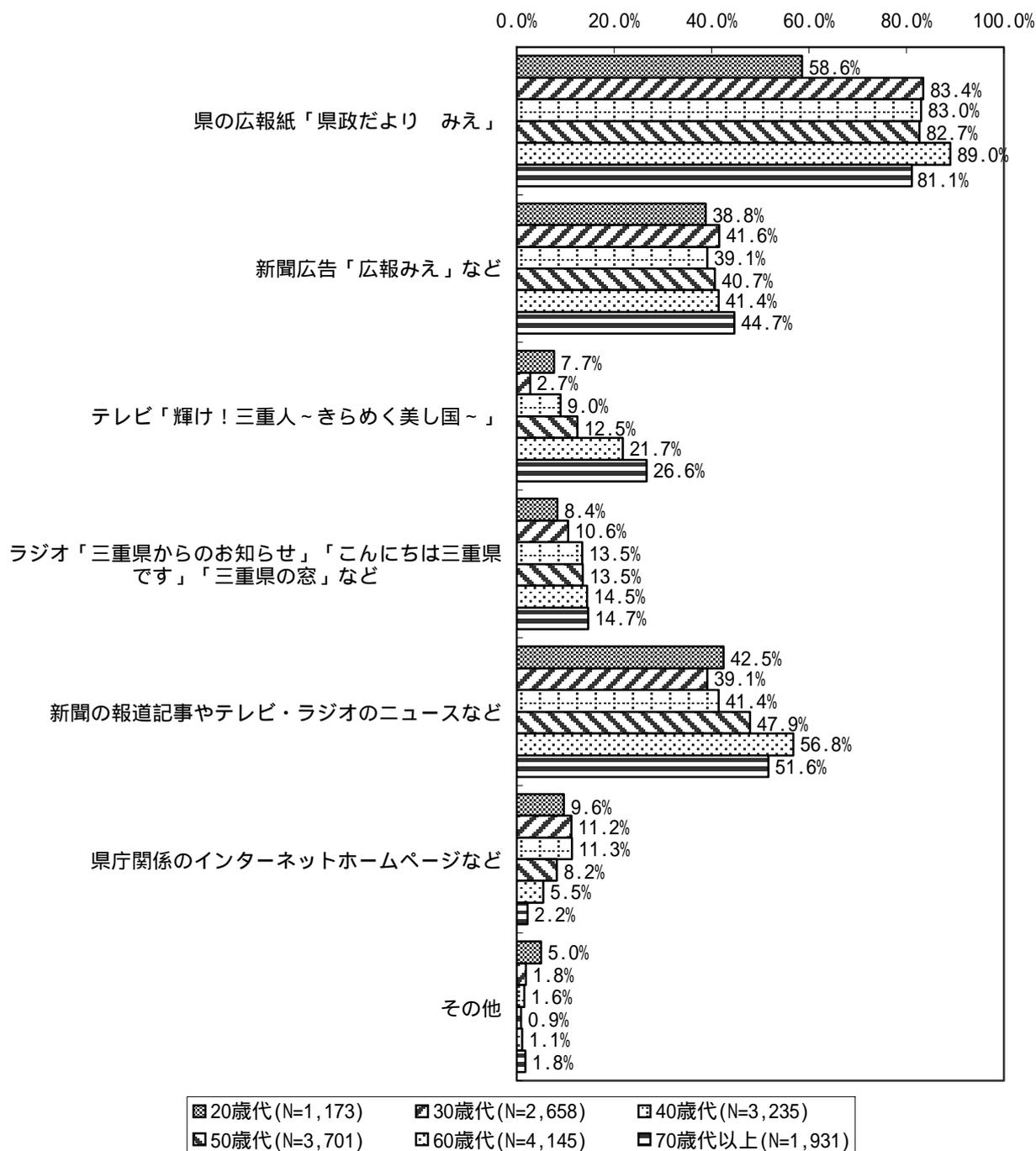
#### 平成 17 年度、平成 20 年度との比較

平成 20 年度<sup>1</sup>と比較すると、「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど」が7.3ポイント減少している。また、平成 17 年度と比較すると、「新聞広告『広報みえ』など」が10.6ポイント増加している。

<sup>1</sup> 平成 21 年度にはこの設問が設定されていないため。

年齢別

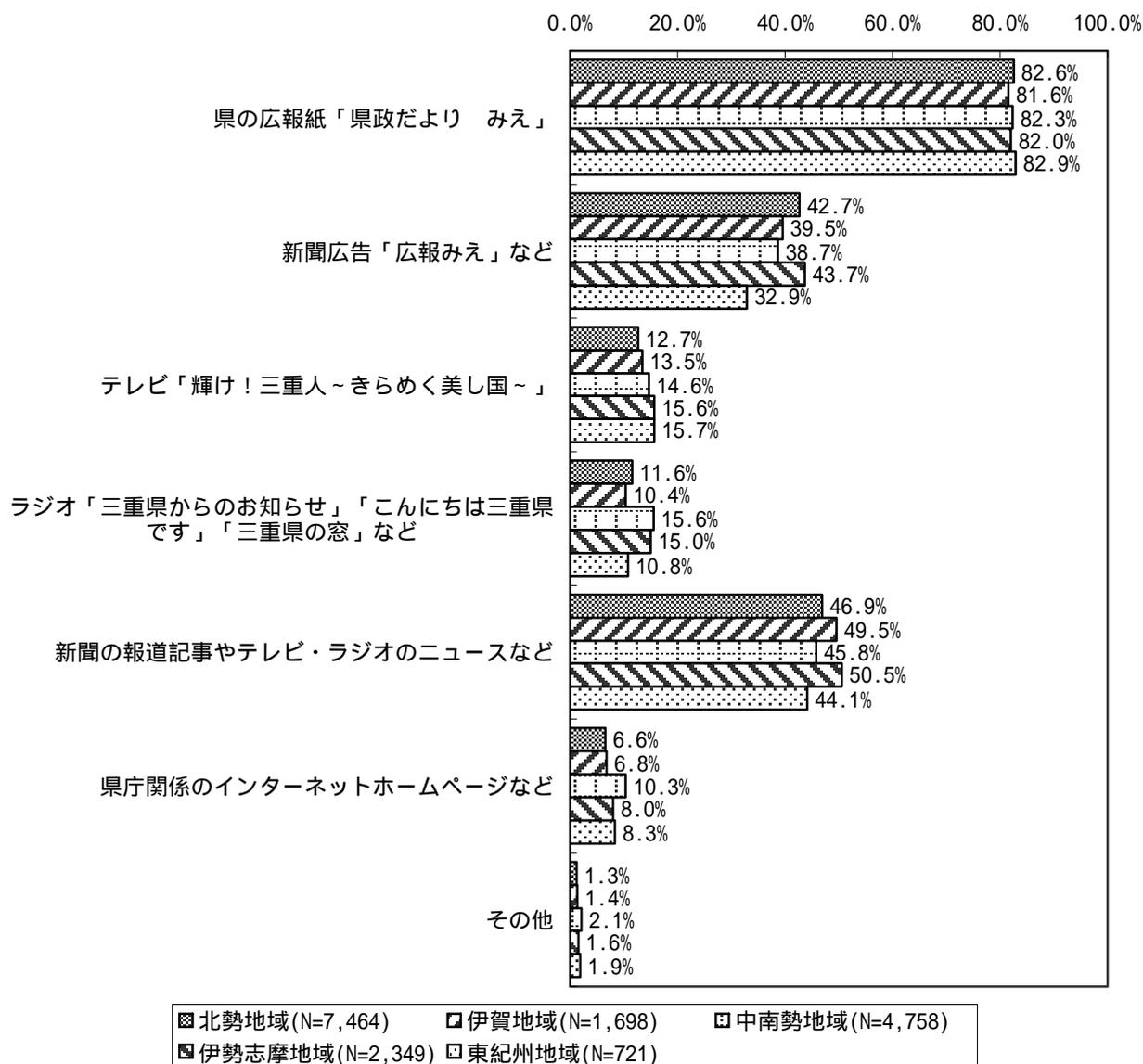
(集計資料 p.133)



年齢別にみると、「県の広報紙『県政だより みえ』」では 20 歳代を除く年齢層では 8 割台であるのに対し、20 歳代では 6 割弱と少なくなっている。

地域別

(集計資料 p.133)



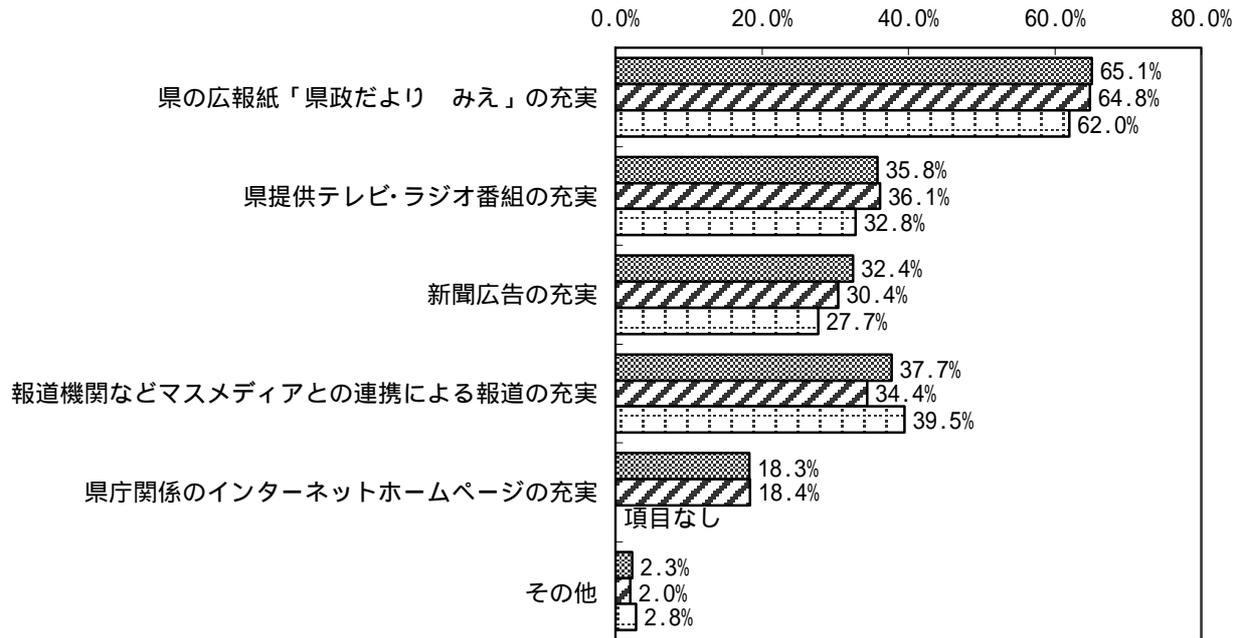
地域別では、いずれの地域でも「県の広報紙『県政だより みえ』」が8割台で最も多く、次いで「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど」「新聞広告『広報みえ』など」と続いている。「新聞広告『広報みえ』など」は伊勢志摩地域、北勢地域で、「ラジオ『三重県からのお知らせ』『こんにちは三重県です』『三重県の窓』など」は中勢地域、伊勢志摩地域でやや多い。

( 2 ) 今後充実を図るべき県の情報提供の方法

問 7 - 2 今後充実を図るべき県の情報提供の方法は、どのような方法が良いとお考え  
 でしょうか。( 回答は複数選択式 )

全体

( 集計資料 p.134 )



■ 平成22年度(N=16,991) ■ 平成20年度(N=15,659) □ 平成17年度(N=14,587)

平成 22 年度

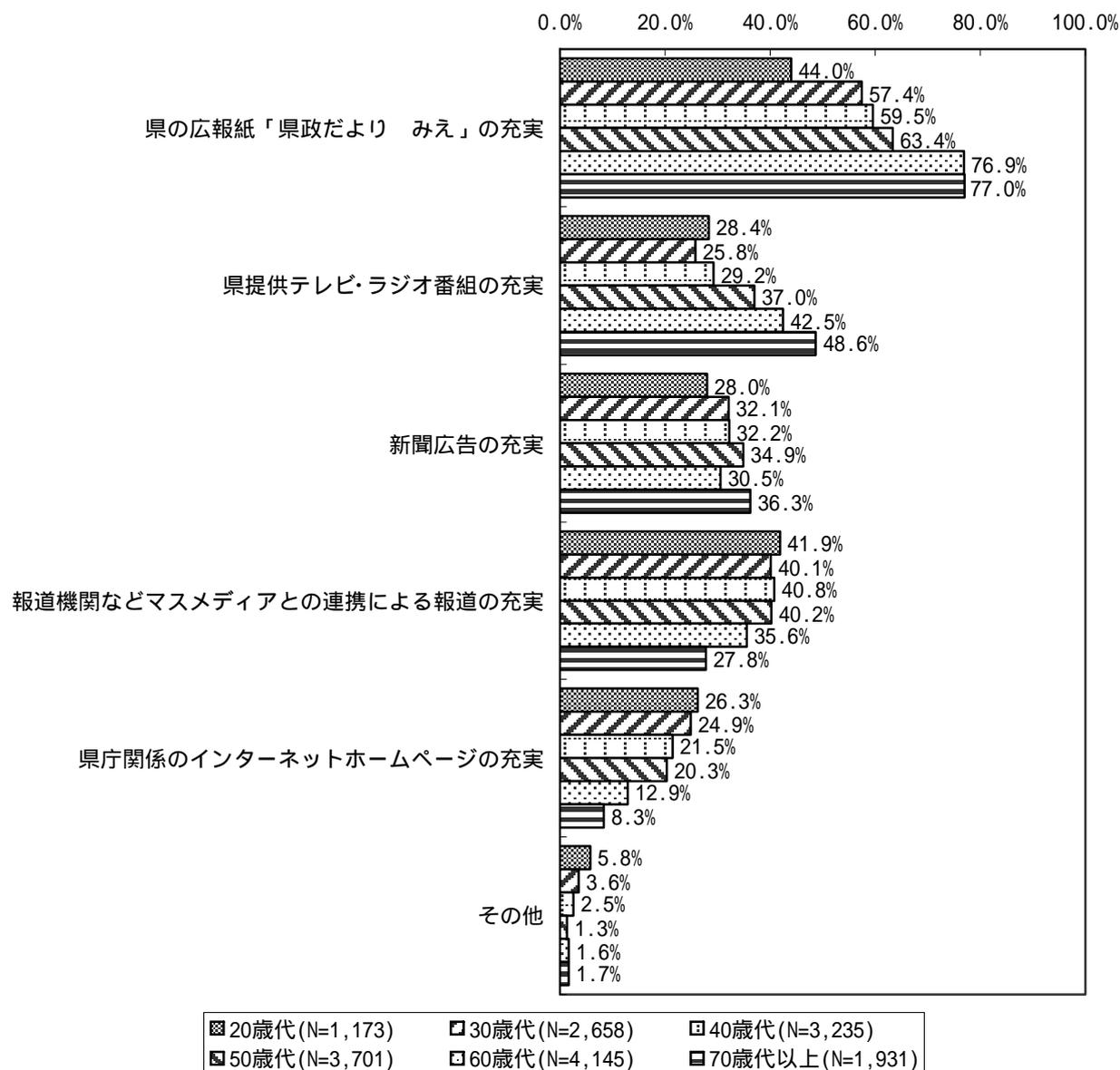
今後充実を図るべき県の情報提供の方法は、「県の広報紙『県政だより みえ』の充実」が 65.1%で最も多く、「報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実」「県提供テレビ・ラジオ番組の充実」「新聞広告の充実」が 3 割台で続いている。

平成 17 年度、平成 20 年度との比較

「県の広報紙『県政だより みえ』の充実」と「新聞広告の充実」は、平成 17 年度から一貫して増加している。

# 年齢別

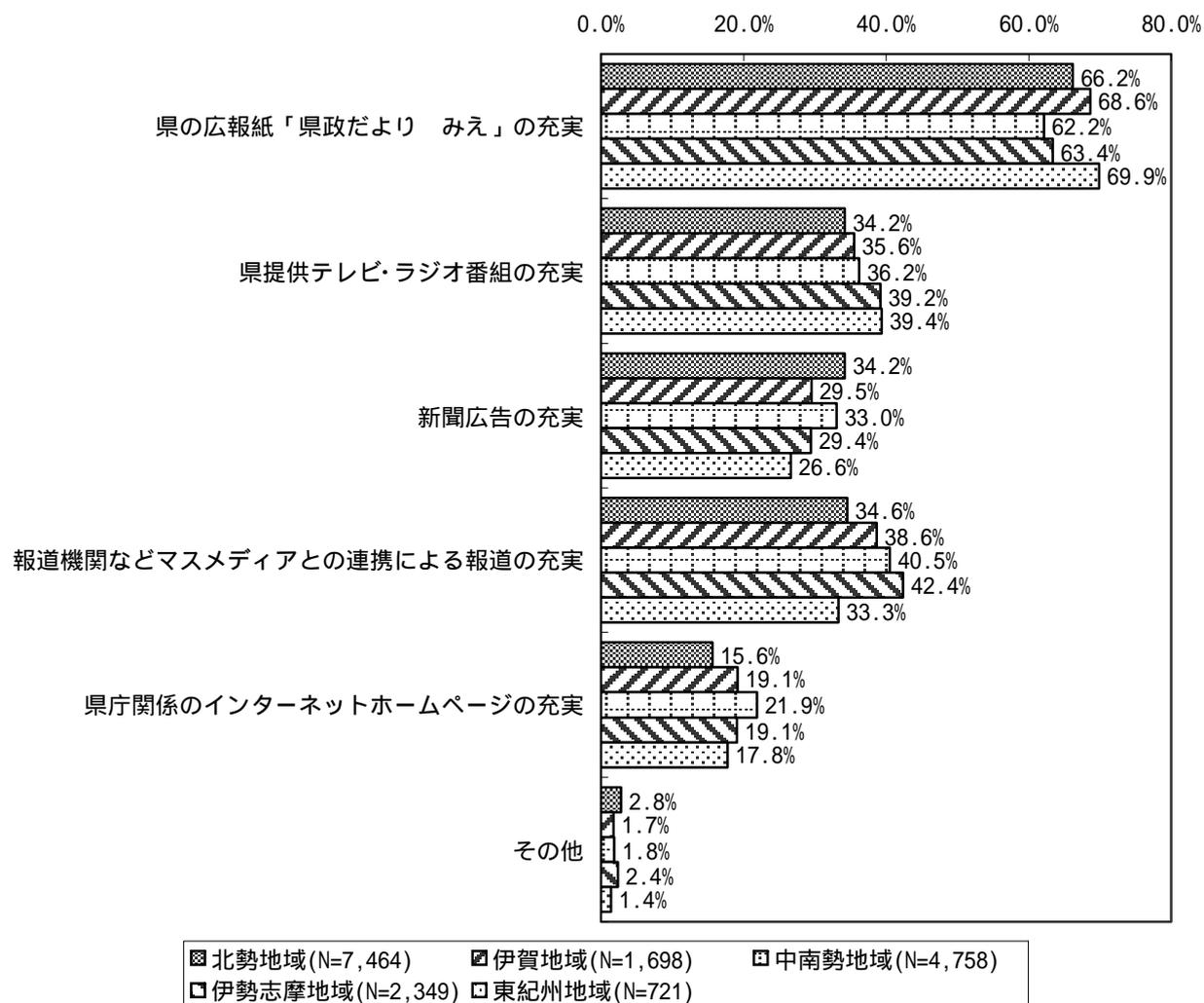
(集計資料 p.134)



年齢別では、いずれの年齢層でも「県の広報紙『県政だより みえ』」が最も多いが、年齢層が上がるにしたがって広報紙の充実を望む人が多くなり、20歳代と70歳代以上では33.0ポイントもの差がある。逆に、「県庁関係のインターネットホームページの充実」では年齢層が上がるにしたがって少なくなっている。

地域別

(集計資料 p.134)



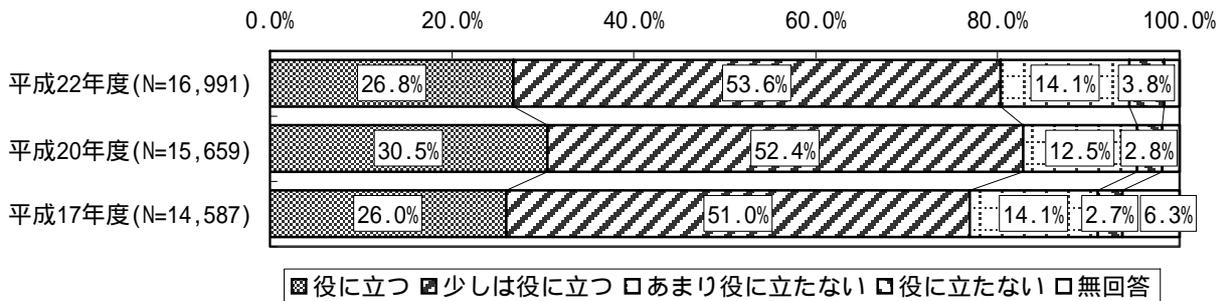
地域別では、全地域で「県の広報紙『県政だより みえ』の充実」が最も多く、6割以上となっている。また、東紀州地域以外では「報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実」「県提供テレビ・ラジオ番組の充実」が続き、東紀州地域ではこの逆となっている。

(3) 「県政だより みえ」の有用度

問7-3 「県政だより みえ」(各戸配布の県の広報紙)は、どの程度役に立つと思いますか。(回答は各単一選択式)

全体

(集計資料 p.135)



平成22年度

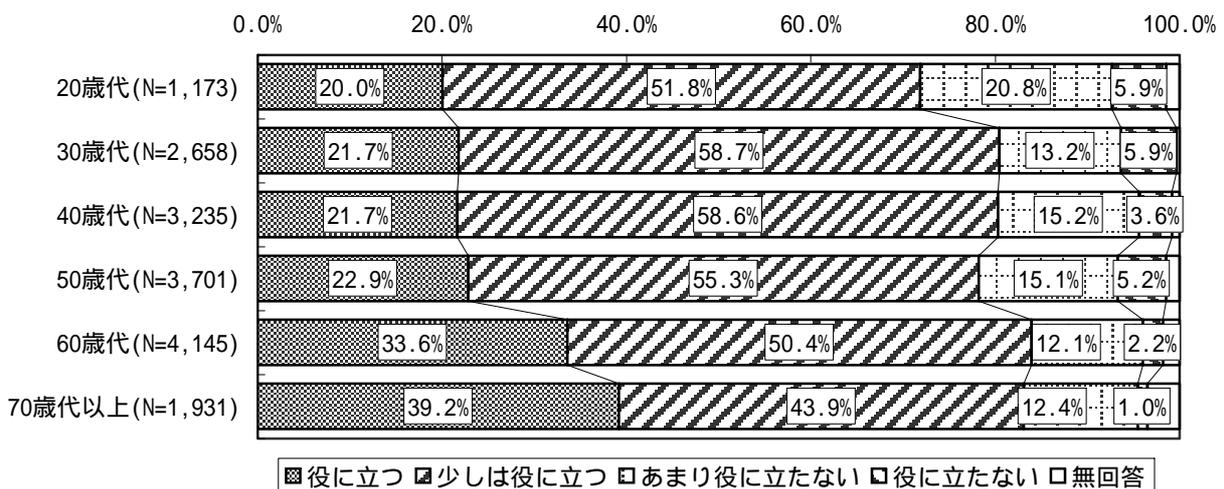
全体では、「役に立つ」<sup>2</sup>は約8割を占めている。

平成17年度、平成20年度との比較

「役に立つ」は、平成20年度より2.5ポイント減少しているが、平成17年度と比較すると3.4ポイント増加している。

年齢別

(集計資料 p.135)

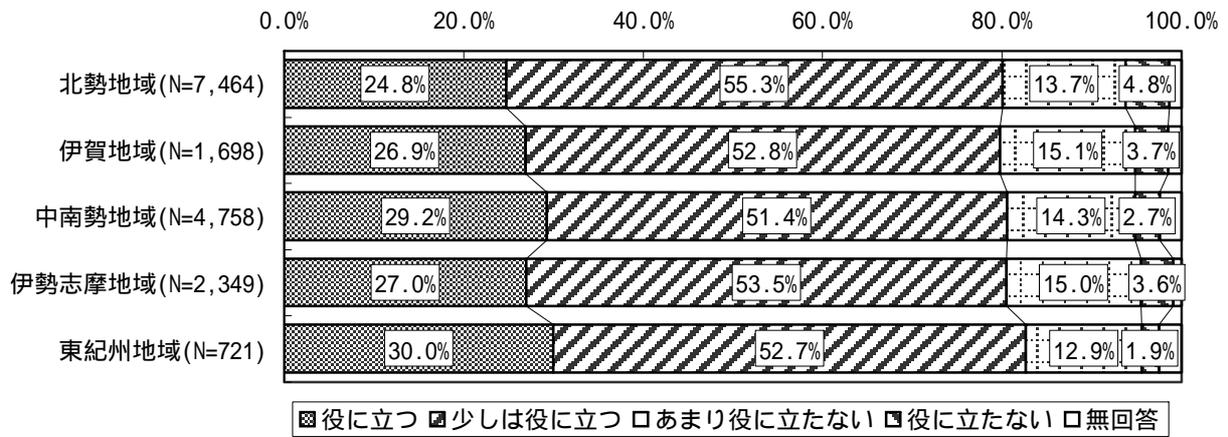


年齢別では、「役に立つ」は年齢層が上がるにしたがって多くなる傾向がある。「役に立つ」は20歳代でやや少ない。

<sup>2</sup> 「役に立つ」と「少しは役に立つ」の合計

# 地域別

(集計資料 p.135)



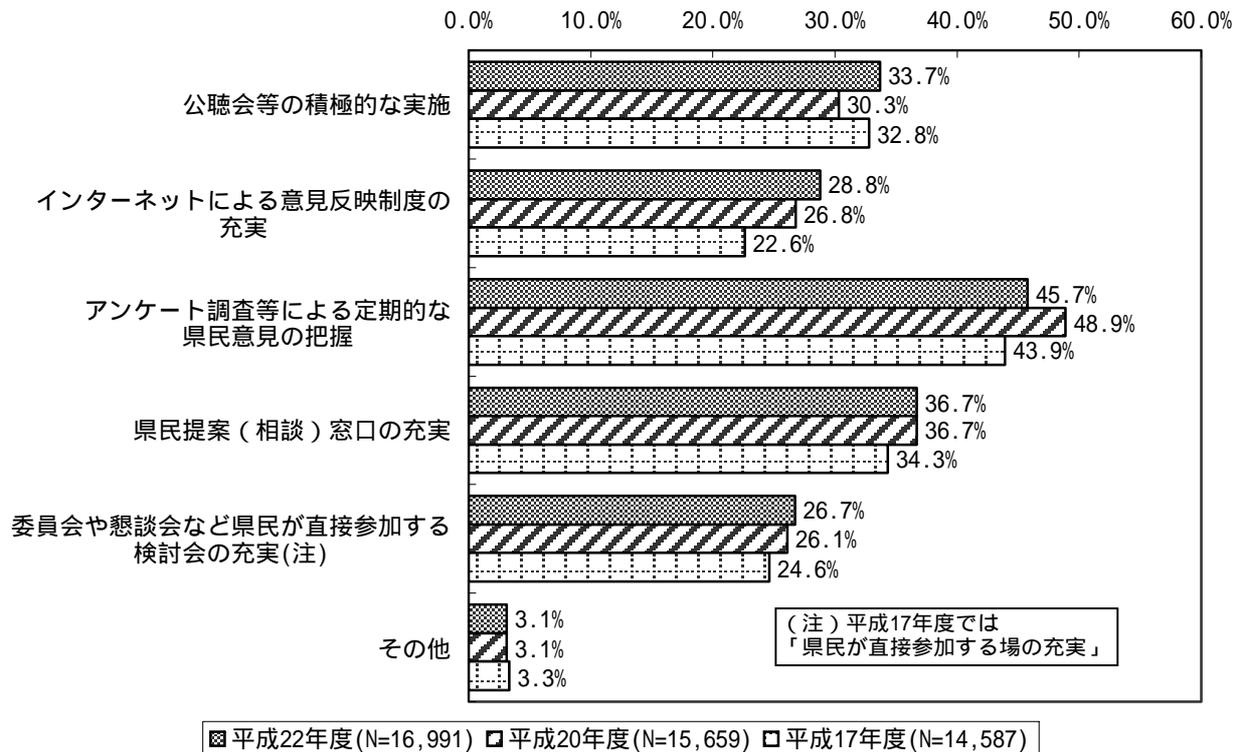
地域別では、「役に立つ」が東紀州地域、中南勢地域でやや多いほかは地域による差はほとんどみられない。

(4) 三重県民の意見や要望を県政に反映させるために力を入れるべきこと

問7-4 県民の皆さんの意見や要望をより一層県政に反映させるためには、どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(回答は複数選択式)

全体

(集計資料 p.136)



平成22年度

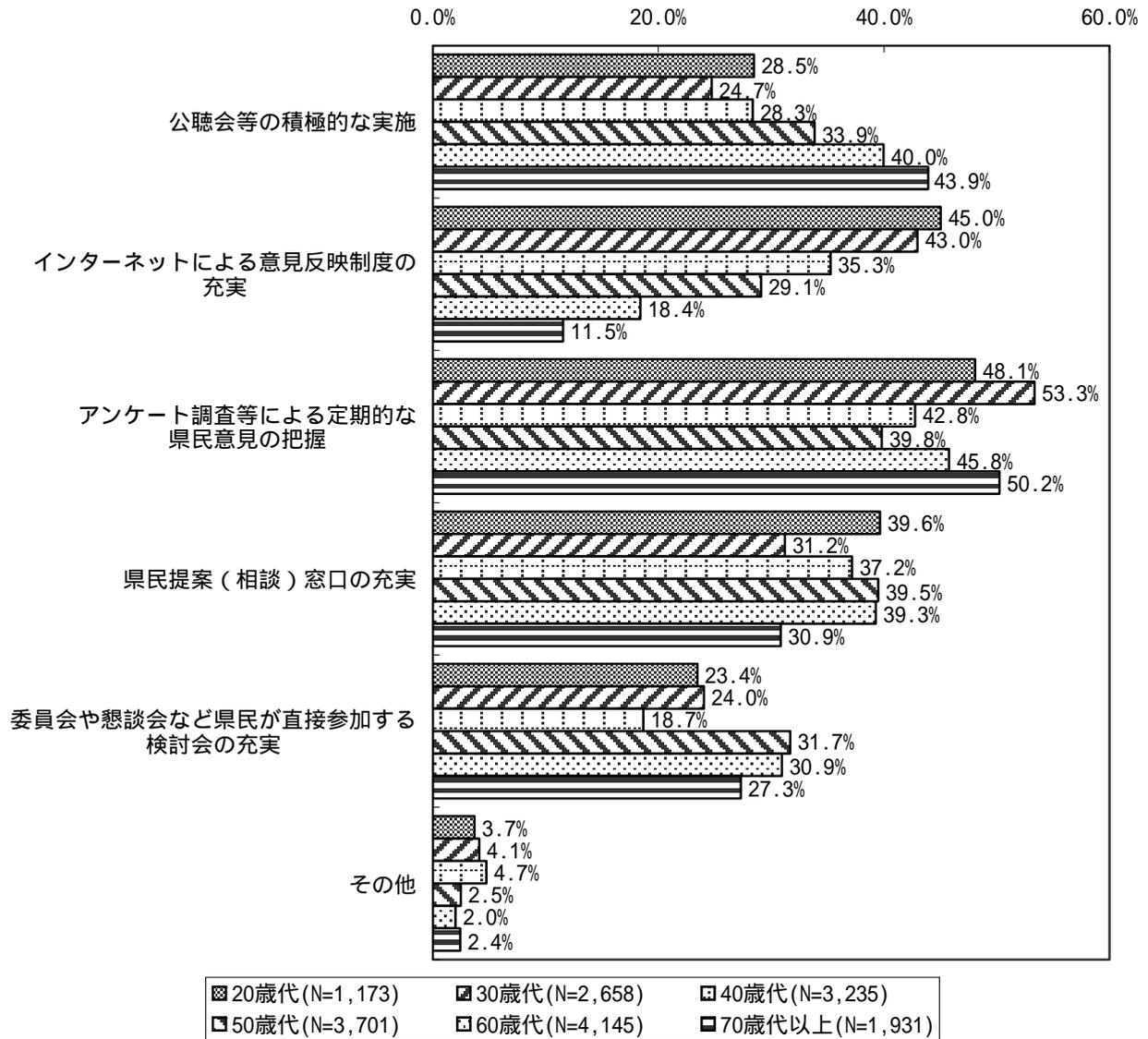
全体では、「アンケート調査等による定期的な県民意見の把握」が45.7%で最も多く、「県民提案(相談)窓口の充実」「公聴会等の積極的な実施」が3割台、「インターネットによる意見反映制度の充実」「委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実」が2割台で続いている。

平成17年度、平成20年度との比較

「インターネットによる意見反映制度の充実」「委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実」等は平成17年度から一貫して増加している。

年齢別

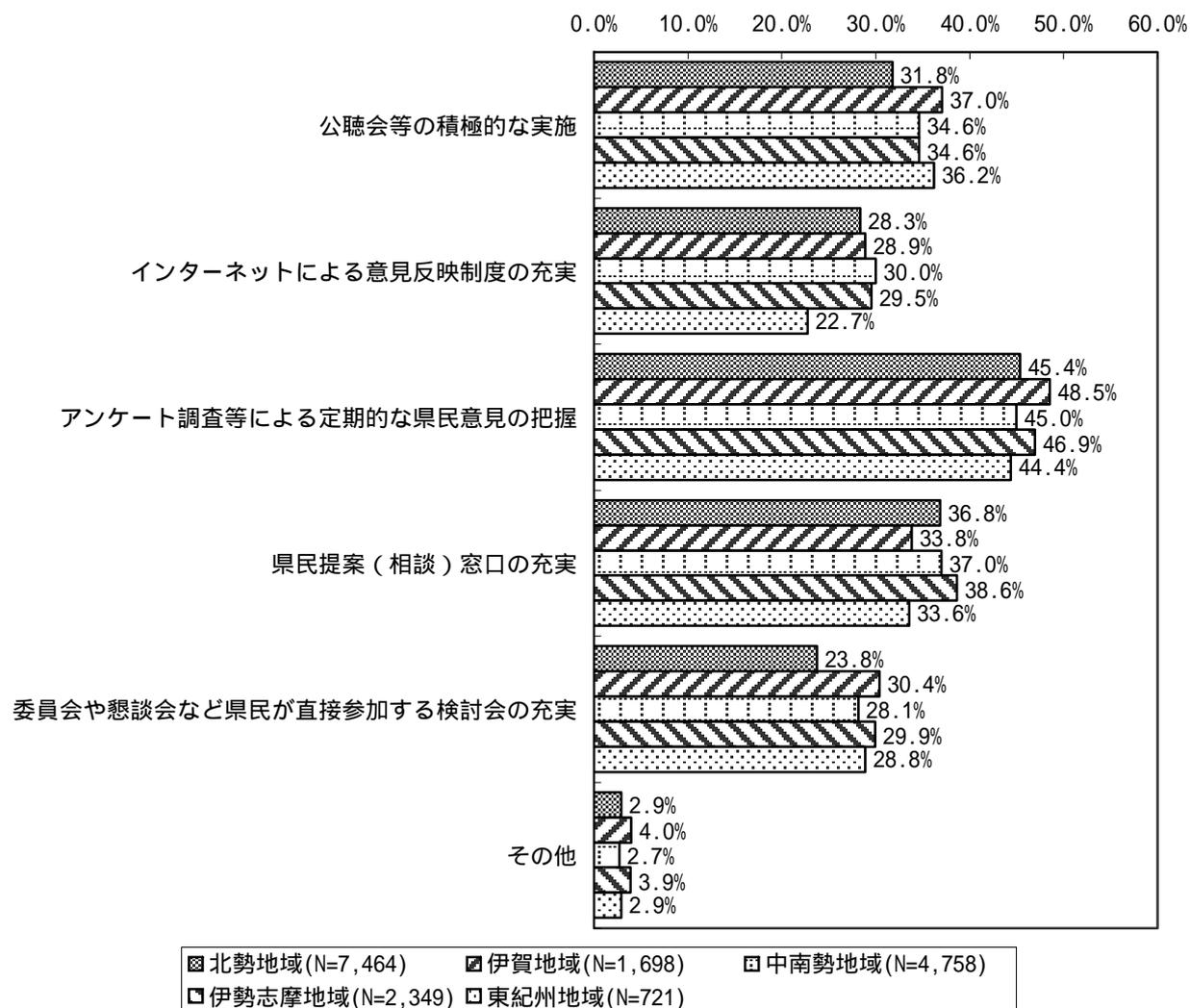
(集計資料 p.136)



年齢別では、「インターネットによる意見反映制度の充実」は、年齢層が上がるほど少なくなっている。「公聴会等の積極的な実施」「委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実」では 40 歳代以上で多くなる傾向にある。

地域別

(集計資料 p.136)



地域別では、北勢地域では「公聴会等の積極的な実施」「委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実」、東紀州地域では「インターネットによる意見反映制度の充実」が他の地域よりも少なくなっている。

## 10. 回答者からの自由なご意見

このたびのアンケートに対するご感想、または三重県行政に対するご意見などございましたらご自由にお書きください。今後の参考にさせていただきます。

今回の調査で、上記の質問を設定して回答者の方にご意見をお聞きしたところ、計 1,639 人の方から回答が得られ、延べ 2,143 件の意見にまとめました。記入していただいたご意見は、

- (1) 一万人アンケートについての意見 283 件
- (2) その他の意見 1,860 件

に分類しました。内容などは、以下のとおりです。

### (1) 一万人アンケートについての意見ならびに県の考え方

いただいたご意見の中には、内容を同じくするご意見もありますので、ご意見をいくつかの類型に分類し、主な意見として集約したうえで、県の考え方を併せて提示いたします(詳細は次頁以降)。

### (2) その他の意見

県政のさまざまな分野に対するご意見もいただきました。

いただいたご意見につきましては、この調査を担当している企画室から関係部署へ情報伝達し、県として諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用いたします。なお、ご意見を県行政の各分野における 44 項目別に分類した件数は次のとおりです。

01. 人権尊重	18 件	02. 生涯学習	13 件
03. 学校教育	51 件	04. 青少年の健全育成	7 件
05. 高等教育機関	11 件	06. 市民活動	30 件
07. 文化・芸術	42 件	08. 歴史・文化遺産	10 件
09. スポーツ・レクリエーション	20 件	10. 地域での防災の取組	9 件
11. 災害対策	29 件	12. 交通安全	16 件
13. 防犯	23 件	14. 食の安全	8 件
15. 高齢者、障がい者の社会参加	21 件	16. 保健予防体制	8 件
17. 子育て環境	86 件	18. 医療体制	129 件
19. 福祉サービス	120 件	20. 自然環境との共生	39 件
21. 希少な生物	4 件	22. ごみの減量	21 件
23. きれいな空気	4 件	24. 川や海の水質	11 件
25. 地球温暖化防止	3 件	26. 農林水産業の振興	69 件
27. 産業振興	15 件	28. 観光	77 件
29. 技術開発	1 件	30. 地域商工業	36 件
31. 雇用	107 件	32. 職業能力開発	1 件

33.国際化	3件	34.広域交流・連携	4件
35.情報ネットワーク	3件	36.高速交通網	31件
37.道路の整備	96件	38.公共交通機関	98件
39.港の整備	2件	40.快適なまちづくり	21件
41.農山漁村づくり	4件	42.過疎地域等の振興	23件
43.エネルギー	9件	44.飲料水の供給	8件
その他			
広聴広報、情報発信、PR	130件	行政全般について	181件
地域格差	47件	「美し国おこし・三重」について	35件
行政に携わる人について	69件	その他	51件
税金について	7件		

## 一万人アンケートについての意見ならびに県の考え方 一覧

### アンケートの目的（62件）

- ・ このようなアンケートは本当に役に立つのか。
- ・ アンケートの意図がわからない。
- ・ アンケートの実施は良いことだと思う。
- ・ このようなアンケートを実施していたことを知らなかった。
- ・ 毎年アンケートを続けていって欲しい。
- ・ アンケートで、改めて自分の地域のことを知らないと思った。もっと自分の地域のことを知ろうと思った。

### 〔県の考え方〕

アンケートの意図がわからない、といったアンケート調査の目的についてのご意見をいただきました。

県は、平成16年3月に総合計画「県民しあわせプラン」を策定し、「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」をめざし、「県民が主役の県政」を推進しています。このためには、県民の皆様の意向（ニーズ）などを把握して県政に反映していくことが重要と考えており、平成10年度から一万人の県民の方にアンケート調査をお願いし、今年度が11回目の調査となっています。毎年アンケート実施時期には、広報みえなどによりアンケートの実施についてお知らせし、回答へのご協力をお願いしております。

また、このようなアンケートは本当に役に立つのか、といったご意見をいただきました。

このアンケート調査で、県行政の各分野にわたる44項目に関して、重要意識、満足意識などをお聞きして分析し、県民の皆様のニーズが高い項目は何かなど、県民の皆様のニーズについて知ることが可能と考えています。設問数も多く、回答することが難しい設問も多い中、回答者の皆様におかれましては、貴重なお時間を割いてご協力いただき、誠にありがとうございました。

なお、調査に対して、激励・賛同のお言葉もたくさんいただき、誠にありがとうございました。県としましては、このようなさまざまなご意見を踏まえながら、有意義なアンケートになるよう今後とも努めていきたいと考えています。

#### アンケートの実施方法、調査票の構成（128件）

- ・ 抽象的すぎてわかりづらい。もっと具体的な質問のほうが良いのではないか。
- ・ 県の取組を紹介したチラシを同封してはどうか。
- ・ このアンケートは難しく、設問数も多すぎる。
- ・ 地域別のアンケートとしたほうが良いのではないか。

#### 〔県の考え方〕

アンケート実施方法、調査票の構成について、多数のご意見をいただきました。

地域別のアンケートをしてはどうか、とのご意見をいただきましたが、地域別のアンケートでは地域間の比較ができないため、一万人アンケートでは全地域同一のアンケートとし、地域別の分析や地域間の比較を行っています。

また、県の取組を紹介したチラシを同封してはどうか、とのご意見をいただきました。

アンケート調査時に、回答者に対して設問に関する過剰な情報を知らせることは、調査の結果をゆがめることにつながります。このため、日頃から県の広聴広報活動を通じ、県の取組に関する情報を適切にお知らせするよう努めていきます。

さらに、一般的にアンケート調査の設問は、一読して理解できるものであることが必要条件ですが、難しい、大まか、といったご意見をいただきました。

一万人アンケートでは、県民の皆様へのニーズがどのように変化したかなどについて、毎年同じ調査をすることにより、年ごとの変化を把握したいと考えています。そのような制約はございますが、いただいたご意見も踏まえ、より簡単に答えていただけますよう、調査票の形式の見直しや、記入方法の説明などについて検討していきます。

#### 対象者（数）の抽出方法（15件）

- ・ よくアンケート対象者になるので不思議に思う。
- ・ 高齢者のため、今度はもう少し若い方をお願いして欲しい。

#### 〔県の考え方〕

調査対象者の抽出方法についてのご意見をいただきました。

この調査では、市町選挙管理委員会の選挙人名簿からの単純無作為抽出法<sup>3</sup>を採用しています。結果として、過去に一万人アンケートにご協力いただいた方に調査票が届いている場合がありますが、決して同じ方を意図的に抽出しているわけではありません。

また、回答者ご自身の年齢などについてのご意見もいただきました。

<sup>3</sup> 標本抽出台帳から、乱数表を用いて必要な標本を抽出する方法を指します。この調査では、選挙人の氏名が順に並んでいる名簿（選挙人名簿）の中から、調査対象者を一定間隔（間隔数は地域ごとに異なる）で抽出しました。

統計的には、「すべての調査対象者は回答者となる可能性を等しく有する」ことが無作為抽出法の基本であるため、結果として調査対象となった方の年齢などはそれぞれ異なります。調査対象となられた高齢者の方などには、ご負担をおかけしていることとご推察いたしますが、より多くの方からご回答をいただけるよう、調査票の形式の見直しや、記入方法の説明などについて検討し、より簡単にお答えいただけますよう努めてまいります。なお、ご事情によりご本人がお答えできない場合は、ご回答の必要はございません。

皆様からいただいたご回答は、貴重な県政へのご意見としてお取り扱いさせていただきますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。

#### アンケート結果の公表（7件）

- ・ 結果などは県民にきちんと示して欲しい。
- ・ アンケートの結果集計を何らかの方法にて発表して欲しい。

#### 〔県の考え方〕

アンケート調査結果の公表についてのご意見をいただきました。

この調査の目的は、「アンケートの目的」でも述べたとおり、県政に反映させるべく県民の皆様の意向（ニーズ）などを把握することです。調査の結果については、今後の県政運営においてその結果を速やかに反映することができるよう、まず6月に結果速報を、続いて10月に結果概要を公表し、11月頃に報告書を公表しています。

公表方法については、電子データとしては県のホームページ<sup>4</sup>（注2）で、冊子としては当室ならびに生活・文化部情報公開室及び各県民センターの情報公開窓口で閲覧できるようにしており、ご希望があれば、結果の概要や報告書をお送りさせていただきます。

#### アンケート結果の活用方法（39件）

- ・ アンケートでの結果を反映して行政に取り組んでもらえれば、もっと良い三重県になる。
- ・ アンケート結果がどう生かされているのかがわかりにくい。

#### 〔県の考え方〕

県の行政運営の仕組みである「みえ行政経営体系」<sup>5</sup>（注3）において、一万人アンケートを、県民の皆様や市町からの意見やニーズを把握し、その把握した内容を理解・分析する「広聴広報・情報マネジメント」の一つに位置づけています。

具体的な調査結果の反映方法としては、翌年度どのような考え方で県政運営にあたるのかを示す「県政運営方針」の中に、県政の現状認識として反映させることとしています。県では、この方針を踏まえて予算や人員など翌年度の行政経営資源の配分を行うこととなります。

<sup>4</sup> ホームページ URL <http://www.pref.mie.jp/KIKAKUK/HP/itimannin/index.htm>

<sup>5</sup> 県政運営の仕組み全体を、「県政のマネジメントのベース」「広聴広報・情報マネジメント」「戦略策定」「戦略展開」「評価」の五つの枠組みに沿って体系的に再構築したもので、全体最適な県政運営の観点から不断にマネジメントシステムを改善、進化させ、県民の皆様から見てより価値の高い行政サービスの提供を目指すものです。

また、調査結果については、県民しあわせプラン・第二次戦略計画において施策の目標数値に活用する他、個別分野ごとの結果、地域別の結果については、県の各部署が所管する諸施策の展開の参考として活用するなど、今後の施策の参考にさせていただきます。

なお、次期戦略計画の策定においても、一万人アンケートを活用しています。

#### 調査への不信感（19件）

- ・ 無記名式のアンケートなのに、図書カード抽選に応募したら意味がないのでは。
- ・ 抽選とはいえ、何かしたら何かもらえるというのはナンセンス。もしもらえたら全員にすべき。

#### 〔県の考え方〕

図書カードを希望する場合、最後にお名前とご住所をご記入いただいておりますが、ご記入いただいた個人情報の箇所は調査票と切り離し、どなたがどのような回答をしているかなど、調査結果と個人情報を結びつけることはありません。

また、個人情報については、三重県個人情報保護条例に基づき厳重に管理し、図書カードの贈呈以外の目的のために個人情報を利用することや、当該実施機関以外に提供することはございませんので、ご了解いただきますようお願いいたします。

なお、図書カードの贈呈については、税金の無駄で必要ない、とのご意見もありますが、その一方で、回答者全員に送るべき、もっと当選人数を多くして欲しい、とのご意見もあります。

一万人アンケートでは、回答率が年々落ち込んでいることを踏まえ、より多くの方からご回答をいただけますように、平成20年度調査から、抽選で500名の方に図書カードを贈呈することとしました。その結果、以降の回答率は回復傾向にあります。

しかし、昨今の厳しい財政状況につき、回答者全員ではなく抽選で500名とさせていただいております。ご了解いただきますようお願いいたします。

平成 22 年度一万人アンケート報告書

三 重 県 政 策 部 企 画 室

〒514 - 8570 三重県津市広明町 13 番地

電話 059 - 224 - 2062

FAX 059 - 224 - 2069

E - mail:kikakuk@pref.mie.jp